

エジプト国

(情報通信省、国立図書館、アレキサンドリア図書館)

エジプト国
情報アクセシビリティの改善による
障害者の社会参画促進プロジェクト

業務完了報告書

2022 年 3 月

独立行政法人
国際協力機構 (JICA)

特定非営利活動法人支援技術開発機構
ネイチャーインクルーシブ合同会社
株式会社フジタプランニング

人間
JR
22-036

エジプト国

(情報通信省、国立図書館、アレキサンドリア図書館)

エジプト国

情報アクセシビリティの改善による
障害者の社会参画促進プロジェクト

業務完了報告書

2022 年 3 月

独立行政法人
国際協力機構 (JICA)

特定非営利活動法人支援技術開発機構
ネイチャーインクルーシブ合同会社
株式会社フジタプランニング

目 次

第1章 プロジェクトの概要	1
1 対象国	1
2 プロジェクト名	1
3 プロジェクト期間	1
4 プロジェクトの背景	1
5 上位目標、プロジェクト目標及び成果	3
5-1 上位目標と指標	3
5-2 プロジェクト目標と指標	3
5-3 成果	3
6 実施機関	4
7 プロジェクトサイト	4
8 プロジェクトの受益者	4
第2章 プロジェクトの成果	5
1 投入	5
1-1 日本側の投入	5
1-2 エジプト側の投入	7
1-3 活動内容	10
2 プロジェクト目標及び成果の達成度	52
2-1 成果の指標	52
2-2 プロジェクト目標と指標	55
3 PDM改訂の経緯	57
3-1 プロジェクト実施期間	58
3-2 用語の変更	58
3-3 上位目標に関する指標の変更	58
3-4 プロジェクト目標に関する指標の変更	58
3-5 日本側の投入	58
3-6 プロジェクト活動の変更	58
4 その他	60
4-1 情報アクセシビリティの配慮	60
4-2 COVID-19への対応	61
4-3 貧困への配慮	62
4-4 ジェンダー平等への配慮	63

第3章	協同レビュー結果.....	64
1	DAC 評価基準に基づくレビュー結果	64
1-1	妥当性	64
1-2	有効性	68
1-3	効率性	69
1-4	インパクト	72
1-5	持続性	74
2	プロジェクト実施及び成果に影響を与えた重要要素	75
3	プロジェクトリスク管理の結果に関する評価	76
4	本事業から得られた教訓	77
5	適応・貢献	80
5-1	長年の信頼と高度な専門性に基づく高水準の成果の獲得：	80
5-2	遠隔の ToT 対応	80
6	付加価値	80
6-1	「JICA 普及促進事業」との連携	80
第4章	上位目標の達成に向けた課題	82
1	上位目標達成の見込み	82
2	エジプト側が上位目標を達成するための活動計画及び実施体制	84
2-1	MCIT	84
2-2	NLAE	84
2-3	BA	85
3	エジプトへの提言	86
3-1	今ある資源の活用	86
3-2	普及・啓発活動とボランティア育成	86
3-3	国際ネットワーク	87
3-4	研究開発	88
4	プロジェクト終了後のモニタリング	88
別添資料		
別添1：討議議事録（R/D）		
別添2：合同調整委員会（JCC）議事録		
別添3：PDM（全てのバージョン）		
別添4：モニタリングシート		
別添5：プロジェクト成果品リスト		

図目次

図 2-1 : DAISY 図書配信システム (DAISY 図書製作者による人的ネットワーク)	17
図 2-2 : WLIC 2021 のポスターセッションで掲載したプロジェクト紹介ポスター	37
図 2-3 : JCC 構成機関及び関連団体.....	41
図 2-4 : BA 内の読みに困難のある利用者に関するセクションの組織図	50

表目次

表 2-1 : 専門家の投入実績.....	5
表 2-2 : 本邦受入活動及び第三国研修の実績.....	6
表 2-3 : DAISY 製作用 PC セットの構成品.....	6
表 2-4 : その他の機材.....	6
表 2-5 : G/P 及び NCPD の人員配置 (ToT 参加者を除く)	7
表 2-6 : マルチメディア DAISY 図書製作指導者研修 (ToT)	11
表 2-7 : 本プロジェクトで作成したトレーニング教材	14
表 2-8 : 音声合成 (Text-to-Speech: TTS) の特別 ToT	19
表 2-9 : 分野別 DAISY 図書製作数.....	20
表 2-10 : 潜在的な DAISY 図書利用者との対話の実施.....	20
表 2-11 : G/P が開設した DAISY 図書ポータルサイト.....	23
表 2-12 : 本プロジェクトで実施した啓発活動の概要.....	24
表 2-13 : 実施した読書体験会.....	26
表 2-14 : 体験会で得られた参加者からの主なフィードバック	26
表 2-15 : DAISY 製作ミニ講習.....	27
表 2-16 : 「エジプト国際デイジーフォーラム」のプログラム.....	29
表 2-17 : 「ウェビナー : エジプトにおける DAISY のこれから」のプログラム	31
表 2-18 : 本邦研修対象者及び日程.....	33
表 2-19 : 本邦研修内容.....	33
表 2-20 : 参加を必須とした WLIC 2021 のセッション.....	36
表 2-21 : IFLA 世界図書館情報総会 (WLIC) の開催.....	38
表 2-22 : JCC 開催時期と議題.....	42
表 2-23 : JCC 出席者.....	43
表 2-24 : モニタリングシートの提出表 (バージョンと作成時期)	44
表 2-25 : 「エジプトにおける DAISY 国際フォーラム」におけるメディア露出	46
表 2-26 : DAISY 図書の製作・利用に関する状況.....	51
表 2-27 : 成果 1 の指標の達成度 (1)	52
表 2-28 : 成果 1 の指標の達成度 (2)	53
表 2-29 : 成果 2 の指標の達成度.....	54
表 2-30 : プロジェクト目標の指標 1 の達成度.....	56
表 2-31 : プロジェクト目標の指標 2 の達成度.....	56

表 3-1：妥当性の評価内容.....	64
表 3-2：有効性の評価内容.....	68
表 3-3：インパクトの評価内容.....	72
表 4-1：組織別 DAISY 図書製作実績.....	82
表 4-2：各 C/P の上位目標達成計画の達成に向けた計画.....	85

略 語

略 語	英 語	日 本 語
ADHD	Attention deficit hyperactivity disorder	注意欠陥・多動性障害
BA	Bibliotheca Alexandrina	アレキサンドリア図書館
BCP	Business Continuity Plan	事業継続計画
C/P	Counterpart	カウンターパート
DAISY	Digital Accessible Information System	アクセシブルな情報システム（デイジー）
DRM	Digital Rights Management	デジタル著作権管理
E-JUST	Egypt-Japan University of Science and Technology	エジプト日本科学技術大学
EPUB	EPUB	イーパブ：電子出版物の国際標準規格（ISO/IEC TS 30135-1:2014）
IFLA	International Federation of Library Associations and Institutions	国際図書館連盟
JCC	Joint Coordinating Committee	合同調整委員会
JICA	Japan International Cooperation Agency	国際協力機構
LPD	Libraries Serving Persons with Print Disabilities Section	印刷物を読むことに障害がある人々への図書館サービスセクション
LSN	Library Services to People with Special Needs Section	特別なニーズのある人々に対する図書館サービス
MCIT	Ministry of Communications and Information Technology	情報通信省
MoETE	Ministry of Education and Technical Education	教育・技術教育省
NAID	National Academy of Information Technology for Persons with Disabilities	国立障害者情報技術アカデミー
NCPD ¹	National Council on Persons with Disabilities	国家障害評議会
NGO	Non-governmental Organization	非政府組織
NLAE	The National Library & Archives of Egypt	エジプト国立図書館・公文書館
OCR	Optical Character Recognition/Reader	オーシーアール、光学的文字認識
PC	Personal Computer	パーソナルコンピュータ
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
R/D	Record of Discussion	討議議事録
SNS	Social Networking Service	ソーシャル・ネットワーキング・サービス
STT	Speech-to-Text	音声認識
ToT	Trainings of Trainers for DAISY	DAISY 図書製作指導者研修

¹ 2019 年 5 月に National Council on Disability Affairs (NCDA) から改名。

略 語	英 語	日 本 語
	Publication Production	
TTS	Text-to-Speech	合成音声によるテキスト読み上げ
UNICEF	The United Nations Children's Fund	国際連合児童基金
VoH	Village of Hope	ヴィレッジ・オブ・ホープ
WHO	World Health Organization	世界保健機構
WIPO	World Intellectual Property Organization	世界知的所有権機関
WLIC	World Library and Information Congress	世界図書館情報会議

第1章 プロジェクトの概要

1 対象国

エジプト・アラブ共和国

2 プロジェクト名

情報アクセシビリティの改善による障害者の社会参画促進プロジェクト

3 プロジェクト期間

本プロジェクトは、マルチメディア DAISY²図書製作の人材育成や、マルチメディア DAISY 図書の紹介に重点を置く第1期と、啓発や展開に重点を置く第2期に分けて実施された。

なお、第2期の当初の履行期間は2021年3月までであったが、新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）の世界的な蔓延に伴い、視覚障害者等印刷物の利用に困難を抱える障害者への当該感染症に係る情報の伝達が急務であることから、プロジェクト期間を延長し、COVID-19 関連文書の DAISY 図書化を実施し、これらの緊急情報へのアクセシビリティを改善することをプロジェクトの活動に加えた。この計画変更により、プロジェクトは9ヵ月間延長され、2021年12月まで実施された。

第1期（導入フェーズ）：2019年3月から2020年2月（計12ヵ月）

第2期（展開フェーズ）：2020年6月から2021年12月（計18ヵ月）

4 プロジェクトの背景

エジプトは、2017年に国連障害者統計に関するワシントングループの6つの質問を採用した初の国勢調査を実施した。その結果、障害者の数は約1,011万人、全人口の10.67%となっている。

エジプトでは、障害者の教育や雇用へのアクセスは非常に限られている。障害者であることから学校への入学や企業への就職を断られるケースも少なくない。エジプトには障害児が約200万人いるが、その中で教育を受けている障害児はわずか1.8%に過ぎないと国際連合児童基金（The United Nations Children's Fund: UNICEF）は推定している³。2009年に教育省の省令によりインクルーシブ教育が義務化されて以来、エジプトではインクルーシブ教育が推進されているものの、教師が障害児に不慣れでどう対応してよいかわからないなど障害児が受ける教育の質に関しては多くの実践上の課題が残っている。

また、障害児がドロップアウトするケースは非障害児のケースの2倍という報告もある。このような背景から、障害者が教育を受ける機会は制限されており、その結果、雇用機会も制限されている状況がある。

このような状況を改善する方法のひとつとして、教科書・教材や社会生活を送るうえで必要な図書・文書などの印刷された情報を、障害特性に配慮して、アクセスしやすいものに変換するこ

² Digital Accessible Information System, アクセシブルな情報システム

³ エジプト・アラブ共和国情報アクセシビリティ改善による障害者の社会参画促進プロジェクト詳細計画策定調査報告書, 2018年11月, JICA

とが考えられる。視覚障害者に加え、ディスレクシア等の学習上の障壁のある人にとって、紙に印刷された文書等の情報を理解することは困難である。これらの印刷物を読み理解することの困難を総称して「プリントディサビリティ (Print Disability)」と呼ぶが、プリントディサビリティのある人々に理解しやすい形式で文書等の情報を提供することで、これらの人々の学習機会や仕事に就く機会をはじめとする社会参加の機会を拡大することができる。

DAISY (Digital Accessible Information System=アクセシブルな情報システム) は、これらのプリントディサビリティがある人々に読書機会を保障するために開発された電子図書の国際標準規格であり、日本をはじめ多くの国で使われている。DAISY 規格の電子図書の製作は、ローマ字表記の言語圏と、縦書きやルビの表記への対応に多大の努力を払ってきた日本では活用が進んでいるものの、アラビア語の表記の特性が障壁となって、エジプトをはじめとするアラビア語圏での普及は遅れている。また、エジプトでは、これまでに作られたアラビア語の録音図書と点字図書の数は極めて少なく、極めて限定された数の視覚障害者がそれを利用している。

このような背景のもと、エジプト政府は日本政府に対し出版物の情報アクセシビリティを改善するための技術協力プロジェクトを要請し、国際協力機構 (Japan International Cooperation Agency, 以下、JICA) は情報通信省 (Ministry of Communications and Information Technology : 以下、MCIT) との間で 2018 年 12 月に討議議事録 (以下、R/D) の署名交換を行った。幸い、日本には国際標準規格である DAISY を縦書きとルビを必須とする日本語の環境に適合化してきた経験があり、日本は、世界中のすべての言語環境においてアクセシビリティを実現するという戦略を掲げて、電子出版の国際標準規格である EPUB⁴の国際化を先導して日本語固有の問題を解決してきた実績と戦略がある。

また、2018 年時点では、アラビア語に対応した DAISY 製作ツールは世界に存在していなかったが、世界で最初に DAISY 規格に対応する視覚障害者用再生機 (プレクストーク) を販売した国際的な実績のある日本のハードウェア製品メーカーであるシナノケンシ株式会社が、エジプトにおいて民間技術普及促進事業 (「読書障害者用 DAISY 図書製作ソフトウェア普及促進事業 (2018 年~2019 年)」) を実施し、その中で、DAISY 図書製作ソフトウェア (PLEXTALK Producer) のアラビア語対応が図ったことにより、本プロジェクトにおけるアラビア語の DAISY 図書製作ツールとして活用が図れたという経緯がある。

本プロジェクトは、これまでの日本の戦略的優位性を活かして、エジプトにおけるアクセシブルな図書の作成・普及に係る基盤づくりを支援し、教育、雇用、保健、観光、防災など様々な分野で必要とされる知識と情報のアクセスの機会均等化を推進することによって、障害者の社会参加促進に寄与することが期待されている。

また、2020 年に流行した COVID-19 への対応として、COVID-19 に関する出版物を迅速に DAISY 図書化し配付するため、2020 年 11~12 月に開催されたプロジェクト延長のための第 4 回合同調整委員会 (Joint Coordinating Committee : 以下、JCC) 及び一連の補足会議での合意を得て、当初の計画より 9 ヶ月間延長し、2021 年 12 月 31 日までプロジェクトを実施した⁵。

⁴ イーパブ：電子出版物の国際標準規格 (ISO/IEC TS 30135-1:2014)

⁵ 延長については、2020 年 11 月 28, 30 日, 12 月 5, 10 日に開催された一連の第 4 回 JCC 及び補足会議で合意され、PDM の改訂にかかる議事録の署名に向けて調整を図ってきたが、セキュリティ・クリアランスが完了せず、プロジェクト終了時点において議事録の署名は完了していない。

5 上位目標、プロジェクト目標及び成果

5-1 上位目標と指標

本プロジェクトの上位目標とその指標は以下のとおりである。なお、DAISY図書数及び育成されるDAISY図書製作者数の具体的な目標値については、2020年11~12月に開催された一連の第4回JCC及び補足会議において合意された⁶。

【上位目標】

DAISY図書が、教育、雇用、保健、観光、防災など様々な分野で利用されるようになる。

【指標】

- 製作されるDAISY図書の数。
- アクセス可能になっているDAISY図書の数（160冊）。
- DAISY製作指導者を含めて160名のDAISY図書製作者が育成される。

5-2 プロジェクト目標と指標

本プロジェクトのプロジェクト目標とその指標は以下のとおりである。指標の具体的な活動数については、「各カウンターパート機関（以下、C/P）ごとに3活動、合計で9活動が増加すること」を指標として設定するプロジェクト・デザイン・マトリックス（Project Design Matrix：以下、PDM）の変更が2019年9月に開催された第1回JCCで合意された⁷。

【プロジェクト目標】

アラビア語や他の言語のDAISY図書を製作し普及するための人的、技術的資源が整備される。

【指標】

- DAISY図書目録がアクセス可能であること。
- 啓発活動対象者による、活動の実施状況（各C/P毎の活動数が3、合計9活動）。

5-3 成果

本プロジェクトで期待される成果とその指標は以下のとおりである。

【成果】

成果1：DAISY図書製作者のコアグループ及びDAISY図書製作者が育成される。

成果2：DAISYの利点が広く理解されるようになる。

⁶ 上位目標の指標の変更に関して、2020年11月28,30日,12月5,10日に開催された一連の第4回JCC及び補足会議で合意され、PDMの改訂にかかる議事録の署名に向けて調整を図ってきたが、セキュリティ・クリアランスが完了せず、プロジェクト終了時点において議事録の署名は完了していない。

⁷ プロジェクト目標の指標に関しては、2020年11月28,30日,12月5,10日に開催された一連の第4回JCC及び補足会議で合意され、PDMの改訂にかかる議事録の署名に向けて調整を図ってきたが、セキュリティ・クリアランスが完了せず、プロジェクト終了時点において議事録の署名は完了していない。

【指標】

成果1：DAISY 図書製作者のコアグループ及び DAISY 図書製作者が育成される。

- 42名の DAISY 図書製作者が育成されること。
- 利用者が DAISY 図書にアクセスするためのネットワークシステム⁸が構築されること。

成果2：DAISY の利点に関する広い理解が促進される。

- 啓発対象者の DAISY 図書に関する認知・知識が向上すること。

6 実施機関

本プロジェクトは、プロジェクトの運営・実施の中心的な役割を担う MCIT と、DAISY 図書の製作並びに利用者へのサービス提供の拠点を担う国立図書館（The National Library & Archives of Egypt：以下、NLAE⁹）とアレキサンドリア図書館（Bibliotheca Alexandrina：以下、BA）の3者のC/Pが協働して実施した。

- 情報通信省（Ministry of Communications and Information Technology：MCIT）
- 国立図書館（The National Library & Archives of Egypt：NLAE）
- アレキサンドリア図書館（Bibliotheca Alexandrina：BA）

7 プロジェクトサイト

カイロ（人口約954万人）、アレキサンドリア（人口約516万人）¹⁰

8 プロジェクトの受益者

＜直接受益者＞

MCIT、NLAE、BA、その他 DAISY 図書製作者および普及に関係する機関の関係者

＜間接受益者＞

「視覚障害者及びプリントディサビリティのある人々の出版物へのアクセスを促進するためのマラケシュ条約」（以下、マラケシュ条約）で定義される人々を、マルチメディア DAISY 図書の受益者（最終裨益者）とする。具体的には、①全盲の人、②視覚障害、感覚障害、読書障害などにより、そのような障害がない人と同じ程度に印刷物を読むことができない人、③機能障害により本を持つ、ページをめくる、焦点を合わせる、目で文字を追うといった動作に困難があり、印刷物を読むことができない人である¹¹。

⁸ 図書のアップロード、ダウンロードを可能とするポータル

⁹ R/D では国立図書館の略称を「NL」としていたが、同図書館より、「NLAE: National Library and Archive of Egypt」としてほしい旨申し入れがあったため、以後に作成する文書では「NLAE」と表記することとした。

¹⁰ 2017年国勢調査（中央動員統計局）

¹¹ プリントディサビリティがある人々のエジプトにおける公式の統計は無いが、多くの国で総人口の10%から15%の人々が何らかのプリントディサビリティを有すると推定されている。他方、エジプトの高い非識字率（男性21.2%、女性30.8%、2017年）は、4人に1人以上の人々が文書を理解することが難しいことを示唆する。マラケシュ条約に沿って著作権を制限して作られる DAISY 出版物の提供は、プリントディサビリティがある人々に限定されるので、エジプトでは障害以外の要因で読むことが困難な人々も含めて提供できる DAISY もしくはアクセシブルな EPUB 仕様の「読み上げができる出版物」の普及が開発戦略の重要課題になる。

第2章 プロジェクトの成果

1 投入

1-1 日本側の投入

1-1-1 専門家の投入

本プロジェクトでは、要員計画に従い9名の専門家が従事した。第1期は現地業務を中心に行ったが、COVID-19発生以降の第2期では、日本人専門家はすべて国内から遠隔で従事した。

投入実績は下表のとおりである。

表 2-1：専門家の投入実績

氏名	専門分野	第1期実績 (P/M)	第2期実績 (P/M)
河村 宏	総括／情報アクセシビリティ	3.75	9.50
	マルチメディア DAISY 図書製作	0.10	-
牧尾 麻邑	マルチメディア DAISY 図書製作（指導員育成）1	3.03	0.60
Yasmine Youssef	マルチメディア DAISY 図書製作（指導員育成）2	-	12.05
丸市 剛	マルチメディア DAISY 図書製作（ソフトウェア）	4.33	6.70
古屋（河村） 愛	副総括／業務調整 1／アドボカシー計画 1	4.08	6.75
手嶋 正志 ^{*1} ／ 竹形みずき ^{*2}	業務調整 2／アドボカシー計画 2	2.27	1.30
濱田 滋子	啓発（マルチメディア DAISY 図書使用者への支援者）	0.27	0.10
野村 美佐子	啓発計画	1.80	1.00
合計		19.63	38.00

*1: 第1期、*2: 第2期

出典：JICA プロジェクトチーム

1-1-2 現地スタッフの投入

本プロジェクトでは、最終裨益者としての DAISY 図書の潜在利用者へのアウトリーチ、啓発用 DAISY 図書製作、COVID-19 関連 DAISY 図書製作スタッフ、及びプロジェクトを円滑に実施するための業務調整として、全期間を通じて以下に記す現地スタッフの投入を行った。

- Ahmed ElSharckawy（DAISY 図書製作、研修補助、アウトリーチ等）[全期間]
- Omneya Kamal Elganzory（DAISY 図書製作、研修補助、アウトリーチ等）[全期間]
- 堂西弥生（DAISY フォーカルポイント業務、業務調整補助）[第2期]
- COVID-19 関連 DAISY 図書製作スタッフ（製作全般2名、編集6名、ナレーター5名）[第2期]

1-1-3 本邦受入活動及び第三国研修

本プロジェクトで実施した本邦受入活動及び第三国研修の実績は下記の通りである。

表 2-2：本邦受入活動及び第三国研修の実績

活動（場所）	時期	場所	人数	備考
本邦研修	2019年4月14日～23日	日本（東京、大阪、北海道）	6人	各 C/P より 2 名ずつ参加。
IFLA WLIC 2019	2019年8月24日～30日	アテネ	5人	各 C/P より 2 名ずつを予定していたが、MCIT 担当者の VISA 発給が間に合わず 5 名が参加。
IFLA WLIC 2021	2021年8月17日～19日	オンライン	9人	各 C/P より 3 名ずつ参加。COVID-19 の影響でオンライン実施。
合計			20人	

IFLA:国際図書館連盟、WLIC: 世界図書館情報会議

出典：JICA プロジェクトチーム

1-1-4 機材供与

本プロジェクトでは、第 1 期、第 2 期を通じて、下記に示す機材を調達した。その総額は 10,219 千円である。

(1) DAISY 製作用 PC セット

マルチメディア DAISY 図書製作指導者研修（以下、ToT）参加者 42 名分の DAISY 製作用 PC セット及び音声合成（Text-to-Speech：以下、TTS）ソフトウェアを調達し、3 つの C/P に供与（各 C/P に 14 セットずつ）した。

表 2-3：DAISY 製作用 PC セットの構成品

機材名	構成品	数量	譲渡状況
DAISY 製作用 PC セット	マルチメディア DAISY 製作ソフトウェア	42	譲渡済
	ラップトップ PC	42	譲渡済
	音声録音用のマイクロフォンヘッドセット	42	譲渡済
	USB メモリー	42	譲渡済
	静音マウス	42	譲渡済
	パソコンバッグ	42	譲渡済
	MS Office	42	譲渡済
	音声合成（Text-to-Speech:TTS）ソフトウェア	42	譲渡済

出典：JICA プロジェクトチーム

(2) その他の機材

業務の円滑な実施のために必要となるその他の機材についても以下の通り調達した。当該機材は、プロジェクト期間中に配置していた BA に譲渡した。

表 2-4：その他の機材

機材名	仕様	数量	配置	譲渡状況
事務所用プリンター（複合機）	機能：プリント、スキャン、コピー	1	BA	譲渡済

出典：JICA プロジェクトチーム

1-2 エジプト側の投入

1-2-1 C/P 人材

(1) C/P の配置

本プロジェクトの計画を示す、PDM では、エジプト側の人材投入として、プロジェクト・ダイレクター、プロジェクト・マネージャー、ToT 参加者が記載されている。

ToT 参加者を除く C/P の人員配置は、表 2-5 に示す通り、計 15 名であった。その他、ToT 参加者 37 名（MCIT：9 名、NLAE：14 名、BA：14 名）、本邦受入活動参加者 6 名（うち 4 名が JCC 参加者と重複）、第三国研修参加者 14 名（2019 年参加者 5 名、2021 年参加者 9 名）の 72 名に加えて、各種啓発活動の実施において、様々な局面で多数の C/P スタッフの協力を得てプロジェクトを実施した。

その他、JCC オブザーバである国家障害評議会（National Council on Persons with Disabilities：以下、NCPD）からは、2 名の担当者の配置と 2 名の ToT への参加があった。

表 2-5：C/P 及び NCPD の人員配置（ToT 参加者を除く）

役割	組織	名前	役職名	従事期間
プロジェクト・ダイレクター	MCIT	Dr. Abeer Farouk Shakweer	Minister Advisor	2019 年 3 月 ~2020 年 2 月
		Dr. Noha Rabie	Training Director, the National Academy of Information Technology for Persons with Disabilities (NAID)	2020 年 2~9 月
		Dr. Abd El-Monem El-Sharkawy	Chairman of the National Academy of Information Technology for Persons with Disabilities (NAID)	2020 年 10 月 ~2021 年 12 月
プロジェクト・マネージャー	MCIT	Eng. Hosam Abou El Seoud	Innovation Manager, Minister's Advisor Office for Social Responsibility and Services	2019 年 3~7 月
		Dr. Fady Ismaeel	Innovation and Entrepreneurship Manager	2019 年 8 月 ~2020 年 9 月
		Dr. Noha Rabie	Training Director, the National Academy of Information Technology for Persons with Disabilities (NAID)	2020 年 10 月 ~2021 年 4 月
		Dr. Amr Al-Awamry	Senior R&D consultant, the National Academy of Information Technology for Persons with Disabilities (NAID)	2021 年 5~12 月
JCC 委員	NLAE	Prof. Hesham Azmi	Chairman	2019 年 3~12 月 2020 年 1 月から 文化省副大臣としてプロジェクトに協力。
		Prof. Emad Saleh	Director of Central Administration of the National Library Sector	2019 年 3~12 月
		Prof. Dr. Metwaly El Naquib	Director of Central Administration of the National Library Sector	2020 年 9 月 ~2021 年 12 月
		Dr. Howayda Kamel	Director General of Public and International Relations	
	BA	Prof. Amgad Elgohary	Head, Library Sector	2019 年 3 月 ~2020 年 11 月
		Manal Amin	Acting Head, Library Sector	2020 年 11 年 ~2021 年 3 月

役割	組織	名前	役職名	従事期間
		Dina Youssef	Head, Library Sector	2021 年 3~12 月 (2019 年 3 月よりプロジェクトに参加)
		Amr Hegazy	Head of Special Need Services Section, Library Sector	
		Marwa Elgharabawy	Head of Specialized Libraries Services Department, Library Sector	
JCC オブザーバ	NCPD	Dr. Moustafa Bayoumi	Advisor of Strategic Planning and Public Policy	CP 以外
		Mr. Omar Hassan	Member of Technical Office	CP 以外

出典：JICA プロジェクトチーム

(2) ワークスペースの提供

第1期では、専門家チームのワークスペースとして、アレキサンドリアにおいて、BA からオフィススペース、キャビネットなどの家具、インターネット接続、および光熱費が提供された。

カイロ市内の NLAE 内のワークスペースについては、カイロ在住の現地スタッフの雇用を開始するタイミングで視覚障害のある利用者向け端末の設置されたスペースの一部を本プロジェクトのワークスペースとして割り当てることで調整を図っていたが、COVID-19 の蔓延の発生時期と重なったこともあり、オフィススペースの提供は見送られた。一方、BA 内のワークスペースは一般利用者の出入りのない執務スペースであることから、COVID-19 の感染拡大下においてもワークスペースの提供は継続された。

(3) その他、先方政府負担事項

本プロジェクトの実施に際して、C/P からは資金面以外の以下に挙げる様々な投入が提供された。

■ MCIT

- DAISY 図書配信用のポータル構築及び配信サービスの提供（2021 年 11 月より）
- 2019 年 12 月 10 日開催の啓発イベント「DAISY Demonstration Workshop in Cairo」の開催及び会場提供
- 2019 年 12 月 11 日に開催した合同啓発イベント「International Forum on DAISY in Egypt Celebrating International Day of Persons with Disabilities（以下、「エジプトにおける DAISY 国際フォーラム）」の共催
- 2021 年 9 月の「Webinar: DAISY in Egypt, the Way Forward（以下、「ウェビナー：エジプトにおける DAISY のこれから）」の共催及び FB を通じたストリーミング配信

■ NLAE

- DAISY 製作用テキストデータ 6 冊分の提供
- 主に NLAE が製作した DAISY 図書配信用のポータル構築及び配信サービスの提供（2020 年 5 月より）
- 2019 年 8 月 22 日に国際図書館連盟（International Federation of Library Associations and

Institutions：以下、IFLA）の世界図書館情報会議（World Library and Information Congress：以下、WLIC）サテライト会合における NLAE ツアー実施（12名の海外からの参加者を対象）

- 2019年12月11日に開催した合同啓発イベント「エジプトにおける DAISY 国際フォーラム」の共催、及び会場、カメラマン、運営スタッフ提供、及び配布パンフレットのデザインと印刷。
- 2020年1月29日に開催された「カイロ国際ブックフェア 2020」における DAISY 実演のための NLAE ブース及びボランティアスタッフの提供
- 2020年7月に開催した第2回 ToT（以下、ToT2）集中研修の会場提供
- 2021年9月の「ウェビナー：エジプトにおける DAISY のこれから」の共催

■ BA

- 2019年7月に開催した第1回 ToT（以下、ToT1）集中研修の会場、Wifi 環境の提供
- 2019年8月20-21日に開催した IFLA サテライト会合の会場、カメラマン、ポスターデザイン、その他、20名以上の運営スタッフ・ボランティアスタッフ提供
- 2019年8-9月に開催した3回の読書体験会の会場、運営スタッフ提供
- 2019年12月9日に開催した「"DAISY: Opening the Door to the World of Reading"」の会場、カメラマン、ボランティアスタッフ提供
- 2019年12月11日に開催した合同啓発イベント「エジプトにおける DAISY 国際フォーラム」の共催
- 2020年7月に開催した ToT2 集中研修実施時の2名のサポートスタッフ¹²提供
- 2021年9月2日の「ウェビナー：エジプトにおける DAISY のこれから」の共催、及びウェビナーの会場、ボランティアスタッフ提供

1-2-2 その他のステークホルダーの投入

(1) NCPD

- ToT3 への参加（2名）及び18冊の DAISY 図書製作（うち、16冊は NCPD 自ら選書）
- JCC 参加及び複数の個別ミーティングへの参加
- 2019年12月11日に開催した合同啓発イベント「エジプトにおける DAISY 国際フォーラム」での開会挨拶（NCPD 議長 Dr. Ashraf Marei 氏）、及びパネルディスカッション参加（大臣アドバイザー Dr. Moustafa Bayoumi 氏）
- 2021年6月30日～7月15日にかけて開催された「カイロ国際ブックフェア 2021」における NCPD ブースでの DAISY 図書の紹介と実演
- 2021年9月2日の「ウェビナー：エジプトにおける DAISY のこれから」での NCPD 議長 Dr. Ashraf Marei 氏による基調講演

¹² JICA が実施した「読書障害者用 DAISY 図書製作ソフトウェア普及促進事業」（業務実施者：シナノケンシ株式会社、期間：2018年5月～2019年9月）における DAISY 図書製作ソフトウェア（PLEXTALK Producer）の講習を受講した BA のデジタル録音図書部門スタッフ2名。

(2) プリントディサビリティの当事者及び支援団体

- ToT3 への参加（3 名）及び 3 冊の DAISY 図書製作[カリタス 2 名、エジプト赤新月社 1 名]
- ミニ講習参加（15 名）[カリタス 7 名、エジプト赤新月社 6 名、視覚障害者個人 2 名]
- 潜在利用者との対話及び読書体験会を含む啓発活動（計 3 回）[ヴィレッジ・オブ・ホープ（Village of Hope：以下、VoH）]
- 2021 年 9 月 2 日の「ウェビナー：エジプトにおける DAISY のこれから」での貢献
 - 基調講演：Dr. Ahmed Bahi Al Din（エジプト総合書籍機構 副会長、文化大臣 Dr. Inès Abdel Daïm の代理登壇）
 - 基調講演及びパネリスト登壇：Ms. Nada Thabet（国会議員、VoH 創設者）
 - パネリスト登壇：Dr. Mahmoud Anwar（全盲のミニ講習参加者）

1-3 活動内容

1-3-1 成果 1 に関する活動

本プロジェクトでは、成果 1 に関するすべての活動をプロジェクト期間内に完了した。活動実績を以下に記す。

(1) 活動計画に関する C/P との合意（活動 1-1）

（活動 1-1）キックオフ会合の開催と人材育成計画の合意

- 第一次渡航時の 2019 年 3 月 26 日に、MCIT（プロジェクト・ダイレクター、プロジェクト・マネージャーの 2 名）、NLAE、BA の代表者及び実務者とキックオフ会合を行い、JICA プロジェクトチームが作成したワーク・プラン（案）に基づきプロジェクトの全体像を共有するとともに、人材育成計画及びベースライン調査項目を含むワーク・プランの内容について協議・合意した。また、DAISY 図書製作ワーキンググループを、NLAE（カイロ）及び BA（アレキサンドリア）に設置する計画についても C/P の同意を得た。
- 一方、R/D で C/P がプロジェクト開始までに用意することが合意されていたマルチメディア DAISY 図書製作指導者研修（ToT）で使用する 42 冊の図書のテキストデータについて、著作権の問題から収集が遅れている状況、及び C/P は引き続き収集に努めることを確認した¹³。

(2) 段階的な研修を通じたマルチメディア DAISY 図書製作者の育成（活動 1-2~1-6, 1-8, 1-10~1-19）

マルチメディア DAISY 図書製作に関しては、下表に示すとおり 3 回の ToT を実施し、研修を通して参加者 1 名につき最低 1 冊の図書の DAISY 図書化が可能となる研修構成とした。研修の修了者は、指導者の位置づけで次の研修に参加することで、段階的にマルチメディア DAISY 図書製作者を育成するとともに、研修を修了したマルチメディア DAISY 図書製作者のネットワークを広げていくことを企図した内容とした。

研修は、1 週間のセミナー形式の集中研修と、その後、約 7 週間のフォローアップ研修で構成した。COVID-19 蔓延後に実施した第 3 回 ToT（以下、ToT3）では、感染拡大防止の観点から、

¹³ 著作権の問題がクリアできず最終的に C/P から提供された著作権フリーの DAISY 図書製作用テキストデータは NLAE から提供された 6 冊にとどまった。

集中研修は、当初計画していた対面式のセミナー形式ではなく、24名の参加者を6名ずつのグループに分け、4回に分けて実施するなど、安全確保に最大限配慮した手法で行った。

その他、COVID-19に関するDAISY出版物コレクションの集中的な製作のための作業従事者に対する特別 ToT、及び全 ToT 参加者を対象とする TTS ソフトウェアに関する特別 ToT を実施した。

表 2-6：マルチメディア DAISY 図書製作指導者研修 (ToT)

回	実施時期	講師	参加者	備考
1	2019年6～7月 (8週間)	3名 (JICA 専門家)	6名 (コアグループ)	MCIT、NLAE、BA より各2名。コアグループとなる人材 集中研修：BA 研修室にて、2019年7月7～11日に実施。
2	2019年11～12月 (8週間)	3名 (JICA 専門家) + 6名 (第1回 ToT 修了者)	12名	MCIT、NLAE、BA より各4名 集中研修：NLAE 研修室にて、2019年11月3～7日に実施。
3	2020年7～9月 (8週間/グループ ×4グループ) ※遠隔実施	3名 (JICA 専門家) + 6名 (第1回 ToT 修了者) + 6名 (第2回 ToT 修了者から 選抜)	24名	MCIT 3名、NLAE 8名、BA 8名、 NCPD 2名、その他非営利団体3名 集中研修：ToT3 は COVID-19 感染防 止対策として、2020年7月19～26日、 8月9～13日、23～27日、9月6～10日 の4回のグループに分けて少人数のオ ンライン形式で実施した。

出典：JICA プロジェクトチーム

ToT の実施に関する具体的な活動実績は下記のとおりである。

(活動 1-2) プロジェクトに必要な資機材の調達・検収

- ToT に先立ち、ToT1 の参加者 6 名、ToT2 の参加者 12 名、講師 2 名、及び現地プロジェクトスタッフ 2 名分の合計 22 名分の DAISY 図書製作キット 22 セットについて、JICA が調達したものを受領し、2019 年 5 月 16 日に検収した。

(活動 1-3) DAISY 図書製作指導者研修 (ToT) に必要な資機材の準備

- ToT の実施に先立ち、調達した PC のセットアップ、マルチメディア DAISY 図書製作ソフトウェアのインストール等、研修に必要な準備行い、動作確認を行った。

(活動 1-4) マルチメディア DAISY 図書製作のコアグループメンバー（指導者候補 6 名）の選定

- ToT1 の開催に先立ち、1 週間の集中研修への参加並びにその後の約 2 か月間、勤務時間の 20% を用いて少なくとも 1 冊¹⁴の DAISY 図書製作を完了させることができ、その後の DAISY 図書製作を牽引しうるコアグループメンバーとして、3 つの C/P から 2 名ずつ推薦された計 6 名を ToT1 の参加者として選出した。

¹⁴ 大部の文献の場合は、作業を分担し、2 名で 1 冊を完了させることも可とした。

（活動 1-5）マルチメディア DAISY 図書製作指導者研修(ToT)素材の作成

- ToT1 に先立ち、同研修で参加者に配布する DAISY 講習マニュアルと、実習用の教材を作成した（別添 5.技術協力作成資料リスト「1. マルチメディア DAISY 図書製作研修マニュアル（英語版及びアラビア語版）」）。
- R/D では、C/P から 42 タイトルのアラビア語テキストデータの提供が合意されていたが、著作権者の同意取得が難航し、実際に C/P から収集できたのは、NLAE が提供した著作権フリーの 6 タイトルのみであった。そのため、C/P に対しても引き続きの努力を要請しつつ、JICA から職業訓練マニュアルを含む複数のタイトルの提供を受けるとともに、クリエイティブコモンズなど著作権による制約が伴わない素材から、研修及び潜在的利用者の読書体験に適した素材を選定し、研修教材として活用した。

（活動 1-6）第 1 回マルチメディア DAISY 図書製作指導者研修(ToT1)（コアグループ対象）の実施

- 概要：2019 年 7 月から 8 月までの 8 週間、コアグループ 6 名に対する ToT1（集中研修及びフォローアップ研修）を実施した。参加者は、一週間の集中研修後、第二週以降は、各組織に戻り週 1 日程度の投入（20%の投入率）を DAISY 図書製作に充ててもらう形式とした。集中研修後のフォローアップは、遠隔指導の形態を主とし、必要に応じて各 C/P に出向いて指導を継続した。
- 集中研修：2019 年 7 月 7 日～11 日の 5 日間、BA の研修会場で実施し、6 名全員が全プログラムに参加した。
- フォローアップ研修：集中研修後のフォローアップは、SNS¹⁵、電話、メール等を活用した遠隔指導の形態を主とし、必要に応じて各 C/P に出向いて、DAISY 図書製作状況の確認と、細かい技術課題支援（複雑な図表、画像の代替テキスト、図表のレイアウト、古い本の OCR¹⁶）、製作環境の確認等を行った。また、2019 年 8 月に開催した IFLA サテライト会合等、ToT 参加者が参加する他の活動の機会を活用して、DAISY 図書製作状況の確認と製作支援を実施した。
- DAISY 図書製作：ToT1 の参加者は研修期間中に合計 4 冊（参加者 6 名の内、MCIT と BA の参加者、計 4 名は、それぞれ、長編図書を 2 名で分担して製作した）の DAISY 図書の製作を完了した。
- DAISY 図書目録：作成した DAISY 図書の目録を作成した。
- C/P への報告：参加者の DAISY 図書製作の進捗とともに、①参加者は高い意欲をもって研修に取り組んでいること、②一部の ToT 参加者は正しいアラビア語の発音に課題を抱えていること、③DAISY 製作には集中できる作業時間が必要となるが、一部の参加者は就労時間中の時間確保が困難であることからプライベートの時間を割いて製作に取り組んでいること、④BA の ToT 参加者は 7～9 月に BA で実施された児童向けの DAISY 読書体験会の実施スタッフとして参加したこと、などについて第 1 回 JCC において、各 C/P に報告した。

¹⁵ Social Networking Service：ソーシャル・ネットワーキング・サービス

¹⁶ Optical Character Recognition/Reader：オーシーアール、光学的文字認識



ToT1 の集中研修 (1)
(2019 年 7 月)



ToT1 の集中研修 (2)
(2019 年 7 月)



ToT1 の集中研修 (2)
(2019 年 7 月)



NLAE でのフォローアップ研修
(2019 年 7 月)



ToT 参加者手製の簡易録音ブース
(2019 年 7 月)

(活動 1-8) 研修成果に基づく、必要に応じたトレーニング教材の改定

- ToT1 の参加者からの研修中やフォローアップでの聞き取りより得たフィードバックを参考に、活動 1-5 で制作した DAISY 講習マニュアルを更新した。なお、英語での研修参加を要件とした ToT1 と異なり、ToT2 及び ToT3 では、アラビア語でマニュアルを製作する方が参加者の理解度が向上することが見込まれたため、マニュアルはアラビア語版も作成した。
- ToT3 では、COVID-19 感染拡大を受けて、遠隔会議システムを用いて、遠隔で ToT を実施したことから、ToT2 実施後の参加者のフィードバックを反映するとともに、遠隔対応による変更点を含め、マニュアルを再度改訂した。更に ToT3 終了後に、再度の改訂を行い、特別 ToT 向けにマニュアルを更新し最終化した。(別添 5. 技術協力作成資料リスト 「1. マルチメディア DAISY 図書製作研修マニュアル (英語版及びアラビア語版)」)
- ToT3 と特別 ToT では Zoom を活用したことから、Zoom に関する簡単な操作資料も作成した。(別添 5. 技術協力作成資料リスト 「2. Zoom 利用ガイド (英語版及びアラビア語版)」)

- TTS 使用に関するトレーニング教材としては、TTS のダウンロード・インストール方法について、調達した TTS ライセンスのメーカーであるアカペラ社から提供されたファイルの内容を参加者向けに編集して作成した。言語はアラビア語・英語の 2 言語である。(別添 5. 技術協力作成資料リスト「3. TTS ソフトウェアインストールマニュアル (英語版及びアラビア語版)」)

本プロジェクトで作成したトレーニング教材は下表のとおりである。

表 2-7：本プロジェクトで作成したトレーニング教材

マニュアル	言語
DAISY 製作講習マニュアル	英語・アラビア語 (Zoom の簡単な操作資料込み)
TTS 使用に関するトレーニング教材	英語・アラビア語

出典：JICA プロジェクトチーム

(活動 1-10) 第 2 回マルチメディア DAISY 図書製作指導者研修 (ToT2) 参加者の選定

- ToT2 の各 C/P からの参加者数 (C/P につき 4 名、計 12 名) について、2019 年 9 月 5 日に開催した第 1 回 JCC で合意し、C/P の推薦に基づき全参加者を 2019 年 11 月の ToT2 開始時まで選定した。

(活動 1-11) コアグループメンバーと共同での ToT2 の実施

- 概要：2019 年 10 月~12 月の 8 週間、MCIT 4 名、NLAE 4 名、BA 4 名の計 12 名に対して、ToT2 を実施した。第二週以降は、各組織に戻り週 1 日程度の投入 (20% の投入率) を DAISY 図書製作に充ててもらった形式とした。集中研修後のフォローアップは、SNS、電話、メール等を活用した遠隔指導の形態を主とし、必要に応じて各 C/P に出向いて指導を継続した。
- 集中研修：
 - ToT2 を 2019 年 11 月 3 日~7 日の 5 日間、NLAE の研修会場で実施し、12 名全員が全プログラムに参加した。講師としては、JICA プロジェクトチームの講師 2 名と現地スタッフ 2 名の他、コアメンバー 5 名がメンターとして参加した。
 - シナノケンシ株式会社による「エジプト国 読書障害者用 DAISY 図書製作ソフトウェア普及促進事業¹⁷ (以下、JICA 普及促進事業)」で DAISY 図書製作ソフトウェア (PLEXTALK Producer) の講習を受講した BA のデジタル録音図書部門スタッフ 2 名が講師サポートとして参加した。
 - 参加者 12 名の中には英語の理解に不安のある参加者もいたことから、日本人講師の英語の講義はアラビア語への通訳を行い、講習は主にアラビア語で実施した。
- フォローアップ研修：2019 年 11 月 21 日に NLAE、11 月 21 日と 12 月 22 日に MCIT、11 月 24 日に BA を訪問して、DAISY 図書製作状況の確認と、追加の質問 (見出しの階層構造、表の中のリストや表のタイトル、脚注) などの細かい点の技術的フォローアップ、製作環境の確認を実施した。また、各 C/P 内のコアメンバーによる継続的な対面でのフォローアップの

¹⁷ 2017 年度第 1 回「開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業」2018 年 5 月~2019 年 7 月に実施。

他、メールやチャットグループでのオンライン・フォローアップ等で DAISY 図書製作状況の確認と製作支援を実施した。

- DAISY 図書製作：ToT2 の参加者は合計 10 冊（12 名中 4 名は長編図書を 2 人で分担）の製作を完了した。
- DAISY 図書目録：DAISY 図書の目録を更新した。
- C/P への報告：ToT2 の進捗を 2019 年 12 月 18 日に開催された第 2 回 JCC で報告した。



ToT2 の集中研修（集合写真）
（2019 年 11 月）



ToT2 の集中研修 (ToT1 のコアメンバーがメンターとして指導する様子)
（2019 年 11 月）



ToT2 の集中研修 (ToT1 のコアメンバーがメンターとして指導する様子)
（2019 年 11 月）

（活動 1-12）ToT2 参加者の中から、ToT3 補助者 6 名の選定

- 対面で実施する当初の計画と異なり、ToT3 はオンライン実施となったため、ToT2 参加者の研修補助としての参加が技術的に難しい状況が生じたことから、ToT2 参加者の ToT3 への参加は各 C/P 内で主にフォローアップにおけるサポートとした。
- 集中研修では、ToT1 と ToT2 の修了者 14 名がオンラインで参加し、録音や自身が製作した図書に関する情報共有を行うとともに、ToT1、ToT2、ToT3 参加者同士の交流機会を設けたことにより、DAISY 図書製作者のネットワーク形成を促進できた。

（活動 1-13）ToT3 参加者の選定

- ToT3 の参加者については、各 C/P が 8 名ずつを上限として推薦し、C/P からの合計推薦者数が定員の 24 名に満たない場合は、JICA プロジェクトチームが他の政府機関や NGO¹⁸等からの推薦を行う旨を第 2 回 JCC で C/P と合意した。

¹⁸ Non-governmental Organization 非政府組織

- 上記の手続きに基づき、MCIT（3名）、NLAE（8名）、BA（8名）を選定するとともに、残る5名については、DAISY図書製作を進めたい意向があり、かつ、障害者の情報アクセシビリティの向上に関する活動を持続的に実施することが見込まれる団体として、JCCメンバーのNCPDから2名、及びNGOであるカリタスから2名、エジプト赤新月社から1名の参加者をJICAプロジェクトチームとして推薦し、第3回JCCでC/Pの同意を得た。

（活動1-14）マルチメディア DAISY 図書製作者のネットワークの構築支援

- ToT1 と ToT2 の集中研修において、参加者間のネットワーク構築を意図して、カイロとアレキサンドリアからの各参加者に対して合同で講習を行った。また、ToT1 では研修中に BA のデジタル録音図書部門、タハフセイン図書館、特別ニーズプログラムの関係者とのネットワーク構築の機会を作ったほか、ToT2 では、ToT1 参加者5名がメンターとして、また、BA のデジタル録音図書部門スタッフが講師サポートとして参加するなど、マルチメディア DAISY 図書製作者のネットワークの構築を促進するための様々な取り組みを行った。
- ToT1 参加者と JICA プロジェクトチームをメンバーとして、マルチメディア DAISY 図書の重複製作を避け、分担して効率よく製作するための WhatsApp グループ及びメーリングリストによる製作者のネットワークを2019年7月に立ち上げた。
- マルチメディア DAISY 図書の更なる製作や配布、製作研修実施が促進されるよう、カイロ内のプロジェクトオフィス及びアレキサンドリア（BA 内）に DAISY フォーカルポイントを整備し、機材（OCR 機能付き複合プリンター）を設置するとともに活動の側面支援を行った。
- MCIT を中核として定期的に協議を行い、啓発活動に用いるタイトル選定等の調整を図ると共に、カイロ新首都に建設される国立障害者情報技術アカデミー（National Academy of Information Technology for Persons with Disabilities：以下、NAID）の新キャンパスにおいて持続的な DAISY 図書製作活動を進められるよう必要に応じて支援を行った。

（活動1-15）マルチメディア DAISY 図書製作者による人的ネットワークの形成促進

- ToT1 と ToT2 の参加者のうち14名が、2019年12月にBA、MCIT、及びNLAEが本プロジェクトで協同で実施した読みに困難のある人々に関する一連の啓発イベントに参加した。これらのイベントを通じ、マルチメディア DAISY 図書製作者による人的ネットワークは障害当事者、その家族や支援団体に拡大した。
- インドにおける DAISY 図書製作団体の全国ネットワーク構築の成功事例から学ぶために、DAISY 図書製作者ネットワークに登録している ToT 参加者及び C/P の意思決定者を招いて、「Journey from 5 to 5 Million Accessible Books in India（インドにおけるアクセシブルな図書が5冊から500万冊になるまでの道のり）」と題してディペンドラ・マノーチャ氏を講師にしたオンライン意見交換会を2021年10月11日に実施した。1時間の講義と1時間の質疑応答セッションの構成で、C/P の意思決定者であるプロジェクト・マネージャーの Dr. Amr Al-Awamry（MCIT）、Dr. Howayda Kamel（NLAE）、Ms. Dina Youssef（BA）及び14名の ToT 参加者、及びプロジェクト関係者の計26名が参加した。参加者からは、今後エジプトにおける DAISY 普及に有用かつ勇気づけられる内容であった等のフィードバックが得られた。

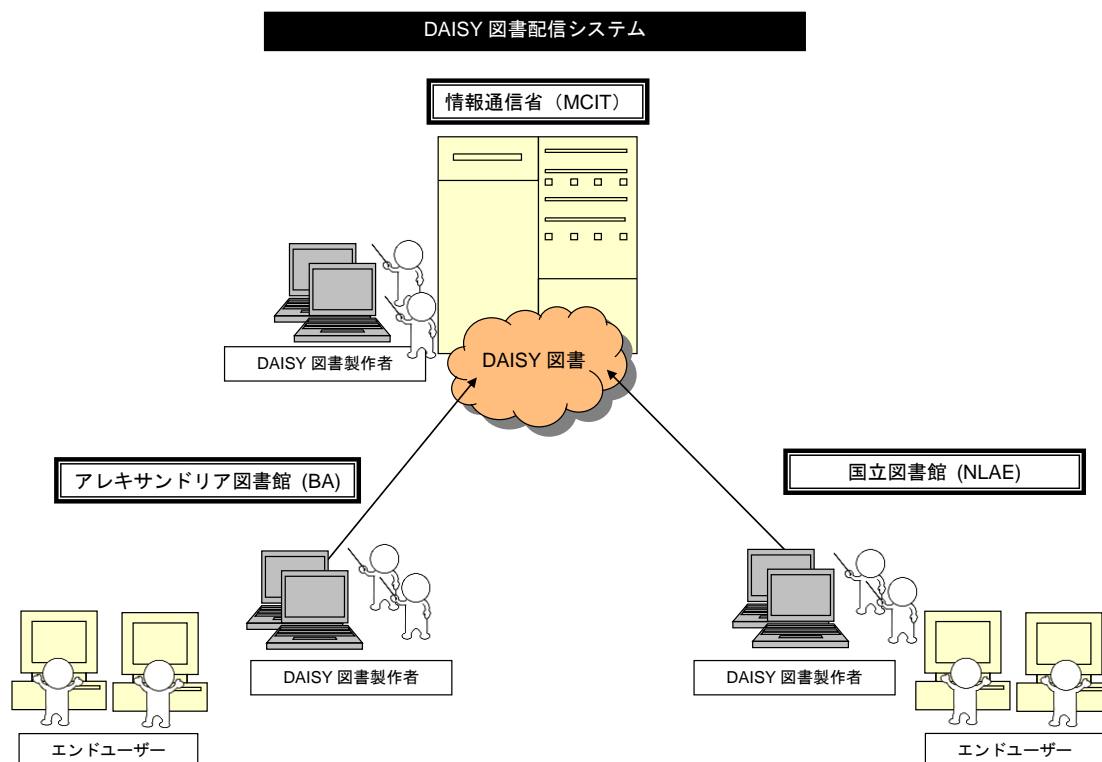


図 2-1 : DAISY 図書配信システム (DAISY 図書製作者による人的ネットワーク)

出典：本プロジェクトの R/D Annex6 を JICA プロジェクトチームが編集・翻訳

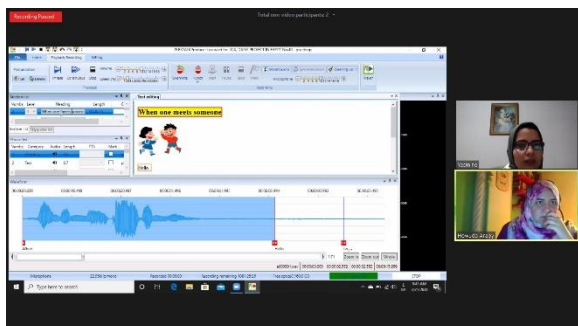
(活動 1-16) ToT3 の実施に必要な資機材の調達・検収機材

- ToT3 に必要な資機材として PLEXTALK Producer を含む DAISY 製作キットの調達・検収を実施した。

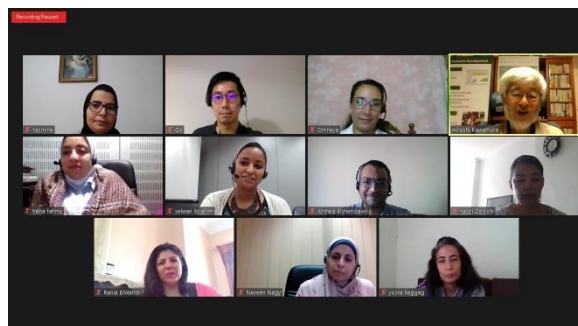
(活動 1-17) コアメンバー及び ToT2 参加者と共同での ToT3 の実施

- 集中研修：
 - COVID-19 感染拡大状況下での実施となった ToT3 は、感染防止の観点からオンライン実施とする方針とした。実施方法については、ToT1 と ToT2 参加者数名との事前シミュレーションの実施なども行った上で、講師 3 名が各 2 名ずつを個別指導できる形式で、1 回につき 6 名で、4 グループに分けて実施することとした。
 - 4 グループの参加者 (計 24 名) に DAISY 製作キット貸与の調整を行った。
 - 自宅からの参加者も多かったことから懸案であったインターネット接続に関しても、事前に通信テストを実施の上、希望する参加者に通信機器 (ルーター) の貸与を行ったことで、大きな支障なく終えることができた。
 - 各グループで体調不良や停電のため一部講義が受講できなかった参加者がいたが、収録した動画でフォローを行った。
 - ToT1 と ToT2 の修了者 14 名がオンラインで参加し、録音や自身が製作した図書に関する情報共有を行うとともに、ToT1、ToT2、ToT3 参加者同士の交流機会を設けたことにより、DAISY 図書製作者のネットワーク形成を促進できた。
- フォローアップ研修：各グループ参加者とのフォローアップをオンライン・ミーティングや対面で実施した。

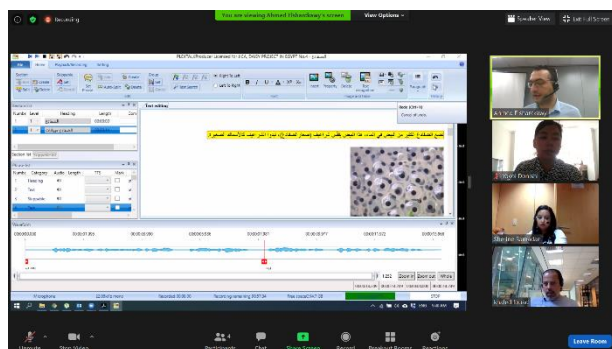
- DAISY 図書製作 : ToT3 全参加者 24 名が、プロジェクト終了までに 1 冊目の DAISY 図書製作を完了し、研修を修了した。
- DAISY 図書目録 : DAISY 図書の目録を更新した。
- C/P への報告 : ToT3 の進捗は第 3 回 JCC、第 5 回 JCC で、最終成果は第 6 回 JCC で報告した。



ToT3 のオンライン集中研修
(第 1 グループ、個別指導セッション)
(2020 年 8 月)



ToT3 のオンライン集中研修
(第 2 グループ、講義セッション)
(2020 年 8 月)



ToT3 のオンライン集中研修
(第 3 グループ、個別指導セッション)
(2020 年 8 月)



ToT3 のオンライン集中研修
(第 4 グループ、コアメンバーとの交流)
(2020 年 9 月)

(活動 1-18) 音声合成 (Text-to-Speech:TTS) ソフトウェアを調達、及び ToT 参加者から技術力の高い DAISY 製作者を選抜して特別 ToT を実施

- TTS については、複数のアラビア語 TTS を比較検討し、品質及びライセンスポリシーの観点から、アカペラ社の製品を選定した。なお、ライセンスポリシーについては、通常の購入数を上限とする台数までのインストールを認める通常の内容が含まれておらず、PC (や OS) を更新した場合に新しい PC (や OS) にライセンスを転送できない内容となっていた。42 台の製作キットで今後、長期間にわたり DAISY 製作を続ける際に有用なライセンスの持続性を担保するという観点から、国際的なネットワークの支援も得て、これの是正をした上で購入を行った。
- TTS (Text-To-Speech) の特別 ToT については、ソフトウェアをすべての DAISY 図書製作キットに追加的にインストールするために購入し、ToT1~3 に参加した DAISY 製作者のうち技術力の高い 6~9 名程度を選抜して、特別 ToT を実施して TTS 活用技術を移転することを目的としていた。しかし、アカペラ社の厳格なライセンス管理方針により、42 台の PC に遠隔で適切なインストールを完了させることが容易でないことが判明したことから、確実なインス

トールを実施するために特別 ToT の対象を、ToT 参加者全員（42 名）に拡張するとともに、フォローアップを行った。

表 2-8：音声合成（Text-to-Speech:TTS）の特別 ToT

日にち	実施形式	対象者	備考
2021 年 12 月 9 日 11~13 時 (エジプト時間)	オンライン	全 ToT 参加者（42 名）	必要に応じて個別フォローアップの実施

出典：JICA プロジェクトチーム

（活動 1-19）新型コロナウイルス感染症に関する DAISY 出版物コレクションの集中的な製作のための作業従事者に対する特別 ToT の実施

- 特別 ToT の実施及び製作体制の構築：
 - COVID-19 に関する DAISY 出版物コレクションの製作については、作業効率を重視する観点から、DAISY 編集、朗読など役割を分担して実施することとし、必要な人材をプロジェクトで備上し、分業体制及び ToT の実施方法について検討の上、実施した。
 - COVID-19 に関する DAISY 出版物コレクションの集中的な製作のための作業従事者を対象にした特別 ToT（編集作業スタッフには 5 日間の特別 ToT、録音作業スタッフには半日のオリエンテーション）については、製作スタッフごとに採用のタイミングが異なったことから、少人数形式で 5 月から 7 月にかけて順次実施するとともに、離職者に対する補充要員について追加的な特別 ToT を実施した。
 - 製作拠点として、カイロ及びアレキサンドリアに録音環境を整備したオフィスを設け制作体制を確保した。
- COVID-19 関連図書の選定及び著作権免除手続き：
 - 世界保健機構（World Health Organization: WHO）などの国連機関や、エジプトの公的機関、クリエイティブコモンズ・ライセンスが付与されている文献等から、COVID-19 関連図書として、必要性の高い文献約 50 冊を選定し、著作権の規定を確認するとともに、国連関係の文献の著作権の免除について各機関の指定する方法で手続きを行った。
 - 図書の選定にあたっては、DAISY 製作の手間を考慮し、テキストデータが入手可能でない図書については除外した。
 - アラビア語の図書を優先的に選定したが、有用な英語の文献についてはアラビア語への翻訳を行うことで製作リストに加えた。
 - COVID-19 関連図書の製作暫定リスト及び作成方針は、第 5 回 JCC で合意された。
- COVID-19 関連図書の製作：
 - 製作効率の観点から、テキストデータが得られる図書のみを対象としていたが、DAISY 製作に入る前のテキストデータの校正に想定外の手間を要したが、最終的に 36 冊の DAISY 図書が製作できた。（別添 5. 技術協力作成資料リスト「9. DAISY 図書製作リスト」）
 - 英語の文献については、アラビア語への翻訳を行った後に DAISY 図書化を行った。

表 2-9：分野別 DAISY 図書製作数

テーマ	製作完了		ポータル公開済		製作中		製作中を含む全図書数		
	ToT 参加者	製作スタッフ	ToT 参加者	製作スタッフ	ToT 参加者	製作スタッフ	ToT 参加者	製作スタッフ	合計
農業	6		5				6	0	6
児童書	18	2	18	2	17		35	2	37
COVID-19	2	34	2	18			2	34	36
障害	1		1				1	0	1
経済					1		1	0	1
教育(科学)	6	6	6	6			6	6	12
教育(環境)		1		1			0	1	1
保健					1		1	0	1
歴史	1		1		1		2	0	2
歴史(伝記)	1		1				1	0	1
文学	4		3		1		5	0	5
哲学		1		1			0	1	1
政治史(児童書)	1		1				1	0	1
宗教(児童書)	3		3		1		4	0	4
科学					1		1	0	1
旅行					1		1	0	1
小計	43	44	41	28	24		67	44	111
合計	87		69		24		111		

註：NCPD が独自に製作した 16 冊は含まない。

出典：JICA プロジェクトチーム

(3) 潜在的なマルチメディア DAISY 図書利用者との対話を通じた利用者の要望の把握（活動 1-7）

（活動 1-7）潜在的なマルチメディア DAISY 図書利用者との対話を通じた利用者の要望の把握

- 製作するマルチメディア DAISY 図書は、利用者のニーズにあったものである必要があるため、潜在的なマルチメディア DAISY 図書使用者と対話を行い、DAISY 図書の再生と一緒に試しながら、改善点や要望を把握し、DAISY 図書製作者とのコミュニケーションに活用した。
- 本プロジェクトでは、下記の一連の啓発活動を通じて、利用者ニーズを把握するとともに、将来のアドボカシーと啓発活動のための協力的なネットワークを形成した。

表 2-10：潜在的な DAISY 図書利用者との対話の実施

日にち	協力団体／場所	実施内容
2019 年 7 月 25 日、8 月 4 日、9 月 3 日	BA／タハフセイン図書館、特別ニーズ図書館	BA のタハフセイン図書館と特別ニーズプログラムで、5 歳から 12 歳の、視覚障害やディスレクシアの子供計 25 名を対象に、DAISY 体験会を実施した。1 人 1 台の PC とヘッドセットで、製作したアラビア語のマルチメディア DAISY 図書を再生し、一緒に試しながら、フィードバックの収集を行い、DAISY 図書製作者に伝えた。
2019 年 12 月 5 日	NCPD 及び VoH 等	現地での障害者支援を実施する非営利組織である VoH によって、国際障害者デーを祝う毎年恒例の啓発イベントが開催された。エジプト社会連帯省、アレキサンドリア県、および NCPD

日にち	協力団体／場所	実施内容
		等の政府機関等も協力し、障害分野で活動しているアレキサンドリア県内外 30 以上の団体がこのフェスティバルに参加した。野村専門家がゲストスピーカーの一人として招待され、DAISY の有効性に関する講演を行った（約 200 名程度）。
2019 年 12 月 8 日	VoH	VoH のセミナールームで DAISY 体験会を開催した。このワークショップには、読みに困難を持つ子供、その家族、支援団体を含む合計 18 人が参加した。子供達はアラビア語のマルチメディア DAISY 図書を使用して、タブレットで本を読む体験をすることができた。JICA プロジェクトチームは、読みに困難のある子供に対する DAISY の有効性に関する意見交換を通じて、関係者間のネットワークを構築した。
2019 年 12 月 9 日	BA	「DAISY：読書の世界への扉を開く」というタイトルの啓発イベントを BA の国際会議場で開催した。アレキサンドリア在住で読みに困難のある子供の家族及び支援団体を含む合計約 125 人が参加した。2 人の日本人ゲスト（小澤彩果氏 ¹⁹ と濱田専門家）は日本のディスレクシアコミュニティに関連した DAISY の経験を発表した。啓発イベントを通して、参加者は障害を持つ人々に対する DAISY の有効性に関する知識を得た。
2019 年 12 月 10 日	MCIT	MCIT のセミナールームにて啓発イベントを開催した。障害者とその支援組織を含む合計 37 人の参加者がこのイベントに参加した。啓発イベントにおいて、MCIT は障害者向けの教育訓練施設の将来計画を提示した。2 人の日本人ゲスト（小澤氏と濱田専門家）は日本のディスレクシアコミュニティに関連する DAISY の経験を紹介した。日本人ゲストの発表と合わせて、タブレット等を使用した DAISY の実演と使用体験を通じて、参加者の DAISY の有効性についての理解促進を図った。
2021 年 12 月 21 日	VoH	学習障害のある 11 名の児童。COVID-19 図書を含む DAISY 図書を体験し、読書への意欲を示した。

出典：JICA プロジェクトチーム

BA での DAISY 体験会 (1)
(2019 年 7 月)BA での DAISY 体験会 (2)
(2019 年 8 月)¹⁹ JICA が調査団として派遣し、プロジェクトの活動に参画した。



BA での DAISY 体験会 (3)
(2019 年 8 月)



BA での DAISY 体験会 (4)
(2019 年 9 月)



BA での「DAISY：読書の世界への扉を開く」(1)
(2019 年 12 月)



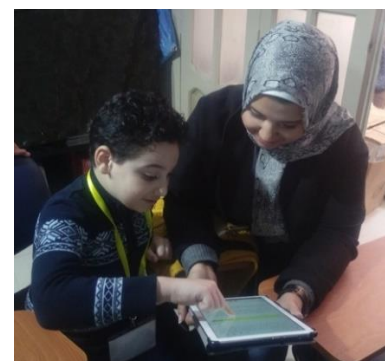
BA での「DAISY：読書の世界への扉を開く」(2)
(2019 年 12 月)



MCIT での DAISY 実演ワークショップ
(2019 年 12 月)



VoH での DAISY 体験会
(2019 年 12 月)



VoH での DAISY 体験会
(2019 年 12 月)



VoH での DAISY 体験会
(2019 年 12 月)



VoH での DAISY 体験会
(2021 年 12 月)

(4) DAISY 図書のオンライン・ポータル整備 (活動 1-9)

(活動 1-9) MCIT によるマルチメディア DAISY 図書のオンライン配布可能タイトル及び制作予定タイトルのリストが閲覧可能なポータルの整備支援

- 2019 年 12 月に実施した第 2 回 JCC では、MCIT に設立されている NAID のポータルサイトが 2020 年 5 月までに開設され、プロジェクトで製作された DAISY 図書を配布するために活用可能であることが示された。また、それまでの一時措置として既存の MCIT のポータルサイトを活用可能にすることが同意された。
- しかしその後、MCIT 内の手続き上の事情から早急な暫定ポータルの開設が困難であることが判明し、最終的に 2021 年 10 月に MCIT ポータルの試験運用が開始され、2021 年 11 月に本格運用が開始された。運用開始後、接続が一時的に不安定となる状況も確認されたが、プロジェクト完了までに改善が図られ、本報告書作成時点で 69 冊の DAISY 図書がダウンロード可能である。なお、本報告書作成時点では、MCIT ポータルはエジプト国外からのアクセスができない状況となっているが、MCIT が今後改良予定である。
- NLAE は、2020 年 5 月より NLAE が制作した DAISY 図書を中心に 13 冊の DAISY 図書を NALAE のウェブサイト上で独自に公開している（同 13 冊は MCIT のポータル上でも公開されダウンロード可能である）。

表 2-11 : C/P が開設した DAISY 図書ポータルサイト

団体	ポータルサイト URL	ダウンロード可能なコンテンツ
MCIT	https://naid.gov.eg/en/daisy_book	DAISY 図書 69 冊 無料 DAISY 再生ソフトウェア (Amis)
NLAE	http://www.darelkotob.gov.eg/ar-eg/Pages/HeritageCategoryDetails.aspx?cid=27#top	DAISY 図書 13 冊 無料 DAISY 再生ソフトウェア (Amis)

出典：JICA プロジェクトチーム

1-3-2 成果 2 に関する活動

本プロジェクトでは、成果 2 に関するすべての活動を完了した。実施した活動の実績を以下に記す。

(1) 啓発活動 (活動 2-1, 2-2, 2-7)

エジプトに DAISY 図書を普及するため、本プロジェクトでは、DAISY の有効性についての啓発を目的として、DAISY 図書の潜在利用者及びその家族や支援者に対する啓発を念頭において活動を実施した。特に、潜在的な当事者数が多いにもかかわらず、エジプトでは統計データがなく、いまだに認知度の低いディスレクシアの認知度向上の観点から、啓発イベントでは、日本から DAISY によって進学などの目標を達成した当事者及び、ディスレクシアの家族を持つ長年 DAISY の普及に尽力してきたデイジー教科書ボランティアを派遣することで、DAISY の有益性が多くの人に理解されるような啓発活動に努め、障害のある子ども達やその家族、支援団体、及び政府機関関係者を含む、合計 800 名以上の参加を得た。

また、マラケシュ条約批准の推進については、関連する省庁や政府機関、出版物を印刷前のデータ作成の段階からアクセシブルな形式で作成して出版するという究極的な目標も視野に、出版業界に対する啓発も心掛けた。

啓発活動は、主に、C/Pと連携して実施した啓発イベント、潜在的な DAISY 図書利用者との対話、潜在的な DAISY 図書利用者への DAISY 図書読書体験会、支援団体への体験会や講義を伴ったミニ講習などで構成される。これらの活動は効率性の観点から、1つのイベントの中で複数の目的をもって実施された場合もある。

本プロジェクト内で実施した啓発活動の概要を下表に示す。

表 2-12：本プロジェクトで実施した啓発活動の概要

日にち	連携機関	イベント／参加者	目的（活動）			
			啓発 (活動 2-7)	体験会 (活動 2-2)	ミニ講習 (活動 2-2)	利用者との対話 (活動 1-7)
2019 年 7 月 25 日	タハフセイン 図書館(BA)	視覚障害を有する子供 8 人とその兄弟 1 人	✓	✓		✓
2019 年 8 月 4 日	特別ニーズブ ログラム(BA)	読みに困難のある子供（ディスレク シア）8 人	✓	✓		✓
2019 年 9 月 2 日	タハフセイン 図書館(BA)	視覚障害を有する子供 8 人	✓	✓		✓
2019 年 8 月 20-22 日	BA（会議） NLAE（ツア ー）	IFLA サテライト会合／11 カ国から 24 名（IFLA 関係者を含む）が登壇し、2 日間で合計 121 人（1 日目 115 名、2 日 目 93 名）、3 日目の NLAE ツアーには 12 名が参加。主な参加者は、エジプ ト国内の大学、C/P 関係者を含むエジ プト政府関係者、障害者支援団体、 ドナー機関、メディア等	✓			
2019 年 12 月 5 日	VoH	1,000 人程度が参加したイベントにゲ ストスピーカーとして参加し約 200 名 に向けて DAISY を紹介（登壇者に DAISY を実演紹介）。	✓			
2019 年 12 月 8 日	VoH	啓発・体験会／読みに困難のある子 供、その家族、支援団体を含む 18 名	✓	✓		✓
2019 年 12 月 9 日	BA	DAISY: Opening the Door to the World of Reading／アレキサンドリア在住の読 みに困難のある子どもの家族及び支 援団体を含む 125 名（うち約 40~50 人 程度が DAISY を体験）	✓	✓		✓
2019 年 12 月 10 日	MCIT	DAISY demonstration workshop in Cairo ／障害者とその支援組織を含む 37 名	✓	✓		✓
2019 年 12 月 11 日	C/P 3 団体（会 場は NLAE）	「エジプトにおける DAISY 国際フォー ラム」／政府関係者、支援団体を含 む 73 名	✓			
2020 年 1 月 29 日	NLAE	ブックフェア／視覚障害者（全盲、 弱視）多数、ダウン症、及びその家 族を含む約 30 名	✓	✓		✓
2020 年 4 月	エジプト赤新 月社	DAISY ミニ講習／救急医療患者に向 けた文書の DAISY 化担当者 6 名			✓	
2020 年 11 月	-	DAISY ミニ講習／視覚障害者（全 盲）1 名		✓	✓	✓
2021 年 6~7 月	NCPD	ブックフェア／NCPD ブース来訪者に DAISY の説明及び実演を実施	✓	✓		
2021 年 12 月	-	DAISY ミニ講習／視覚障害者（全 盲）1 名		✓	✓	✓
2021 年 3 月	カリタス	DAISY ミニ講習／読みに困難のある 人々の支援者 7 名			✓	

日にち	連携機関	イベント／参加者	目的（活動）			
			啓発 (活動 2-7)	体験会 (活動 2-2)	ミニ講習 (活動 2-2)	利用者との対 話(活動 1-7)
2021 年 9 月 2 日	C/P 3 団体	「ウェビナー：エジプトにおける DAISY のこれから」／政府関係者、支援団体、当事者、一般市民を含む 174 名が当日参加（その他 Facebook のストリーミング配信も実施。2021 年 12 月時点の視聴数は約 1 万回）	✓			
2021 年 12 月 21 日	VoH	啓発・体験会／注意欠陥・多動性障害（ADHD）を含む学習障害を抱える児童 11 名	✓	✓		✓
合計		参加者 800 名以上 (オンライン視聴は約 1 万回)	13 回	9 回	4 回	10 回

出典：JICA プロジェクトチーム

本プロジェクトにおける啓発活動の具体的な活動実績は以下に示すとおりである。

（活動 2-1）C/P 機関やその他関連機関と協力し、啓発に関する活動計画の策定

- 2019 年に実施した啓発活動の成果と 2020 年に実施予定の啓発活動計画を第 2 回 JCC で報告し承認を得た。

（活動 2-2）啓発素材の製作及び体験会の開催

- DAISY 図書の潜在利用者であるディスレクシア、視覚障害、知的障害の子供および成人当事者に対して、マルチメディア DAISY 図書の有用性を利用者に体感してもらうため、以下の活動を実施した。
 - マルチメディア DAISY 図書のサンプル素材を製作した。啓発素材の製作にあたっては、体験会に参加する子供向けに、絵本や動物・虫の本など、体験会を通じて読書の楽しさを体感してもらえる素材選定に留意した。
 - 2019 年 7 月から 12 月に、サンプル素材を活用した体験会を開催し、体験の結果について、聞き取り調査を行った。実施した体験会を表 2-13 に、また体験会で参加者から得られた主なフィードバックを表 2-14 に記す。
- DAISY 図書の潜在利用者の支援者となりうる非営利団体のスタッフ、及び DAISY の普及に向けて発言力のある視覚障害者個人に対して、DAISY の有用性を体感する体験会に加えて、DAISY 図書製作に関する簡易なミニ講習を実施した。
 - 2020 年 4 月に、DAISY の必要性を理解し組織内での製作体制の構築に関心を寄せたエジプト赤新月社の 6 名のスタッフに対して 2 日間の DAISY 製作のミニ講習を実施した。このうち、中核的スタッフ 1 名が ToT3 に参加した。
 - 2020 年 11 月と 12 月に、それぞれ 1 名ずつ、計 2 名の視覚障害者に対する音声 DAISY 製作ミニ講習を実施した。DAISY 図書を初めて利用した視覚障害者の参加者からは、「初めて自分の手で DAISY 図書を作った時は、まるで『新しい世界を発見した』かのような喜びであった。エジプト中の大学にこの技術が広まることが私の希望である。」とのコメントが寄せられた。
 - 2021 年 3 月には、読みに困難のある人々への支援を行う非営利団体のカリタス（ToT に 2 名が参加）の要望を受け、7 名のスタッフに対してミニ講習を実施した。

表 2-13：実施した読書体験会

No	日付	会場	参加者
1	2019年7月25日	タハフセイン図書館(BA)	視覚障害を有する子供8人とその兄弟1人
2	2019年8月4日	特別ニーズプログラム(BA)	読みに困難のある子供（ディスレクシア）8人
3	2019年9月2日	タハフセイン図書館(BA)	視覚障害を有する子供8人
4	2019年12月8日	VoH	読みに困難のある子供（ディスレクシア）、その家族、支援団体を含む合計18人
5	2019年12月9日	BA 国際会議場	読みに困難のある子供（ディスレクシア）の家族及び支援団体職員等、約50名にDAISYの体験機会を提供
6	2019年12月10日	MCIT 会議室	障害者とその支援団体職員を含む合計37人
7	2020年1月29日	NLAE ブース（ブックフェア）	視覚障害者（全盲、弱視）多数、ダウン症1名、及びその家族を含む約30名
8	2021年6-7月	NCPD ブース（ブックフェア）	NCPD ブース来訪者に DAISY の説明及び実演を実施
9	2021年12月21日	VoH	学習障害を抱える児童12名
合計			約170名

出典：JICA プロジェクトチーム

表 2-14：体験会で得られた参加者からの主なフィードバック

カテゴリー	フィードバック
当事者	<p><感想></p> <ul style="list-style-type: none"> DAISY が気に入った。写真と数字、色が楽しそう。操作は難しくなかった。（7歳） 読みやすかった。一人で読むことが出来た。（11歳） 一人で本を読めることが良かった。（16歳） エジプトではアラビア語は難しすぎる。エジプトの方言との違いがあった。（7歳） もっといろいろな本を読みたい（ハリーポッター等）。（多数の参加児童） 内容が耳で聴けるのがとてもよかった。紙の本よりもタブレットで読む DAISY 図書の方が、内容を覚えやすく、たくさんのことを本から学ぶことができるので好き。教科書よりもタブレットで勉強する方が私には合っていると思う。（10歳） DAISY で教科書が使えるようになったらとてもよい（7歳） 「新しい世界を発見した」かのような喜びだった。エジプト中の大学にこの技術が広まることを希望する。（視覚障害） <p><これまでの読書体験></p> <ul style="list-style-type: none"> 5歳の時から本を読んではいるが難しく感じている。文字が大きい本が良い。（11歳） 点字と拡大図書を使って読んだことがある。（24歳、視覚障害）
家族	<p><感想></p> <ul style="list-style-type: none"> タブレットの使い方は最初はわからなかったが、操作に慣れると子供が一人で読み続けることが出来て良かった。 タブレットは簡単に操作することが出来て良かった。

カテゴリー	フィードバック
	<ul style="list-style-type: none"> ・ハチミツ、蝶、栄養の本は読んでいて楽しかった。 ・写真、音声、文字が連動しており分かりやすかった。 ・文字サイズの調整機能、背景の色を変換する機能などが便利であった。 ・イベント全体の流れはスムーズで良かった。通訳も分かりやすかった。 ・小澤彩果さんの体験談のパワーポイントが分かりやすかった。 ・体験会の時間はもっと長くても良かった。 ・他の参加者とも交流する機会がもっとあると良かった。 ・絵が充実している子供向けの本がもっと欲しかった。 ・集中力が続かない子供もいた。 <p><親としての苦労></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までたくさん苦労してきた。話し方の発達が遅く、読みにも時間がかかった（学習障害児の親）。 ・子供は19歳だが、学校にはあまり行っていない。障害があっても普通の学校に行けるシステムはあるが、サポートがないため、母親が自宅で教えている。 ・学校の宿題に長い時間がかかっているが、母親と一緒にやっている。 ・家族でサポートしていて何も問題はない。
支援者	<p><感想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの反応がいつもより早く、楽しんで読書している様子がよく伝わってきた。DAISYは、子供たちにとって関心を持ちやすく、容易に利用でき、学習に役立つ技術であることが体験会を通じて理解できた。 ・障害者支援施設でも使ってみたい。 ・操作が簡単で情報が分かりやすく伝わった。 ・バックグラウンドが選択できる機能は良かった。 ・音声は聞き取りやすかった。 ・子供向けの内容をより充実させてほしい。

出典：JICA プロジェクトチーム

表 2-15：DAISY 製作ミニ講習

No	日付	会場	参加者	備考
1	2020年4月 (2日間)	エジプト赤新月社	救急医療に携わるスタッフ6名	プリントディサビリティを抱える患者及び家族への説明のために DAISY 製作を要望。
2	2021年3月 (3日間)	カリタス	読みに困難のある人々の支援者7名	
3	2020年11月 (2日間)	オンライン	視覚障害者（全盲）1名	DAISY 製作者として、また DAISY 提唱者として活躍が期待される人物を選定。
4	2020年12月 (2日間)	オンライン	視覚障害者（全盲）1名	DAISY 製作者として、また DAISY 提唱者として活躍が期待される人物を選定。
合計			15名	

出典：JICA プロジェクトチーム

（活動 2-7）マラケシュ条約批准促進のために関係する政府機関および国際機関との協力体制の構築、及びプリントディサビリティ当事者などとの協力による啓発活動の実施

表 2-12 に示した通り、本プロジェクト期間を通じて、啓発活動を 13 回実施し、800 名以上の参加者に対して、DAISY の有用性やプリントディサビリティに関する啓発等を実施した（啓発イベントのオンライン視聴数を含めると延べ 1 万人）。また、第 1 期と第 2 期に 1 回ずつ、3 つの C/P と共催のハイレベルの啓発イベントを実施した。その概要を以下に記す。

• 第 1 期活動：

- **概要：**国際障害者デー（12 月 3 日）・国際障害者週間（12 月 3 日～12 月 9 日）のタイミングに合わせて、2019 年 12 月 11 日、カイロ市 Bab Al-Khalq にある NLAE の会議場で国際障害者デーを記念する「エジプトにおける DAISY 国際フォーラム」と題した啓発イベントを MCIT、NLAE、BA、及び JICA の共催によって実施した。この啓発イベントの目的は、エジプトにおけるマラケシュ条約の批准を促進し、国際障害者の日を記念してエジプト国内でマルチメディア DAISY 図書を普及させることにより、障害者の情報アクセシビリティの改善に対する意識を高めることであった。
- **参加者：**本フォーラムにはマラケシュ条約の批准のために関連機関の政策立案者を含む合計 73 人の参加者が参加した。
- **講演者：**JICA エジプト事務所長、エジプト大使館公使に加え、NLAE の代表者である Hesham Azmi 教授、BA の図書館部門長である Amgad Elgohary 教授に加え、当時のプロジェクト・ダイレクターであり、MCIT の社会的責任サービス担当大臣アドバイザーの Abeer F. Shakweer 博士らがイベントのオープニングスピーカーとして出席した。また、NCPD 代表者の Ashraf Marei 博士と JICA 教育アドバイザーの Hany Helal 教授²⁰がゲストスピーカーとして講演した。また、日本からは DAISY を 10 年以上活用しているディスレクシア当事者（小澤彩果氏）及び、ディスレクシアの娘を持つ親であり、DAISY 教科書製作ボランティアの代表を務める濱田滋子専門家も登壇した。
- **パネルディスカッション：**パネルセッションは、JCC の構成員である各 C/P の代表者と NCPD 代表者、および IFLA の視点を代表して、IFLA の「特別なニーズのある人々に対する図書館サービス（Library Services to People with Special Needs：以下、LSN）」分科会の前議長である野村美佐子専門家が登壇し、国際 DAISY コンソーシアム元会長の河村宏総括がモデレーターを務めた。今後の DAISY のエジプトでの展開をテーマとする議論を行い、マラケシュ条約の批准の前にも後にもエジプト国内で DAISY が広く人々に認知されるための活動が重要であること等について意見交換を行った。
- **啓発素材：**マルチメディア DAISY 図書とマラケシュ条約の批准についての啓発パンフレットの配布と啓発ビデオクリップの上映を行った。（別添 5. 技術協力作成資料リスト「5. 啓発ビデオ」）

²⁰ カイロ大学、元高等教育大臣

表 2-16 : 「エジプト国際デージーフォーラム」のプログラム

10:30 – 11:00	Registration
1 st Session	Towards Egyptian Ratification of the Marrakesh Treaty
11:00 – 11:30	Speeches and Remarks <i>National Library and Archives of Egypt (NLAE)</i> <i>Bibliotheca Alexandrina (BA)</i> <i>Japan International Cooperation Agency (JICA)</i> <i>Embassy of Japan in Egypt</i> <i>Ministry of Communications and Information Technology (MCIT)</i>
11:30 – 12:00	Guest Speech <i>Dr. Ashraf Marei, Secretary general, National Council for People with Disabilities (NCPD)</i> <i>Prof. Hany Helal, JICA education advisor (Cairo University)</i>
12:00 – 12:30	Tea Break
2 nd Session	DAISY in Egypt: Beyond the Ratification of the Marrakesh Treaty
12:30 - 12:40	Video Presentation
12:40 - 13:10	Keynote Lecture including Introduction of the Special Guests from Japan: <i>Mr. KAWAMURA Hiroshi, DAISY Consortium / JICA Project Team</i> <i>Ms. HAMADA Shigeko, President of NaD / JICA Project Team</i> <i>Ms. OZAWA Ayaka, Graduate Student of Ritsumeikan University</i>
13:10 - 14:00	Panel Discussion <i>Panel Discussion: NLAE, MCIT, BA, NCPD and International Federation of Library Associations and Institutions (IFLA)</i> <i>Moderator: Mr. KAWAMURA Hiroshi, DAISY Consortium / JICA Project Team</i>
14:00 - 14:10	Closing Remarks
14:10 - 15:00	NLAE Museum Tour

出典：JICA プロジェクトチーム



エジプトにおける DAISY 国際フォーラム (1)
(2019 年 12 月 11 日)



エジプトにおける DAISY 国際フォーラム (2)
(2019 年 12 月 11 日)



エジプトにおける DAISY 国際フォーラム (3)
(2019 年 12 月 11 日)



エジプトにおける DAISY 国際フォーラム (4)
(2019 年 12 月 11 日)

- 第2期活動：
 - 概要：COVID-19 流行下で読みに困難を抱える人々が直面する課題についての認識を高め、エジプトにおける DAISY のようなアクセシブルな出版物の提供を促進し、マラケシュ条約批准と必要な著作権法の改正を加速させることを目的として、「ウェビナー：エジプトにおける DAISY のこれから」と題して、3 つの C/P と共催で啓発イベントを開催した。2020 年 12 月の国際障害者デーに合わせて文化大臣を基調講演に招くべく、NLAE の協力を得て調整を進めていたが、文化大臣のスケジュールとの調整が難しく、最終的に 2021 年 9 月 2 日の実施となった。
 - アクセシビリティ配慮：イベントは、アラビア語、英語の二言語音声、アラビア語、英語の字幕、アラビア語の手話を付与したアクセシブルな国際ウェビナーとして Zoom で開催した。
 - 参加者：登録者は世界 23 カ国から 300 名以上、当日の参加者は 174 名に及んだ。参加者のうち少なくとも 13 名がアクセシビリティを必要とする参加者であったことを確認している。Zoom での参加者以外に、NAID の Facebook を通じたストリーミング配信により 750 回、イベント後に継続公開されているウェビナー動画の再生回数は 2021 年 12 月時点で 9,000 回を数えた。NAID の Facebook 上では、ウェビナー動画の配信が続けられていることから、今後も引き続き、DAISY 及びマラケシュ条約についての認識の普及が図られることが期待できる。（別添 5. 技術協力作成資料リスト「4. 2021 年 9 月の「ウェビナー：エジプトにおける DAISY のこれから（Webinar: DAISY in Egypt, the Way Forward）」の配信動画」）
 - プログラム：登壇者はエジプト、日本、オランダ（DAISY コンソーシアム会長）から 15 名で構成された。講師の発表とパネル討論の内容は、COVID-19 の蔓延の中で読みに困難を抱える人が直面する課題と解決策、及びエジプトにおける DAISY 等のアクセシブルな出版物の重要性とその提供環境の改善に向けた意識啓発に則したものであった。
 - 参加者の反応：オンラインウェビナーのため、イベント後のアンケートの回収率が低く、回答が得られたのは主に一般の参加者の 18 名であったが、そのうち、DAISY について「聞いたことがない」が 9 名、「少し知っている」が 7 名、「よく知っている」が 2 名、マラケシュ条約に関しては、「聞いたことがない」が 10 名、「少し知っている」が 6 名で、「よく知っている」は 2 名の回答であった。これに対して、本ウェビナーの理解度については、「とても理解できた」が 12 名、「理解できた」は 5 名であり、また自由記述のアンケートでは、理解度の向上が確認できたほか、DAISY に「聞いたことがない」あるいは「少し知っている」と回答した複数の参加者の多くが、DAISY の普及を望む主旨のコメントを寄せたことから啓発の効果が確認できた。また、プロジェクトで提供したウェビナーのアクセシビリティ（字幕、同時通訳、手話通訳）については、いずれも有効であったと回答が多く得られた。

表 2-17 : 「ウェビナー : エジプトにおける DAISY のこれから」のプログラム

11:30	Start entering of Zoom
Part I	Openings & Keynote lectures
12:00 – 12:10	Opening Mr. MIYAMOTO Sogaku, Counsellor, Embassy of Japan in Egypt Mr. OMURA Yoshifumi, Chief Representative of JICA Egypt Office Assoc. Prof. Abd El-Monem El-Sharkawy, Chairman of the National Academy of Information Technology for Persons with Disabilities, MCIT
12:10 – 13:10	Keynote lecture 1: Dr. Ahmed Bahi Al Din, Vice President of the Egyptian General Book Organization, on behalf of Dr. Inès Abdel Daïm, Minister of Culture <i>Achievements of the Ministry of Culture in Inclusion of Persons with Disabilities</i> Keynote lecture 2: Prof. Ashraf Marei, Secretary General, NCPD <i>The Right to Read of Persons with Print Disabilities: International and National Conventions.</i> Video Presentations of Egyptian Partners of the DAISY Project Keynote lecture 3 Ms. Nada Alfay Thabet, Parliamentarian and the Founder of the Village of Hope for Development and Rehabilitation of Persons with Intellectual Disabilities <i>Expectations on the Dissemination of DAISY Books for Persons with Learning Difficulties</i> Keynote lecture 4 Mr. Maarten Verboom, President of the DAISY Consortium <i>Global sharing of Accessible Content Resources: the work of the DAISY Consortium</i>
13:10 – 13:20	Break
Part II	Panel Discussion on DAISY in Egypt, the Way Forward
13:20 - 14:25	Moderator: Ms. Yasmine Youssef, Chair of LPD* IFLA / JICA Project Team Video Presentation: Ms. HAMADA Shigeko, Representative of NaD, a Volunteer DAISY Textbook Production Network member organization in Japan / JICA Project Team Ms. Ayaka Ozawa, Researcher, ATDO, a 1 st generation DAISY Textbook user with dyslexia in Japan Online Panelists: NLAE: Dr. Howayda Kamel BA: Ms. Dina Youssef JICA Project Team: Mr. KAWAMURA Hiroshi Blind User/Producer of DAISY publications: Dr. Mahmoud Anwar Parliamentarian to support DAISY promotion: Ms. Nada Alfay Thabet
14:25 - 14:30	Closing Dr. Howayda Kamel, Director General of Public and International Relations, NLAE

*LPD: Libraries for Persons with Disabilities、印刷物を読むことに障害がある人々のための図書館分科会

出典 : JICA プロジェクトチーム



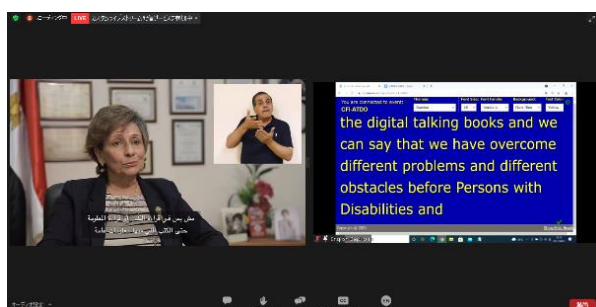
開会挨拶: JICA エジプト事務所
大村佳史所長
(2021年9月2日)



基調講演 1: エジプト総合書籍機構 副代表
Dr. Ahmed Bahi Al Din (文化大臣代理)
(2021年9月2日)



基調講演 2: NCPD 事務局長
Dr. Ashraf Marei
(2021年9月2日)



基調講演 3: 国会議員及び VoH 代表
Ms. Nada Alfay Thabet
(2021年9月2日)

(2) 本邦研修の実施 (活動 2-3, 2-4)

日本で DAISY が活用されている分野（教育、防災、保健など）と、活用のための仕組みや制度などを理解し、エジプトでの活用に向けた計画を策定することを目的に、プロジェクト開始後早い段階の 2019 年 4 月に、3 つの C/P の幹部を対象とする本邦研修を行った。

研修の成果として、C/P の参加者が様々な分野における DAISY の活用において日本で得た知見を踏まえ、日本との協力によるエジプトのプリントディサビリティのある人々の啓発の推進と DAISY 技術の普及を通じて、協力して問題に取り組む方向性を確認した。

具体的な活動は以下のとおりである。

(活動 2-3) 本邦研修の準備

- 本邦研修計画の作成、日程及びプログラムの調整、ガイドブック作成、受入側との調整、VISA 取得、航空券及び車両手配等の受入れ準備を行った。(別添 5. 技術協力作成資料リスト「6. KCCP 参加者向けハンドブック」)

(活動 2-4) 本邦研修の実施

- 活動 2-3 で選定した C/P 機関の幹部各 2 名、計 6 名による本邦研修 (Knowledge Co-Creation Program) を以下の要領で実施した。

表 2-18：本邦研修対象者及び日程

想定時期・期間	2019年4月14日～4月23日
対象者	C/P 内で情報保障分野に関する意思決定を行う職位にある者を中心とする各2名計6名。 ■ MCIT：プロジェクト・ダイレクター及びプロジェクト・マネージャー ■ NLAE：議長及び広報・国際関係担当ディレクター ■ BA：タハフセイン図書館長及び同図書館のスタッフ
目的	日本で DAISY が活用されている分野（教育、防災、保健など）と、活用のための仕組みや制度などを理解

出典：JICA プロジェクトチーム

表 2-19：本邦研修内容

月日	時間	実施内容／訪問先	目的（実現すべき成果）	宿泊地
2019/4/14(日)		関西空港着		大阪
2019/4/15(月)	午前	プログラムオリエンテーション	研修概要の確認	大阪
	午後	DAISY 利用者との交流	DAISY 版教科書を活用して学習し、大学院で学ぶ学習障害者当事者等の体験を聞く	
2019/4/16(火)	午前	大阪市教育委員会(表敬訪問含む)	学校教育におけるマルチメディア DAISY 教科書の活用とその評価を知る	大阪
	午後	大阪府立中央図書館	日本最大規模の公共図書館における DAISY 等のサービスと視覚障害のある図書館員の雇用の積極的意義を知る	
2019/4/17(水)	午前	人と防災未来センター	読書に困難を抱える人々への DAISY を活用した防災情報の提供について考える	大阪
	午後	日本ライトハウス情報文化センターおよびサビュ図書館事務局	全国の点字図書館における DAISY 図書の分担製作と効率的なオンライン図書館サービスについて知る	
2019/4/18(木)	午前	新千歳空港に移動し、地震被災地、水害被災地を経て浦河町へ移動	マイクロバスで移動し、途中被災地を視察しながら、アクセシブルな防災情報の提供について概説	北海道
	午後	浦河べてるの家	地域に暮らす 150 人の重度の精神障害者が取り組んできた津波避難訓練の取り組みとその評価を知る	
2019/4/19(金)	午前	浦河町立図書館	DAISY 版がん情報資料等の健康情報サービス視察	北海道
	午後	浦河町防災フォーラム	浦河町等主催、浦河町防災フォーラム出席。精神障害者の人権に配慮したリハビリテーションと、当事者主体の DAISY を利用した防災について学ぶ	
2019/4/20(土)	午前	羽田空港へ移動		東京
2019/4/21(日)	午前	国立国会図書館国際子ども図書館	障害のある子供達への図書館サービスと DAISY 図書を含むアクセシブルな児童図書コレクションを視察	東京
	午後	東京国立博物館視察	博物館のアクセシビリティ視察	
	夜	(歓迎夕食会：希望者のみ参加)	(日本 DAISY コンソーシアム、日本図書館協会等主催予定)	
2019/4/22(月)	午前	国立国会図書館視察	デジタル図書館等のアクセシビリティに関わる国立図書館業務の概要をつかむ	東京
	午後	文部科学省表敬訪問	DAISY 版教科書に関する国の政策と、マラケシュ条約に関わる日本の著作権政策を知る	
	午後	国立がん研究センター視察	がん情報を中心とした健康情報提供活動における DAISY の活用について知る	
2019/4/23(火)	午前	JICA 本部表敬訪問	本邦研修の総括	
	午後	成田空港出発		

出典：JICA プロジェクトチーム



DAISY 利用者との交流
(2019 年 4 月 15 日)



大阪市教育委員会前で撮影
(2019 年 4 月 16 日)



国立図書館館長等との会談
(2019 年 4 月 22 日)



JICA 本部での記念撮影
(2019 年 4 月 23 日)

(3) 国際図書館連盟 (IFLA) 主催の世界図書館情報会議 (WLIC) におけるネットワーキング及びプロジェクト成果の共有 (活動 2-5、2-6、2-11)

エジプトで製作されるアラビア語のマルチメディア DAISY 図書を、他のアラビア語圏の国や地域に展開することを視野に入れた活動を行った。本プロジェクトの終了時、エジプトは DAISY 製作キットと育成された DAISY 製作人材を手にしたが、持続可能な製作体制を構築するための人件費の財源は極めて限定的である。一方、欧州（特に北欧）では移民や難民などによりアラビア語の DAISY 図書のニーズが増しているが、DAISY 製作の担い手がない。この 2 つのニーズをマッチングすることを目的として、IFLA の会合等を通じた発信活動がある。

JICA プロジェクトチームの総括を含む専門家 3 名が、毎年 8 月に実施される IFLA 主催の WLIC に C/P とともに参加し、国際会議の場での発信について C/P に技術移転を行うことを計画し、2019 年のアテネ会合には 5 名の C/P と共に参加した。2020 年の総会は、COVID-19 の世界的な流行により、当初ダブリンで予定されていた会合が中止となったが、2021 年には、8 月に IFLA の WLIC がオンラインで開催され、この機会を活用して遠隔で国際発信をするとともに、北欧の図書館関係者との意見交換等により C/P と世界の図書館関係者とのネットワーク構築を支援した。

アラビア語圏内の他国・地域への展開に関連する MCIT の取り組みとしては、国際電気通信連合 (International Telecommunication Union : ITU) の支援による、Regional Innovation Center on ICT Accessibility for Persons with Disabilities がある。同センターの機能は、①政府機関やその他関連機関への情報アクセシビリティに関する助言、②アラビア語をサポートする ICT 支援機器の開発、③ICT 技術者を対象とする情報アクセシビリティに関する能力強化、の 3 点であり、現在新首都で開所に向けた準備が進んでいる NAID がこの機能を継承・発展させるものとみられる。JICA プ

プロジェクトチームは、同センターに関する動向に注目しながら、マルチメディア DAISY 図書製作技術のアラビア語圏諸国へ普及に関する連携を検討した。

具体的な活動は以下のとおりである。

（活動 2-5）IFLA WLIC のサテライト会合の実施支援

- 2019 年 8 月 20～21 日に、以下を目的としてアレキサンドリアで開催された IFLA WLIC のサテライト会合の実施を支援した。会議では、11 カ国から 24 名（IFLA 関係者を含む）が登壇し、2 日間で合計 121 人（1 日目 115 名、2 日目 93 名）、3 日目の NLAE ツアーには 12 名が参加した。主な参加者は、エジプト国内の大学、C/P 関係者を含むエジプト政府関係者、障害者支援団体、ドナー機関、メディア等であり、DAISY 及びマラケシュ条約の啓発として効果的な活動であった。

＜BA で開催した IFLA WLIC サテライト会合の目的＞

- 難民や避難民のニーズに対しても特別な注意を払いながら、機能的な非識字者や読みに困難のある障害者を含むすべての人々のために、アクセシブルで理解しやすい読み物の出版と制作を促進する。
- アクセシブルなアラビア語文献を世界に広げるためにマラケシュ条約を実践する。
- 国際的な関係者と協力のもと世界中の難民や避難民がアクセス可能な地域的、世界的な図書館ネットワークを構築する。

- 正式プログラムに加え、2019 年 8 月 19 日に登壇者らとのディナーミーティング及び 2019 年 8 月 22 日に国立図書館博物館ツアーを実施した。
- 第 1 回 JCC においてサテライト会合における全ての目的が成功裏に達成されたことが承認された。

（活動 2-6）世界図書館情報総会（WLIC）への参加を通じた図書館関係者のネットワーク構築支援

- WLIC 2019 の参加：
アテネで 2019 年 8 月 24～30 日に行われた IFLA WLIC にプロジェクト・ダイレクターを含む 5 名の C/P のキーパーソンとともに参加し、マラケシュ条約の批准促進とその実施に関する情報交換を目的として、世界の図書館関係者とのネットワーク構築を図った。

＜参加を推奨したセッション＞

- LPD Standing Committee meeting1 (2021 年 8 月 24 日)
- LSN Standing Committee meeting1 (2021 年 8 月 24 日)
- Caucus-Japan (2021 年 8 月 24 日)
- Caucus-Arabic speaking (2021 年 8 月 24 日)
- Opening Session (2021 年 8 月 25 日)
- WIPO²¹ update (2021 年 8 月 25 日)
- Technology as a Gateway to Inclusivity - LPD (2021 年 8 月 25 日)
- LPD Standing Committee 2 (2021 年 8 月 26 日)
- The Uniqueness of Dialogue in Silence: Library Service to the Deaf, Hard of Hearing and Deaf

²¹ World Intellectual Property Organization, 世界知的所有権機関

- Blind Community - Library Services to People with Special Needs (2021 年 8 月 26 日)
- Conference of Directors of National Libraries-The Next Generation (2021 年 8 月 27 日)
- Cultural Evening (2021 年 8 月 27 日)
- LSN Standing Committee 2 (2021 年 8 月 28 日)
- Increasing Advocacy through Learning - Evidence for Global & Disaster Health Special Interest Group (2021 年 8 月 28 日)
- Toolkit - Literacy and Reading (2021 年 8 月 28 日)
- Evolving Spaces - National Libraries (2021 年 8 月 29 日)
- Closing Session (2021 年 8 月 29 日)

• WLIC 2021 の参加 :

2021 年 8 月 17~19 日にオンライン開催された WLIC 2021 では、C/P の 3 団体から各 3 名、JICA プロジェクトチームから 4 名の計 13 名が参加した。「印刷物を読むことに障害がある人々のための図書館 (Libraries for Persons with Disabilities: 以下、LPD) 分科会」の公式セッション及びポスターセッションにおいて、プロジェクトの紹介及びこれまでの成果の共有を図った。60 名強が参加した 2021 年 8 月 17 日の LPD 分科会のディスカッションセッションでは、元 LPD 分科会議長の河村宏総括がモデレーターを務め、LPD 分科会の次期議長に選任された Yasmine Youssef 専門家が本プロジェクトの紹介を行い、NLAE の Howayda Kamel 氏がそれに補足の発言を行うなど、ネットワーク構築に努めた。

表 2-20 : 参加を必須とした WLIC 2021 のセッション

日時*	セッション名	備考
2021 年 8 月 11 日	Business Meeting of the IFLA LPD Session	
2021 年 8 月 17 日 10:30-11:30	Regional Focus Session Middle East and North Africa	
2021 年 8 月 17 日 16:00-17:30	LPD Session: Accessible Library Services	
2021 年 8 月 17 日 17:30-18:00	LPD Session: Accessible Library Services Q&A (モデレータ : 河村宏総括)	プロジェクト紹介及びこれまでの成果の共有を図った
2021 年 8 月 19 日 22:45-24:00	LSN Session: A New Home: Library Services for Displaced Populations Guidelines Q&A	
常設	E-Poster: DAISY Project in Egypt for Literacy Promotion and Arabic Speaking Persons with Print Disabilities	本プロジェクト紹介のポスターセッション

*エジプト時間

出典 : JICA プロジェクトチーム

図 2-2 : WLIC 2021 のポスターセッションで掲載したプロジェクト紹介ポスター²²

出典 : JICA プロジェクトチーム

- 北欧図書館関係者との交流 :

WLIC におけるプロジェクトの成果発表の成果として、公共図書館が住民の母語の分布に比例した蔵書の整備を求められている北欧諸国の図書館の障害者サービス関係者をゲストに招き、IFLA WLIC 参加者を主とする C/P 関係者と今後の具体的な協力の可能性について意見交換をするオンライン・ミーティングを 2021 年 10 月 12 日に実施した (プロジェクト・マネージャーの Dr. Amr Al-Awamry 及び BA 図書館長の Ms. Dina Youssef も参加)。

< 北欧図書館からの参加者 >

- Eva Hellen (CELIA in Finland) : Librarian at Celia library's Collection team, responsible for selection, acquisition and cataloguing of titles in other languages than Finnish.
- Ellen Follin (MTM in Sweden) : Librarian at the Department of User Service, responsible for selection and acquisition of titles in languages other than Swedish, including development in the field.

- 参加者のフィードバック :

WLIC 2021 及び北欧図書館関係者との交流について、参加者から得られたフィードバックはすべて、「非常に有益」もしくは「有益」という回答であった。主なコメントは以下のとおりであるが、本活動により、DAISY 促進に関する今後の C/P の活動に有益なネットワーク構築が図れたといえる。

²² 別添 5.技術協力作成資料リスト 「7. WLIC 2021 ポスターセッションで掲載したプロジェクト紹介ポスター」

＜WLIC 2021 への参加に対する感想＞

- ・ 多くの情報と経験の共有が図られ非常に有益であった。
- ・ これまで学ぶことができなかった様々な国の図書館でのアクセシブルなデジタル図書の動向について学べた。
- ・ 業務の核心部分でパンデミック下での他の図書館の利用者への対応について学ぶことができた。
- ・ 他の図書館員とネットワーク構築が図れた。

＜北欧関係者との交流＞

- ・ 非常に有益な会議であった。
- ・ アラビア語圏以外の国でアラビア語のデジタル音声図書の製作が進められていることを知ることができた。
- ・ 北欧図書館の様々な活動を知ることができ、大変刺激を得た。

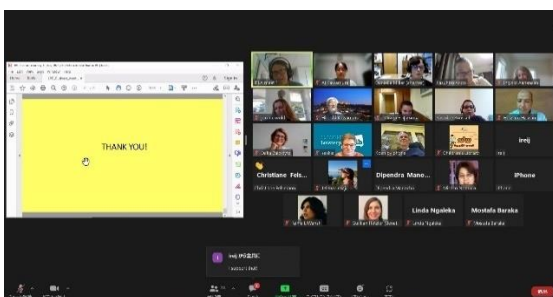
＜今回学んだことを今後どのように生かしていきたいか＞

- ・ 所属する図書館のサービスを全ての利用者に対してどのようにアクセシブルなものにしていくかを引き続き学び、実践したい。
- ・ 意見交換した図書館関係者と DAISY 図書提供についてどのような連携が可能か引き続きフォローアップしたい。
- ・ 全ての利用者に対して提供できるよう、より多くの DAISY 図書を製作していきたい。
- ・ どのような創造的な方法があるかを学び、COVID-19 蔓延時における困難に対処していきたい。

表 2-21：IFLA 世界図書館情報総会（WLIC）の開催

時期	開催地	C/P の参加者数
2019 年 8 月 24 日～30 日	アテネ	5 名（プロジェクト・ダイレクターを含む） 当初 6 名の予定であったが MCIT 担当者の VISA 発給が間に合わず 5 名が参加した。
2020 年 8 月	ダブリン	COVID-19 感染拡大を受けて中止
2021 年 8 月 17 日～19 日	オンライン開催	9 名（各 C/P より 3 名ずつ）

出典：JICA プロジェクトチーム

WLIC 2019 の LPD 分科会ミーティング
(2019 年 8 月 24 日)WLIC 2019
(2019 年 8 月 25 日)WLIC2021 LPD 分科会準備会合
(2021 年 8 月 11 日)北欧関係者とのネットワーキング会議
(2021 年 10 月 12 日)

(活動 2-11) IFLA WLIC におけるプロジェクトの成果の共有

- WLIC 2019 :
 - IFLA WLIC 期間中に実施される二つの障害者へのサービス提供に関わる専門分科会（LPD 分科会、LSN 分科会）の常任分科会において、サテライト会合の内容と共に、本プロジェクトの紹介を行い、国際的な図書館のネットワークにプロジェクトの活動内容を発信した。
 - IFLA が実施中の難民に対する図書館の情報提供サービスの調査と提言活動の担当者との連携ができた。
- WLIC 2021 :
 - LPD 分科会の公式セッション及びポスターセッションにおいて、プロジェクトの紹介及びこれまでの成果の共有を図った。（別添 5. 技術協力作成資料リスト「7. WLIC 20212 ポスターセッションで掲載したプロジェクト紹介ポスター」）
 - ネットワーク構築の成果として実施した北欧図書館との交流については、活動 2-6 に記載のとおりである。

(4) 新型コロナウイルス感染症に関する DAISY 出版物コレクションの提供（活動 2-10）

（活動 2-10）新型コロナウイルス感染症に関する DAISY 出版物コレクションの製作と速やかな提供、及び受益者の反応の受けとめ

- プロジェクト期間中に 36 冊²³の COVID-19 に関する DAISY 出版物コレクションを製作した（詳細は活動 1-19 参照）（別添 5. 技術協力作成資料リスト「9. DAISY 製作図書リスト」）
- 2021 年 12 月 21 日に VoH で実施した COVID-19 に関する DAISY 図書コレクションを活用した学習障害がある児童生徒に対する COVID-19 予防セッションでは、DAISY 版のテキストを読んで予防法を理解し、アルコールとマスクを配布して実演を行い、児童生徒が習った予防法を家族に伝えたことを確認している。これは、読むことに困難を抱える子供たちを対象に含む、インクルーシブな COVID-19 対策の啓発方法として特筆される。また、参加した児童が楽しみながら DAISY コンテンツを読み、内容を理解して家族にも話していることが確認されている。
- ミニ講習に参加した視覚障害者に COVID-19 関連 DAISY 図書を読んでもらい、受け止めを聞き取りしたところ、有用である反面、COVID-19 情報については最新の情報であることが重要であるため、常時、更新される必要があるとのコメントが得られた。

(5) プロジェクトの成果の文書化及び共有（活動 2-8, 2-9, 2-12）

（活動 2-8）啓発活動を通じて得られた経験や教訓の文書化

- 本報告書において、啓発活動を通じて得られた経験や教訓を取りまとめた。
- MCIT 年報及び JICA 年報での本プロジェクトの紹介、プロジェクトの進捗についての JICA のホームページへの寄稿（9 回）、その他、雑誌への取材対応などが書面化された。（別添 5. 技術協力作成資料リスト「8. 広報資料」）

²³ 34 冊はプロジェクトチーム、2 冊は ToT 参加者が製作した。

（活動 2-9）他の JICA 事業等関係者に DAISY 図書に関する情報共有と DAISY の活用についての意見交換

- マルチメディア DAISY 図書の活用を促進する観点から、エジプトで実施している他の JICA 事業との連携の可能性を探った。具体的には、学校での活用に向けた啓発という位置づけで、「特別活動を中心とした日本式教育モデル発展・普及プロジェクト」の関係者に本プロジェクトおよびエジプト日本科学技術大学（E-JUST）関係者などにも DAISY 図書の紹介を行い、幅広く DAISY 図書活用・普及の可能性を探った。
- 2019 年 12 月 8 日の VoH でのイベントの際、同団体で活動中の JICA 海外協力隊員と交流を図った。

（活動 2-12）成果報告及び終了後の展開への提言

- 2021 年 12 月 22 日に最終 JCC を開催し、本事業の成果を共有するとともに、プロジェクト終了後の展開に向けての提言を行った。（詳しくは「第 4 章 3 エジプトへの提言」（p.86）に記載）

1-3-3 全体にかかる活動

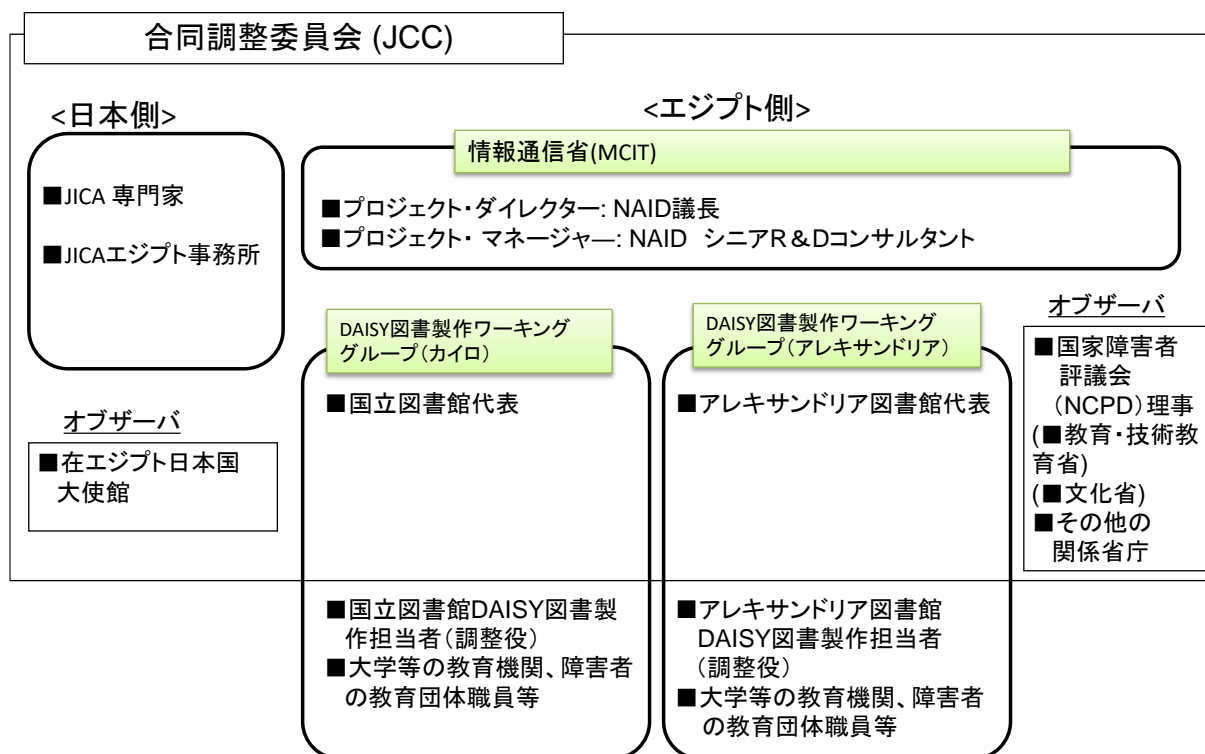
プロジェクトの全体にかかる活動を以下のとおりに実施した。

（活動 0-1）ワーク・プランの作成・協議・合意

- プロジェクト開始直後の 2019 年 3 月 26 日に、キックオフ会合を開催し、エジプト側関係者と協議を行い、プロジェクト期間を通してのワーク・プランについての合意を得た。

（活動 0-2）合同調整委員会（JCC）の開催支援

2018 年 12 月 3 日に署名された本プロジェクトの R/D に基づき、図 2-3 で示す機関・組織で構成される「合同調整委員会（JCC）」を設置し、年に 2 回、合計 6 回開催し、プロジェクトの円滑かつ効果的な運営を図った。なお、図 2-3 は、本プロジェクト実施中に生じたプロジェクト・ダイレクター及びプロジェクト・マネージャーの職位変更、並びに NCPD の組織名改訂を反映したものである。



※教育・技術教育省及び文化省は実際には JCC には不参加。

図 2-3 : JCC 構成機関及び関連団体

出典 : R/D 添付資料 6 に基づき JICA プロジェクトチームが編集

<JCC の主な目的>

JCC の主な目的は下記の通りであるが、JCC で円滑な合意・認識の共有・確認を行うため、JCC に先立ち、JICA プロジェクトチーム、JICA 及び C/P 機関との事前の調整を行う。

- ① 関係者間の認識共有によるプロジェクト運営強化
 - ・ プロジェクトの進捗管理、報告
 - ・ PDM の指標、PO の進捗等に基づく目的・成果達成度の検証、戦略・計画見直しに関する合意
 - ・ プロジェクト実施中に発生する外部条件等のリスク管理について関係者間での共有
 - ・ 業務実施の過程で、上位目標の達成を意識した関係省庁との連携
- ② C/P のオーナーシップ醸成によるプロジェクト効果の持続性促進
 - ・ R/D の範囲内でのプロジェクト年間計画の作成、承認
 - ・ プロジェクトの円滑な実施のために、プロジェクトが抱える課題の共有・確認

JCC の開催時期と議題は以下のとおりである。

表 2-22 : JCC 開催時期と議題

定期会合	開催時期	議題
第1回 JCC	2019 年 9 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> ワークプランの承認 終了した活動の報告 マルチメディア DAISY 図書製作のための 42 タイトルの選定方針 ToT2 参加者の選出 機材引き渡し方針と手続き カイロとアレキサンドリアにおけるワーキンググループの設定 2019 年中の残りの活動計画 活動計画 (PO) の改訂 モニタリングシート ver. 1 の確認
第2回 JCC	2019 年 12 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"> 終了した活動の報告 2020 年の活動計画 ToT3 の概要 / ToT3 参加者の選出 エジプトにおけるマルチメディア DAISY 図書製作のためのメカニズムを確立する方法 モニタリングシート ver. 2 の確認 各種文書への署名 (第1回 JCC の議事録等)
第3回 JCC	2020 年 9 月 28 日 (遠隔開催)	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの進捗と成果の確認 / 課題の検討 ToT3 の進捗報告 残りのプロジェクト期間で取り組む啓発活動戦略の確定 モニタリングシート ver. 3 の確認
第4回 JCC (補足会議を含む)	2020 年 11-12 月 (遠隔開催)	<ul style="list-style-type: none"> PDM の改訂内容の確認 (指標に関する合意) プロジェクトの延長に関する合意
第5回 JCC*	2021 年 5 月 26 日 (遠隔開催)	<ul style="list-style-type: none"> 延長期間のワーク・プランの合意 啓発イベント計画 COVID-19 に関する出版物コレクションの選定 機材引き渡し方針と手続き モニタリングシート ver. 4 の確認
第6回 JCC*	2021 年 12 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの最終的な成果報告 成果、目標の達成評価

*第5回及び第6回 JCC の議事録については、本報告書作成時点までにエジプト側の署名が取得できなかった。

出典: JICA プロジェクトチーム

また、JCC の出席者は下表に示すとおりである。

表 2-23 : JCC 出席者

名前	タイトル	組織名	JCC1	JCC2	JCC3	JCC4	JCC5	JCC6
Dr. Abeer Farouk Shakweer	プロジェクト・ダイレクター (R/D、JCC1、JCC2) / 大臣アドバイザー	MCIT	x	x				
Dr. Noha Rabie	プロジェクト・ダイレクター (JCC3)、プロジェクト・マネージャー (JCC2、JCC4) / 社会的責任及びサービス担当マネージャー、MCIT 大臣アドバイザー室	MCIT		x	x	x		
Assoc.Prof. Abd El-Monem El-Sharkawy	プロジェクト・ダイレクター (JCC4、JCC5、JCC6) / NAID 議長	MCIT			x	x	x	x
Dr. Fady Ismaeel	プロジェクト・マネージャー / 革新及びアントレプレナーシップ担当マネージャー	MCIT		x				
Dr. Amr Al-Awamry	プロジェクト・マネージャー / シニア R&D コンサルタント	MCIT					x	
Prof. Hesham Azmi	館長	NLAЕ	x					
Dr. Howayda Kamel	広報及び国際関係局長	NLAЕ	x	x	x	x	x	x
Prof. Amgad Elgohary	図書館セクター長	BA	x	x	x			
Manal Amin	代理図書館セクター長	BA				x		
Dina Youssef	図書館セクター長	BA					x	x
Amr Hegazy	図書館部門特別ニーズセクション代表	BA		x	x	x	x	
Marwa Elgharabawy	図書館部門特別ニーズ図書館代表	BA				x	x	
Moustafa Bayoumi	戦略計画及び政策アドバイザー	NCPD (オブザーバ)			x	x		x
Omar Hassan	技術オフィスメンバー	NCPD (オブザーバ)					x	
今井 成寿	人間開発部社会保障チーム課長	JICA 本部					x	x
久野 研二	人間開発部社会保障チーム専門員	JICA 本部						x
福地 健太郎	人間開発部社会保障チーム	JICA 本部			x	x	x	x
白井 恵花	人間開発部社会保障チーム	JICA 本部					x	x
村田 拓弥	人間開発部社会保障チーム	JICA 本部						x
高橋 彩加	人間開発部社会保障チーム	JICA 本部						x

名前	タイトル	組織名	JCC1	JCC2	JCC3	JCC4	JCC5	JCC6
岩崎 昭宏	次長	JICA エジプト事務所	X	X	X	X	X	
大久保 恭子	次長	JICA エジプト事務所						X
山崎 一	所員	JICA エジプト事務所	X					
樋口 創	所員	JICA エジプト事務所		X	X	X	X	X
Reham Mohamed Soliman	プログラムオフィサー	JICA エジプト事務所	X	X	X	X		
Heba El Hosseiny	プログラムオフィサー	JICA エジプト事務所					X	X
河村 宏	総括／情報アクセシビリティ	JICA プロジェクトチーム	X	X	X	X	X	X
河村 愛	副総括／業務調整・アドボカシー1	JICA プロジェクトチーム	X	X	X	X	X	X
YOUSSEF Yasmine	DAISY 図書製作(ToTs)	JICA プロジェクトチーム			X	X	X	X
丸市 剛	DAISY 図書製作（ソフトウェア）	JICA プロジェクトチーム	X	X	X	X	X	X
手嶋 正志	業務調整・アドボカシー2	JICA プロジェクトチーム		X				
Ahmed Elsharckawy	（ローカルスタッフ） アシスタント／Innovation & Outreach	JICA プロジェクトチーム		X				
堂西 弥生	（ローカルスタッフ） フォーカルポイント業務、 業務調整補助	JICA プロジェクトチーム						X

出典：JICA プロジェクトチーム

（活動0-3）プロジェクトの定期的なモニタリング

- C/P と共同で以下のモニタリング・シートを作成した。

表 2-24：モニタリングシートの提出表（バージョンと作成時期）

バージョン	対象時期
モニタリングシート ver.0	-
モニタリングシート ver.1	2019 年 3～8 月
モニタリングシート ver.2	2019 年 9～12 月
モニタリングシート ver.3	2020 年 1～9 月
モニタリングシート ver.4*	2020 年 10 月～2021 年 4 月

*モニタリングシート ver.4 については、本報告書作成時点までにプロジェクト・ダイレクターの署名が取得できなかった。

出典：JICA プロジェクトチーム

（活動 0-4）広報活動

プロジェクトに対する認知及び理解を広く普及させるため、プロジェクトホームページの開設や、SNS の活用も含めた広報説明資料を作成し広報活動を実施した。本フェーズ中に行った広報活動、並びにメディアへの露出は以下のとおりである。（別添 5. 技術協力作成資料リスト「8. 広報資料」）

- JICA のプロジェクトホームページにおける活動実績・予定等の掲載
 - 「『誰も取り残さない世界』を目指してプロジェクトがスタート！」（2019年3月20日掲載）
<https://www.jica.go.jp/project/egypt/009/news/20190320.html>
 - 「プロジェクト幹部による日本視察とその成果」（2019年5月15日掲載）
<https://www.jica.go.jp/project/egypt/009/news/20190515.html>
 - 「第1回マルチメディア DAISY 図書製作指導者養成講習を行いました。」（2019年8月7日掲載）
<https://www.jica.go.jp/project/egypt/009/news/20190807.html>
 - 「国際図書館連盟（IFLA）サテライト会合「障害者を含むすべての人のための図書館サービス」開催とその成果」（2019年9月13日掲載）
<https://www.jica.go.jp/project/egypt/009/news/20190913.html>
 - 「第2回マルチメディア DAISY 図書製作指導者養成講習を行いました」（2019年11月20日掲載）
<https://www.jica.go.jp/project/egypt/009/news/20191120.html>
 - 「障害のある子どもたちの DAISY 体験会」（2019年12月3日掲載）
<https://www.jica.go.jp/project/egypt/009/news/20191203.html>
 - 国際障害者デーを記念した啓発イベントの開催（2020年1月15日掲載）
<https://www.jica.go.jp/project/egypt/009/news/20200115.html>
 - リモートで DAISY 図書製作指導者研修を行っています（2020年7月29日掲載）
<https://www.jica.go.jp/project/egypt/009/news/20200729.html>
 - エジプト国 JICA 技術協力プロジェクト「情報アクセシビリティの改善による障害者の社会参画促進プロジェクト」2020年の活動（2021年2月5日掲載）
<https://www.jica.go.jp/project/egypt/009/news/20210205.html>
- JICA（エジプト事務所および本部広報室）の Facebook
 - 第1回マルチメディア DAISY 図書製作指導者養成講習
https://www.facebook.com/jicaegypt/posts/2327152210653577?__tn__=K-R
 - DAISY 体験会（日本語）
<https://www.facebook.com/jicapr/posts/2532288276807304>
 - DAISY 体験会（英語）
<https://www.facebook.com/jicapreng/posts/1621369928004744>
- 現地新聞及びニュースサイト
 - Albawaba 新聞「国立図書館ミュージアムを JICA の日本人専門家が訪問」（2019年7月28日掲載）
<https://www.albawabhnews.com/3678221>

- C/P Facebook
 - MCIT (NAID) の Facebook 啓発イベント実施の記事 (2019年12月10日掲載)
<https://www.facebook.com/NAIDAcademy/>
 - NLAE の Facebook IFLA サテライト会合の記事 (2019年8月21日掲載)
<https://www.facebook.com/231794697283264/posts/713128605816535/>
 - NLAE の Facebook エジプト国際デイジーフォーラム実施の記事 (2019年12月15日掲載)
https://www.facebook.com/pg/Darelkotob.B.Elkhaliq/posts/?ref=page_internal
 - NAID の Facebook 啓発イベント実施の記事 2019年12月10日掲載
<https://www.facebook.com/NAIDAcademy/posts/1481184212062824>
 - BA の Facebook 啓発セミナー (2019年12月10日掲載)
<https://www.facebook.com/BAStudioDep/posts/963334837383464>
 - MCIT (NAID) の Facebook 啓発イベント実施の記事 (2021年8月30日掲載)
<https://www.facebook.com/login/?next=https%3A%2F%2Fwww.facebook.com%2FNAIDAcademy%2Fposts%2F2034911066690133>
- その他
 - 毎日新聞掲載「記者の目：読み書きに困難のある人への支援 電子書籍で読書の機会を＝岩下恭士（デジタル編集グループ）」 (2019年9月11日掲載)
 - VoH の Facebook 啓発イベント開催の記事 (2019年12月9日掲載)
<https://www.facebook.com/alamalvillage/>
 - 毎日新聞ユニバ・掲示板「エジプト DAISY 紹介ウェビナーのご案内 [9月2日（木）／オンライン]」 (2021年9月1日掲載)
<https://mainichi.jp/universalon/articles/20210901/org/00m/100/003000d>

2019年12月11日に実施した啓発活動である「エジプトにおける DAISY 国際フォーラム」においてプレスリリースを実施し、下表の現地メディアで記事が掲載された。

表 2-25: 「エジプトにおける DAISY 国際フォーラム」におけるメディア露出

メディア名	種類	URL
Al Dostor	新聞及びオンラインニュースサイト	https://www.dostor.org/2933816 (2019年12月8日掲載) https://www.dostor.org/2940553 (2019年12月15日掲載)
Mobtada	オンラインニュースサイト	https://www.mobtada.com/details/892353 (2019年12月10日掲載)
Al Bawaba	オンラインニュースサイト	https://www.albawabhnews.com/3829057 (2019年12月11日掲載) https://www.albawabhnews.com/3833806 (2019年12月15日掲載)
Youm7	新聞及びオンラインニュースサイト	http://www.youm7.com/4539393 (2019年12月11日掲載) http://www.youm7.com/4546816 (2019年12月15日掲載) http://www.youm7.com/4073856 (2019年12月19日掲載)
Anbaa Al Youm	オンラインニュースサイト	https://anbaaalyoum.com (2019年12月14日)
Al Ahram	新聞及びオンラインニュースサイト	http://gate.ahram.org.eg/News/2337309.aspx (2019年12月14日掲載)
Maspero	全国放送 TV チャンネル	http://gate.ahram.org.eg/News/2337309.aspx (2019年12月14日掲載)
Akhbar	新聞及びオンラインニュースサイト	https://akhbarelyom.com/news/newdetails/2964378/1/ (2019年12月14日掲載)
Al Masry Al Youm	新聞及びオンラインニュースサイト	https://www.almasryalyoum.com/news/details/1452088 (2019年12月14日掲載)
Sada El Balad	オンラインニュースサイト	https://www.elbalad.news/4094836 (2019年12月14日掲載)
Al Wafd	新聞及びオンラインニュースサイト	https://alwafd.news/ (2019年12月14日掲載)
Egy 24 hours	オンラインニュースサイト	http://egy24hours.com/n_5790930.html (2019年12月14日掲載)

メディア名	種類	URL
Loma News	オンラインニュースサイト	https://lomazoma.com/egypt-news/1239880.html (2019年12月14日掲載)
AbuDhabi News	オンラインニュースサイト	https://abudhabi-news.com/breaking_news/7364255/ (2019年12月14日掲載)
Baladna Al Youm	オンラインニュースサイト	https://www.baladnaelyoum.com/news/ (2019年12月14日掲載)
Egyptian Guardian	オンラインニュースサイト	https://egyptianguardian.com/ (2019年12月14日掲載)
Noqtet Dou	オンラインニュースサイト	http://www.n-dawa.com/print.php?id=9908 (2019年12月15日掲載)
Nafeza Ala Alam	オンラインニュースサイト	https://www.nafeza2world.com/Msr/63229 (2019年12月15日掲載)
Akhbarak	オンラインニュースサイト	https://akhbarak.net/news/2019/12/15/21081384/articles/38168871/ (2019年12月15日掲載)
Al Seyada	オンラインニュースサイト	https://elssayda.com/251431/ (2019年12月16日掲載)

(活動0-5) ベースライン調査

プロジェクト終了時に、成果の指標に照らしたプロジェクトの成果の評価を行うため、プロジェクト開始間もなく、ベースライン調査を実施した。調査結果の概要は下記のとおりである。

1. 評価指標に関連した項目

プロジェクト開始後速やかに3つのC/Pに対して、DAISY 図書の製作状況に関するアンケート及び聞き取りを実施した。結果は以下のとおりである。

(1) DAISY 図書のタイトル数

MCIT 及び NLAE

- プロジェクト開始時点において、MCIT 及び NLAE では DAISY 図書製作の経験及び実績は皆無である。

BA

- 2008年にDAISY コンソーシアムの正式メンバーとなり、2010年にアラブ圏で初のDAISY規格に基づくアラビア語でのDAISY 図書製作スタジオを構築、DAISY コンソーシアムからトレーナーを招いてスタッフ向けにDAISY 製作講習を開催し、以来、音声と見出しのみの音声DAISY 図書製作が実施されている。
- 2019年8月のIFLA サテライト会合におけるDr. Amgad Elgoharyの発表において、2010~2019年に1,500時間分、220タイトル(35,700ページ相当、平均162ページ/タイトル)のDAISY 図書が製作されたとの情報が述べられた。

(2) DAISY 図書の利用者数

MCIT 及び NLAE

- プロジェクト開始時点で、DAISY 図書の貸し出し、閲覧、ダウンロード等のサービスは皆無である。

BA

- 現行のエジプトの著作権法の下では、印刷物が使用できない人のためにアクセシブルなフォーマットでの図書の配布を許可する例外が適用されないため、すでに音声DAISY 図書を製作しているBAにおいても、著作権が伴う図書は図書館外への持ち出しはできず、タハフセイン図書館内での閲覧のみが可能である。図書館内の閲覧者数についての回答は得られなかった。

(3) DAISY 図書製作人材数

MCIT 及び NLAE

- ・ 本プロジェクト開始時点で、MCIT、NLAE には、DAISY 図書製作人材は存在しなかった。

BA

- ・ 本プロジェクト開始時点で、デジタル録音図書部門のスタッフ 4 名が音声 DAISY 図書製作を行っていた。また、当該 4 名は 2018 年に実施された「JICA 普及促進事業」においてマルチメディア DAISY 図書製作の講習受講者である。

(4) DAISY 図書の提供体制

上記のとおり、DAISY 図書の提供（貸出、ダウンロード）はいずれの C/P でも行われていなかった。

(5) DAISY 図書にアクセス可能なネットワークの整備状況

プロジェクト開始時点において DAISY 図書にアクセス可能なネットワークは、エジプトには存在していなかった。

(6) 図書目録での DAISY 図書のタイトル数

MCIT 及び NLAE は図書目録上での DAISY 図書タイトルは存在しない。BA については、当時の図書館長である Amgad 氏からは回答が得られなかった。

(7) DAISY 以外のアクセシブルなコンテンツに関する情報

エジプトでは、プリントディサビリティのある利用者へのサービスを提供する図書館やそのサービス（コンテンツ）は極めて限定的で、特に大学レベルでの教育や大学院での研究に影響を与えている。JICA 教育アドバイザーの Hany Helal 教授²⁴によると、教育と娯楽の両方の点字図書を発行しているのは 1 機関のみである。エジプトでは、プリントディサビリティのある障害者とその支援団体との間で、入手可能な図書や作品に関する情報共有が十分に行われていないことも推定される²⁵。

2. プリントディサビリティに対する C/P の取り組み状況

(1) MCIT

- ・ プロジェクト開始時点では、DAISY 図書に関する取り組みは開始されていない。
- ・ MCIT は、ICT を活用して障害者の社会参加を促進し、その結果、社会において障害者がエンパワメントされることを目的とする。①教育、②研修、③雇用という 3 つのテーマの下、以下の 7 つの戦略目標が設定されている²⁶。
 - 1) 情報と知識へのアクセスの支援及び個人の交流とコミュニケーションの促進
 - 2) 教育と保健分野の機会平等の促進
 - 3) より良い仕事の機会を得るためのリハビリテーション
 - 4) 技術の利用可能性を支援する政策の策定
 - 5) 障害者に関連する情報インフラの開発
 - 6) 研究・開発・革新の促進
 - 7) 地域・国際協力の活発化
- ・ 特にポータルアクセシビリティ対応は DAISY 図書配布のポータル構築の後押しになるほか、NAID は今後の DAISY の製作・普及の拠点となりうる取り組みであり期待が高い。

- 関連する活動として、NAID が開発・運営している NAID の Website には、テキストをハイライトして TTS で読み上げるアクセシビリティが備わっているが、DAISY 出版物と異なり、読み上げの精度は TTS に依存する。
- MCIT²⁷は支援技術開発プロジェクトを行っている。DAISY に関する取り組みは確認できていないが、複数の民間企業が、アラビア語の OCR 技術や TTS、音声認識（Speech-to-Text: STT）の技術及び製品開発が上記助成スキームを活用して行われており、今後の DAISY 製作における連携も期待される。

(2) NLAE

- プロジェクト開始時点では、DAISY 及びマラケシュ条約に関する取り組みは開始されていない。
- 2018 年に韓国の支援を得て NLAE の本館内に視覚障害者向けの図書館が整備されている。
- 2018 年から 2019 年 4 月までの NLAE 主催の障害者関連の啓発イベントは以下のとおり。
 - ✧ Celebration of persons with disabilities, November 3-5, 2018, at the National Library of Egypt Building, Cornish El Nile.
 - ✧ Celebration of persons with disabilities, April 18, 2019, at Cairo University, Faculty of Computers and Information for persons with disabilities.
 - ✧ Celebration of persons with disabilities, April 28, 2019, at Abassia Hospital for Psychological Health.

(3) BA

- 「JICA 普及促進事業²⁸」（実施者：シナノケンシ株式会社）において、シナノケンシと共同で 2018 年に 2 回のセミナーを開催し、合計 110 名の参加者に対して DAISY の有用性に関する啓発活動を実施した。
- デジタル録音図書部門：4 名体制で主にアラビア語の音声 DAISY 図書製作を実施しているが、利用者へのサービス提供は行っていない。
- 特別ニーズプログラム：453 名の会員に対して、2016 年～2019 年の 4 年間で、年間平均 1,008 回のグループセッションを行うとともに、年間平均 300 名の特別なニーズの子供の診断を行っている。アレキサンドリア県内の学校と連携して、ディスレクシアのスクリーニング及びディスレクシアの診断を受けた児童（年間平均 2,142 人）に対して様々なプログラムの提供やセミナーを行っている²⁹。なお、本プロジェクト開始時点において、DAISY を利用したプログラムは提供されていない。
- タハ・フセイン図書館：DAISY 再生機や再生ソフトを図書館内で使うことができ、視覚障害のある利用者約 1,100 名（メンバーは 720 名）に対して、以下のサービスの提供を行っている。

²⁴ カイロ大学、元高等教育省大臣

²⁵ Hany Helal 教授の発表資料より

²⁶ 国別障害関連情報エジプト・アラブ共和国、JICA、2021 年 2 月

²⁷ 現在は NAID が支援技術開発プロジェクトを所掌。

²⁸ 「エジプト国 読書障害者用 DAISY 図書製作ソフトウェア普及促進事業」2018 年 5 月～2019 年 7 月に実施。

²⁹ Dr.Amgad Elgohary の発表資料より（2019 年 8 月 IFLA サテライト会合）

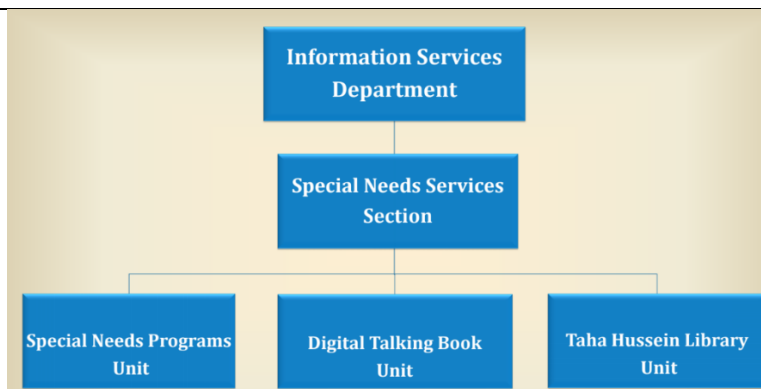


図 2-4：BA 内の読みに困難のある利用者に関するセクションの組織図

出典：Dr. Amgad Elgohary, BA の発表資料より（2019 年 8 月 IFLA サテライト会合）

(4) その他

本プロジェクトで面談した関係者の中で、DAISY 図書に関する取り組みを開始している団体や個人は特定できなかった。

3. マラケシュ条約の取り組み状況

(1) 世界及びアラブ圏での動向

マラケシュ条約は、正式名称が「盲人、視覚障害者その他の印刷物の判読に障害のある者が発行された著作物を利用する機会を促進するためのマラケシュ条約（日本政府公定訳）」であり、モロッコのマラケシュにおいて 2013 年 6 月 28 日に採択され、2016 年 9 月 30 日に発効となった。2019 年には、日本、EU、アメリカが相次いで批准し、2020 年 1 月時点では、世界 61 カ国が批准している。アラブ諸国では、ヨルダン、モロッコ、カタール、サウジアラビア、チュニジア、アラブ首長国連邦の 6 カ国が批准している³⁰。

世界盲人連合によれば、出版される書籍のうち、点字、録音図書、アクセシブルな電子書籍などの形式で利用できるのは、途上国においてはわずか 1%以下であり、これは先進国においても高々7%程度にすぎないと推定されている³¹。

(2) 署名・批准に向けた枠組み及び現状

著作権法を担当する文化省に属する NLAЕ の Hesham Azmi 議長への聞き取りにより 2019 年 3 月時点のマラケシュ条約批准に向けた状況として以下が把握された。

- エジプトはマラケシュ条約に署名をしていない（署名→批准の手順）。
- マラケシュ条約批准に関して、著作権法との関係で技術面の所管は文化省、外交面での所管は外務省、法律面で Ministry of Justice も関与する。
- 条約批准の一般的な手続きとしては、通常は以下のプロセスとなる。
 - ① 政府から提案（この場合は文化省）
 - ② 専門委員会で議論
 - ③ 国会の general assembly で議論
 - ④ 外務省の承認
 - ⑤ 大統領が承認
- 2018 年頃からマラケシュ条約批准に向けた議論が行われるようになっているが、まずは文化省が署名の必要性について整理を行い、国会宛てに書面を発行することが、マラケシュ条約の署名・批准に向けた一歩となる。

- 文化省は、外務省と協力してマラケシュ条約批准に向けて、必要な許可取得等の手続きを進めている。
- 視覚障害のある国会議員である Dr. Khaled Hanafy が国会内のキーパーソンとなる（任期2020年1月まで）³²。

(3) マラケシュ条約に関する啓発活動

- 2018年2月17日にBAで"On the Way Forward for an Egyptian Ratification of the Marrakesh Treaty"と題するシンポジウムがIFLAのLPD分科会及び世界盲人連盟の協力で開催された。同シンポジウムにおいて、DAISYコンソーシアム、IFLA等の支援を得て、アクセシブルなフォーマットの図書製作に関する技術的なソリューションの導入を推進することが決定された。³³

(活動0-6) エンドライン調査

エンドライン調査は、C/Pと合意したエンドライン調査計画に基づき、3つのC/Pに対して、ベースライン調査との比較のためのDAISY図書の製作・利用状況に関するアンケート及び、上位目標達成に向けた計画を含むDAC評価に関連する項目についての聞き取りを主として実施した。

結果は以下に記すとおりである。なお、DAC5項目評価及び上位目標達成計画等に関する聞き取り結果については、「第1章 第3章 1. DAC評価基準に基づくレビュー結果」及び「第4章 1. 上位目標達成の見込み」に記載する。

表 2-26: DAISY 図書の製作・利用に関する状況

	MCIT	NLAЕ	BA
DAISY 図書の製作 タイトル数（マルチ メディア DAISY）	9 冊	17 冊	12 冊 音声 DAISY : 220 冊
DAISY 図書の登録 利用者数	登録システム無し	登録システム無し	登録システム無し
DAISY 図書利用回 数	統計無し	統計無し	統計無し
DAISY 図書製作人 材数	9 名	14 名	17 名（ToT 参加者 14 名、 従来の音声 DAISY 製作ス タッフ 3 名）
ToT 参加者による製 作者育成数	0 名	1 名（ToT1 修了者が職 員 1 名に製作基礎技術 を教えた。当該職員は その後 ToT2 に参加）	0 名
DAISY 図書目録の 有無と公開状況	有（公開）	有（公開）	有（組織内のネットワー クのみでアクセス可能）
DAISY 図書にアク	独自のポータルを整備	独自のポータルを整備	組織内のネットワークは

³⁰ WIPO ホームページ : https://www.wipo.int/treaties/en/ShowResults.jsp?treaty_id=843

³¹ https://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/access/copyright/marrakesh_180831.html

³² NLAЕのDr.Howayda Kamelへの聞き取りによると、本報告書作成時においても、Dr. Khaled Hanafyはマラケシュ条約の批准に向けた調整を行っている。

³³ Hany Helal 教授（JICA 教育アドバイザー、カイロ大学）の発表資料より

	MCIT	NLAE	BA
セス可能なネットワークの整備状況	済み（69冊を公開）	済み（13冊を公開）。	整備済みだが、外部には非公開。
DAISY 図書の提供体制	独自のポータルを通じて提供（図書及び無償プレイヤーのダウンロード可能）	NLAE が 製 作 し た DAISY 図書及び無償プレイヤーのダウンロードは、NLAE のホームページ上及び本館内の視覚障害者図書室の PC 端末（8 台）で利用可能。	プロジェクトで製作した DAISY 図書は、MCIT ポータル上で公開。 著作権の伴う図書については、タハフセイン図書館の端末上で利用可能。
DAISY 以外のアクセシブルなコンテンツに関する情報	アクセシビリティガイドラインに準拠したウェブサイト（MCIT 及び NAID）、他の省庁へのアクセシブルなウェブサイト構築支援、パスポートや電力等の ICT に関するアクセシブルなサービスの他省庁への推進	点字図書の蔵書及び点字図書の複製機を備える。	点字図書の蔵書及び点字図書の複製機を有する。
その他			著作権の伴う図書に関しては、著作権問題解決後に独自のポータル上で公開予定。

出典：JICA プロジェクトチーム

2 プロジェクト目標及び成果の達成度

2-1 成果の指標

2-1-1 成果 1：DAISY 図書製作者のコアグループ及び DAISY 図書製作者が育成される。

成果 1 について PDM 上で設定された指標に基づく達成度は以下のとおりである。

(1) 指標：42 名の DAISY 図書製作者が育成される。

（達成度）計画以上の成果が達成された。

表 2-27：成果 1 の指標の達成度（1）

指標	実績	達成度評価
42 名の DAISY 図書製作者が育成される。	<ul style="list-style-type: none"> 42 名が DAISY 製作指導者として育成された（ToT1~3 修了者） DAISY 製作者 8 名が DAISY 製作者として育成された（COVID-19 関連 DAISY 図書製作者向け特別 ToT 修了者） 	計 50 名の DAISY 製作者が育成され、13 名が DAISY 製作にかかる基礎的な知識を習得したことから、本プロジェクトの活動に

指標	実績	達成度評価
	<ul style="list-style-type: none"> 13 名がミニ講習を通じて DAISY 製作に関する基礎的な知識を習得した（ToT 参加者に含まれる 2 名を除く） 	より計画以上の成果が達成された。

出典：JICA プロジェクトチーム

（実績詳細）

- 研修完了状況：ToT1~3 に参加した 42 名は、集中研修を修了し、その後のフォローアップ研修を経て、全員が少なくとも 1 冊（もしくは割り当てられた分量の）DAISY 図書の製作を完了し、42 名の DAISY 図書製作者の育成が完了した。
- COVID-19 関連図書製作スタッフを養成するため、2 名の DAISY 図書製作者（編集・ナレーションの双方を実施）、6 名の編集者、5 名のナレーター、計 13 名に対して特別 ToT を実施した。これらのスタッフによって、プロジェクト期間中に 34 冊の COVID-19 関連図書が製作された。これらの特別 ToT 修了者は、プロジェクト終了後も DAISY 図書製作を担っていけるスキルを修得している。
- その他に DAISY 図書製作にかかる基礎的な講習として以下のミニ講習を実施し 15 名が参加した（うち 2 名は ToT 参加人数に含まれる）。
 - 2020 年 4 月にエジプト赤新月社 6 名に対する 2 日間のミニ講習を実施した。受講者 6 名のうち、中核的スタッフが ToT3 に参加した。
 - 2020 年 11 月及び 12 月に視覚障害者各 1 名、計 2 名に対する DAISY 図書製作のミニ講習を実施した。
 - 2021 年 3 月にカリタス 7 名に対する 3 日間のミニ講習を実施した（うち 1 名は離職した ToT3 参加者の後任）。
- 上記の一連の活動と成果により、本プロジェクトを通じて、当初の計画を上回る DAISY 製作者が育成された。
- 一方で、一部の C/P においては、育成された DAISY 図書製作者の継続的な DAISY 図書製作状況に課題がある。これには様々な要因があるが、その主なものを挙げると、DAISY 製作するタイトルの完全なテキストの入手が難しく、DAISY 製作の前に PDF から得られたテキストの校閲に相当の時間を取られている。この問題を解決するためには、C/P が自らの出版物を積極的に DAISY 化したり、クリーンなテキストファイルの入手に努めるなど、C/P の格段の取り組みが必要である。習得した技術は、継続的な製作によってのみ維持・向上され得るため、DAISY 図書製作者の継続的な DAISY 図書製作が今後の課題と言える。

(2) 指標：利用者が DAISY 図書にアクセスするためのネットワークシステム³⁴が構築される。

（達成状況）計画通り達成された。

表 2-28：成果 1 の指標の達成度（2）

指標	実績	達成度評価
利用者が DAISY 図書にアクセスするための	<ul style="list-style-type: none"> MCIT のポータルが稼働しており、利用者が DAISY 図書にアクセスするためのネットワークシステムとして機能している。 	本プロジェクトの活動により計画通りの成果が達成された。

³⁴ 図書のアップロード、ダウンロードを可能とするポータル。

指標	実績	達成度評価
ネットワークシステムが構築される。	<ul style="list-style-type: none"> NLAEが製作したDAISY図書13冊はNLAEのウェブサイト上でもダウンロード可能、かつNLAE内の視覚障害者図書館の利用者向け端末内で閲覧可能である。 	

出典：JICAプロジェクトチーム

(実績詳細)

- MCIT ポータル：MCIT のポータルについては、2021 年 11 月より運用が開始され、本報告書の作成時点で、69 冊の DAISY 図書が Zip 形式でアップロードされており、誰でも登録なしでダウンロード可能である。
- NLAE ポータル：当初計画はされていなかったが、NLAE が製作した DAISY 図書について、NLAE は独自に 2020 年 5 月より NLAE のウェブサイト上で公開している。2021 年 12 月末時点では、13 冊の DAISY 図書が Zip 形式でアップされており、誰でも登録なしでダウンロード可能である。なお、NLAE のウェブサイト上で公開している DAISY 図書は、MCIT のポータル上でも公開されている。(表 2-11, p.23 参照)
- ただし、MCIT のポータルが検索しにくい状況が指摘されており、今後、検索の容易さについての改善が望まれる。

2-1-2 成果 2：DAISY の利点に関する広い理解が促進される。

成果 2 について PDM 上で設定された指標に基づく達成度は以下のとおりである。

(1) 指標：啓発対象者の DAISY 図書に関する認知・知識が向上する。

(達成状況) 計画通りに達成された。

表 2-29：成果 2 の指標の達成度

指標	実績	達成度評価
啓発対象者（イベント参加者含む）の DAISY 図書に関する認知・知識が向上する。	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト期間を通じて政府高官、最終裨益者の当事者・家族・支援者、教育関係者、図書館関係者、大学や他のドナー機関等、出版社、様々な対象に対して、大小さまざまな啓発イベントを合計 13 回開催し、800 名以上の参加者を得た。また、最終啓発イベントでは、NAID の Facebook を通じて約 1 万回の再生回数を記録した（2021 年 12 月 22 日時点）。 各イベントの目的に即した啓発を行った結果、DAISY 図書に関する認知・知識の向上が図れたと判断できる。このことはイベントの参加者からの反応からも確認することができる。 	本プロジェクトの活動により計画通りの成果が達成された。

出典：JICA プロジェクトチーム

(実績詳細)

- C/P :
各 C/P から 4 名の意思決定者を含む合計 6 名が本邦研修 (KCCP) に参加し、日本における取り組みを理解するとともに、教育、保健、災害への備えに関する分野における読みに困難のある人々のためのマルチメディア DAISY 図書の利点を理解するとともに、C/P の参加者が様々な分野における DAISY の活用において日本で得た知見を踏まえ、日本との協力によるエジプトのプリントディサビリティのある人々のアドボカシーの推進と DAISY 技術の普及を通じて、協力して問題に取り組む方向性を確認した。
- DAISY 図書の潜在ユーザー :
➤ 2019 年 7 月から 9 月、及び 2021 年 12 月に合計 4 回のマルチメディア DAISY 図書の潜在的なユーザーである合計 36 名の児童が体験会及び啓発イベントに参加したほか、ブックフェアや啓発イベント内での DAISY の実演や体験会を含めて、約 170 名の潜在ユーザーが DAISY 図書を用いた読書を体験した。
- 政策決定者を含む幅広いステークホルダー :
➤ 2019 年 12 月、国際障害者の日を記念し、障害を持つ子供達やその家族、支援団体、及び政府機関関係者を含む合計約 260 名がマルチメディア DAISY 図書や読みに困難のある人々に関するアドボカシー及び啓発イベントに参加した。
➤ R/D では、MCIT から教育・技術教育省 (Ministry of Education and Technical Education: 以下、MoETE) の教科書の DAISY 図書化を働きかけることが合意されていたが、2021 年 9 月に就任したプロジェクト・ダイレクターの判断で調整が停止した。JICA エジプト事務所の協力第 2 期では MoETE の新任の国際協力担当大臣顧問に DAISY の実演を行う機会を得るなど、個別の理解普及にも努めた結果、MoETE による新カリキュラム教科書の DAISY 図書化の方向性が確認されるというインパクトの大きな結果を得ることができた。
➤ 2020 年 4 月にエジプト赤新月社 6 名 (うち中核的スタッフ 1 名が ToT3 に参加)、2021 年 3 月にカリタスの 7 名、2020 年 11 月及び 12 月に視覚障害者 1 名ずつ、計 15 名に対するミニ講習を実施し、DAISY の有用性と製作にかかる基礎知識を習得した。
➤ 2021 年 9 月 2 日に「ウェビナー：エジプトにおける DAISY のこれから」と題し、アラビア語、英語の二言語音声、アラビア語、英語の字幕、アラビア語の手話を付与したアクセシブルな国際ウェビナーとして開催し、Zoom ウェビナーの登録者は世界 23 カ国から 300 名以上に及び当日の参加者は 174 名 (うち、アクセシビリティを必要とする参加者は少なくとも 13 名)、MCIT の Facebook のストーリーミングにより 750 名、イベント後の動画視聴回数は、約 9,000 回 (2021 年 12 月 22 日時点) に上った。

2-2 プロジェクト目標と指標

本プロジェクトにおけるプロジェクト目標の達成度は以下のとおりである。

(目標) アラビア語や他の言語の DAISY 図書を製作し普及するための人的、技術的資源が整備される。

(指標 1) DAISY 図書目録がアクセス可能であること

(達成状況) 計画通りに達成された。

表 2-30: プロジェクト目標の指標 1 の達成度

指標	実績	達成度評価
DAISY 図書目録がアクセス可能であること	<ul style="list-style-type: none"> DAISY 目録は MCIT ポータル上で公開されている。本プロジェクトで製作した DAISY 図書の多くが、MCIT 及び NLAE のポータルからアクセス可能であり、DAISY 目録はサムネイル形式でポータルからアクセス可能である。 	本プロジェクトの活動により計画通りの成果が達成された。

出典：JICA プロジェクトチーム

- MCIT ポータル：DAISY 目録は MCIT ポータル上で公開されている。MCIT のポータルについては、2021 年 11 月より運用が開始され、本報告書の作成時点で、69 冊の DAISY 図書が Zip 形式でアップロードされており、誰でも登録なしでダウンロード可能である。
- NLAE ポータル：当初計画はされていなかったが、NLAE が製作した DAISY 図書 13 冊について、NLAE は独自に 2020 年 5 月より NLAE のウェブサイト上で公開している。2021 年 12 月末時点では、13 冊の DAISY 図書が Zip 形式でアップされており、誰でも登録なしでダウンロード可能である。なお、NLAE のウェブサイト上で公開している DAISY 図書は、MCIT のポータル上でも公開されている。(表 2-11, p.23 参照)
- ただし、MCIT のポータルが検索しにくい状況が指摘されており、今後、検索の容易さについての改善が望まれる。

(指標 2) 啓発活動対象者による、啓発活動の増加状況 (各 C/P 毎の活動数が 3、合計 9 増加³⁵)

(達成状況) 計画以上の成果が達成された。

表 2-31: プロジェクト目標の指標 2 の達成度

指標	実績	達成度評価
啓発活動対象者による、啓発活動の増加状況 (各 C/P 毎の活動数が 3、合計 9 増加)	<ul style="list-style-type: none"> 本プロジェクト期間に実施した啓発活動は 13 活動 (下記リスト参照) であり、プロジェクト実施以前と比べて各 C/P による DAISY 並びにマラケシュ条約に関する啓発活動の増加数は、MCIT 3 回、NLAE 5 回、BA 4 回であった。 <各 C/P による活動の増加> MCIT : 3 活動増加 (以前 : 活動なし、以後 : 3 活動) NLAE : 5 活動増加 (以前 : 活動なし、以後 : 5 活動) BA : 4 活動増加 (以前 : 3 活動、以後 : 7 活動) <啓発活動リスト> 2019 年 7 月啓発／体験会 (BA) 	指標として設定していた総活動数の 9 活動を上回る 13 活動が達成されるとともに、各 C/P ごとの活動としてはいずれも 3 活動以上の活動の増加が達成されたことから、計画以上の成果が達成された。

³⁵ 具体的な目標値については、2019 年 9 月 5 日に開催された第 1 回 JCC で合意され、現在、PDM の改訂にかかる議事録の署名に向けて調整中である。

指標	実績	達成度評価
	2019年8月啓発／体験会（BA） 2019年8月サテライト会合（BA） 2019年8月サテライト会合関連ツアー（NLAE） 2019年9月啓発／体験会（BA） 2019年12月5日（VoH） 2019年12月9日 DAISY: Opening the Door to the World of Reading（BA） 2019年12月8日（VoH） 2019年12月10日 DAISY Demonstration Workshop in Cairo（MCIT） 2019年12月11日「エジプトにおける DAISY 国際フォーラム」（NLAE, MCIT, BA） 2020年1月29日カイロ国際ブックフェア（NLAE） 2021年6~7月カイロ国際ブックフェア（NCPD） 2021年9月2日「ウェビナー：エジプトにおける DAISY のこれから」（MCIT, NLAE, BA） 2019年12月21日（VoH）	

出典：JICA プロジェクトチーム

3 PDM 改訂の経緯

本プロジェクトでは、プロジェクト目標の指標については2019年9月開催の第1回JCCにおいて、また上位目標の指標については、2020年9月開催の第3回JCCでC/Pと合意を図った。また、活動計画の構成についても、見直しを行い、第1回JCCにおいてC/Pの承認を得た。

また、COVID-19の世界的な蔓延に伴い、視覚障害者、ディスレクシア等の印刷物の利用に困難を抱える障害者への当該感染症に係る情報伝達の緊急性が高まった。このことを受け、COVID-19関連文書のDAISY図書化を実施し、COVID-19に関する出版物へのアクセシビリティを改善し、もって印刷物の利用に困難を抱える障害者の当該感染症に関する情報アクセシビリティを改善することをプロジェクトの活動に加えることとした。2020年11~12月に開催された一連の第4回JCC及び補足会議では、これらの活動をPDMに加えるとともに、それに必要な期間として9ヵ月間延長することがC/Pと合意された。

エジプト政府のPDM改訂に伴う諸手続きについては、PDM改訂の協議議事録への署名の条件として、エジプト政府内のセキュリティ・クリアランスが必要となり、長期間の手続きが見込まれるという理由から、PDM改訂に関する協議議事録の合意については、C/P側の意向に基づき、一連の第4回JCC及び補足会議においてプロジェクト延長の合意とともにまとめて行われた³⁶。

PDMの改訂内容は下記のとおりである。

³⁶ PDMの変更については、2020年11月28, 30日, 12月5, 10日に開催された一連の第4回JCC及び補足会議で合意され、PDMの改訂にかかる議事録の署名に向けて調整を図ってきたが、セキュリティ・クリアランスが完了せず、プロジェクト終了時点において議事録の署名は完了していない。

3-1 プロジェクト実施期間

変更前	変更後	理由
24 カ月	33 カ月	COVID-19 の蔓延に対して、読みに困難を抱える障害者への感染症にかかる情報伝達の緊急性の高まりへの対応を活動に含めるため。

3-2 用語の変更

変更前	変更後	理由
Books (本)	Publications (文献)	DAISY 図書製作の対象とするコンテンツの適用範囲を「本」のみでなく「記事」などにも拡大するため。

3-3 上位目標に関する指標の変更

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> 製作される DAISY 図書の数 DAISY 図書配布数 XX 冊 指導者一人あたり年間 XX 人（暫定 2 人）の DAISY 図書製作者を増加させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作される DAISY 図書の数 アクセス可能になっている DAISY 図書の数（160 冊）。 DAISY 製作指導者を含めて 160 名の DAISY 図書製作者が育成される。

3-4 プロジェクト目標に関する指標の変更

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> DAISY 図書目録がアクセス可能であること 啓発活動対象者による、XX の活動がプロジェクトの実施前後で増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> DAISY 図書目録がアクセス可能であること 啓発活動対象者による、9 の活動がプロジェクトの実施前後で増加している（各 C/P 毎の活動数が 3、合計 9 増加）。

3-5 日本側の投入

変更前	変更後
-	供与機材への TTS ソフトウェアの追加 COVID-19 関連図書製作費の追加

3-6 プロジェクト活動の変更

活動一覧（変更前）	活動一覧（変更後）
(活動 1) 1-1. Organize a kick off meeting 1-2. Develop a human development plan 1-3. Source necessary equipment for trainings (1-11. Prepare necessary equipment for the ToTs) 1-4. Select the core group members of the DAISY book production 1-5. Develop training materials on DAISY book production	(活動 1) 1-1. Holding the Kick-off meeting and building consensus on a human resource development plan. 1-2. Procure and inspect of necessary equipment for 1st and 2nd ToTs (22 sets). 1-3. Prepare equipment of ToTs 1-4. Select the core group members of the DAISY publication production

活動一覧（変更前）	活動一覧（変更後）
<p>1-6. Conduct a ToT for the core group members (the activity includes the production of DAISY <u>books</u> and preparation of a bibliographic record of the DAISY titles)</p> <p>1-7. Discuss with expected users with disabilities to collect their ideas about DAISY <u>books</u></p> <p>1-8. Revise, if necessary, training materials according to the lessons learnt</p> <p>1-9. Monitor the distribution of the DAISY <u>books</u> titles produced</p> <p>1-10. Select the members of 2nd batch ToT</p> <p>1-12. Conduct the 2nd ToTs <u>by</u> the core group members</p> <p>1-13. Select 6 <u>instructors</u> from the trainees of the 2nd batch for the 3rd ToTs (Core group member 6 + 6 = <u>Instructors</u> for the 3rd ToT)</p> <p>1-14. Select the members of the 3rd batch</p> <p>1-15. Conduct the 3rd ToTs with the 12 <u>instructors</u></p> <p>1-16. Promote networking of DAISY <u>book</u> producers</p>	<p>1-5. Develop training materials on DAISY <u>publication</u> production</p> <p>1-6. Conduct a ToT for the core group members (the activity includes the production of DAISY <u>publications</u> and preparation of a bibliographic record of the DAISY titles)</p> <p>1-7. Discuss with expected users with disabilities to collect their ideas about DAISY <u>publications</u></p> <p>1-8. Revise, if necessary, training materials according to the lessons learnt</p> <p>1-9. Monitor the distribution of the DAISY <u>publications</u> titles produced <u>as well as planned to be produced on the MCIT portal</u></p> <p>1-10. Select the members of 2nd batch ToT</p> <p>1-11. Conduct the 2nd ToT <u>with</u> the core group members</p> <p>1-12. Select 6 <u>trainers</u> from the trainees of the 2nd batch for the 3rd ToTs (Core group member 6 + 6 = <u>Trainers</u> for the 3rd ToT)</p> <p>1-13. Select the members of the 3rd batch</p> <p>1-14. Formulate DAISY <u>publication working groups</u></p> <p>1-15. Promote networking of DAISY <u>publication</u> producers</p> <p>1-16. <u>Procure and inspect of necessary equipment for 3rd ToTs (24 sets).</u></p> <p>1-17. Conduct the 3rd ToTs with the 12 <u>trainers</u></p> <p>1-18. Conduct the Special ToT to introduce Text-To-Speech (TTS) technology for DAISY <u>publications production</u></p> <p>1-19. Conduct the Special ToT to focus on rapid <u>production of COVID-19 documents in DAISY format</u></p>

活動一覧（変更前）	活動一覧（変更後）
(活動 2) 2-1. Develop an advocacy action plan. 2-2. Develop <u>necessary</u> materials for advocacy activities. 2-3. <u>Prepare questionnaires for participants of the planned advocacy activities (to collect baseline information for the indicator)</u> 2-4. Conduct advocacy <u>activities</u> in collaboration with persons with disabilities and their families 2-5. Document experience/lessons learnt of advocacy activities including the data analysis of the questionnaire 2-6. <u>Conduct a survey targeting the participants of the implemented advocacy activities to see if the knowledge of the participants has been increased and new activities have been initiated.</u>	(活動 2) 2-1. Develop an advocacy action plan <u>in collaboration with C/Ps and other stakeholders.</u> 2-2. Develop materials for advocacy activities <u>and outreach to disseminate DAISY publication reading experiences.</u> 2-3. <u>Prepare the Knowledge Co-creation Program in Japan</u> 2-4. <u>Conduct Knowledge Co-creation Program in Japan</u> 2-5. <u>Conduct the Satellite Meeting of the IFLA WLIC in Alexandria</u> 2-6. <u>Create network at IFLA WLIC</u> 2-7. Conduct advocacy <u>events to commemorate International Day of Persons with Disabilities</u> in collaboration with <u>stakeholders including</u> persons with <u>print</u> disabilities and their families 2-8. Document experience/lessons learnt of advocacy activities including the data analysis of the questionnaire 2-9. <u>Disseminate information on DAISY publications to other JICA projects in Egypt and exchange ideas on DAISY publications utilization</u> 2-10. <u>Disseminate accessible information on COVID-19 in timely manner and receive response from beneficiaries</u> 2-11. <u>Share outcomes of the Project at IFLA WLIC</u> 2-12. <u>Report on the result of the Project including the proposal for the follow-up</u>

4 その他

4-1 情報アクセシビリティの配慮

本プロジェクトでは、情報アクセシビリティの改善によるエジプトの障害者の社会参加の促進を図るというプロジェクトの目的から、プロジェクト活動の実施においては、アクセシビリティに配慮するとともに、それらの活動を通してアクセシビリティの意識向上を図ることを念頭に活動を設計・実施した。

- 「エジプトにおける DAISY 国際フォーラム」（開催日：2019 年 12 月 11 日、会場：NLAE 博物館）
 - 会場のアクセシビリティ：アクセシビリティについては、補完的な措置が必要であったため、JICA プロジェクトチームにおいて、地元の専門家の協力を得て、機能性と安全性を考慮したスロープの設計を行い、フォーラム当日までに設置した。フォーラム終了後、このスロープは NLAE 博物館に寄贈された。
 - 手話通訳（アラビア語）：フォーラム参加者の中に手話使用者は確認できなかったが、

情報アクセシビリティへの意識向上と本フォーラムの記録映像のアクセシビリティ確保の観点から手話通訳を付与した。



JICA プロジェクトチームが寄贈したスロープ

- 国際ウェビナー「ウェビナー：エジプトにおける DAISY のこれから」（開催日：2021 年 9 月 2 日、形式：オンライン）：
 - 当該イベントは、アラビア語と英語の二言語での音声（同時通訳）に加えて、両言語のリアルタイム字幕、アラビア語の手話通訳の情報保障を確保したアクセシブルな国際ウェビナーとして開催した。
 - 少なくとも 13 名のアクセシビリティを必要とする参加者を確認した。また、イベント後のアンケートでも、いずれのアクセシビリティ（字幕、同時通訳、手話通訳）についても有効であったと回答が得られた。
- 本プロジェクトにおける障害者の参加：
 - 42 名の ToT 参加者のうち、障害者は 1 名。
 - 13 名のミニ講習参加者のうち、2 名は全盲者。
 - 読書体験会参加児童 36 名のほぼ全員がプリントディサビリティ当事者。
 - 174 名の「ウェビナー：エジプトにおける DAISY のこれから」の参加者のうち、アクセシビリティを必要と回答した参加者は 13 名。
 - 本事業で実施した啓発イベントの参加者（約 800 名、及びウェビナー動画視聴約 1 万回の視聴者）には、多数のプリントディサビリティ当事者及び支援者が含まれる。

4-2 COVID-19 への対応

COVID-19 の世界的感染拡大は、本プロジェクトの第 1 期（2019 年 3~12 月）と第 2 期（2020 年 6 月 2021 年 12 月）の端境期に生じた。当初、第 2 期は 2020 年 4 月から専門家のエジプトへの派遣を予定していたが、感染拡大による派遣見合わせと、国内からの遠隔対応への計画変更等により、第 2 期の開始は 3 ヶ月近い遅れを余儀なくされた。

本プロジェクトでは、当初、日本から専門家を派遣して現地で実施する計画であった活動について 2020 年 9 月末まで日本から遠隔で実施し、渡航による実施の可能性については 2020 年 10 月に現地の状況を踏まえて判断するとしていたが、10 月時点で、短期の再渡航が合理的な状況では

なかったこと、及び最大の懸案であった ToT を含む業務実施について遠隔による効果的な実施方法が確立できていたことから、第2期の全期間を通じて日本からの遠隔実施とする判断となった。

このような COVID-19 感染拡大状況下でのプロジェクト実施において、本プロジェクトでは、プロジェクトの裨益者の情報保障ニーズへの対応と、プロジェクト従事者及びプロジェクト関係者の安全確保の両面から、以下に記す配慮の上、活動を実施した。

- COVID-19 感染拡大下における情報保障の緊急的必要性への対応（活動の追加）：

COVID-19 の世界的な蔓延に伴い、視覚障害者、ディスレクシア等の印刷物の利用に困難を抱える障害者への当該感染症に係る情報伝達の緊急性が高まったことを受け、COVID-19 関連の文書の DAISY 図書化を実施し、COVID-19 に関する出版物へのアクセシビリティを改善し、もって印刷物の利用に困難を抱える障害者の当該感染症に関する情報アクセシビリティを改善することをプロジェクトの活動に加え、必要な緊急情報を必要な人にタイムリーに提供することを C/P に要請した。

- 活動実施における感染防止策の徹底：

本プロジェクトにおいても、2021年1月にアレキサンドリア在住の専門家及びローカルスタッフ各1名の計2名及び C/P 側に数名の陽性者が出たことから、現地在住の専門家及びローカルスタッフの活動に関して、感染拡大防止と活動に参加するプロジェクト関係者の安全確保に最大限配慮した実施を行った。

具体的には、感染リスクが存在する間は、できる限り対面式の会議や研修を避け、IT 技術等を用いた遠隔（オンライン）による実施を積極的に採用するとともに、対面式の活動が必要な場合にもソーシャルディスタンス等、適切な感染予防策を徹底した。

そのため、第2期では、手洗い・うがい、室内換気、マスク装着、消毒等の一般的な感染防止策の徹底に加えて、JCC、ToT、啓発活動のほとんどの活動について、オンラインで効果的に実施する手法を確立し、対面型の活動は最小限にとどめた。

その結果、参加者の PC 画面上での具体的な指導を必要とするため、これまで対面式でのみ実施が可能であった DAISY 指導者研修について、遠隔による研修の実践を通じて1名の指導者が2名の参加者までオンラインでのハンズオン指導を可能とする研修手法が確立できたこと、及び啓発活動についても、開催場所に制約されない幅広い参加者や登壇者の受け入れが可能なアクセシブルなウェビナー形式を確立できたことは、副産物と言える。

4-3 貧困への配慮

2020年に人口1億人を突破したエジプトは、直近の10年間で約2,000万人の人口増が生じており、急激な人口増と貧困問題はエジプトの主要な開発課題の一つとなっている³⁷。公立学校の不足は深刻で、初等教育の公立学校の1クラスの生徒数が55人³⁸と極めて多い状況が発生している。

ディスレクシアの児童・生徒は、DAISY教科書・教材と共に個別指導を必要とするが、多人数に対して一斉授業を行う一般の学校では、個別指導は難しい。そのため、低所得層の家庭のディスレクシアの児童・生徒は、教科書・教材等書かれていることが理解できないために授業につ

³⁷ Egypt Human Development Report 2021- Development, a right for all: Egypt's pathways and prospects, the United Nations Development Programme, Ministry of Planning and Economic Development, Egypt

³⁸ The annual report of MoETE 2021/2022.

いていくことが困難な状況にあり、高い非識字率による家庭学習の困難と相まって、学ぶ機会を失っている。

エジプトでは、ドロップアウト率が高く、高い非識字率（男性 21.2%、女性 30.8%, 2017³⁹）が社会問題となっているが、これも貧困問題と深い関わりがある上に、障害児がドロップアウトするケースは非障害児のケースの2倍という報告もある⁴⁰。

本プロジェクトでは、上記への配慮から、低所得者層を中心にした、アラビア語に依拠しなければ情報が得られないプリントディサビリティ、及び非識字者への裨益を念頭に、DAISY化する図書をアラビア語に絞り、アラビア語の教科書・教材の DAISY 図書化も視野に置いて活動を実施した。

また、今後の DAISY 図書の閲覧環境の整備においては、貧困層の閲覧機会の確保に留意して、地域の図書館や学校、テレセンター等でのアクセスと共に、携帯電話等の貧困層にも普及しているデバイスでも閲覧できるように工夫することが課題となる。

4-4 ジェンダー平等への配慮

本プロジェクトでは、テレワークを含めて子育て世代の女性が働きやすい環境づくりに配慮してプロジェクトを実施した。具体的には、ToT 参加者 42 名のうち、女性は 29 名と約 7 割を占めたほか、本プロジェクトに従事したローカルスタッフ 16 名のうち 10 名（63%に相当）が女性であり、多数派を占めた。

³⁹ Ministry of Planning and Economic Development, reports on Localization of Sustainable Development Goals (SDGs)

⁴⁰ エジプト・アラブ共和国 情報アクセシビリティ改善による 障害者の社会参画促進プロジェクト 詳細計画策定調査報告書（2018 年 11 月、JICA）

第3章 協同レビュー結果

1 DAC 評価基準に基づくレビュー結果

JICA がプロジェクトの評価指標として採用している DAC 5 項目を用いたレビューを行った。評価は、「④高い」、「③やや高い」、「②やや低い」、「①低い」の4段階評価とした。

<DAC5 項目>

妥当性 (Relevance)	当該国の開発政策、上位計画、ニーズ等との整合性等
有効性 (Effectiveness)	プロジェクト目標の達成度や阻害要因の影響、アウトプットとプロジェクト目標の関係性等
効率性 (Efficiency)	アウトプットの達成度やインプットとの関係等
インパクト (Impact)	上位目標の達成度への寄与、政策や地域への貢献度、他プロジェクトへの貢献等
持続性 (Sustainability)	政策面、技術面、組織面、財政面等の持続見込み

協働レビューの結果を以下に記す。

1-1 妥当性

(評価) ④妥当性は高い。

以下に示す通り、エジプト政府は障害分野の政策課題を重点政策として位置づけ、推進しており、本プロジェクトのエジプト政府の開発政策及び開発ニーズとの整合性は高いと判断できる。

表 3-1: 妥当性の評価内容

項目	評価内容
エジプト政府の開発政策、上位計画との整合性	エジプト政府は、2008 年に障害者権利条約に批准し、2014 年に制定された新憲法でも、障害者の権利と平等な機会の提供を保障し、その実施のために 2019 年に大統領直轄の NCPD を設立した。2018 年制定の障害者権利法では、情報アクセシビリティの手段提供が明記されている。MCIT の長期戦略においても情報と知識へのアクセスの支援を重要戦略の一つに位置付けている。以上より、本プロジェクトはエジプト政府の開発政策との整合性は高いと評価できる。
開発ニーズとの整合性	エジプトでは視覚障害者を含むプリントディサビリティがある人を対象にしたアクセシブルな形式の出版物がほとんど普及しておらず、情報へのアクセスが限られている。また、非識字率の高いエジプトにおいて、アクセシブルな形式の出版物は、多くの非識字者のニーズに応えるものである。情報と知識のアクセスは教育の基礎であり、就労をはじめとする社会参加に必須である。プリントディサビリティがある障害者および非識字者の情報アクセスの向上に資する本プロジェクトは、エジプトの開発ニーズとの整合性が高いと評価できる。

出典：合同評価の結果に基づき JICA プロジェクトチーム作成

評価の根拠の詳細を以下に記す。

(1) エジプト政府の開発政策、上位計画との整合性

- **（新憲法）** エジプト政府は、2014年に制定された新憲法において、健康、経済、文化、娯楽、スポーツ、教育の権利を保障され、政治参加、社会参画において、障害者の権利と平等な機会の提供を保障している（第2章第81条）。
- **（障害者権利条約への批准）** エジプト政府は、障害者権利条約に2007年に署名し、2008年に批准している。同条約では、「全ての障害者によるあらゆる人権及び基本的自由の完全かつ平等な享有を促進し、保護し、及び確保すること並びに障害者の固有の尊厳の尊重を促進すること」（1条1項）を目的とし、障害者の権利の実現のために締約国が立法、行政をはじめとする全ての適当な措置をとるべきこと（4条）、及び情報アクセシビリティの確保（9条）を定めている。
- **（障害者権利法の制定）** 2018年に制定された障害者権利法（Law of the Rights of Persons with Disabilities, Law No.10 of 2018）では、3条及び4条において、公的情報へのアクセスの権利、障害者の教育を含む社会参加の権利全般について規定されており、情報アクセシビリティの手段提供について明記されている。
- **（障害者年の宣言）** 大統領が2018年を「障害年」と宣言し、障害者権利法の制定、障害者のための省の設立提案を含む障害者の社会的包摂を目的とした取り組みが多数実施された⁴¹。
- **（NCPDの設立）** エジプト政府は、2019年に障害者の権利を総合的に促進、発展、保護することを任務とするNCPDを大統領直轄の組織として設立し（前回はNCDA）、2020年法律第200号により障害者の保護と社会的発展を目的として創設された障害者支援基金を通じて、奨学金等の費用負担など、経済・健康・教育面での支援を実施している^{42,43}。
- **（エジプトビジョン2030）** エジプト政府は、エジプトの潜在能力と競争力を最大限に活用するためのロードマップとして、2016年に「持続的な開発戦略：エジプトビジョン2030（Sustainable Development Strategy: Egypt Vision 2030, “Vision 2030”）」を公表し、包括的な成長を達成し、権利、経済、社会、政治的な機会の平等を特徴とする公正でまとまりのある社会を構築し、最高度の社会的包摂を提供するとともに、社会的に弱い立場にある人々の包摂を目指している⁴⁴。また、軽度の障害者の一般学校での教育を受ける権利をインクルーシブ教育として戦略に含めている⁴⁵。
- **（NAIDの設立）** エジプト政府は、支援技術を用いたインクルーシブで自立した社会を促進・活性化することを目指して、2019年7月に大統領のイニシアティブとして、MCIT内にNAIDを設立した。

⁴¹ <https://dailynewsegypt.com/2019/08/06/azm-forum-promotes-labour-market-inclusion-of-people-with-disabilities/>

⁴² VNR report 2021

⁴³ 障害者権利条約エジプト政府初期報告（2020年4月28日）

⁴⁴ Overview Egypt Human Development Report 2021- Development, a right for all: Egypt's pathways and prospects, the United Nations Development Programme, Ministry of Planning and Economic Development

⁴⁵ 障害者権利条約エジプト政府初期報告（2020年4月28日）

- **（教育・技術教育省の政策）** MoETE は、「教育に関する障害者のインクルージョン 5 カ年戦略計画（2007-2012）」を策定⁴⁶し、インクルーシブ教育を推進している。本プロジェクトの最終段階において、MoETE からの要望に基づき、教科書の DAISY 図書化が緊急課題であることが改めて確認された。本プロジェクトの R/D では、MCIT から MoETE の教科書の DAISY 図書化を働きかけることが合意されていたが、MCIT の対応が進まない中、第 2 期では MoETE の大臣顧問に DAISY の実演を行う機会を得た後、MoETE 大臣による教科書の DAISY 図書化の方向性が承認されるなど、教科書の DAISY 図書化はエジプト政府の政策と合致することが確認されている。

(2) 開発ニーズとの整合性

- 最終裨益者のニーズ：

本プロジェクトの実施において、最終裨益者である読みに困難を抱える人々について以下のニーズがあることを確認した。

- エジプトでは視覚障害者を含むプリントディサビリティがある人を対象にしたアクセシブルな形式の出版物がほとんど普及しておらず、情報へのアクセスが限られている。エジプトでは、BA において 2008 年にアラビア語の視覚障害者を主なユーザーとする音声のみの DAISY 図書製作が開始されたが、著作権上の問題から BA 施設内での利用に限定され、多くの潜在的な利用者は利用できずにいる。
- エジプトでは、女性が 30.8%、男性が 21.2%（2017 年）⁴⁷と、非識字率の高さが社会課題の一つであるが、プリントディサビリティを抱える人々と同様に、印刷物を読むことができず、情報へのアクセスが限られている。
- エジプトでは、初等教育においては視覚障害者に対しては点字教科書が配布されるが、高等教育教材へのアクセスは確保されていない。また、ディスレクシアの児童・生徒へはアクセシブルな教科書ではなく、通常の教科書が配布されている。プリントディサビリティのある生徒や学生が授業内容を十分に理解するための適切な教材の配布は急務である。
- 医療機関においても、説明資料が印刷物である場合が多く、プリントディサビリティのある患者や家族が十分に理解できる形式の情報提供の必要がある⁴⁸。
- 教育現場で教科書を理解できることは実社会で生きるための重要な要素であり、また読書は、人生を豊かに生きるための重要な文化的活動である。さらに COVID-19 感染拡大を含む災害時において、必要な情報へのアクセスの可否が命を分かつことにもなりうる。非識字者を含む、印刷物を読むことに困難のある人々の情報格差を緩和するうえで、DAISY 図書コレクションの分野の幅や数を拡大する必要性は高い。また、視覚障害者のみならず幅広いプリントディサビリティがある人の情報へのアクセスや、

⁴⁶ JICA 国別障害関連情報 エジプト・アラブ共和国 2021 年 2 月

⁴⁷ Egypt Human Development Report 2021- Development, a right for all: Egypt's pathways and prospects, the United Nations Development Programme, Ministry of Planning and Economic Development, Egypt

⁴⁸ 2019 年のエジプト赤新月社への聞き取りより。

独自の学び方のニーズに応えることが可能な DAISY マルチメディア図書の普及ニーズは高い⁴⁹。

- 実施機関のニーズ：

- MCIT：

- ◇ MCIT は、ICT を活用した①教育、②研修、③雇用を通じて、障害者の社会参加とエンパワメントを実現することを目的とする長期戦略を 2012 年に策定しており、アクセシブルな電子出版物の製作指導者の育成及び製作に必要な機器を提供する本プロジェクトは、同戦略に直接的に貢献する。

- ◇ NAID は、2021 年 7 月に MoETE との間で、障害のある学生へのサービス向上のための教育プロセス支援に関する覚書を締結しており、それに基づき、MoETE の人材を対象とする DAISY 製作技術人材養成研修を今後の実施計画に位置付けている。

- NLAE：

- ◇ NLAE は、図書館利用者へのアクセシビリティを高めるため、DAISY 図書コレクションの拡大を図りたいと考えており、本プロジェクトは NLAE のニーズに合致している。

- ◇ エジプトで唯一の納本図書館である NLAE は、国内のすべての出版物が納付されるという法律上の特別の使命があり、同時にすべての出版物の書誌情報を提供する義務がある。これはアクセシブルな代替出版物を含むあらゆる出版物に及ぶ。従って、本プロジェクトは、NLAE がアクセシブルな出版物の書誌情報を提供する国の機関としての使命を果たすことにも貢献する。

- BA：

- ◇ BA は、長年にわたり、視覚障害やディスレクシアの成人及び児童に対するサービスの提供や支援プログラムなどを実施するとともに、DAISY 録音図書製作を独自に実施してきた。本プロジェクトは、BA がより広範な利用者が見込まれるマルチメディア DAISY 出版物を MCIT 及び NLAE 等と連携して発展させる途を開いている。これは、SDGs の推進を宣言⁵⁰し、インクルーシブな情報提供サービスを掲げる BA の政策に合致すると共に、国としての障害者インクルージョン政策をより効果的に進めるものである。

⁴⁹ 2021 年 12 月 21 日に VoH で実施した COVID-19 DAISY コレクションを活用した読みに障害がある児童生徒に対する COVID-19 予防セッションでは、DAISY 版のテキストを読んで予防法を理解し、アルコールとマスクを配布して実演を行い、児童生徒が習った予防法を家族に伝えたことを確認している。これは、読むことに困難を抱える子供たちを対象に含む、インクルーシブな COVID-19 対策の啓発方法として特筆される。

⁵⁰ <https://www.sis.gov.eg/Story/128390?lang=en-us>

1-2 有効性

(評価) ④有効性は高い。

有効性は、プロジェクト実施の結果としてプロジェクト目標が達成されたかをもって測られる。本プロジェクトでは、以下に示す通り、有効性は高いと判断できる。

表 3-2: 有効性の評価内容

項目	評価内容
プロジェクト目標は達成されたか	<p>本プロジェクト目標の指標について、「第2章 2-2 プロジェクト目標と指標 (p.55)」に記載のとおり、指標1は計画通りに達成され、指標2については計画以上の成果が達成されたことから、プロジェクト目標は計画以上に達成されたといえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指標1: DAISY 図書目録がアクセス可能であること 指標2: 啓発活動対象者による、活動の実施状況 (各 C/P 毎の活動数が3、合計9活動)
産出された成果はプロジェクトに起因するものか	アラビア語対応の DAISY 図書製作状況、DAISY 図書のポータル開発、DAISY の利点に関する理解の普及の3つの観点の全てにおいて、プロジェクト目標の達成は、本プロジェクトに起因するものであると結論づけられる。

出典：合同評価の結果に基づき JICA プロジェクトチーム作成

評価の根拠の詳細を以下に記す。

(1) プロジェクト目標は達成されたか

本プロジェクト目標の指標について、「第2章 2-2.プロジェクト目標と指標 (p.55)」に記載のとおり、指標1は計画通りに達成され、指標2については計画以上の成果が達成された。したがって、プロジェクト目標は計画以上に達成されたといえる。

- 指標1: DAISY 図書目録がアクセス可能であること
- 指標2: 啓発活動対象者による、活動の実施状況 (各 C/P 毎の活動数が3、合計9活動)

(2) 産出された成果はプロジェクトに起因するものか

- アラビア語対応の DAISY 製作
 - アラビア語対応の DAISY 製作は、「JICA 普及促進プロジェクト」において、シナノケンシ社が日本で普及していた同社の DAISY 製作ソフトウェア (PLEXTALK Producer) をアラビア語対応に現地適合理化したことで可能となった。本プロジェクトは、「JICA 普及促進プロジェクト」で開発されたアラビア語対応 DAISY 製作ソフトウェアの活用事例である。
 - 本プロジェクト開始時点において、エジプト国内で基礎的なマルチメディア DAISY 図書の製作技術を有する人材は、「JICA 普及促進事業」で実施した研修に参加した BA

のスタッフ 6 名のみであった⁵¹。また、本プロジェクト開始段階において、エジプト国内の音声 DAISY 図書製作者は、同研修の参加者でもある BA の DAISY 図書製作部門の担当者（4 名）のみであったと推定される。また、50 名のマルチメディア DAISY 製作者を育成した ToT、及び 13 名を対象としたミニ講習は、本プロジェクト内で実施された活動である。

- ポータル：
 - 本プロジェクト実施以前に、組織的に DAISY 製作を実施していたのは、音声 DAISY 図書製作に取り組んできた BA のみであるが、BA は DAISY 図書目録の公開は行っていない。
 - 本プロジェクトを通じて、MCIT 及び NLAE が DAISY 図書目録にアクセス可能なポータルを稼働させたが、MCIT のポータル開発はプロジェクト内で計画された活動として実施された。NLAE については、ToT 参加者が COVID-19 拡大下において DAISY 図書を一刻も早くアクセス可能なものとするために、率先して独自に開発したものであり、プロジェクト活動から発展的に実現されたものである。
- 理解の促進効果：
 - 「JICA 普及促進事業」では、BA と共催で DAISY の普及セミナーを 2 回開催（参加者約 110 名）され、DAISY 図書に関する一定の認知・知識の醸成が図られたが、本プロジェクト開始段階において、DAISY に関する十分な知識を有するエジプト政府関係、障害者支援団体、潜在的な利用者は、一部の C/P 関係者を除いて限定的であった。
 - 本プロジェクトでは、政策決定者、プリントディサビリティ当事者、その家族や支援者、教育関係者、大学関係者、ドナー機関等、幅広いステークホルダー、800 名以上に対して、様々な形態の啓発活動を展開し、MCIT の Facebook ページを通じて、最終ウェビナーの動画は約 1 万再生（2021 年 12 月 22 日時点）を記録した。
 - 本プロジェクト実施期間中に、DAISY の利用促進にかかる C/P 以外の団体の活動は確認できていない。
- 以上より、本プロジェクト期間中に達成された 2 つの指標で示される成果は、本プロジェクトに起因するものであることは明らかといえる。
- また、先行して実施された「JICA 普及促進プロジェクト」の成果の活用という相乗効果があったことも特筆すべき点である。

1-3 効率性

（評価）③効率性はやや高い

効率性は、産出された成果の実績確認結果をもとに、活動や投入が効率的に実施されたかどうかで測られる。本プロジェクトでは、以下に示す通り、効率性はやや高いと判断できる。

⁵¹ 音声 DAISY 図書製作部門の 4 名及び非常勤のサポートスタッフ 2 名。同 2 名はその後、本プロジェクトで現地スタッフとして従事。

以下に記載する項目を総合的に評価した結果、COVID-19 蔓延下の困難、それに伴う第 2 期開始の3ヵ月間の遅れ、プロジェクト・ダイレクターが2回、プロジェクト・マネージャーが3回、他の2つの C/P の責任者もそれぞれが1回以上交代するという困難な外部要因が多数発生した。その中で、一部の非効率の発生はあったものの、総括をはじめとする、長年 DAISY の普及に取り組んできた JICA プロジェクトチーム構成員が培ってきた実績に対する信頼と国際的なネットワークが、対面によるコミュニケーションが取れない中でも C/P との協力体制を維持して全ての指標の達成を実現した。また、COVID-19 に関する情報提供をプロジェクトの活動にタイムリーに盛り込んだという点は高く評価できることから、本プロジェクトの総合的な効率性は、やや高いと判断される。

(1) 成果の達成・機材の投入

本プロジェクトでは、予定していた機材投入の全てを計画通りタイムリーに実施した。また、COVID-19 蔓延前の第 1 期においては、専門家の派遣、投入も概ね計画通りに実施された。COVID-19 感染拡大により、第 2 期の開始が 3 ヶ月遅延したが、プロジェクトの成果及びプロジェクト目標で設定された指標についてはすべて達成された。

(2) 新型コロナウイルス感染拡大への対応に伴うプロジェクトの延長

第 2 期の当初の履行期間は 2021 年 3 月までの計画であったが、COVID-19 の世界的な蔓延に伴い、視覚障害者等印刷物の利用に困難を抱える障害者への当該感染症に係る情報の伝達が急務であることから、プロジェクト期間を延長し、COVID-19 関連の文書の DAISY 図書化を実施し、これらの緊急情報へのアクセシビリティを改善することをプロジェクトの活動に加えるため、プロジェクト期間が 9 ヶ月間延長され、2021 年 12 月まで実施された。プロジェクトの成果として、最終的に 36 冊⁵²の COVID-19 関連図書の DAISY 化が完了し、MCIT のポータルに順次公開予定である。

延長に伴い、当初計画に比べて、延長期間中の活動実施のための投入増は生じてはいるが、得られた成果に対して最低限の追加投入により、COVID-19 の蔓延という事態への対応として、既存のプロジェクト内で延長期間中に製作した COVID-19 に関する DAISY 出版物を活用したプリントディサビリティのある子供たちに対する優れた COVID-19 啓発活動など、現地の障害者に裨益する活動を展開することができ、効率的な投入であった。

(3) JICA プロジェクトチームの構成員が蓄積した DAISY に関する人的ネットワークの活用による効率的かつ高水準の成果の獲得

JICA プロジェクトチームは、DAISY コンソーシアムの創設メンバーかつ元会長であり、IFLA の LPD 分科会元議長である河村宏総括をはじめ、IFLA の LSN 分科会前議長である野村専門家、IFLA の LPD 分科会現議長の Yasmine Youssef 専門家など、長年、国際的に DAISY の普及に取り組んできたメンバーで構成される。

本プロジェクトで実施した、以下に挙げるような高水準の活動は、JICA プロジェクトチームを構成する総括をはじめとする専門家の信頼と人的ネットワークの蓄積なくしては実現できな

⁵² 34 冊はプロジェクトスタッフ、2 冊は ToT 参加者による。

ったものであり、日本国内及び国際的に DAISY に関する取り組みの最前線で活躍するキーパーソンの協力を得て、エジプトの C/P 関係者と国際的な DAISY コミュニティとの橋渡しを効果的に実施できたことは、エジプトにおける DAISY の今後の発展に大きく寄与するものと期待できる。

- 日本の DAISY に関する先進的な取り組みを視察する本邦研修
- IFLA 関係者、世界知的所有権機関（World Intellectual Property Organization：以下、WIPO）関係者、DAISY コンソーシアム会長を含む 11 カ国から 24 名の登壇者を招へいした IFLA サテライト会合
- IFLA WLIC におけるプロジェクトの紹介及びネットワーキング
- 北欧図書館関係者との交流
- インドの先進事例から学ぶ交流会
- 啓発イベントにおける DAISY コンソーシアム会長の基調講演
- TTS ソフトウェアの不合理なライセンス契約の修正における国際ネットワークの活用

(4) 新型コロナウイルス蔓延下における成果の達成

COVID-19 の蔓延により、日本人の現地派遣を中止して国内から遠隔対応とするなど、プロジェクトの実施方法の全面的な見直しが必要となり、第 2 期の開始が 3 ヶ月遅延した。

また、計画変更に伴い、当初、対面で 24 名に一齐に実施する予定であった ToT3 は、遠隔実施とするに際して、4 グループに分けて実施する必要があった。その点では、当初の計画よりも投入は増大したが、これまでマンツーマン（1 対 1）でもかなり難しいとされてきた濃密な実技指導を含む ToT の遠隔実施を、1 対 2 に高める方法が確立されたことは、特に COVID-19 への対応技術として重要な成果である。

また、COVID-19 の蔓延下で、日本人専門家を現地に派遣できない難しい状況において、第 2 期から ToT のチーフ・トレーナーを務めたアレキサンドリア在住の Yasmine Youssef 専門家、及び 3 名の現地スタッフ（アレキサンドリア在住 2 名、カイロ在住 1 名）による C/P との密な連携と効果的な活動実施、及び遠隔で対応する日本人専門家との間での円滑な連携によって、全ての指標を満たすプロジェクト成果を達成できたことは、工夫を積み重ねた成果である効率的な実施として高く評価できる。

(5) 複数の C/P との調整及び C/P 担当者の度重なる交代への対応への非効率

C/P が 3 機関であることから、1 機関を C/P とするプロジェクトに比べ、C/P との合意形成や日常的なコミュニケーションにかかる業務量は増加する傾向があった。また、MCIT のプロジェクト・ダイレクターが 2 回、プロジェクト・マネージャーが 3 回、NLAE の責任者が 1 回、BA の責任者が 2 回交代し、その都度、プロジェクトの引継ぎや過去の経緯の見直し等が発生したため、非効率が生じた。

(6) その他の非効率

- 著作権問題に起因する C/P による DAISY 製作用テキストデータの不提供による非効率：
本プロジェクトでは、R/D において、ToT で DAISY 製作を行うための 42 タイトルのアラビア語テキストデータを C/P が提供することで合意されていたが、C/P 側の著作権法の解釈に

問題があり、著作権者の同意取得が難航し、実際に C/P から収集できたのは、NLAE が提供した著作権フリーの 6 タイトルのみであった。そのため、C/P に対しても引き続きの努力を要請しつつ、クリエイティブ・コモンズ等の著作権による制約のない様々なソースから、研修及び潜在的利用者の読書体験に適した素材を選定する作業に想定外の投入が必要となった。

- 啓発イベントへの政府高官の参加調整の難航による非効率：

2020 年の国際障害者デーに合わせて文化大臣の参加を実現するべく調整を図ったが、多忙の大臣の日程調整がかなわず、イベントの開催時期を翌年に変更した。この背景には、文化大臣への窓口となった NLAE 議長と文化大臣のコミュニケーションが悪く、かつ、大臣に対して一度要請を打診すると取り下げは困難という事情があったことから、計画を変更して文化大臣を招かずにイベントを実施することもできず、この一連のプロセスで非効率が生じた。

- 遠隔による ToT フォローアップの非効率：

ToT のフォローアップにおいて、テレワーク中の参加者に対するオンラインのフォローアップは、参加者側の勤務形態による事情からコミュニケーションが図りにくく、非効率が生じた。

- セキュリティ・クリアランスの遅れによる専門家の渡航制限による非効率：

C/P のセキュリティ・クリアランスが遅れたことにより、プロジェクト延長の署名が完了していなかったことから日本人専門家の渡航が制限されたことにより、非効率が生じた。

1-4 インパクト

(評価) ④インパクトは高い。

インパクトは、下表の 3 点の視点によるインパクトの発現見込みによって測られる。本プロジェクトでは、以下に示す通り、インパクトは高いと判断できる。

表 3-3: インパクトの評価内容

項目	評価内容
上位目標の達成予測	本プロジェクトの上位目標の達成はエジプト政府の開発課題である情報と知識へのアクセス促進、教育を含む社会参加の促進に直接貢献するものと言える。上位目標のうち、DAISY 図書数は達成の見込みが高いが、DAISY 図書製作者の育成数は達成が期待されるも、外部条件による不確定要素が伴う。
因果関係	プロジェクト目標から上位目標への論理は明確である。
波及効果	上位目標の達成により、プリントディサビリティの当事者の知識へのアクセスとそれによる社会参加が促進される。 直接的な負のインパクトは想定されない。

出典：合同評価の結果に基づき JICA プロジェクトチーム作成

評価の根拠の詳細を以下に記す。

(1) 上位目標達成予測

- 上位目標の指標うち、「アクセス可能になっている DAISY 図書の数 (160 冊)」については、達成の見込みは高いといえる。また、「DAISY 製作指導者を含めて 160 名の DAISY 図書製作者が育成される」については、MCIT は DAISY 図書製作そのものよりも、DAISY 図書製

作者の育成に目標を置いていることから、指標達成に期待が持てる。しかし現段階では、その他の DAISY 図書製作研修の実施に関する具体的な予算措置や実施計画が策定されている状況ではないことから、今後3年間で100名以上の人材を DAISY 図書製作者として育成が達成し得るかどうかについては、MoETE 以外にも、DAISY 図書製作を担う意欲があり、MCIT に対して DAISY 図書製作研修を要望する団体が継続的に表れるかが、当該指標達成に関する外部条件と言える。

- 本プロジェクトに関連するエジプト政府の開発課題として、2018年に制定された障害者権利法において、公的情報へのアクセスの権利、教育を含む社会参加の権利全般について規定されており、インクルーシブ教育の推進、支援技術を用いた情報と知識へのアクセスの支援が、それぞれ MoETE、MCIT の政策課題として挙げられている。上位目標は、これらの開発課題に直接的に貢献するものである。

(2) 因果関係

- 本プロジェクトは、エジプトにおいて、「DAISY 図書が、教育、雇用、保健、観光、防災など様々な分野で利用されるようになる」という上位目標の達成のために、「アラビア語や他の言語の DAISY 図書を製作し普及するための人的、技術的資源が整備される」というプロジェクト目標が設定されており、論理的に構成されているといえる。
- PDM 上では、プロジェクト目標から上位目標に至るまでの外部条件は明記されていないが、DAISY 図書製作にかかるエジプト政府の継続的な予算措置、マラケシュ条約の批准及びそれに伴う著作権法の改訂などの外部条件が想定される。

(3) 波及効果

- 知識へのアクセスは、教育、就業、健康、（災害時等の）安全、娯楽など、人々が幸福に人生を送るための文化的生活に欠かすことのできない最も基本的なニーズである。本プロジェクトで目指すあらゆる分野での DAISY 図書の普及はこの基本的なニーズの実現に資する重要な活動である。
- 本プロジェクトの上位目標の達成により、教育、就業、健康、安全、娯楽などに対するプリントディサビリティの当事者のアクセスが改善され、より文化的で、経済的にも恵まれた生活を送る可能性を高める効果が期待されるとともに、より平等な社会の実現に寄与することが期待される。
- 上位目標が達成され、また外部条件であるエジプト政府によるマラケシュ条約の批准が実現すると、エジプト国内で製作された DAISY 図書がエジプト国外のマラケシュ条約批准国での利用が可能となり、アラビア語での文献を必要とするエジプト国外のプリントディサビリティ当事者の社会参加に貢献することが期待される。
- 本プロジェクトによるマイナスの影響は想定されないが、留意すべき点として、DAISY 図書化の際には、社会的な偏りの排除、また、DAISY 図書を再生可能なデバイスの購入が困難な低所得者層に対する DAISY 図書へのアクセス方法については、十分な配慮が必要となる。
- エジプトにおける非識字率は男性が21.2%、女性は30.8%⁵³と女性が圧倒的に高い。プリントディサビリティを含む非識字の問題は、失業、貧困に直結する問題であり、また、必要な知

⁵³ Egypt Human Development Report 2021- Development, a right for all: Egypt's pathways and prospects, the United Nations Development Programme, Ministry of Planning and Economic Development, Egypt

識へのアクセスが限られることにより、疾病や栄養失調による避け得たであろう障害の背景にもなりうる。特に地方の女性の情報アクセスと教育機会の向上が DAISY によって図られることにより、非識字者の割合が極めて高い女性の社会的地位向上にも繋がる。

1-5 持続性

(評価) ③持続性はやや高い。

持続性は、下表の4点の視点による持続性の発現見込みによって測られる。本プロジェクトでは、以下に示す通り、持続性はやや高いと評価できる。

評価の根拠の詳細を以下に記す。

(1) 政策・制度

本プロジェクトに関連するエジプト政府の開発課題として、2018年に制定された障害者権利法において、公的情報へのアクセスの権利、教育を含む社会参加の権利全般について規定されており、インクルーシブ教育の推進、支援技術を用いた情報と知識へのアクセスの支援が、それぞれ MoETE、MCIT の政策課題として挙げられている。上位目標は、これらの開発課題に直接的に貢献するものである。

(2) C/P の組織・体制・予算措置

本プロジェクトの成果は開発ニーズと合致しており、引き続き事業を継続、展開する必要性を C/P は示しているが、一部の C/P においては事業効果の持続に必要な予算措置は確立されていない。また、事業効果を多分野に広げていくためには、他省庁や大学等との連携が必要となるが、予算で業務を執行する国家機関という制約の中で、他機関との連携は漸進的に進めことになる。

MCIT は NAID の研修機能の中で他団体の DAISY 製作者の養成を計画し、NLAE は館内に設置されている視覚障害者図書館による DAISY 閲覧機能を拡充すると共に大学キャンパスのプリントディサビリティがある学生教職員への DAISY 提供を模索している。また、BA は、既設のタハ・フセイン図書館の視覚障害者サービスにマルチメディア DAISY 図書を投入して弱視者への支援を充実させると共に、特別ニーズプログラムでディスレクシア等の子供たちの DAISY 読書体験会の実績を踏まえた DAISY 図書閲覧機会の充実を計画している。

また、NCPD は、ToT 修了者一人当たり DAISY 図書製作数で最高の実績を示し、積極的に大学等の障害がある利用者に奉仕するサービス拠点への DAISY 製作技術の移転を予定している。

更に、カイロ国際ブックフェアにおいては、NLAE および NCPD がそれぞれブースで DAISY を積極的に紹介していることも、今後の持続性につながる啓発活動として特筆される。

一方で、一部の C/P においては、勤務時間内に DAISY 製作をする余裕が無いことと、R/D で約束されていた DAISY 製作用のテキストファイルが C/P から提供されないために、PDF からの精度の低い OCR によって生成されたテキストファイルの校正に多大の時間を要する等、ToT 修了者の継続的な DAISY 図書製作に課題がある。習得した技術は、継続的な製作によってのみ維持・向上され得るため、DAISY 図書製作者の継続的な DAISY 図書製作が今後の課題と言える。

(3) C/P の技術

本プロジェクト終了時点において、実施機関は、事業効果の持続に必要な技術レベルを備えており問題はない。しかし、事業終了後も継続して、技術レベルの維持・向上を図るためには、育成された DAISY 図書製作指導者による継続的な DAISY 図書製作が必須となる。しかし、各 C/P において、それぞれ DAISY に関する事業の展開計画はあるがまとまった製作予算が計上されていない。この背景には、著作権法の整備の遅れという外部要因があり、予算措置の前提となる計画的な DAISY 製作に必要な著作権処理が難しいという問題がある。

移転が完了した DAISY 製作技術も、製作を継続しなければ維持・発展が難しい。従って、早急にマラケシュ条約批准を含む著作権法整備を行ってこの問題を解決すると共に、著作権処理が容易な公的機関の出版物の DAISY 化に取り組むなど、DAISY 製作技術の維持・発展に必要な最低限の製作活動を維持することが必須である。

2 プロジェクト実施及び成果に影響を与えた重要要素

(1) 新型コロナウイルスの蔓延

COVID-19 の蔓延によって、第 2 期の開始が 3 ヶ月遅れ、日本からの専門家派遣は取りやめになり、遠隔での対応となったことから、プロジェクト実施手法に大きな影響を受けた。また、エジプト在住のスタッフ（Yasmine Youssef 専門家と 3 名の現地スタッフ）及び C/P との協同活動についても、感染防止策の徹底により、ほとんどの活動が遠隔対応となり、プロジェクトの実施に大きな影響を与えた。

(2) C/P のプロジェクト責任者の交代

本プロジェクトでは、2 年半のプロジェクト期間中に、MCIT のプロジェクト・ダイレクターが 2 回、プロジェクト・マネージャーが 3 回交代したことに加えて、NLAE は 1 回、BA は 2 回のプロジェクト責任者の交代があり、C/P の度重なる交代の都度、プロジェクトの引継ぎや過去の経緯の見直し等が発生し、非効率が生じるとともに、プロジェクトの実施方針にも影響を与えた。

(3) 著作権者の承諾の困難とマラケシュ条約の未批准

本プロジェクトでは R/D において、ToT で DAISY 製作を行うための 42 タイトルのアラビア語テキストデータを C/P が提供することで合意されていたが、著作権者の同意取得が難航し、実際に C/P から収集できたのは、NLAE が提供した著作権フリーの 6 タイトルのみであった。また、同様に、R/D で MCIT の役割として合意されていた MoETE からの教科書のテキストデータ入手の調整についても進展がなく、本プロジェクト期間内における教科書の一部の DAISY 図書化は実現できなかった。

著作権者との調整の困難さと、その突破に向けた C/P のコミットメントの不足の両面から、潜在的ユーザーが要求する優先度の高い図書を DAISY 図書化するという構想が崩れ、本プロジェクトで製作した DAISY 図書コレクションの内容は、当初計画していたものとは異なるものとなったが、その部分を COVID-19 関連文献コレクションの製作で補うことができた。

また、プリントディサビリティのある人々に対する DAISY 図書製作及び提供について、著作権者の許諾を不要とするマラケシュ条約の批准を含む著作権法整備がプロジェクト期間中に実現しなかったことも、製作する DAISY 図書の選択肢が限定された大きな要素と言える。

(4) セキュリティ・クリアランス

エジプトでは、R/D の新規締結・改訂にはセキュリティ・クリアランスを必要とするため、事案によって 1~2 ヶ月で完了する場合もあれば 1 年単位で時間を要する場合がある。本プロジェクトに関しては、プロジェクト開始前の R/D の承認の際に約 1 年、プロジェクト開始後延長決定時の PDM 改訂において、セキュリティ・クリアランスに 1 年以上の期間を要した。

3 プロジェクトリスク管理の結果に関する評価

(1) 現在利用可能な技術に加え、将来の技術の進展にも配慮した技術移転の実施

情報アクセシビリティに関する技術移転を図る際、現在必要な技術を移転しつつ、将来必要となる技術への配慮が必要である。本プロジェクトで対象とするのは、アクセシブルでない出版物や情報をアクセシブルな DAISY 図書に変換する技術の移転であるが、将来的には、出版そのものをアクセシブルにすることが課題となる。従って Born accessible（出版の時点でアクセシブル）な EPUB の普及にシフトしていくことを視野に入れ、DAISY 製作ツールの選定においては将来のアクセシブルな EPUB 図書製作にも対応するものを選定した。

(2) 実施体制面における役割の明確化と実務者レベルでの連携・調整の重視

本プロジェクトの中心的 C/P は、要請元である MCIT である。プロジェクト・ダイレクターであった社会的責任・サービス大臣アドバイザーが 2020 年 2 月に退職したことを受け、第 2 期では、MCIT の社会的責任・サービス・ダイレクターがプロジェクト・ダイレクターとしてプロジェクトの実施全般に責任を負い、同大臣アドバイザー事務局のイノベーション・マネージャーが、プロジェクト・マネージャーとしてプロジェクト運営に関する実務に責任を負う体制となった。その後、NAID の議長が新たに着任したことを受け、第 3 回 JCC 後、プロジェクト・ダイレクターが MCIT の NAID の議長に、プロジェクト・マネージャーが、同じく NAID の Training Director に、その後、Senior R&D Consultant に、それぞれ交代した。

NAID は、障害者に対する教育訓練センターであり、NLAE と BA のふたつの図書館が、マルチメディア DAISY 図書製作に中心的な役割を果たす構想でプロジェクトが始まったが、途中 MCIT も NAID の新首都移転を契機にマルチメディア図書製作拠点として発展させる計画が初代プロジェクト・ダイレクターより伝えられ、実際、チーフアドバイザーは、NAID の新キャンパスの施設設備について 2 回のコンサルティング要請に応じた。

製作されたマルチメディア DAISY 図書と目録は、ふたつの図書館の蔵書となるほか、MCIT が所有するサーバーにも格納し、ユーザーがインターネット経由に必要な図書にアクセスできるポータルと呼ばれるウェブサイトから提供する。MCIT が所管する全国のテレセンターも、DAISY 図書にアクセスするための重要な拠点であると想定される。

C/P が 3 機関であるため、それぞれの役割が認識されていないと、活動の効果発現に影響を及ぼす可能性がある。そのため、それぞれの機関の役割を明確化するとともに、実施段階においては連携・調整が適切に行われるよう実務者レベルで定例会議を行う等、丁寧なフォローに心がけて業務を実施した。

(3) シームレスな現地活動体制の構築

エジプトでは、一定期間連絡が途絶えるとプロジェクトが停滞するリスクがあり、プロジェクトの円滑な業務実施には、継続的な連絡、対話が極めて重要である。特に、本プロジェクトでは、R/D 署名以降、C/P の3機関すべてで主要なメンバーの複数回の交代が生じ、この前任者からの引継ぎの問題等、プロジェクトの遂行にも少なからぬ影響が生じた。そのため、JICA プロジェクトチームは、C/P の意向を事前に確認した上で、プロジェクト期間中、アラビア語で対応可能な現地スタッフを第1期にアレキサンドリアに2名、第2期にアレキサンドリアに2名とカイロに1名を雇用し、多様なステークホルダーとのシームレスな連携及び活動を可能とする現地活動体制を構築し、これに加えて定期的なオンライン・ミーティングを開催し、常に C/P と意思疎通を図ることに留意した。その結果、COVID-19 の蔓延により、対面によるコミュニケーションが極めて限定されたプロジェクト運営であったが、きめ細やかな現地対応と高いプロジェクトの成果の実現に繋がったと評価している。

(4) イスラム教の祭日などに配慮した活動計画の策定

本プロジェクトの実施にあたっては、ラマダンやイード（ラマダン明け及び犠牲祭）などイスラム教の祭日には、ワークショップや研修など、大きなイベントの開催は避けるなど、現地の事情に即した活動計画を策定し、ラマダンやイード周辺に想定されるイベントは前広に調整するなどの対応を図ることで、円滑な業務実施が図れた。

4 本事業から得られた教訓

(1) C/P の度重なる人事異動

本プロジェクトでは、R/D 署名以降現在に至るまでの間で3つの C/P すべてで主要なメンバーの交代が生じた（MCIT のプロジェクト・ダイレクターが2回、プロジェクト・マネージャーが3回、NLAE の責任者交代が1回、BA の責任者交代が3回）。C/P の度重なる交代の都度、プロジェクトの引継ぎや過去の経緯の見直し等が発生し、非効率が生じた。また、離任後、担当者の補充がされない場合もあり、そのようなケースでは、残されたプロジェクト関係者が離任者の穴埋めを行うために極めて多忙な状況となることにより、プロジェクトの遂行にも少なからぬ影響が生じた。

特に BA の図書館セクター長の交代に伴う一連の経過の中で、C/P の意思決定者の交代に際しては、新担当者に対する早期の極めて慎重かつ繊細な対応が重要であることを教訓として学んでいる。

そこで、C/P の意思決定者全員と総括、副総括およびエジプト国内で活動する専門家の WhatsApp によるホットラインを作り、即時に連絡を取れる態勢を構築して、できる限り頻繁に C/P の意思決定者を初めとする主要メンバーと情報共有を図った。COVID-19 の蔓延のため、オンライン会議となって対面でのコミュニケーションの機会は減ったものの、逆にオンライン会議のメリットである移動を伴わない会議設定が可能となったことから、短時間で定期的なコミュニケーションを図ることによってプロジェクトの円滑な進行が可能であることが確認できた。

(2) セキュリティ・クリアランス問題への対応

エジプトでは、R/D の新規締結・改訂にはセキュリティ・クリアランスを必要とする。事案によって1~2ヵ月で完了する場合もあれば1年単位で時間を要する場合があります、本プロジェクトに

関しては、プロジェクト開始前の R/D の承認の際に約 1 年、プロジェクト開始後延長決定時の PDM 改訂において、セキュリティ・クリアランスに 1 年以上の期間を要した。

セキュリティ・クリアランスの手続きの詳細や、遅延要素は不明であるが、プロジェクト・ダイレクターの政府内での調整手法が影響する可能性も推察される。そのため、PDM の改訂時には、R/D の改訂を必要としない、実務者レベルの意思決定であると整理することで、MM の署名を迅速に進める対応を図ったものの、プロジェクト・ダイレクターの交代により前述の PDM の改訂を反故にするという事象が生じた。このような環境下では、プロジェクト活動の実質的な成果を高めるための活動や円滑な遂行において、プロジェクト・ダイレクターの資質は極めて大きな要素である。

また、本プロジェクトでは、NGO など C/P 以外の人材を含む DAISY 製作技術の移転と、ボランティアを含む DAISY 製作要員の養成を見据えていたが、プロジェクト・ダイレクターの交代によって、R/D に名前の明記されていない団体のプロジェクトへの関与を一切禁ずるという意向が一方向的に伝えられ、既に完了した活動についても、報告書への記載を認めないとする判断がなされるという事態が発生した。また同様の理由から、エンドライン調査では、これらの団体を含む R/D 内に団体名が明記されていない団体への接触が一切拒否されるという事態に至った。

このようなリスクの対応策としては、①セキュリティ・クリアランスのプロセスがブラックボックスであり、致命的な遅延になりかねないエジプトにおけるプロジェクト実施においては、プロジェクト・ダイレクターの意向を尊重せざるを得ないこと、②建設的な協力関係の構築が難しい C/P に交代するリスクに備え、R/D 策定の段階から、関係する機関の名称はできる限り明記しておくこと、③R/D に記載のない合意事項については、可能な限り、書面化して責任者の署名を取得しておくこと等が、挙げられる。

他方、プロジェクト関係者が市民社会や多数の行政機関に拡大される場合、プロジェクト実施前のセキュリティ・クリアランスに要する期間が増大する可能性もあるので、当初から途中で改定することを想定した R/D を結ぶ場合は、セキュリティ・クリアランスがプロジェクト期間内に完了しないといった不測の事態への対応策を用意しておくことが望ましい。

(3) C/P との連絡方法

COVID-19 の蔓延以前は、3 つの C/P の意思決定者は、外国出張がきわめて多く、連絡が難しいこと、及び実務担当者に重要なことは委任せず、自ら内容を確認して進める点が共通していた。また、総括が面談してその場で決めない限り基本的なことが決まらず、実務者同士の積み上げでプロジェクトを進めることが難しい局面が多数あった。この状況を改善する方法を C/P に求めたところ、実務担当者への情報共有に加えて、メール、電話、WhatsApp 等の SNS、面談、複数の連絡手段で意思決定者に直接リマインドを行う方法を要望された。特に、WhatsApp など、カジュアルな日常的なコミュニケーションのチャンネルを確保しておくことは多忙な C/P 担当者とのタイムリーな連絡及び関係維持には有効であった。

(4) ハンドオーバー手続き

機材のハンドオーバーに関して、各 C/P で手続きが異なり、ハンドオーバーに関する手続きに時間と手間を要した（3 つの C/P のうち、ハンドオーバー発行者後、最も早かった BA で約 2 ヶ月、MCIT は 4 ヶ月を要し、NLAE は 9 ヶ月以上を要した）。また、当初、42 台の DAISY 製作キットの一部を MCIT を通じて NGO 等へ配分することも検討していたが、エジプト政府機関か

ら NGO 等を含む民間団体への機材供与は法的に不可能であることが判明したため、NGO 等の民間団体に対しては、プロジェクト終了時に JICA の事務物品として位置づけ、その後に JICA から当該団体に寄付するという方式を採用する必要があった。

(5) JCC 開催に関する事前調整及び JICA とのコミュニケーション

第 1 回 JCC において、C/P から継続的な議論を要望された上位目標の指標設定に関する JICA 人間開発部とのすり合わせにおいて、事前に PDM の改訂に関する JICA 人間開発部での決裁が必要など、プロジェクトチームからの JICA 人間開発部への修正案提示が第 2 回 JCC の直前となった。また、C/P の意思決定者が極めて多忙であったことから、第 1 回 JCC で約束した C/P とプロジェクトチーム間で第 2 回 JCC に先立つ協議を開催できず、結果として、上位目標の指標設定に関する決定が第 3 回 JCC に先送りせざるを得ない事態となった。

このような状況を回避し、対応方針についての認識を共有するため、第 2 期では、テレビ会議等を活用して、JICA 人間開発部およびエジプト事務所とプロジェクトチームでの協議を定期的に行った。特に、JCC については、開催の 2～3 週間前をめぐり、JICA（人間開発部及びエジプト事務所）とプロジェクトチーム間で対処方針会議を開催した。また、プロジェクトの進行に応じて、PDM 改定等プロジェクトの方針に係る事項については、可能な限り前広に JICA（人間開発部及びエジプト事務所）と情報共有・相談を行った。

(6) 現地在住人材の配置

今後も COVID-19 等のパンデミックのリスクが排除できない中で国際協力業務を円滑に持続させる事業継続計画（Business Continuity Plan: BCP）の一環として、情報アクセシビリティに資する国際ネットワークを活用した長期的な視野での人材の発掘と養成が重要である。海外からの現地入りが困難な時には、時差のある現地での活動を取りまとめるコーディネイターの資質が事業の成否を左右するが、現地に在住するコーディネイターとして投入した専門家は、その類まれな資質を活かして、プロジェクトの成功に大きく貢献した。当該専門家は、総括が 2015 年の WLIC で出会って以来折に触れて指導・支援してきた BA のスタッフで、エジプトにおける DAISY 普及に重要な役割を担うことが期待されていたが、新任の C/P 意思決定者によりプロジェクトに関与することを禁じられたことをきっかけに BA を退職してしまった。そこで、本人及び BA の C/P 意思決定者に連絡を取り、建設的かつ繊細なコミュニケーションに最大限配慮して、C/P とも良好な関係を維持しつつ、有能な人材にプロジェクト内で最適な役割を担う体制を構築した。この結果、貴重な人材の逸失を免れると共に、プロジェクト終了後にも DAISY 推進に大きな役割を担う中核的な人材の育成も併せて行うことができた。

(7) 政府高官への協力打診の際の留意

本プロジェクトでは、国際障害者デーを祝したハイレベル啓発イベントとして、マラケシュ条約批准の所掌省である文化省の大臣に、文化省傘下である C/P の NLAE の議長を通じて基調講演を打診した。この際、NLAE の担当者に対する NLAE 議長の応答が悪く、また、結果として文化大臣とのコミュニケーションが全く進展しない膠着状態となった。その際、エジプトの政府関係者に打診したところ、エジプトの慣行では、政府高官に対して一度協力依頼を打診した後に、一方的に取り下げることが非礼にあたるということがわかり、イベントを数度延期した結果、一度仕切り直しをせざるを得ない状況となった。

このことからの教訓としては、議長を等の政府高官に基調講演などの協力要請を行う場合には、日程伺いをするのではなく、調整が困難な場合でもイベントの遂行が可能となる様、イベントの期日を明記した上での打診とするのが得策である。

5 適応・貢献

5-1 長年の信頼と高度な専門性に基づく高水準の成果の獲得：

アラビア語圏は、様々な領域で国際標準から取り残されてきたため、日本が縦書きやルビなどでアクセシビリティの国際標準技術から取り残されてきて苦労したことと共通の問題を抱えている。日本は、EPUB を個別の言語に対応させる活動を「EPUB の国際化」として統合し、それを主導する形で日本語対応を充実させてきた。アラビア語対応もこの国際化に含まれる活動として世界の EPUB コミュニティが取り組むことになるため、規格の開発と利用の面で日本が貢献できる場面は少なくない。

このような表面には表れにくい技術的な背景の上に、アラビア語圏における DAISY とアクセシブルな EPUB の普及における日本ならではの貢献がある。言語に依存する TTS や OCR の精度が、アラビア語では極端に低い。これを解決するための技術である朗読音声の同期と編集は、TTS の精度が高い国では必要性が低いので日本に比べて発達が遅れている。

これらの日本ならではのエジプトが必要としている貢献に加えて、日本が DAISY 創出を先導した国の一つであり、世界で最も早く DAISY を全国的に導入し、DAISY の活用で世界を先導し、他国への普及にも貢献してきたことによる分厚い国際ネットワークの中心に業務主任者がいることが、IFLA サテライト会合、WLIC におけるネットワーキング、TTS ライセンス問題の解決、等々の場面で効果的に活かされた。

5-2 遠隔の ToT 対応

COVID-19 蔓延により、プロジェクトの実施方法の見直しが必要となるほか、当初、対面で一斉に実施する予定であった ToT3 は、遠隔実施とするに際して、4 グループに分けての実施する必要があった。参加者の PC 画面上での具体的な指導を必要とするため、これまで対面式でのみ実施が可能であった DAISY 指導者研修について、遠隔による研修の実践を通じて 1 名の指導者が 2 名の参加者までオンラインでの実技指導を可能とする研修手法が確立できたこと、及び啓発活動についても、開催場所に制約されない幅広い参加者や登壇者の受け入れが可能なアクセシブルなウェビナー形式を確立できた。

6 付加価値

6-1 「JICA 普及促進事業」との連携

シナノケンシ株式会社は、世界で最初に DAISY 規格に対応する視覚障害者用再生機（プレクストーク）を販売した国際的な実績のある日本のハードウェア製品メーカーである。日本では、数千人を上回る多数の製作者がネットワークで連携し、DAISY 図書製作を分担しており、シナノケンシの製作ソフトは日本において圧倒的なシェアを占めている。

本プロジェクトは、シナノケンシ株式会社が実施する民間技術普及促進事業（「読書障害者用 DAISY 図書製作ソフトウェア普及促進事業（2018 年～2019 年）」）の成果であるアラビア語対

応に現地適合理化された DAISY 図書製作ソフトウェア (PLEXTALK Producer) を活用して DAISY 図書製作研修 (ToT) を実施した。また、同事業で技術移転を受けた人材を BA と連携して本プロジェクトのローカルスタッフとして活用するなど、最大限の相乗効果を生むように工夫して実施された。

今回の現地適合理化した DAISY 製作ソフトは、ユーザーインターフェースは英語であるが、アラビア語のコンテンツを処理できるように現地適合理化してあるので、アラビア語のコンテンツの製作を必要とする国々の他に、TTS が十分な精度で使えない言語使用者のニーズにも応えるものである。また、このソフトウェアのもう一つの特長として、最終出力の段階で、DAISY か EPUB かを選べるという機能がある。この機能により、今後アクセシブルな EPUB の再生環境が DAISY のそれよりも整備された時点では、同じソフトウェアを使ってアクセシブルな EPUB を製作できるのである。

正確な読み上げ音声を同期する編集機能を持つ PLEXTALK Producer は、アラビア語等の TTS が十分に正確な読みを提供できるようになるまでの間は、朗読者の読み上げ音声を用いて正確な音声で読み上げる DAISY 図書あるいは EPUB 図書を出力できる。出力を DAISY にするか EPUB にするかを選択は、主として利用者が求める再生環境によって決まる。DAISY であればスクリーンリーダーに習熟していない全盲の利用者でも容易に利用できる DAISY オンライン図書館の実装が日本にあり、図書検索・ダウンロード・閲覧まで読者が自分で行って読書を楽しんでいる。

EPUB のオンライン読書環境が DAISY と同等のレベルまで整備されるためには、デジタル著作権管理 (Digital Rights Management: DRM) 問題の解決などいくつかのハードルを越えなければならないが、Born Accessible な EPUB を出版する際には、同じソフトウェアで DAISY の代わりに EPUB を出力するだけで対応できる。

このように、PLEXTALK Producer は、今日の DAISY 製作から将来の EPUB 出版までを一貫した手順で作業できる戦略的な製作ツールである。

この優れた DAISY 製作ツールを投入した本プロジェクトは、アラビア語圏はもとより他の言語圏での活用も期待される「グローバルに情報アクセシビリティを推進する戦略的な製品」を産み出した民間連携事業の成功事例として特筆できる。

第4章 上位目標の達成に向けた課題

1 上位目標達成の見込み

本プロジェクトの上位目標とその評価のための指標は下記のとおりである。

<p><上位目標> DAISY 図書が、教育、雇用、保健、観光、防災など様々な分野で利用されるようになる。</p> <p><指標></p> <p>① 製作される DAISY 図書の数</p> <p>② アクセス可能になっている DAISY 図書の数（160 冊）</p> <p>③ DAISY 製作指導者を含めて 160 名の DAISY 図書製作者が育成される</p>

上位目標に関する各指標と、その達成見通しに関する考察は下記のとおりである。

① 製作される DAISY 図書の数、アクセス可能になっている DAISY 図書の数（160 冊）：高い

<プロジェクト終了時点の状況>

プロジェクト内で製作された DAISY 図書は、教育（科学、環境）、農業、障害、経済、歴史、文学、哲学、宗教、子供向け絵本など多岐にわたる分野から 103 冊（87 冊がプロジェクト活動として製作、16 冊は NCPD が選書を含めて独自に製作）が完成した、24 冊が製作途中である。また、団体別での製作実績は下表のとおりである。

表 4-1: 組織別 DAISY 図書製作実績

		MCIT	NALE	BA	NCPD	NGO	JICA プロジェクトチーム	合計
製作人数		9	14	14	2	3	-	42
DAISY 図書製作数	完成	9 ^{*1}	17	12 ^{*1}	18 ^{*2}	3	44 ^{*3}	103
	製作中	3	6	15	0	0	0	24
	合計	12	23	27	18	3	44	127

*1: 完成図書数には、大部のため 2 名で分担した図書 2 冊を含む。

*2: うち 16 冊は NCPD が独自に選書。

*3: 44 冊中、34 冊は COVID-19 関連図書。

出典：JICA プロジェクトチーム

また、本報告書作成時点において、プロジェクトで製作した 87 冊の DAISY 図書のうち、69 冊が、C/P が開発した DAISY ポータルからアクセス可能になっている。

上位計画の指標である DAISY 図書製作数は 160 冊であり、今後 3 年間のうちに約 60 冊の DAISY 図書を製作することが目標とされる。

<達成見込み>

本指標には特定の図書数は明示されていないが、多様な分野で多数の DAISY 図書が継続して製作されていくという点に関する達成見通しは、高いといえる。その根拠を以下に示す。

上位目標に掲げられている教育、雇用、保健、観光、防災など様々な分野について、教育については、本プロジェクト期間中の MoETE への DAISY 図書の実演などを通じて、MoETE が教科書の DAISY 図書化について積極的な姿勢を見せており、3~5 年後の上位目標の評価時期までには、教科書の DAISY 図書化が進むことが期待される。また保健分野については、本プロジェクトで連携したエジプト赤新月社は、既に組織内で DAISY 製作チームを形成し、救急医療に関する文書の DAISY 図書製作の取り組みを開始している。

本プロジェクト期間中に実施した COVID-19 関連図書製作のように、公的機関が著作権制限をかけずに提供しているコンテンツや、クリエイティブ・コモンズのコンテンツの中に有用な文献は多く存在することから、著作権に抵触しないコンテンツを選定して C/P を中心とする ToT 修了者の所属する各団体において、DAISY 図書製作を進めていくことが可能である。

プロジェクト終了時点において、DAISY 製作を担う部署が設置されているか、あるいは業務内で DAISY 製作を位置付けている団体は、BA（音声のみの DAISY 録音図書についてはプロジェクト開始以前より稼働）、NCPD、MoETE（近く設置予定）である。

MCIT は ToT 修了者を中核人材として、DAISY 製作者の育成を積極的に実施していく事業計画を策定している。MCIT が DAISY 製作者の育成を展開していくためには、ToT 修了者の DAISY 製作技術レベルの維持及び向上のための日常的な製作の実践が前提となる。

これらの団体の取り組みを通じて、製作される DAISY 図書の数が増大する見込みは高い。

NLAE については、日常業務の中に DAISY 製作を位置付けることができない最大の課題として、DAISY 製作者の人件費及びナレーションにかかるプロのナレーターのコストが挙げられている。NLAE は国内唯一の納本図書館として、納本法によりエジプトの各出版社から出版されたすべての出版物の 5 部と 1 部の PDF コピーを制度的に収集し公開する機能を持つ図書館であり、今後、他の開発パートナー及び出版社の協力を得て、納本図書館としての役割を活用して著作権問題の部分的な解決に貢献できる可能性がある。

MCIT は、プロジェクト終了後もポータルサイトの維持・管理、及びタイムリーな DAISY 図書のアップロードを確保している。このポータルが機能するためには、C/P 以外の団体も含むすべての DAISY 製作者が参加する、重複製作の回避と製作したすべての DAISY 図書をポータル経由で提供する DAISY 図書製作ワーキンググループを機能させることが重要である。NGO や高等教育機関における障害者支援活動と連携して DAISY 図書製作ボランティアを掘り起こし、このネットワークに参加してもらうための工夫が必要である。

② DAISY 製作指導者を含めて 160 名の DAISY 図書製作者が育成される：やや高い

<プロジェクト終了時点の状況>

本プロジェクト期間中に JICA プロジェクトチームの実施する ToT に参加し、DAISY 図書製作者として育成された人材は 50 名（ToT1-3: 42 名、COVID-19 関連 DAISY コレクション制作のための特別 ToT: 8 名）であり、ミニ講習に参加し DAISY 製作の基礎的な知識を習得した人材は 13 名であった。ただし、COVID-19 関連 DAISY コレクション制作のための特別 ToT 参加者は、本プロジェクト終了時に DAISY 製作キットを付与されない個人の製作者であるため、プロジェクト終了後、いずれかの組織で DAISY 製作要員として活用されれば大きな人的資源となる。

また、ToT 参加者によって育成された DAISY 製作者は NLAE で ToT1 の参加者が 1 名の職員に対して実施した基礎的な技術指導のみ（当該指導の対象者は ToT2 に参加）であった。

したがって、上位目標の指標として掲げられた 160 名の DAISY 製作者の育成のためには 110 名の育成が必要となる。

<達成見込み>

本指標は、JCC4において、C/P自らが達成をコミットする目標として掲げたものであり、今後3年間で110名のDAISY製作者の育成がC/Pに期待される。プロジェクト・ダイレクターが議長を務めるMCITのNAIDでは、本プロジェクトでDAISY製作技術を習得した9名のToT修了者を中核人材として、本プロジェクト終了後にMoETEや大学等のステークホルダー機関に対するDAISY製作研修を展開していく意向を表明している。また、NLAEとBAについては、予算さえ確保できれば指導者研修を実施する意思があり、また、開発パートナーや民間企業等からの資金援助の可能性も含めて、様々な資金源を探す意向がある。しかし、DAISY図書製作者の育成数は、これらの外部のステークホルダー機関の方針やDAISY図書を継続的に製作していける体制があるかどうかといった外部条件にもよることから、いずれのC/Pにおいても明確なDAISY図書製作者の目標数は示されていない。

2 エジプト側が上位目標を達成するための活動計画及び実施体制

上位目標を達成するための本プロジェクト終了後のDAISY図書製作及びDAISY図書製作者の育成に関する活動計画及び実施体制について、各C/Pにエンドライン調査で聞き取りを行った。その概要は下記のとおりである。

2-1 MCIT

プロジェクト終了後、MCITは、DAISY図書製作者育成研修の実施とポータル運営を通じて、他団体のDAISY図書コレクションの充実を促進する役割を中心に置き、DAISY図書製作は、DAISY図書製作者育成研修の講師を担う指導員が、研修実施に必要な技術レベルを維持・向上のための位置づけとして、MCIT内文書のアクセシビリティ向上の取り組みと兼ねて、主として省内の文書のDAISY図書化の継続を計画している。

また、ToT参加者に対して、MCITの施設内に設置するDAISY製作キットの使用を奨励することにより、MCITに供与する14セットのDAISY製作キットの効果的な活用を図る意向である。

また、他団体が製作したDAISY図書については、データ提供があれば、タイムリーにポータルにアップロードし、アクセス可能とするなどポータルの管理運営に責任をもって実施する計画である。

2-2 NLAE

DAISY図書製作及びDAISY図書製作者の育成を推進したい意向はあるが、予算措置に困難を抱えており、これらの活動実施のための予算措置、フェーズ2の実施、もしくは外部からの資金提供などが実現しない限り、ToT参加者の個人的な努力に委ねざるを得ず、職員の職務としてこれらの活動を位置付けることは困難な状況である。しかしながら、NLAEの国際的な連携活動は活発であり、北欧諸国とのネットワーキングにより問題を解決できる可能性は十分にある。

2-3 BA

DAISY 図書製作については、引き続き、ToT 参加者に勤務時間中の DAISY 図書製作の奨励を継続するが、職務としての具体的な目標などは設ける計画はない。DAISY 図書製作者の育成については、フェーズ 2 の内容や時期等、不確定要素が多く現状における具体的な計画はない。

C/P への聞き取り結果を下表にまとめる。

表 4-2: 各 C/P の上位目標達成計画の達成に向けた計画

	MCIT	NLAE	BA	
DAISY 製作の組織内での位置づけ	指導者の技能レベルの維持のための製作継続を職務として位置づけ。	DAISY 製作スタッフの勤務時間延長について、JICA 及びその他の資金源の確保が実施の条件となる。	勤務時間を使用しての製作継続を奨励。	
DAISY 図書製作体制	ToT 修了者の製作継続を奨励 (ToT 参加者 9 名のうち 3 名が退職もしくは異動。今後新たに 4 名を育成予定)	ToT 参加者 14 名の自由意思に委ねる。	ToT 参加者 14 名に製作継続を奨励。	
DAISY 図書製作目標	なし	なし	なし	
ポータル運用計画	他団体の製作した DAISY 図書をタイムリーにポータルに公開。	現在稼働中の NLAE のポータルの運用を継続する。今後製作する DAISY 図書は MCIT のポータル上で公開する。	当面は製作した DAISY 図書は MCIT のポータル上で公開する。今後、著作権問題の解消後、独自のポータルを開発予定 (MCIT ポータルと連携)。	
DAISY 製作者育成計画	NAID として他団体と連携して積極的に研修を実施予定。	指導者育成については、JICA 及びその他の資金源が確保可能であることが条件となる。	不確定要素が多く具体的な実施計画はない。	
DAISY 製作キットの活用計画	DAISY 図書製作研修に利用。 常時 3 つの DAISY 製作ブースと DAISY 研修室で、DAISY 製作キットを、指導員及び研修に参加した他団体の人材が自由に利用できるようにする。	ToT に参加した個人の管理。	当面は、ToT に参加した個人の管理とするが、製作者が増加すれば共有を検討。	

出典：JICA プロジェクトチーム

3 エジプトへの提言

3-1 今ある資源の活用

本プロジェクトで実施した ToT では、5 日間の集中研修の後に、業務時間の 20% を DAISY 製作に割り当て、最低 1 冊の DAISY 図書を製作することを研修の修了要件とした。この要件を満たした人材が 42 人いて、それぞれの手に DAISY 製作キットがある。この 42 人の ToT 修了者と製作キットが、エジプトにおける今後の DAISY の展開の最も重要なインフラであり、これを維持・発展させることが、アクセシブルな EPUB 出版による Born Accessible な出版につながる上位目標達成の要である。そのためには、以下のことが推奨される。

- ・ ToT 修了者の製作技術の維持・発展のための最低限の DAISY 製作の継続（最低でも週 1 時間の DAISY 製作をしないと ToT で習得した製作技術を失う危険がある）
- ・ DAISY 図書製作者ネットワークによる重複製作の回避と製作した DAISY 図書の MCIT 等のポータルを経由した提供
- ・ 新規製作者の養成と DAISY 図書製作者ネットワークへの組織化

3-2 普及・啓発活動とボランティア育成

DAISY による初めての読書体験で、プリントディサビリティがある多くの人が、読書の楽しさと、読書を通じて知識および文化にアクセスすることの重要性を知る。エジプト関係者には、本プロジェクト終了後も、プリントディサビリティがある人々と、図書館、教育機関、著者、出版者、支援者および障害者支援団体に対するポータルの周知と利用促進を軸とする普及・啓発活動を継続し、それらの活動を通じてボランティアの DAISY 製作者を養成することを推奨する。

既に出版された図書をプリントディサビリティのある人々にタイムリーに DAISY 化して提供するためには、著作権法を一部制限するマラケシュ条約批准を含む著作権法の整備が必須であるが、権利制限をしても DAISY 製作に必要なテキストデータが入手できるわけではないので、何らかの方法でテキストデータを入手する必要がある。ローマ字表記可能な言語であれば OCR の認識率は極めて高いので、原本をスキャンしてテキストデータとして入手することは比較的容易であるが、現在のアラビア語 OCR は精度が低いため、信頼できるテキストの効率的な入手には著作権者の協力が必要である⁵⁴。

また、Born Accessible な EPUB 出版物は、女性の 30.8%、男性の 21.2%⁵⁵とされるエジプトの多くの非識字者を大きな市場に転換できる可能性がある。更に、エジプト政府はこの多くの非識字者が知識と情報のアクセスの改善によって、より質の高い開発の担い手になることに魅力を感じるはずである。

従って、今後の幅広い出版者（商業出版だけでなく政府等の公的な出版も含む）への DAISY を軸としたアクセシブルな出版についての広報・啓発活動においては、マラケシュ条約の批准を含む著作権法の改正の実現と共に Born Accessible な出版の意義を強調して、両者を一体のものとして推進することが上位目標達成に大きく貢献する。

⁵⁴ 著作権法を一部制限するマラケシュ条約批准を含む著作権法の整備が必須であるが、権利制限をしても DAISY 製作に必要なテキストデータが入手できるわけではないので、テキストデータの入手には著作権者の協力が必要。

⁵⁵ Egypt Human Development Report 2021- Development, a right for all: Egypt's pathways and prospects, the United Nations Development Programme, Ministry of Planning and Economic Development, Egypt

エジプト国内では、JICA 教育アドバイザーHaney Helal 教授⁵⁶の「Ratification of Marrakesh Treaty in Egypt, Contribution to Education sector - Food for thoughts (2019年8月20日 IFLA サテライト会合)」や2019年12月11日に開催した「エジプトにおける DAISY 国際フォーラム」での、当時の NLAE 議長の Hesham Azmi 氏の「全ての参加者が DAISY 大使として、自らの周囲で DAISY の発展に貢献していくべき」との講演、さらに2021年9月2日に開催した「ウェビナー：エジプトにおける DAISY のこれから」での当時の NCPD 事務局長の Dr. Ashraf Marei 及び国会議員の Dr. Nada Thabet による、多様なプリントディサビリティに対する DAISY の有用性とエジプトでの啓発の必要性等、著名人の DAISY 普及に関する積極的な発言が累積しており、これらの人々と効果的に連携した啓発活動が期待される。

日本の場合、DAISY 製作を実際に担っているのは全国のボランティアであり、主な製作拠点となっている各種の図書館は、ボランティアの養成と製作設備の提供、重複製作を避けるための調整を行い、完成した DAISY 図書のオンライン流通には国費が投入されている。つまり、日本ではボランティアが実際の製作を担っていて、利用者は10万タイトル近い DAISY 図書をオンラインで利用できる世界的に見ても最先端のサービスを実現している。また、2013年に成立したマラケシュ条約よりも高い水準の情報アクセスを保障するための著作権の一部制限を2010年に達成した日本の著作権法改正運動は、DAISY 製作ボランティアが中心になって推進し法改正を実現した。

なお、本プロジェクトにおいては、事業実施期間中に第2フェーズが採択されている。第2フェーズにおいては、エジプトのキーパーソンに対する KCCP を実施して、国からの十分な資源配分が無い中でも漸進的に DAISY の普及を実現してきた日本のボランティアを活用した DAISY の普及と、国際規格における日本語の不利を克服するために積重ねてきた技術開発、認知や知的に障害がある人々を含めたインクルーシブな防災における DAISY の活用等について、日本で交流と議論を深める機会を設けることが重要である。

3-3 国際ネットワーク

引き続き世界中のアラビア語話者で DAISY 図書を必要とする人々を視野に置いて、IFLA および DAISY コンソーシアムのネットワークを活用した交流と国際協力プロジェクトを推進することを推奨する。

欧米の図書館の中には、住民の母語に比例した蔵書構成とすることを法律による義務あるいは自主的な目標としている図書館が少なからずあり、障害がある読者もそれらの蔵書にアクセスする権利が保障されることから、アラビア語の DAISY 図書の需要は少なくない。また、それらの国ではインド等の国外にアウトソースして TTS で読む DAISY 図書を製作することも珍しくない。

北欧諸国とのネットワーキング会議においては、北欧に住むアラビア語を母語とする市民に提供するアラビア語の DAISY 図書の製作を、DAISY 図書の製作能力のあるエジプトの C/P もしくは、その他の製作団体に資金を提供して委託し、成果物を双方で使うという国際協力の可能性を議論した。かつて、北欧5ヵ国で分担して25冊のアラビア語の児童書の録音版を製作した実績もあり、ある程度の資金はあるがアラビア語 DAISY 図書の作り手が得にくい北欧諸国と、作り手は養成され基本的な製作設備もあるが製作資金に課題を抱えるエジプトとの連携により双方の課題が解決される可能性がここにある。

⁵⁶ カイロ大学、元高等教育大臣

特に国立図書館間では、書誌情報の交換を始め、IFLA を介した様々な協力の機会があり、さらに IFLA には途上国の図書館振興に関するスキームもあるので、これらを活用して NLAE の課題を解決すると共に、諸外国でのアラビア語の DAISY 図書コレクションのニーズにも応える取り組みを推進すべきである。

3-4 研究開発

DAISY の技術は、出版者が Born Accessible な出版ができるようにするために、DAISY コンソーシアムが中心になって技術開発を進めた結果、DAISY で実現した文書アクセシビリティの技術は、ほぼ完全に EPUB でも実現できるようになり、EPUB Accessibility 1.0 は 2021 年 2 月に ISO/IEC 規格となった。

EPUB の標準規格には、言語に固有の部分は含まれないので、日本語やアラビア語のように著しくローマ字表記の言語圏の言語と異なる表記のある言語圏では、その言語に固有のアクセシブルな表記の方法を標準規格と矛盾しないように開発して付加する必要がある。

日本の経験では、正確な読み書きの継承を目的とする教科書・教材や、医理工系の文書の場合には特に正確性を厳格に担保することが求められている。文書のアクセシビリティ要件の一つである読み上げを例にとると、地名の「日本橋」を「にほんばし」と読めば東京の地名であり、「にっぽんばし」と読めば大阪の地名になる。文脈で読みが異なり、場所も変わってしまう。このような場合は TTS で正確に読むのは非常にむずかしく、最終的には人間の判断と編集作業が必要になる。

このような高度な人間の判断を必要とする編集作業もやがて AI に支援された TTS の進化で必要なくなる可能性があるが、少なくとも向こう数年間は、アラビア語固有の技術的問題を規格レベルで解決するための日本との共同研究開発を進めることを推奨する。この枠組みの中で、NLAE はアラブ図書館・情報連盟 (Arab Federation for Libraries and Information: AFLI) やイスラム世界教育科学文化機関 (Islamic World Educational, Scientific and Cultural Organization: ICESCO) などの地域団体との協力の可能性を提案している。

4 プロジェクト終了後のモニタリング

本プロジェクトで育成された DAISY 製作者の DAISY 製作技術は、DAISY 出版物を継続的に製作することで維持される。また、製作された DAISY 出版物はタイムリーに MCIT のポータルにアップロードすることになっている。そのため、ポータルにある DAISY 出版物数をモニタリングすることによって、プロジェクトの成果とその発展を確認することが重要である。

今後、第 2 フェーズが実施される予定であることから、次期フェーズにより同ポータルの内容につきモニタリングを継続することを提案する。

別添資料

別添 1：討議議事録（R/D）

別添 2：合同調整委員会（JCC）議事録

別添 3：PDM（全てのバージョン）

別添 4：モニタリングシート

別添 5：技術協力作成資料リスト

別添 1: 討議議事録 (R/D)

RECORD OF DISCUSSIONS

FOR

**PROJECT FOR IMPROVEMENT OF
INCLUSION OF PERSONS WITH DISABILITIES
THROUGH IMPROVEMENT OF INFORMATION ACCESSIBILITY**

AGREED UPON BETWEEN

AUTHORITIES CONCERNED

OF

ARAB REPUBLIC OF EGYPT

AND

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

Dated 3. Dec. 2018

Based on the minutes of meetings on the Detailed Planning Survey for the "Project for Improvement of Inclusion of Persons with Disabilities through Improvement of Information Accessibility" (hereinafter referred to as "the Project") signed on October 11, 2018 among the Ministry of Communication and Information Technology of Arab Republic of Egypt, National Library and Archive of Egypt, and Bibliotheca Alexandrina (hereinafter referred to as "the Counterparts") and the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), JICA held a series of discussions with the Counterparts and relevant organizations to develop a detailed plan of the Project.

The purpose of this record of discussions (hereinafter referred to as "the R/D") is to establish a mutual agreement for its implementation by all parties and to agree on the detailed plan of the Project as described in the followings and the Annexes, which will be implemented within the framework of the Agreement on Technical Cooperation signed on June 15th, 1983 (hereinafter referred to as "the Agreement") and the Note Verbales exchanged on 30 August, 2018 between the Government of Japan and the Government of Arab Republic of Egypt.

The Counterparts will be responsible for the implementation of the Project in cooperation with JICA, coordinate with other relevant organizations and ensure that the self-reliant operation of the Project is sustained during and after the implementation period in order to contribute toward social and economic development of Egypt.

All parties also agreed that the Project will be implemented in accordance with the "Basic Principles for Technical Cooperation" published in December 2016 (hereinafter referred to as "the BP"), unless other arrangements are agreed in the R/D.

The R/D is delivered at Cairo as of the day and year first above written. The R/D may be amended by a minutes of meetings between all parties, except the plan of operation to be modified in monitoring sheets. The minutes of meetings will be signed by authorized persons of each side who may be different from the signers of the R/D.

For
JAPAN INTERNATIONAL
COOPERATION AGENCY

Mr. Yoshitumi OMURA
Chief Representative
JICA Egypt Office

For
MINISTRY OF COMMUNICATION AND
INFORMATION TECHNOLOGY

Dr. Abeer F. Shakweer
Minister's Advisor for Social Responsibility
Service

<Witnesses>
NATIONAL LIBRARY AND ARCHIVES OF
EGYPT

Dr. Hesham Mahmoud Azmi
Chairman

BIBLIOTHECA ALEXANDRINA

Dr. Mostafa Elfeki
Director of the Library

- Annex 1 Main Points Discussed
- Annex 2 Project Design Matrix (PDM)
- Annex 3 Plan of Operation (PO)
- Annex 4 Implementation Structure
- Annex 5 List of Proposed Members of Joint Coordinating Committee
- Annex 6 Concept of DAISY Books Distribution System
- Annex 7 Basic Principles for Technical Cooperation

MAIN POINTS DISCUSSED

1. Background of the Project

In line with the initiative of the Government of Egypt to promote participation of Persons with Disabilities, such as 2018 as the year of Persons with Disabilities and "The General Framework of Ministry of Communication and Information Technology's Strategy to Empower Persons with Disabilities" launched in 2015, "Project for Improvement of Inclusion of Persons with Disabilities through Improvement of Information Accessibility" requested by the Government of Egypt was approved by the Government of Japan. While Ministry of Communication and Information Technology (hereinafter referred to as "MCIT") is the main counterpart of the Project, National Library and Archive of Egypt (hereinafter referred to as "NL") and Bibliotheca Alexandrina (hereinafter referred to as "BA") were identified as key stakeholders to implement the Project.

2. Utilization of DAISY technology

The Counterparts and JICA agreed to utilize Digital Accessible Information System (hereinafter, referred to as "DAISY") technology in the Project to improve information accessibility for people with Print Disabilities in Egypt. This decision has been made considering the definition of "Communication" in the article 2 of the United Nations Convention on the Rights of Persons with Disabilities; "includes languages, display of text, Braille, tactile communication, large print, accessible multimedia as well as written, audio, plain-language, human-reader and augmentative and alternative modes, means and formats of communication, including accessible information and communication technology".

3. Beneficiaries of the Project

In line with the definition of beneficiary persons defined at the article 3 of the Marrakesh Treaty, the Counterparts and JICA agreed that beneficiary persons of the Project are a person who:

- (a) is blind;
- (b) has a visual impairment or a perceptual or reading disability which cannot be improved to give visual function substantially equivalent to that of a person who has no such impairment or disability and so is unable to read printed works to substantially the same degree as a person without an impairment or disability; or
- (c) is otherwise unable, through physical disability, to hold or manipulate a book or to focus or move the eyes to the extent that would be normally acceptable for reading; regardless of any other disabilities.

4. Duration of the Project

The duration of the Project will be 2 years from the day starting preparation for the first training for DAISY books production.

5. DAISY Books Working Groups

The Counterparts and JICA agreed to establish DAISY Books Working Groups in Cairo and in Alexandria. National Library will be a focal point of the Working Group in Cairo, and Bibliotheca Alexandrina will be a focal point of the Working Group in Alexandria. Participants of the Training of Trainers (ToT) for Production of DAISY Books will be members of Working Groups and Working Groups will function as coordination bodies of DAISY books production.

6. Production of DAISY books

The Counterparts and JICA agreed that DAISY books will be produced at the National Library and Bibliotheca Alexandrina by participants of ToT. To produce DAISY books, the text data is essential. The Counterparts will be responsible for necessary arrangement with publishers of the books to be used. When the Counterparts decide to produce DAISY textbooks for basic education, MCIT will be responsible for necessary arrangement with Ministry of Education.

7. Equipment to Produce DAISY books

JICA will provide DAISY books production kits to conduct ToTs.

8. Training for DAISY books producers

The Counterparts and JICA agreed that the trainings for DAISY books production will be implemented as indicated in the below table.

Requirement for the participants is possession of strong wills to keep producing DAISY books, English language skills and basic PC skills, i.e. knowledge on file management, MS WORD, MS EXCEL, image-editing software (such as Paint), Internet Explorer and so forth.

	Timing (Tentative)	Trainers	Trainees
1	June-July 2019	3 (JICA Experts)	6 (MCIT, NL, BA)
2	November-December 2019	2 (JICA Experts) +6 (participants of the first training)	12 (to be decided at JCC)
3	June-July 2020	2 (JICA Experts) +6 (participants of the first training) +6 (successful participant of the second training)	24 (to be decided at JCC)

9. Preparation for the Training for DAISY books producers

The Counterparts and JICA agreed that MCIT will coordinate with NL and BA to select at least 42 suitable books for the trainings based on the advice from JICA experts, and send them to JICA Egypt Office by the end of February 2019. These books will be made into DAISY multimedia format through the trainings planned in the Project.

10. Dissemination of DAISY books

The Counterparts and JICA agreed that all DAISY books produced will be disseminated to eligible users through the portal developed by MCIT and other tools.

11. Advocacy

JICA encourages the Counterparts to follow the scope of advocacy including targets and issues indicated in the below table.

Target	Issue
Relevant Ministries and the governmental bodies	- Ratification of Marrakesh Treaty - Revision of copy rights law - Capacity Development of Teachers on teaching children with Print Disabilities
Wider public including persons with Print Disabilities and their family.	- Awareness about Print Disabilities - Usefulness of DAISY
Publishers	- Towards born accessible publication

12. Public Relations

The Counterparts and JICA tentatively agreed on disseminating press release on the

2

following occasions.

- December 2018: Announcement of signing of the R/D
- March 2019: Kick off meeting
- August 2019: Satellite Meeting on Equitable library services for persons with print disabilities in Arabic Speaking Countries in Alexandria
- December 2019: Introduction of DAISY books on the occasion of International Day of Persons with Disabilities.
- December 2020: Introduction of DAISY books on the occasion of International Day of Persons with Disabilities.

13. Physical access of JICA experts to counterpart organizations

MCIT will facilitate physical access of JICA experts to relevant governmental organizations to implement the Project in timely manner.

14. Work space for JICA experts

MCIT, National Library and Bibliotheca Alexandrina will provide work space (desk/table for 3-4 people) for JICA experts as well as necessary office facility throughout the project period.

15. Undertaking of MCIT - Section 4.2 of the BP

As JICA does not plan to deploy long-term experts, Section 4.2 is not applicable for the Project.

16. Undertaking of MCIT - Section 4.3 of the BP

The Counterparts and JICA agreed to modify the Section 4.3 of the BP as following;

The Counterparts and the government of the recipient country will take necessary measures to provide services, facilities, and local-cost bearing listed hereto at its own expenses.

- (1) The Counterparts delegate responsibility to adequate officials to implement the project;
- (2) Suitable office space for the Project Team with necessary equipment (as specified in 14 of Main Points Discussed);
- (3) Text data of books to be used for the training for DAISY books production (as specified in 9 of Main Points Discussed)

17. Environmental and Social Considerations

With regard to the Section 10.1 of the BP, the Project is likely to have minimal adverse impact on the environment and society under the 'JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations (April 2010)'.

Project Design Matrix (PDM)

Project Title: Project for Improvement of Inclusion of Persons with Disabilities through Improvement of Information Accessibility
Implementing Agency: Ministry of Communication and Information Technology (MCIT)
Target Region: Cairo and Alexandria
Target Group: National Library (NL), Bibliotheca Alexandrina (BA) and other relevant organizations concerning DAISY books production and dissemination
Project Period: (24 months)
Indirect Beneficiaries: Persons with Print Disability

Version: 0
Date: October 3, 2018

Narrative Summary		Objectively Verifiable Indicators("2)	Means of Verification	Important Assumptions
Overall Goal	The DAISY books are available in various fields such as education, employment, health, tourism and disaster risk reduction.	<ul style="list-style-type: none"> The titles of DAISY books produced The XX number of DAISY books distribution The XX (tentatively 2) number of DAISY book producer increased per year per instructor 	<ul style="list-style-type: none"> A bibliographic record and downloading log of DAISY books via the MCIT portal 	
Project Purpose	Human and technical resource are put in place to produce and disseminate DAISY books in Arabic and other languages.	<ul style="list-style-type: none"> A bibliographic record of the DAISY titles is available on the internet # of activities among participants of advocacy activities are increased before and after the project intervention. 	<ul style="list-style-type: none"> Record of the Project A portal of the DAISY books 	<ul style="list-style-type: none"> The Egyptian government continues its effort for the inclusion of persons with disabilities regarding access to information. Trained 42 DAISY book producers continue to produce DAISY books. Continuous implementation of awareness raising activities on the advantages of DAISY books by MCIT PCs and softwares are updated when necessary.
Outputs	1. The core group of DAISY books production and DAISY books production staff are trained.	<ul style="list-style-type: none"> 42 DAISY books production staff are trained. A portal is in place to upload/download the DAISY books produced 	<ul style="list-style-type: none"> Project documents 	<ul style="list-style-type: none"> Continuous commitment of MCIT on the DAISY book production and dissemination and availability of the budget for the Project. Continuous cooperation from BA and NL
	2. The benefits of DAISY books are widely understood.	<ul style="list-style-type: none"> Knowledge on DAISY books and related issues is increased among participants of advocacy activities. 	<ul style="list-style-type: none"> Questionnaire 	
Activities		Input		Important Assumptions
1-1. Organize a kick off meeting		Japanese Side	Egyptian Side	<ul style="list-style-type: none"> Necessary budget for the Project is allocated. Selected participants allocate their enough time to participate in ToTs. Electronic materials for DAISY books production training are provided in text format
1-2. Develop a human development plan.				
1-3. Source necessary equipment for trainings				

<p>1-4. Select the core group members of the DAISY books production</p> <p>1-5. Develop training materials on DAISY books production</p> <p>1-6. Conduct a training of trainers (ToTs) for the core group members (the activity includes the production of DAISY books and preparation of a bibliographic record of the DAISY titles)</p> <p>1-7. Discuss with expected users with disabilities to collect their ideas about DAISY books</p> <p>1-8. Revise, if necessary, training materials according to the lessons learnt</p> <p>1-9. Monitor the distribution of the DAISY books titles produced</p> <p>1-10. Select the members of the 2nd batch ToTs</p> <p>1-11. Prepare necessary equipment for the ToTs</p> <p>1-12. Conduct the 2nd ToTs by the core group members</p> <p>1-13. Select 6 instructors from the trainees of the 2nd batch for the 3rd ToTs (Core group member 6 + 6 = Instructors for the 3rd ToT)</p> <p>1-14. Select the members of the 3rd batch</p> <p>1-15. Conduct the 3rd ToTs by the 12 instructors</p> <p>1-16. Promote networking of DAISY books producers</p>	<p>1. Experts</p> <ul style="list-style-type: none"> - Chief Advisor - Coordinator/Advocacy - DAISY book production - Advocacy <p>2. Trainings</p> <ul style="list-style-type: none"> - <Egypt> - Multimedia DAISY Books Production - <Japan> - Development of advocacy plan - <Third Country> - Capacity development on the DAISY books production and dissemination <p>3. Provision of equipment</p> <ul style="list-style-type: none"> - Softwares of DAISY books production - Laptop PCs - External Solid State Drivers - Microphone headsets <p>4. Activity Cost</p> <ul style="list-style-type: none"> - Daily subsidy allowance, accommodation expense and travel expense for participants of trainings implemented by the Project. 	<p>1. Personnel</p> <ul style="list-style-type: none"> - Project Director - Project Manager - ToTs candidates <p>2. Suitable work space (desk/table for 3-4 people) for JICA experts as well as necessary office facility throughout the project period</p> <p>3. Text data of books to be used for the training for DAISY books production</p>	<p>Pre-Condition</p> <ul style="list-style-type: none"> - Required protocol/permission to implement the project are arranged for JICA experts
<p>2-1. Develop an advocacy action plan.</p> <p>2-2. Develop necessary materials for advocacy activities.</p> <p>2-3. Prepare questionnaires for participants of the planned advocacy activities (to collect baseline information for the indicator)</p> <p>2-4. Conduct advocacy activities in collaboration with persons with disabilities and their families</p> <p>2-5. Document experience/lessons learnt of advocacy activities including the data analysis of the questionnaire</p> <p>2-6. Conduct a survey targeting the participants of the implemented advocacy activities to see if the knowledge of the participants has been increased and new activities have been initiated.</p>			

* Overall goal is a long term vision to be expected to achieve after 3 to 5 years after the completion of the project.

Tentative Plan of Operation

Project Title: Project for Improvement of Inclusion of Persons with Disabilities through Improvement of Information Accessibility

2020-2021-2022-2023-2024-2025-2026-2027-2028-2029-2030-2031-2032-2033-2034-2035-2036-2037-2038-2039-2040-2041-2042-2043-2044-2045-2046-2047-2048-2049-2050-2051-2052-2053-2054-2055-2056-2057-2058-2059-2060-2061-2062-2063-2064-2065-2066-2067-2068-2069-2070-2071-2072-2073-2074-2075-2076-2077-2078-2079-2080-2081-2082-2083-2084-2085-2086-2087-2088-2089-2090-2091-2092-2093-2094-2095-2096-2097-2098-2099-2100-2101-2102-2103-2104-2105-2106-2107-2108-2109-2110-2111-2112-2113-2114-2115-2116-2117-2118-2119-2120-2121-2122-2123-2124-2125-2126-2127-2128-2129-2130-2131-2132-2133-2134-2135-2136-2137-2138-2139-2140-2141-2142-2143-2144-2145-2146-2147-2148-2149-2150-2151-2152-2153-2154-2155-2156-2157-2158-2159-2160-2161-2162-2163-2164-2165-2166-2167-2168-2169-2170-2171-2172-2173-2174-2175-2176-2177-2178-2179-2180-2181-2182-2183-2184-2185-2186-2187-2188-2189-2190-2191-2192-2193-2194-2195-2196-2197-2198-2199-2200-2201-2202-2203-2204-2205-2206-2207-2208-2209-2210-2211-2212-2213-2214-2215-2216-2217-2218-2219-2220-2221-2222-2223-2224-2225-2226-2227-2228-2229-2230-2231-2232-2233-2234-2235-2236-2237-2238-2239-2240-2241-2242-2243-2244-2245-2246-2247-2248-2249-2250-2251-2252-2253-2254-2255-2256-2257-2258-2259-2260-2261-2262-2263-2264-2265-2266-2267-2268-2269-2270-2271-2272-2273-2274-2275-2276-2277-2278-2279-2280-2281-2282-2283-2284-2285-2286-2287-2288-2289-2290-2291-2292-2293-2294-2295-2296-2297-2298-2299-2300-2301-2302-2303-2304-2305-2306-2307-2308-2309-2310-2311-2312-2313-2314-2315-2316-2317-2318-2319-2320-2321-2322-2323-2324-2325-2326-2327-2328-2329-2330-2331-2332-2333-2334-2335-2336-2337-2338-2339-2340-2341-2342-2343-2344-2345-2346-2347-2348-2349-2350-2351-2352-2353-2354-2355-2356-2357-2358-2359-2360-2361-2362-2363-2364-2365-2366-2367-2368-2369-2370-2371-2372-2373-2374-2375-2376-2377-2378-2379-2380-2381-2382-2383-2384-2385-2386-2387-2388-2389-2390-2391-2392-2393-2394-2395-2396-2397-2398-2399-2400-2401-2402-2403-2404-2405-2406-2407-2408-2409-2410-2411-2412-2413-2414-2415-2416-2417-2418-2419-2420-2421-2422-2423-2424-2425-2426-2427-2428-2429-2430-2431-2432-2433-2434-2435-2436-2437-2438-2439-2440-2441-2442-2443-2444-2445-2446-2447-2448-2449-2450-2451-2452-2453-2454-2455-2456-2457-2458-2459-2460-2461-2462-2463-2464-2465-2466-2467-2468-2469-2470-2471-2472-2473-2474-2475-2476-2477-2478-2479-2480-2481-2482-2483-2484-2485-2486-2487-2488-2489-2490-2491-2492-2493-2494-2495-2496-2497-2498-2499-2500-2501-2502-2503-2504-2505-2506-2507-2508-2509-2510-2511-2512-2513-2514-2515-2516-2517-2518-2519-2520-2521-2522-2523-2524-2525-2526-2527-2528-2529-2530-2531-2532-2533-2534-2535-2536-2537-2538-2539-2540-2541-2542-2543-2544-2545-2546-2547-2548-2549-2550-2551-2552-2553-2554-2555-2556-2557-2558-2559-2560-2561-2562-2563-2564-2565-2566-2567-2568-2569-2570-2571-2572-2573-2574-2575-2576-2577-2578-2579-2580-2581-2582-2583-2584-2585-2586-2587-2588-2589-2590-2591-2592-2593-2594-2595-2596-2597-2598-2599-2600-2601-2602-2603-2604-2605-2606-2607-2608-2609-2610-2611-2612-2613-2614-2615-2616-2617-2618-2619-2620-2621-2622-2623-2624-2625-2626-2627-2628-2629-2630-2631-2632-2633-2634-2635-2636-2637-2638-2639-2640-2641-2642-2643-2644-2645-2646-2647-2648-2649-2650-2651-2652-2653-2654-2655-2656-2657-2658-2659-2660-2661-2662-2663-2664-2665-2666-2667-2668-2669-2670-2671-2672-2673-2674-2675-2676-2677-2678-2679-2680-2681-2682-2683-2684-2685-2686-2687-2688-2689-2690-2691-2692-2693-2694-2695-2696-2697-2698-2699-2700-2701-2702-2703-2704-2705-2706-2707-2708-2709-2710-2711-2712-2713-2714-2715-2716-2717-2718-2719-2720-2721-2722-2723-2724-2725-2726-2727-2728-2729-2730-2731-2732-2733-2734-2735-2736-2737-2738-2739-2740-2741-2742-2743-2744-2745-2746-2747-2748-2749-2750-2751-2752-2753-2754-2755-2756-2757-2758-2759-2760-2761-2762-2763-2764-2765-2766-2767-2768-2769-2770-2771-2772-2773-2774-2775-2776-2777-2778-2779-2780-2781-2782-2783-2784-2785-2786-2787-2788-2789-2790-2791-2792-2793-2794-2795-2796-2797-2798-2799-2800-2801-2802-2803-2804-2805-2806-2807-2808-2809-2810-2811-2812-2813-2814-2815-2816-2817-2818-2819-2820-2821-2822-2823-2824-2825-2826-2827-2828-2829-2830-2831-2832-2833-2834-2835-2836-2837-2838-2839-2840-2841-2842-2843-2844-2845-2846-2847-2848-2849-2850-2851-2852-2853-2854-2855-2856-2857-2858-2859-2860-2861-2862-2863-2864-2865-2866-2867-2868-2869-2870-2871-2872-2873-2874-2875-2876-2877-2878-2879-2880-2881-2882-2883-2884-2885-2886-2887-2888-2889-2890-2891-2892-2893-2894-2895-2896-2897-2898-2899-2900-2901-2902-2903-2904-2905-2906-2907-2908-2909-2910-2911-2912-2913-2914-2915-2916-2917-2918-2919-2920-2921-2922-2923-2924-2925-2926-2927-2928-2929-2930-2931-2932-2933-2934-2935-2936-2937-2938-2939-2940-2941-2942-2943-2944-2945-2946-2947-2948-2949-2950-2951-2952-2953-2954-2955-2956-2957-2958-2959-2960-2961-2962-2963-2964-2965-2966-2967-2968-2969-2970-2971-2972-2973-2974-2975-2976-2977-2978-2979-2980-2981-2982-2983-2984-2985-2986-2987-2988-2989-2990-2991-2992-2993-2994-2995-2996-2997-2998-2999-3000-3001-3002-3003-3004-3005-3006-3007-3008-3009-3010-3011-3012-3013-3014-3015-3016-3017-3018-3019-3020-3021-3022-3023-3024-3025-3026-3027-3028-3029-3030-3031-3032-3033-3034-3035-3036-3037-3038-3039-3040-3041-3042-3043-3044-3045-3046-3047-3048-3049-3050-3051-3052-3053-3054-3055-3056-3057-3058-3059-3060-3061-3062-3063-3064-3065-3066-3067-3068-3069-3070-3071-3072-3073-3074-3075-3076-3077-3078-3079-3080-3081-3082-3083-3084-3085-3086-3087-3088-3089-3090-3091-3092-3093-3094-3095-3096-3097-3098-3099-3100-3101-3102-3103-3104-3105-3106-3107-3108-3109-3110-3111-3112-3113-3114-3115-3116-3117-3118-3119-3120-3121-3122-3123-3124-3125-3126-3127-3128-3129-3130-3131-3132-3133-3134-3135-3136-3137-3138-3139-3140-3141-3142-3143-3144-3145-3146-3147-3148-3149-3150-3151-3152-3153-3154-3155-3156-3157-3158-3159-3160-3161-3162-3163-3164-3165-3166-3167-3168-3169-3170-3171-3172-3173-3174-3175-3176-3177-3178-3179-3180-3181-3182-3183-3184-3185-3186-3187-3188-3189-3190-3191-3192-3193-3194-3195-3196-3197-3198-3199-3200-3201-3202-3203-3204-3205-3206-3207-3208-3209-3210-3211-3212-3213-3214-3215-3216-3217-3218-3219-3220-3221-3222-3223-3224-3225-3226-3227-3228-3229-3230-3231-3232-3233-3234-3235-3236-3237-3238-3239-3240-3241-3242-3243-3244-3245-3246-3247-3248-3249-3250-3251-3252-3253-3254-3255-3256-3257-3258-3259-3260-3261-3262-3263-3264-3265-3266-3267-3268-3269-3270-3271-3272-3273-3274-3275-3276-3277-3278-3279-3280-3281-3282-3283-3284-3285-3286-3287-3288-3289-3290-3291-3292-3293-3294-3295-3296-3297-3298-3299-3300-3301-3302-3303-3304-3305-3306-3307-3308-3309-3310-3311-3312-3313-3314-3315-3316-3317-3318-3319-3320-3321-3322-3323-3324-3325-3326-3327-3328-3329-3330-3331-3332-3333-3334-3335-3336-3337-3338-3339-3340-3341-3342-3343-3344-3345-3346-3347-3348-3349-3350-3351-3352-3353-3354-3355-3356-3357-3358-3359-3360-3361-3362-3363-3364-3365-3366-3367-3368-3369-3370-3371-3372-3373-3374-3375-3376-3377-3378-3379-3380-3381-3382-3383-3384-3385-3386-3387-3388-3389-3390-3391-3392-3393-3394-3395-3396-3397-3398-3399-3400-3401-3402-3403-3404-3405-3406-3407-3408-3409-3410-3411-3412-3413-3414-3415-3416-3417-3418-3419-3420-3421-3422-3423-3424-3425-3426-3427-3428-3429-3430-3431-3432-3433-3434-3435-3436-3437-3438-3439-3440-3441-3442-3443-3444-3445-3446-3447-3448-3449-3450-3451-3452-3453-3454-3455-3456-3457-3458-3459-3460-3461-3462-3463-3464-3465-3466-3467-3468-3469-3470-3471-3472-3473-3474-3475-3476-3477-3478-3479-3480-3481-3482-3483-3484-3485-3486-3487-3488-3489-3490-3491-3492-3493-3494-3495-3496-3497-3498-3499-3500-3501-3502-3503-3504-3505-3506-3507-3508-3509-3510-3511-3512-3513-3514-3515-3516-3517-3518-3519-3520-3521-3522-3523-3524-3525-3526-3527-3528-3529-3530-3531-3532-3533-3534-3535-3536-3537-3538-3539-3540-3541-3542-3543-3544-3545-3546-3547-3548-3549-3550-3551-3552-3553-3554-3555-3556-3557-3558-3559-3560-3561-3562-3563-3564-3565-3566-3567-3568-3569-3570-3571-3572-3573-3574-3575-3576-3577-3578-3579-3580-3581-3582-3583-3584-3585-3586-3587-3588-3589-3590-3591-3592-3593-3594-3595-3596-3597-3598-3599-3600-3601-3602-3603-3604-3605-3606-3607-3608-3609-3610-3611-3612-3613-3614-3615-3616-3617-3618-3619-3620-3621-3622-3623-3624-3625-3626-3627-3628-3629-3630-3631-3632-3633-3634-3635-3636-3637-3638-3639-3640-3641-3642-3643-3644-3645-3646-3647-3648-3649-3650-3651-3652-3653-3654-3655-3656-3657-3658-3659-3660-3661-3662-3663-3664-3665-3666-3667-3668-3669-3670-3671-3672-3673-3674-3675-3676-3677-3678-3679-3680-3681-3682-3683-3684-3685-3686-3687-3688-3689-3690-3691-3692-3693-3694-3695-3696-3697-3698-3699-3700-3701-3702-3703-3704-3705-3706-3707-3708-3709-3710-3711-3712-3713-3714-3715-3716-3717-3718-3719-3720-3721-3722-3723-3724-3725-3726-3727-3728-3729-3730-3731-3732-3733-3734-3735-3736-3737-3738-3739-3740-3741-3742-3743-3744-3745-3746-3747-3748-3749-3750-3751-3752-3753-3754-3755-3756-3757-3758-3759-3760-3761-3762-3763-3764-3765-3766-3767-3768-3769-3770-3771-3772-3773-3774-3775-3776-3777-3778-3779-3780-3781-3782-3783-3784-3785-3786-3787-3788-3789-3790-3791-3792-3793-3794-3795-3796-3797-3798-3799-3800-3801-3802-3803-3804-3805-3806-3807-3808-3809-3810-3811-3812-3813-3814-3815-3816-3817-3818-3819-3820-3821-3822-3823-3824-3825-3826-3827-3828-3829-3830-3831-3832-3833-3834-3835-3836-3837-3838-3839-3840-3841-3842-3843-3844-3845-3846-3847-3848-3849-3850-3851-3852-3853-3854-3855-3856-3857-3858-3859-3860-3861-3862-3863-3864-3865-3866-3867-3868-3869-3870-3871-3872-3873-3874-3875-3876-3877-3878-3879-3880-3881-3882-3883-3884-3885-3886-3887-3888-3889-3890-3891-3892-3893-3894-3895-3896-3897-3898-3899-3900-3901-3902-3903-3904-3905-3906-3907-3908-3909-3910-3911-3912-3913-3914-3915-3916-3917-3918-3919-3920-3921-3922-3923-3924-3925-3926-3927-3928-3929-3930-3931-3932-3933-3934-3935-3936-3937-3938-3939-3940-3941-3942-3943-3944-3945-3946-3947-3948-3949-3950-3951-3952-3953-3954-3955-3956-3957-3958-3959-3960-3961-3962-3963-3964-3965-3966-3967-3968-3969-3970-3971-3972-3973-3974-3975-3976-3977-3978-3979-3980-3981-3982-3983-3984-3985-3986-3987-3988-3989-3990-3991-3992-3993-3994-3995-3996-3997-3998-3999-4000-4001-4002-4003-4004-4005-4006-4007-4008-4009-4010-4011-4012-4013-4014-4015-4016-4017-4018-4019-4020-4021-4022-4023-4024-4025-4026-4027-4028-4029-4030-4031-4032-4033-4034-4035-4036-4037-4038-4039-4040-4041-4042-4043-4044-4045-4046-4047-4048-4049-4050-4051-4052-4053-4054-4055-4056-4057-4058-4059-4060-4061-4062-4063-4064-4065-4066-4067-4068-4069-4070-4071-4072-4073-4074-4075-4076-4077-4078-4079-4080-4081-4082-4083-4084-4085-4086-4087-4088-4089-4090-4091-4092-4093-4094-4095-4096-4097-4098-4099-4100-4101-4102-4103-4104-4105-4106-4107-4108-4109-4110-4111-4112-4113-4114-4115-4116-4117-4118-4119-4120-4121-4122-4123-4124-4125-4126-4127-4128-4129-4130-4131-4132-4133-4134-4135-4136-4137-4138-4139-4140-4141-4142-4143-4144-4145-4146-4147-4148-4149-4150-4151-4152-4153-4154-4155-4156-4157-4158-4159-4160-4161-4162-4163-4164-4165-4166-4167-4168-4169-4170-4171-4172-4173-4174-4175-4176-4177-4178-4179-4180-4181-4182-4183-4184-4185-4186-4187-4188-4189-4190-4191-4192-4193-4194-4195-4196-4197-4198-4199-4200-4201-4202-4203-4204-4205-4206-4207-4208-4209-4210-4211-4212-4213-4214-4215-4216-4217-4218-4219-4220-4221-4222-4223-4224-4225-4226-4227-4228-4229-4230-4231-4232-4233-4234-4235-4236-4237-4238-4239-4240-4241-4242-4243-4244-4245-4246-4247-4248-4249-4250-4251-4252-4253-4254-4255-4256-4257-4258-4259-4260-4261-4262-4263-4264-4265-4266-4267-4268-4269-4270-4271-4272-4273-4274-4275-4276-4277-4278-4279-4280-4281-4282-4283-4284-4285-4286-4287-4288-4289-4290-4291-4292-4293-4294-4295-4296-4297-4298-4299-4300-4301-4302-4303-4304-4305-4306-4307-4308-4309-4310-4311-4312-4313-4314-4315-4316-4317-4318-4319-4320-4321-4322-4323-4324-4325-4326-4327-4328-4329-4330-4331-4332-4333-4334-4335-4336-4337-4338-4339-4340-4341-4342-4343-4344-4345-4346-4347-4348-4349-4350-4351-4352-4353-4354-4355-4356-4357-4358-4359-4360-4361-4362-4363-4364-4365-4366-4367-4368-4369-4370-4371-4372-4373-4374-4375-4376-4377-4378-4379-4380-4381-4382-4383-4384-4385-4386-4387-4388-4389-4390-4391-4392-4393-4394-4395-4396-4397-4398-4399-4400-4401-4402-4403-4404-4405-4406-4407-4408-4409-4410-4411-4412-4413-4414-4415-4416-4417-4418-4419-4420-4421-4422-4423-4424-4425-4426-4427-4428-4429-4430-4431-4432-4433-4434-4435-4436-4437-4438-4439-4440-4441-4442-4443-4444-4445-4446-4447-4448-4449-4450-4451-4452-4453-4454-4455-4456-4457-4458-4459-4460-4461-4462-4463-4464-4465-4466-4467-4468-4469-4470-4471-4472-4473-4474-4475-4476-4477-4478-4479-4480-4481-4482-4483-4484-4485-4486-4487-4488-4489-4490-4491-4492-4493-4494																
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

Tentative Plan of Operation
Project Title: Project for Improvement of Inclusion of Persons with Disabilities through Improvement of Information Accessibility

	Year	1st Year (2019)				2nd Year (2020)				3rd Year (2021)				Remarks	Issue	Solution
		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV			
1-10. Select the members of the 2nd batch ToTs	Plan															
	Actual															
1-11. Prepare necessary equipment for the ToTs	Plan															
	Actual															
1-12. Conduct the 2nd ToTs by the core group members	Plan															
	Actual															
1-13. Select 6 instructors from the trainees of the 2nd batch for the 3rd ToTs (Core group member 6 + 6 = Instructors for the 3rd ToT)	Plan															
	Actual															
1-14. Select the members of the 3rd batch	Plan															
	Actual															
1-15. Conduct the 3rd ToTs by the 12 instructors	Plan															
	Actual															
1-16. Promote networking of DAISY books producers	Plan															
	Actual															
2. The benefits of DAISY books are widely understood.	Plan															
	Actual															
2-1. Develop an advocacy action plan.	Plan															
	Actual															
2-2. Develop necessary materials for advocacy activities.	Plan															
	Actual															
2-3. Prepare questionnaires for participants of the planned advocacy activities (to collect baseline information for the indicator)	Plan															
	Actual															
2-4. Conduct advocacy activities in collaboration with persons with disabilities and their families	Plan															
	Actual															
2-5. Document experience/lessons learnt of advocacy activities including the data analysis of the questionnaire	Plan															
	Actual															
2-6. Conduct a survey targeting the participants of the implemented advocacy activities to see if the knowledge of the participants has been increased and new activities have been initiated.	Plan															
	Actual															
Schedule of Monitoring	Year	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	Remarks	Issue	Solution
Monitoring & Report																
Joint Coordinating Committee	Plan															
	Actual															
Develop detailed PO	Plan															
	Actual															
Report																
Monitoring Sheet	Plan															
	Actual															
Final Report	Plan															
	Actual															

Project Organization Chart

Joint Coordinating Committee (JCC)

<Japanese side>

■ JICA Experts

■ Representative
from JICA Egypt
Office

Observer

■ Representative of
Japanese Embassy in
Egypt

<Egyptian side>

Ministry of Communication and Information Technology (MCIT)

■ Project Director: Minister's Advisor for Social Responsibility and Services

■ Project Manager: Innovation Manager, Minister's Advisor Office for Social Responsibility and Services

DAISY books Working Group
in Cairo

■ Representative of
National Library and
Archives of Egypt

■ DAISY books producers
in Cairo

DAISY books Working Group
in Alexandria

■ Representative of
Bibliotheca Alexandrina

■ DAISY books producers
in Alexandria

Observer

■ Board
members of
NCDA

(■ MOE)
■ Other
relevant
ministries

ANNEX 5

List of Proposed Members of Joint Coordination Committee for Project for Improvement of Inclusion of Persons with Disabilities through Improvement of Information Accessibility

1. Functions

The Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to "JCC") is established for the effective implementation of the Project. The functions of JCC are as follows;

- (1) To review the overall progress and achievement of the Project
- (2) To review and exchange opinions on major issues that arise during the implementation of the Project
- (3) To conduct monitoring and evaluation of the Project

2. Composition of the members

Chairperson:

- Project Director (PD): Minister's Advisor for Social Responsibility and Services, MCIT

Members:

<Egyptian side>

- Project Manager (PM): Innovation Manager, Minister's Advisors Office for Social Responsibility and Services, MCIT
- Representative of National Library and Archive of Egypt
- Representative of Bibliotheca Alexandrina

<Japanese side>

- JICA experts of the Project
- Chief Representative of JICA Egypt Office

Observers

<Egyptian side>

- Board members of National Council of Disabilities Affairs
- Representative of Ministry of Education
- Other relevant organizations if necessary

<Japanese side>

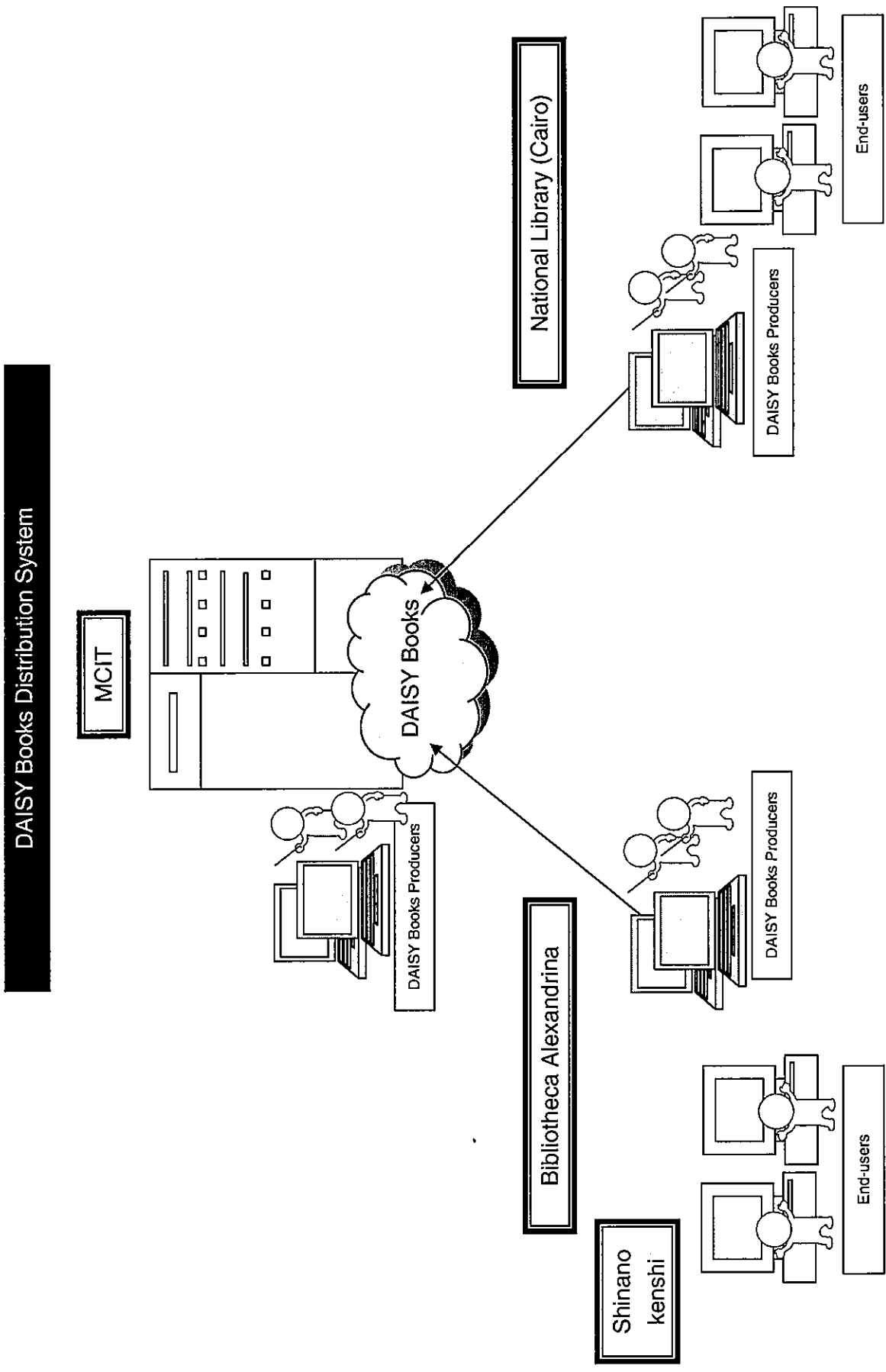
- Representative of the Embassy of Japan in Egypt

Note:

Egyptian side and JICA can invite other personnel as attendee if necessary.

Chairperson has an authority to invite other personnel as observer if necessary.

JCC shall meet at least twice a year and whenever necessity arises.



BASIC PRINCIPLES
FOR
TECHNICAL COOPERATION

December, 2016

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)

Basic Principles for Technical Cooperation

Table of Contents

I. Introduction	1
Section 1.1 Introduction	1
Section 1.2 Inconsistency with the R/D	1
II. Definition of Technical Cooperation	1
Section 2.1 Technical Cooperation	1
Section 2.2 Technical Cooperation Project	1
Section 2.3 Technical Cooperation for Development Planning	1
III. Implementation Structure	2
Section 3.1 Project Team	2
Section 3.2 Roles of Project Team Members	2
Section 3.3 Joint Coordinating Committee	2
IV. Undertakings of the Counterpart	3
Section 4.1 Grant of Privileges, Exemptions, Benefits to JICA, the members of JICA missions and the JICA experts	3
Section 4.2 Provision of Conveniences for the members of JICA missions and the JICA experts	3
Section 4.3 Provision of Services, Facilities and Local-Cost Bearing for the Technical Cooperation	3
V. Reporting	4
Section 5.1 Reporting for Technical Cooperation Project	4
Section 5.2 Reporting for Technical Cooperation for Development Planning	4
VI. Monitoring and Evaluation	4
Section 6.1 Regular Monitoring and Evaluation for Technical Cooperation Project	4
Section 6.2 Ex-post Evaluations	4
VII. Ownership of Equipment, Machinery, and Materials	5
Section 7.1 Equipment, Machinery, and Materials provided by JICA	5
Section 7.2 Equipment, Machinery, and Materials owned by JICA	5
VIII. Construction of Pilot Facility	5
Section 8.1 Ownership of Pilot Facility	5
Section 8.2 Safety Management of Construction	5
IX. Public Relations	5
Section 9.1 Promotion of Public Support	5
X. Environmental and Social Considerations	6
Section 10.1 Policy	6
XI. Miscellaneous	6
Section 11.1 Misconduct	6
Section 11.2 Mutual Consultation	6

Basic Principles for Technical Cooperation

I. Introduction

Section 1.1 Introduction

The purpose of the Basic Principles for Technical Cooperation (hereinafter referred to as "the BP") is to set forth the basic principles generally applicable to Technical Cooperation Project and Technical Cooperation for Development Planning implemented jointly by the Japan International Cooperation Agency and the implementing agency of the recipient country (hereinafter referred to as "Technical Cooperation"), which consists of the record of discussions (hereinafter referred to as "the R/D") agreed upon between the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and the implementing agency of the recipient country (hereinafter referred to as "the Counterpart").

Section 1.2 Inconsistency with the R/D

If any contents of the BP is inconsistent with any contents of the R/D, such contents of the R/D will prevail.

II. Definition of Technical Cooperation

Section 2.1 Technical Cooperation

Technical Cooperation supports human resource development, research and development, technology dissemination and the development of institutional frameworks essential for the development of economies and societies in the recipient country.

Section 2.2 Technical Cooperation Project

Technical Cooperation Project refers to a systematic and comprehensive project implementation to attain certain outcomes within certain time period, in which input includes, but not limited to, the dispatch of members of JICA missions and/or JICA experts, acceptance of training participants, and/or provision of equipment from JICA.

Section 2.3 Technical Cooperation for Development Planning

In Technical Cooperation for Development Planning, JICA conducts necessary studies to support the recipient country to formulate policies and master plans, by dispatching members of JICA missions. Based on the results of this cooperation, the recipient country is expected to formulate plans for sector/regional development or rehabilitation/reconstruction by utilizing the results, to implement plans by raising funds from international organizations and others, and/or to carry out the recommended organizational/institutional reforms and other proposed activities.

III. Implementation Structure

Section 3.1 Project Team

Project team will work together for implementing Technical Cooperation. Its members include, but not limited to, Project Director, Project Manager, personnel from the Counterpart, members of JICA missions, JICA experts, and/or other members to be determined by both parties (hereinafter referred to as "the Project Team"). Details are described in the R/D.

Section 3.2 Roles of Project Team Members

General roles of members of the Project Team are as follows. Roles for other members will be determined by both parties for specific Technical Cooperation.

(1) Project Director

The project director, appointed from the Counterpart, will be responsible for the overall implementation and coordination of Technical Cooperation.

(2) Project Manager

The project manager, appointed from the Counterpart, will manage Technical Cooperation on a regular basis, and be responsible for administrative and technical matters of Technical Cooperation.

(3) Members of JICA Missions

The members of JICA missions will conduct studies regarding Technical Cooperation in cooperation with the Counterpart.

(4) JICA Experts

The JICA experts will give necessary technical guidance, advice and recommendations to the Counterpart on any matters pertaining to the implementation of Technical Cooperation.

Section 3.3 Joint Coordinating Committee

Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "JCC") will be established in order to manage Technical Cooperation, and its proposed members are listed in the R/D. JCC will be held at least once a year and whenever deems it necessary and plays vital roles for implementing Technical Cooperation as follows.

(1) JCC for Technical Cooperation Project

Main tasks are 1) to review the progress, 2) to revise the overall plan when necessary, 3) to approve an annual work plan, 4) to suggest modifications of the framework (including the Project Design Matrix (hereinafter referred to as "PDM") and the Plan of Operation (hereinafter referred to as "PO") for Technical Cooperation Project), 5) to conduct evaluation of Technical Cooperation Project, and 6) to exchange opinions on major issues that arise during the implementation of Technical Cooperation Project.

(2) JCC for Technical Cooperation for Development Planning

Main tasks are to discuss on the progress and major issues that arise during the implementation of Technical Cooperation for Development Planning.

IV. Undertakings of the Counterpart

Section 4.1 Grant of Privileges, Exemptions, Benefits to JICA, the members of JICA missions and the JICA experts

The Counterpart and the government of the recipient country will take necessary measures to grant JICA, the members of JICA missions and the JICA experts privileges, exemptions and benefits in accordance with international agreements concluded between the government of Japan and the government of the recipient country.

Section 4.2 Provision of Conveniences for the members of JICA missions and the JICA experts

The Counterpart and the government of the recipient country will take necessary measures to provide conveniences listed hereto at its own expense;

- (1) Information as well as support in acquiring suitable furnished accommodation for the JICA experts and their families;
- (2) Information as well as support in obtaining medical service for the members of JICA missions, the JICA experts and their families; and
- (3) Credentials or identification cards as necessary to the members of JICA missions and the JICA experts.

Section 4.3 Provision of Services, Facilities and Local-Cost Bearing for the Technical Cooperation

The Counterpart and the government of the recipient country will take necessary measures to provide services, facilities and local-cost bearing listed hereto at its own expense;

- (1) Services of the Counterpart's personnel;
- (2) Suitable office space for the Project Team with necessary equipment;
- (3) Running expenses necessary for the implementation of Technical Cooperation;
- (4) Expenses necessary for transportation within the recipient country of the equipment provided by JICA for Technical Cooperation Project as well as for the installation, operation and maintenance thereof;
- (5) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of Technical Cooperation other than those prepared and provided by JICA;
- (6) Travel allowances for the Project Team for official travel within the recipient country; and
- (7) Available data (including maps and photographs) and information

related to Technical Cooperation.

V. Reporting

Section 5.1 Reporting for Technical Cooperation Project

The Project Team will prepare the Project Completion Report three (3) months before the completion of Technical Cooperation Project.

Section 5.2 Reporting for Technical Cooperation for Development Planning

The Project Team will prepare and submit the following reports to the Counterpart. Details, such as the language of the reports, will be determined based on mutual consultation.

- (1) Inception Report at the commencement of the work period in the recipient country
- (2) Interim Report at the middle of the work period in the recipient country
- (3) Draft Final Report at the end of the work period in the recipient country
- (4) Final Report within one (1) month after the receipt of the comments on the Draft Final Report

VI. Monitoring and Evaluation

Section 6.1 Regular Monitoring and Evaluation for Technical Cooperation Project

The Project Team will jointly and regularly monitor the progress of Technical Cooperation Project through the monitoring sheets based on PDM and PO every six (6) months, while JCC will conduct overall evaluations of Technical Cooperation Project.

Section 6.2 Ex-post Evaluations

JICA will conduct the following ex-post evaluations and surveys to verify sustainability and impact of Technical Cooperation and draw lessons. The Counterpart will make best efforts to provide necessary support for them.

- (1) Ex-post evaluation three (3) years after the completion of Technical Cooperation, in principle
- (2) Follow-up surveys, as necessary

VII. Ownership of Equipment, Machinery, and Materials

Section 7.1 Equipment, Machinery, and Materials provided by JICA

The equipment, machinery and materials provided by JICA will become the property of the Counterpart or competent authorities of the recipient country upon being delivered to the Counterpart or the authorities.

Section 7.2 Equipment, Machinery, and Materials owned by JICA

The equipment, machinery and materials prepared by JICA for the performance of duties of the members of JICA missions and the JICA experts will remain the property of JICA unless a separate arrangement is agreed between JICA and the Counterpart or competent authorities of the recipient country.

VIII. Construction of Pilot Facility

Section 8.1 Ownership of Pilot Facility

When a pilot facility is constructed in Technical Cooperation, based on a separate arrangement to be agreed between the relevant parties, JICA will provide necessary services for constructing the pilot facility for Technical Cooperation throughout the implementation period. Upon the completion of the construction, the pilot facility will become a property of the Counterpart or competent authorities of the recipient country. The Counterpart or the authorities will ensure proper and effective operation and maintenance of the pilot facility.

Section 8.2 Safety Management of Construction

JICA and the Counterpart will assure safety management of the construction in accordance with 'the Guidance for the Management of Safety for Construction Works in Japanese ODA Projects'.

IX. Public Relations

Section 9.1 Promotion of Public Support

For the purpose of promoting support for Technical Cooperation, JICA and the Counterpart will take appropriate measures to make Technical Cooperation widely known to the people of Japan and the recipient country.

X. Environmental and Social Considerations

Section 10.1 Policy

JICA and the Counterpart abide by 'JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations (April, 2010)' in order to ensure that appropriate considerations will be made for the environmental and social impacts of Technical Cooperation.

XI. Miscellaneous

Section 11.1 Misconduct

All related personnel and organizations will keep the highest ethics and prevent any corrupt or fraudulent practices in the implementation of Technical Cooperation.

If JICA or the Counterpart receives information related to suspected corrupt or fraudulent practices in the implementation of Technical Cooperation, JICA and the Counterpart will cooperate to take appropriate measures against such practices and provide the other party with such information as the other party may reasonably request, including information related to any concerned personnel of the contractor, consultant, government and/or public organizations.

JICA and the Counterpart will not, unfairly or unfavorably treat the person and/or organization which provided the information related to suspected corrupt or fraudulent practices in the implementation of Technical Cooperation.

Section 11.2 Mutual Consultation

JICA and the Counterpart will consult each other whenever any issues arise in the course of implementation of Technical Cooperation.

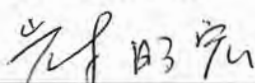
別添 2: 合同調整委員会（JCC）議事録

**Minutes of the Meeting of
1st Joint Coordination Committee Meeting (JCC)
For
The PROJECT FOR IMPROVEMENT OF
INCLUSION OF PERSONS WITH DISABILITIES
THROUGH IMPROVEMENT OF INFORMATION ACCESSIBILITY**

**5 September 2019 10:30 – 13:00
Venue: JICA Egypt Office, Cairo**

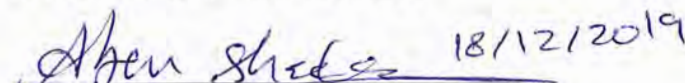
Cairo, 18/12, 2019

For
JAPAN INTERNATIONAL
COOPERATION AGENCY



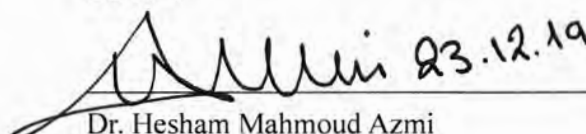
Mr. Akihiro Iwasaki
Senior representative
JICA Egypt Office

For
MINISTRY OF COMMUNICATION AND
INFORMATION TECHNOLOGY



Dr. Abeer F. Shakweer
Minister's Advisor for Social Responsibility
Service

For
NATIONAL LIBRARY AND ARCHIVES OF
EGYPT



Dr. Hesham Mahmoud Azmi
Chairman

For
BIBLIOTHECA ALEXANDRINA



Prof. Amgad Elgohary
Head, Library Sector

Dr. Abeer Shakweer, Minister Advisor at the Ministry of Communication and Information Technology (MCIT) opened the meeting and welcomed the presence of the committee members. The agenda discussed at the first JCC and its summary are as follows.

1. Self-introduction of attendee

All the attendees made self-introduction (refer to the Table1: The List of the Attendees).

2. Approval of work plan

2.1. Objectively verifiable indicators of overall goal & project purpose

Attachment 1: Verifiable Indicators of Overall Goal and Project Purpose

- Mr. Hiroshi Kawamura explained the definition of the overall goal (Long-term effects expected from project implementation, 3 years after the project completion) and project purpose (Outcome expected to be achieved by project implementation at the end of the project) and emphasized that sustainability is the key factor to determine the verifiable indicators of the overall goal. He also pointed that further discussions would be necessary to determine the indicators that reflect Egyptian situations.
- Mr. Kawamura indicated the maximum DAISY book production to be achieved by 42 DAISY production units for 3 years after the Project completion could be roughly calculated by $8 \text{ (hours/day)} \times 200 \text{ (days/year)} / 100 \text{ (hours/book)} \times 42 \text{ (units)} \times 3 \text{ (years)} = 2016 \text{ (books)}$ and then realistic number could be obtained by multiplying some conversion factor to reflect the reality in Egypt.
- The Egyptian Committee members shared realities of work situations in Egypt and also difficulties to have an indicator by the number of books because the size of books will vary largely.
- Mr. Kawamura mentioned that more information on DAISY production could be obtained through ToTs.
- All JCC members agreed to continue discussions until the 2nd JCC.

Decision:

- The Verifiable Indicators of Project Purpose were agreed as suggested in Attachment 1:
[Verifiable Indicators of Project Purpose]
 - A bibliographic record of the DAISY titles is available on the internet
 - 9 activities (3 activities/counterpart) among participants of advocacy activities are increased after the project intervention.
- Verifiable Indicators of Overall Goal will be further discussed and finalized at the 2nd JCC.

2.2. Approval of Work Plan [Attachment 2: Work plan (final draft)]

- Dr. Abeer recalled that the draft work plan was explained in the kick off meeting in March 2019 and requested JICA Project team to explain the changes after the meeting.
- Ms. Ai Kawamura explained that the changes made after March 2019 were as follows:
 - “Knowledge Exchange Program” was changed to “Knowledge Co-Creation Program (KCCP),”
 - Regarding agenda items of JCC, “evaluation” was changed to “review,”
 - Regarding the venue of the WLIC 2020, Auckland was changed to Dublin and dates were changed into “15 August 2020 - 22 August 2020” reflecting the latest information provided at IFLA WLIC in Athens.

- Activity 1-9 was changed as follows to make the activity clearer:
Before: Monitor the distribution of the DAISY books titles produced as well as planned to be produced on the MCIT portal
After: Monitor and advice on the development status of a portal that allows viewing of a list of DAISY book titles that can be distributed online and planned to be produced

Decision:

- The work plan was approved except for the objectively verifiable indicators of the overall goal.
- The latest version of soft copy will be shared by the JICA Project team to the JCC Members.

3. Review of completed activities

3.1. Knowledge Co-Creation Program (KCCP) in Japan

Attachment 3: Knowledge Co-Creation Program (KCCP) in Japan

- KCCP was reviewed based on the Attachment 3 and confirmed the completion of the activity.

3.2. ToT1

Attachment 4: ToT 1

- ToT1 was reviewed based on the Attachment 4. The JICA Project Team reported that 4 DAISY books were submitted by the 6 participants of ToT1 and currently under reviewing by the JICA experts. The team also shared that hopefully all the books would be completed by the end of September.
- Mr. Go Maruichi requested the Egyptian counterparts to provide text embedded PDF by referring to the fact that one of the ToT 1 participants needed to type all the texts manually as the book did not have text.
- Ms. Kawamura reported the JICA Project Team's observation that some of the ToT 1 participants needed to use private time to produce DAISY and requested the Egyptian counterparts to consider to reduce the work load of the ToT participants during the training period so that the participants could concentrate on the training and allocate enough time to produce DAISY (20% of the work hours for 2 months) .

3.3. IFLA Satellite meeting

Attachment 5: IFLA Satellite Meeting

- IFLA Satellite meeting was reviewed based on the Attachment 5 and confirmed the completion of the activity. Dr. Hesham Azmi emphasized the success and achievement of the meeting by mentioning especially the diversity of the presentations.

3.4. IFLA WLIC meeting in Athens

Attachment 6: IFLA WLIC meeting in Athens

- IFLA WLIC meeting was reviewed based on the Attachment 6 and confirmed the completion of the activity.
- Dr. Abeer mentioned that it was the first participation in WLIC for her and she obtained the useful knowledge and know-how in order to make the MCIT's new library accessible including A.I. technologies.
- Dr. Hesham mentioned that satellite meetings in 2020 should be within the Ireland and UK islands and Egypt would be out of the boundary to host a satellite meeting.
- Mr. Kawamura added that there would be a satellite meeting focusing on refugees and also an open session on refugees at the main WLIC in Dublin to be coordinated by the IFLA Library Services to People with Special Needs Section. Therefore, there would be needs for speakers from Arab region.

3.5. Reading experience workshop for potential users

Attachment 7: Reading experience workshop for potential users

- Reading experience workshop was reviewed based on the Attachment 7 as a part of the advocacy activities in collaboration with BA.

4. Selection policy of 42 titles for DAISY book production

Attachment 8: Current status and selection policy of 42 titles

4.1. Current status of title collection

- Ms. Kawamura explained the current status of title collection based on the Attachment 8.
- Regarding the 12 stories of the Ministry of Education, Dr. Abeer mentioned that the copy right clearance was made by the Ministry and would confirm if MCIT already received the data or not. She added that MCIT will share the data as well as the presentation used for the training at MCIT hopefully by 17 October 2019.

4.2. Current status of ratification of Marrakesh Treaty

- Dr. Hesham mentioned he would share the updates on this topic after communicating with the key person of the Ministry of Culture.

4.3. Selection policy

- Ms. Kawamura explained the current status of title collection based on the Attachment 8.
- The JICA Project Team requested the Egyptian counterparts to continue to cooperate to collect more materials for ToTs as well as advocacy activities.

Decision:

- It was agreed by the JCC members that the ToT 2 will be conducted with the materials available by 17 October 2019.

5. Nomination of ToT 2 participants

5.1. Outline of ToT 2

Attachment 9: Outline of ToT 2

- Ms. Kawamura explained the Outline of the ToT 2 based on Attachment 9.

5.2. Venue selection (Alexandria or Cairo)

- Ms. Kawamura explained the pros and cons of the candidate venues (Alexandria or Cairo).
- Mr. Hajime Yamazaki requested the Committee members as well as the JICA Project Team to consider gender balance of the participants for nomination (especially for accommodation arrangement).

5.3. Nomination of participants (12 participants, 4 participants/Counterpart)

Decision

- It was agreed to conduct the ToT 2 as follows:
 - Date: 3 to 7 November 2019 (intensive training)
 - Venue: the Training Room of the National Library and Archives of Egypt (with reasonable WiFi connection to be confirmed)
 - Nomination:

- ✧ Each counterpart can select up to 4 participants either within the organization or external entities. In case less than total 12 participants are nominated by 3rd October 2019, the JICA Project Team will nominate from other entities to fill the vacancy.
- ✧ Each counterpart needs to submit the list of Nominees by 3rd October 2019.
- It is desirable for ToT 1 participants (core members) to participate in the ToT 2 as mentors to experience to train others. Partial participation is also possible.

6. Handover policy and procedures:

Attachment 10: Handover policy and procedures

Decision

- Adding JICA Egypt Office as the signer of the certificate
- The JICA Project Team will send the revised version of the certificate to each counterpart by email.
- Counterparts will go through internal necessary procedures to be required for signing.
- The signature is better to be made by 7 November 2019 (by completion of intensive training of ToT 2)

7. Setting up working group in Cairo and Alexandria:

- Mr. Kawamura explained the concept of the Working Group and added that the focal points need equipment such as scanner and there is a plan of hiring a new local staff in Cairo.

8. Action plan for the rest of the year 2019:

Attachment 11: Action plan for the rest of the year 2019

- Mr. Kawamura shared the discuss items for further continuous discussion among the Counterparts and the JICA Project Team.

Discussion on the sustainability

- Dr. Hesham raised the difference of volunteering culture in Japan and Egypt.
- Mr. Yamazaki questioned if the JICA Project Team could support the collaboration between the counterparts and NGOs in terms of hiring volunteers etc.
- Mr. Kawamura answered that mobilizing available resources was included in the Project activities.
- Also discussions on the followings were made:
 - Characteristics of Arabic: challenges of narration (difference between classic Arabic and spoken Arabic)
 - Website portal: differentiation of user group in terms of access management, counting mechanism of downloaded books
 - Volunteers: how to draw commitment from volunteers, collaboration with universities, volunteer culture nourishment and strategies (employment approach, certificate approach, learning from Japanese approach)
 - Collaboration with NGOs: linking to people who have skills of proper narration

Decision:

- It was basically agreed to organize advocacy activities in Alexandria on 8 and 9 and Cairo on 11 and 12 December 2019.
- Sustainable DAISY book production plan will be finalized at 2nd JCC. Prior to the 2nd JCC, organize

meetings to discuss this topic among the Counterparts and JICA Project Team.

9. Others

9.1. Monitoring sheet

Attachment 12: Monitoring sheet (based on the original PDM attached with RD)

- Dr. Abeer summarized the completed activities and confirmed that the basically all the activities are progressed in accordance with the planned schedule.

Decision:

- JICA Project Team will send the revised soft copy to the Committee members by email for reviewing.

9.2. Revision of Project Design Matrix (PDM)

Attachment 13-1: MINUTES OF MEETINGS revision of PDM (draft)

Attachment 13-2: Revised PDM (draft)

- Ms. Kawamura explained that the revision of the PDM needed to be agreed by all the Counterparts as well as JICA and the minutes of meeting need to be made among the relevant entities.

Decision:

- Regarding "Target Group" of the revised PDM, add "as implementing agencies" after NL and BA.
- The JICA Project Team will send the revised version of Attachment 13-1, 13-2 to the Committee members by the end of September by email for reviewing. Comments by the Committee members will be reflected to the draft.
- The final approval will be made at 2nd JCC in December 2019 and to be signed by the Counterparts.

Table 1: List of the Attendees

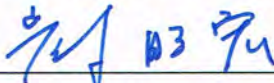
Name	Title	Organization
Abeer Farouk Shakweer	Minister Advisor	Ministry of Communication and Information Technology (MCIT)
Hesham Azmi	Chairperson	National Library and Archives of Egypt (NL)
Howayda Kamel	Director of International Relations	National Library and Archives of Egypt (NL)
Amgad Elgohary	Head	Library Sector at Bibliotheca Alexandrina (BA)
Akihiro Iwasaki	Senior representative	JICA Egypt Office
Hajime Yamazaki	Representative	JICA Egypt Office
Reham Mohamed Soliman	Program officer	JICA Egypt Office
Hiroshi Kawamura	Chief advisor, Information accessibility	JICA Project Team
Ai Kawamura	Sub-leader, Coordination/Advocacy	JICA Project Team
Go Maruichi	DAISY Book Production (Software)	JICA Project Team

**Minutes of the Meeting of
2nd Joint Coordination Committee Meeting (JCC)
For
THE PROJECT FOR IMPROVEMENT OF
INCLUSION OF PERSONS WITH DISABILITIES
THROUGH IMPROVEMENT OF INFORMATION ACCESSIBILITY**

**18 December 2019 12:00 – 14:00
Venue: JICA Egypt Office, Cairo**


Cairo, _____

For
JAPAN INTERNATIONAL
COOPERATION AGENCY



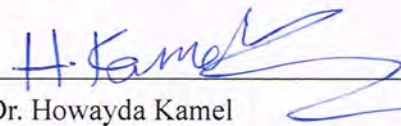
Mr. IWASAKI Akihiro
Senior representative
JICA Egypt Office

For
MINISTRY OF COMMUNICATION AND
INFORMATION TECHNOLOGY



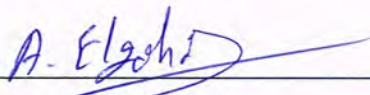
Dr. Abeer F. Shakweer
Minister's Advisor for Social Responsibility
Service

For
THE NATIONAL LIBRARY AND ARCHIVES
OF EGYPT



Dr. Howayda Kamel
Director General of Public and International
Relations

For
BIBLIOTHECA ALEXANDRINA



Prof. Amgad Elgohary
Head, Library Sector

Mr. Hiroshi Kawamura, the Chief Advisor of the Project opened the meeting and welcomed the presence of the committee members. Mr. IWASAKI Akihiro, the Senior Representative of JICA Egypt Office made opening remarks. Dr. Abeer Shakweer, the Minister Advisor at the Ministry of Communication and Information Technology (MCIT) chaired the meeting and proceeded the agenda as follows:

1. Self-introduction of attendee

New attendees made self-introduction (refer to the Table1: The List of the Attendees).

2. Review of the activities

2.1. ToT2

Attachment 1: ToT2

- Mr. Go Maruichi (JICA Project Team) reported the Outline of the ToT 2 based on Attachment 1 that 12 participants (4 participants/each counterpart) completed the 5-day intensive training in November and one participant completed a DAISY book production. He added participants enthusiastically participated the training.

2.2. Status of DAISY book production and the distribution portal

Attachment 2: Status of DAISY book production and source materials collection

- Mr. Maruichi and Mr. Ahmed Elsharckawy (JICA Project Team) reported the status of DAISY book production and introduced two public domain websites as sources of materials for DAISY book production, and one more website (Hindawy.org) that contain many titles in public domain. These text can be used for DAISY book production.
- Dr. Abeer reported the preparation of the portal at the new NAID (National Academy of Information Technology) in May 2020 and temporary portal to be set up shortly on the Tamkeen Website.
- Dr. Fady Ismaeel (MCIT) reported that he was working on the 12 textbook contents to be available for DAISY book production from the Ministry of Education.

2.3. Setting up DAISY book production/distribution focal point in Cairo

Attachment 3: DAISY book production/dissemination focal point in Cairo

- Ms. Ai Kawamura (JICA Project Team) reported that DAISY book production / dissemination focal point in Cairo was established in November at the Library for the Blind of NLAE. She also added that by making use of the advantage of being a part of public space in a library, awareness raising and outreach activities can be effectively conducted.
- Dr. Abeer expressed an idea to set up a production / dissemination focal point at new NAID.

2.4. Advocacy events to commemorate International Day of Persons with Disabilities

Attachment 4: Advocacy Events

- Ms. Ai Kawamura and Mr. Masashi Teshima (JICA Project Team) reported the outline of the 4 advocacy events conducted in December based on the Attachment 4. It was reported that total number of the participants were more than 250 people and covered various stakeholders including children with reading difficulties, their family members, NGOs, and Egyptian government decision makers. It was added that all the event had enthusiastic and passionate participation and received good feedback from the participants.
- Regarding the media coverage, Ms. Reham Soliman (JICA Egypt Office) offered to provide links of the online newspapers on the events.

2.5. Dissemination of the Project information to other JICA projects

- Ms. Ai Kawamura reported that JICA Project Team exchanged ideas with a Japan Overseas Cooperation Volunteers (JOCV) at Village of Hope and also with Red Crescent which expressed their interest in collaboration with JICA in terms of DAISY technology transfer.

Dr. Abeer concluded all the activities were approved.

3. Action plans of 2020

Attachment 5: Action plan of 2020

- Ms. Ai Kawamura explained the Action plan in 2020 based on the attachment 5.
- Regarding MCIT portal, Dr. Abeer clarified that official launch of the MCIT's new NAID portal will be in May 2020, however, prior to the official launch, Tamkeen Website which is MCIT's accessible website will be available as a tentative portal for DAISY book distribution in about 2 weeks.
- Regarding ToT3, Dr. Amgad Elgohary (BA) requested to organize the intensive training in BA in middle of June 2019, which was agreed by the Committee members.
- Regarding the 3rd JCC, Dr. Amgad requested to organize the 3rd JCC at the beginning of the September 2020.
- Regarding the Advocacy event in 2020, Mr. Hiroshi Kawamura mentioned that Dr. Ashraf Marie, Secretary General of the National Council of People with Disabilities (NCPD) expressed their intention to participate in the advocacy event in 2020 as one of the hosts. Because the Chairman of the NCPD is the Prime Minister, if the event becomes the joint event with NCPD, the event is expected to become more formal and highly prestigious event. Dr. Abeer agreed to the idea and added that the Advocacy Event to commemorate International Day of Persons with Disabilities should be higher level next year by inviting the Prime Minister. Dr. Howayda Kamel (NLAE) pointed that the advocacy event in 2020 should avoid Wednesday which is the day of Cabinet meeting.
- Regarding report submission, Mr. HIGUCHI Hajime (JICA Egypt Office) requested to consult with JICA HQ to decide the submission timing of Monitoring sheet ver 3. Ms. Ai Kawamura replied to confirm it with JICA HQs.

Decision

- The following items were decided:
 - MCIT portal will be officially launched at the MCIT's new NAID Portal (targeting in May 2020). Until the official launch of the new NAID Portal, MCIT will make Tamkeen Website available for DAISY book distribution (expecting in 2 weeks).
 - Deadline for nomination of the names of ToT3 participants (or at least number of participants) is 31 March 2020 (each CP is allocated maximum 8 participants).
 - Deadline for nomination of the delegates of IFLA WLIC in Dublin (each CP is allocated 2 delegates to nominate) is 31 March 2020.
 - ToT3 in Alexandria will be conducted in middle of June 2020.
 - 3rd JCC meeting will be held on the first week of September 2020.
 - Advocacy event to commemorate International Day of Persons with Disabilities to be hosted by the 4 Project Partners in December 2020 will be one event between 1 and 10 December (avoiding Wednesdays).

4. Outline of ToT3 / Selection of ToT3 participants

Attachment 6: Outline of ToT3

- Ms. Ai Kawamura explained the Outline of ToT 3 based on the Attachment 6.
- Regarding the handover of the equipment, Dr. Abeer pointed that the MCIT as the governmental agency, it is possible to transfer the ownership of the equipment which is handed over from JICA to other governmental agencies, however, it is impossible to do the same to NGOs. Dr. Howayda and Mr. Amr Hegazy (BA) also shared the same concerns.
- Dr. Abeer mentioned the possibility of handover of the equipment to one of the CPs and then transfer to another CP if any of the CPs have extreme difficulty in getting legal clearance.

Decision

- Allocation of DAISY Production Kits (equipment) to be used for ToT3 will be decided after receiving the nomination by 3 CPs on 31 March 2020. Participants from organizations other than 3 Egyptian CPs will be confirmed with consideration of probability of sustainable production including the hand over procedures.

5. How to establish sustainable DAISY book production mechanism in Egypt

Attachment 7: Verifiable Indicators of Overall Goal and Project Purpose

- Mr. Hiroshi Kawamura explained the advantage of the National Library as the legal depository library which receives copies of all publications in Egypt including in electronic format which might be useful for nation-wide shared production in DAISY format. He added as long as they are read within NLAE premises, copyright will not be an issue even before the ratification of the Marrakesh Treaty.
- Dr. Howayda explained that all the books need to be deposit at NLAE with 10 printed books and 1 PDF on CD-ROM.
- Mr. Hiroshi Kawamura also mentioned that NLAE may need support from other organizations to produce DAISY books to serve at NLAE for readers with print disabilities because it requires a lot of production resources.
- Dr. Abeer mentioned it will be useful if other entities can support including arranging student volunteers.
- Dr. Amgad mentioned that Taha Hussein Library of BA is open to any user including dyslexic users as well as NGOs. He pointed Mr. Amr as the contact person for inquiry on the services provided by BA.

After completion of all the Agenda, the Chair closed the meeting.

Table 1: List of the Attendees

Name	Title	Organization
Dr. Abeer Farouk Shakweer	Minister Advisor	Ministry of Communication and Information Technology (MCIT)
Dr. Noha Rabie	Social Responsibility and Services Manager, Advisor Office to the Minister of Communication and Information Technology for Social Responsibility and Services,	MCIT
Dr. Fady Ismaeel	Innovation and Entrepreneurship Manager	MCIT
Dr. Howayda Kamel	Director General of Public and International Relations	The National Library and Archives of Egypt (NLAE)
Prof. Amgad Elgohary	Head	Library Sector at Bibliotheca Alexandrina (BA)
Amr Hegazy	Acting as Head of Special Need Services Section, Library Sector	BA
IWASAKI Akihiro	Senior representative	JICA Egypt Office
HIGUCHI Hajime	Representative	JICA Egypt Office
Reham Mohamed Soliman	Program officer	JICA Egypt Office
Hiroshi Kawamura	Chief advisor, Information accessibility	JICA Project Team
Ai Kawamura	Sub-leader, Coordination/Advocacy	JICA Project Team
Go Maruichi	DAISY Book Production (Software)	JICA Project Team
Masashi Teshima	Coordination/Advocacy	JICA Project Team
Ahmed Elsharckawy	Assistant / Innovation & Outreach	JICA Project Team

Minutes of Meeting of
The 3rd Joint Coordination Committee (JCC) Meeting
For
THE PROJECT FOR IMPROVEMENT OF
INCLUSION OF PERSONS WITH DISABILITIES
THROUGH IMPROVEMENT OF INFORMATION ACCESSIBILITY
28 September 2020 11:00 – 13:15
Zoom Online Meeting
Prepared by the JICA Project Team

Cairo 28th December 2021

For
JAPAN INTERNATIONAL
COOPERATION AGENCY



Ms. OKUBO Kyoko
Senior Representative
JICA Egypt Office

For
MINISTRY OF COMMUNICATIONS AND
INFORMATION TECHNOLOGY



Assoc. Prof. Abd El-Monem El-Sharkawy
Project Director (October 2020) / Chairman of the
National Academy of Information Technology for
Persons with Disabilities (NAID)

For
THE NATIONAL LIBRARY AND ARCHIVES OF EGYPT



Dr. Howayda Kamel
Director General of Public and International
Relations

For
BIBLIOTHECA ALEXANDRINA



Ms. Dina Youssef
For Prof. Amgad Elgohary
Head, Library Sector

1. Welcome Remarks:

- Dr. Noha Rabie, Project Director chaired the meeting, welcomed everyone and introduced Mr. IWASAKI Akihiro (Senior Representative, JICA Egypt Office) to give the welcome remarks.
- Mr. IWASAKI welcomed all partners from MCIT, BA, NLAE and NCPD. He expressed his gratitude to the JICA Project Team and the C/Ps for the joint achievement so far especially the progress of the ToT3 despite difficulties of COVID-19. He also emphasized the importance of the consensus on advocacy plan for promotion of the Marrakesh Treaty ratification.

2. Approval of the Agenda

- Dr. Noha proposed the approval of the draft agenda. The Agenda was approved.

3. Self-introduction of Attendee

- Dr. Noha announced that there would be restructuring in MCIT and Dr. Abd El-Monem El-Sharkawy is now the chairman of NAID and would become the Project Director while Dr. Noha would be shifted as the head of the training at NAID and become the Project Manager and Dr. Fady Ismaeel who is now the Project Manager will not be in charge of the Project anymore.
- Dr. Noha asked attendees to introduce themselves in order of attendees' list. Annex 2

4. Approval of A Verifiable Indicator of Overall Goal & Revision of PDM

4.1. Approval of A Verifiable Indicator of Overall Goal

- Mr. KAWAMURA Hiroshi (Chief Advisor of the Project) gave a brief explanation on the verifiable indicator of Overall Goal that is expected by 2024. He explained that there has been previous discussions over the quality assurance of the DAISY titles and how to balance the quality and the swift provision of information to the beneficiaries. The discussion has been around 160 titles to 200 titles. Mr. KAWAMURA Hiroshi invited Dr. Abd El-Monem and Mr. FUKUCHI to share their insights.

Discussion:

- Dr. Abd El-Monem commented that the selection of trainees so far was mostly based on their availability due to the limited resources which may have affected the quality and accuracy of narration. ToT trainees are technically trained but do not necessarily qualify as narrators. He added that it is essential to set a process to ensure the minimal acceptable quality and accuracy of the DAISY titles, so that they are usable by beneficiaries. Consequently, only titles that meet the minimal required quality will be published on NAID's portal. A committee to assess the DAISY titles before their online publication may be needed. As Mr. KAWAMURA Hiroshi suggested, representatives from the PWDs community will be part of the aforementioned committee. So, launching the portal will be postponed to a later timing. As for the suggested total number of titles to be produced by 2024, the initial commitment was 140 titles but after discussion he confirmed that 160 titles can be a reasonable indicator.

- Mr. FUKUCHI was thinking of proposing 200 titles as an indicator, explaining that it is important to balance the quality and quantity. He suggested differentiating between titles that require quality and others that require quick production to make available in a timely manner. He added that other stakeholders such as NCPD can support in this distinction. This is JICA's first project in an Arabic speaking country to produce DAISY, so the number of produced books will give us the impact of our achievement. In conclusion, he agreed to 160 titles.
- Prof. Amgad explained that BA prioritizes quality over quantity, and he added that he agrees with MCIT suggestion to commit to 160 titles.
- Dr. Abd El-Monem inquired about how to measure the indicator regarding the commitment of the trainers to train two persons yearly.
- Mr. KAWAMURA Hiroshi explained the methodology of the expected number of DAISY production supporters; a trainer can train others to support in one of the processes of production and the trainer will be coordinating the production process and share the production unit with these supporters. The assistant producers do not have to be full time staff, they can be volunteers. He also clarified that the number of DAISY book producers that 42 trainers expected to increase within three years after the Project will be 252 (2 producers/year/trainer x 42 trainers x 3 years) and therefore, the total number of producers including 42 trainers will be 294.
- Dr. Abd El-Monem suggested to add a clause that by the end of this period we will have a certain number of trainees, this needs to be very clear, but the ideal of number of 294 is probably unrealistic and it needs to be decreased.
- Dr. Howayda explained that ToT trainees are working in different departments and that it is difficult to sustain production without funding during and after three years and increase the number of new trainees each year.
- Dr. Moustafa suggested that in case the institutions do not have enough personnel to increase the number of DAISY producers/supporters to use workshops or events as advocacy tools to train the required number, it does not have to be from the same organization. He also added that the maximum number of people who can share the production unit are two persons due to the logistical difficulties this may cause.

Decision:

- The verifiable indicator of Overall Goal of 160 titles was adopted.

4.2.Revision of Project Design Matrix (PDM)

- Dr. Noha requested to add the exact number of producers to the PDM in terms of "Two DAISY book producers increased per year per trainer".
- Mr. KAWAMURA Hiroshi suggested to add the number of 294 for "Two DAISY book producers increased per year per trainer" on the minutes and continue discussion over the number of producers through C/Ps regular meetings.
- Mr. HIGUCHI proposed that revision of sentence and its accurate numbers will be considered in

our project team first and approved in the next JCC

- Dr. AbdEl-Monem suggested to discuss decreasing the 294 number of producers.
- Prof. Amgad added the point of having discussion at each institution first.

Decisions

- "160 titles of DAISY books are produced and ready to distribute" as the verifiable indicator of Overall Goal after 3 to 5 years after the completion of the project was adopted. The total number of DAISY book producers to be increased as a verifiable indicator of Overall Goal will be discussed further.

5. IDPD Advocacy Plan

- Mr. KAWAMURA Hiroshi briefly explained the basic framework of IDPD based on Attachment 2. He proposed that the date for the event will be decided with consideration with key person who will be on the panel. Co-organizers will be MCIT, NLAE, BA, NCPD, Embassy of Japan and JICA. Zoom will be used as platform for the online webinar and the maximum number of participants will be around 500. There will be simultaneous interpretation in English and Arabic, real time captioning and sign language interpretation for Arabic. Video recording of the event will be posted on an appropriate website and also shared by C/Ps. JICA Project Team will develop a draft scenario to discuss with C/Ps hopefully within one month. In addition to real time participation, video clip for awareness raising on DAISY with special reference to COVID-19 and sharing outcomes of the project will be prepared. The assumed length to be projected at the event will be maximum 5 minutes, but the video clip can be longer. We will have video footage including interviews by all key people.
- Prof. Amgad is not available on the first week of December and prefers second week.
- Dr. Howayda may have a commitment on the second week.

Decisions

- C/Ps will share their availability by date with Mr. KAWAMURA Hiroshi and the final date will be decided later.
- The basic framework of the IDPD Advocacy plan was endorsed.

6. Approval of the Monitoring Sheet

6.1. Report of the Activities

- As a summary of the monitoring sheet, JICA Project Team (Ms. KAWAMURA Ai, Ms. Yasmine Youssef and Mr. MARUICHI) reported the progress of the activities based on Attachment 4. The summary of the presentation is as follows:
 - ToT3: 26 sets of DAISY production kit were procured. 5 days intensive training for 24 participants including a participant with physical disability divided into 4 groups successfully completed the training 4 groups were completed. Positive feedbacks and engagement and interaction of the trainees were very active. The follow-up training has been conducted

remotely and will be completed by early November. 14 participants of ToT1 and ToT2 took part in the group discussions and supported the intensive training as mentors.

- DAISY books working group: ToT3 trainees were added in the DAISY books working group.
 - DAISY books distribution: 28 DAISY books were completed and 32 titles are on-going. All the titles except for COVID-19 relevant titles which need copyright permission do not have copyright issues.
 - DAISY book distribution: MCIT will launch the DAISY book portal at the website of the NAID's website. NLAE launched their own portal, for the DAISY books they produced.
 - Mini-training: 2 days intensive training was conducted for ERC in April 2020 aiming to transfer the knowledge of DAISY production of their small publications. During the training, small publication of COVID-19 was produced.
 - Progress of Achievement: Objectively verifiable indicators of Output and project purpose is almost achieved. MCIT portal launch remains to be completed. In terms of number of advocacy activities, the indicator of the project purpose was already achieved, however, further advocacy for better understanding of DAISY and promotion of early ratification of Marrakesh Treaty needs to be conducted during the Project.
- Dr. Abd El-Monem clarified that MCIT's portal development requires some time before launching.

6.2.Approval of Monitoring Sheet Version 3

- Dr. Abd El-Monem requested clarification on how the questionnaire is used to evaluate objectively verifiable indicator of Output 2. Ms. KAWAMURA Ai responded that questionnaire was distributed in the advocacy activities in the 1st period and feedback from the participants was collected. She added that for the advocacy activities in the 2nd period a questionnaire will be prepared to receive feedback of participants.
- Dr. Abd El-Monem pointed that the headset is missing as the procured equipment of the 1st period in the "Table 2: Equipment procured in the Project" (p.2) of Attachment 5.1. Ms. KAWAMURA Ai responded that she would amend the document.
- Dr. Abd El-Monem requested clarification on DAC and its evaluation criteria. Mr. KAWAMURA Hiroshi responded that Development Assistance Committee is a committee of OECD that consists of the governmental representatives of international cooperation donor countries. Mr. FUKUCHI added that DAC defines rules and standards of international cooperation, and JICA's monitoring system and project evaluation are based on DAC's regulation in order to harmonize the evaluation mechanism of international cooperation.

Decisions

- The Monitoring Sheet Version 3 was endorsed.

7. Action plan for the rest of the year 2020

- Ms. KAWAMURA Ai explained the action plan for the rest of the year 2020 based on Attachment 4 as follows:

- Handover of Equipment: to be completed as soon as possible. The draft necessary documents will be shared with C/Ps shortly.
 - Follow up training of ToT3: to be completed by the end of November 2020 (at least 24 books by 24 trainees of ToT3 will be completed).
 - Mini training of DAISY book production: A mini training for visually impaired group (one participant) is planned to be conducted. More opportunities will be sought.
 - Video clip production: Video production will start shortly and be completed before IDPD event in December. Cooperation from C/Ps for interviews and video shooting at CP premise will be needed.
 - Workshops for potential users: No concrete plan for this year yet, but opportunities of conducting the workshops will be sought.
 - Advocacy events in December: Basic framework has been agreed at this JCC and detailed plan needs to be discussed in the C/P meetings.
 - Share outcomes / networking with IFLA (poster session): Start preparation with C/Ps once IFLA officially announces the poster session.
 - End line survey: Questionnaire will be distributed in November and the answers will be reflected to the final report (draft questionnaire will be shared in advance).
 - DAISY portal launching: To be determined later when MCIT is ready.
 - 4th JCC: To be held in February 2021 according to the current schedule of the Project.
 - Final project completion report: The deadline is 26 February 2021 according to the current schedule. The final report needs to be endorsed at the 4th JCC.
- Dr. Noha requested clarification on "PR activity" for the events with asterisk (*) in the Attachment 4. Ms. KAWAMURA Ai answered that these are the events where public relations can be conducted such as putting articles on C/P's website, SNS information sharing and press release. She added that roles of each C/P on PR will be discussed in the C/P meeting.

8. Other matters (Extension of the Project)

- In response to COVID-19 pandemic situation, Mr. FUKUCHI proposed to extend duration of the Project to increase the DAISY titles relevant to emergency information on COVID-19.
- Dr. Abd El-Monem expressed his support for the proposal and that would include the revised PDM as well.
- Mr. FUKUCHI answered that JICA HQ will start procedures to finalize the official agreement.
- Mr. KAWAMURA Hiroshi proposed to hold a Special JCC within one month, which was agreed by all the Committee members.

Decisions

- A special JCC regarding the extension of the Project will be held in November 2020.

Annex 1: Attachments:

Attachment 1: IDPD Advocacy plan

Attachment 2: Report of the Activities

Attachment 3: Draft Monitoring Sheet Version 3

Attachment 4: Action plan for the rest of the year 2020

Annex 2: Attendees:

Name	Title	Organization
Dr. Noha Rabie	Project Director/Director, Advisor Office to the Minister of Communication and Information Technology for Social Responsibility and Services	Ministry of Communication and Information Technology (MCIT)
Assoc. Prof. Abd El-Monem El-Sharkawy	Chairman of the National Academy of Information Technology for Persons with Disabilities (NAID)	MCIT
Dr. Howayda Kamel	Director General of Public and International Relations	The National Library & Archives of Egypt (NLAE)
Prof. Amgad Elgohary	Head, Library Sector	Bibliotheca Alexandrina (BA)
Amr Hegazy	Head of Special Need Services Section, Library Sector	BA
Dr. Moustafa Bayoumi	Advisor of Strategic Planning and Public Policy	National Council for Persons with Disabilities (NCPD) (Observer)
FUKUCHI Kentaro	Assistant Director	JICA Headquarters
IWASAKI Akihiro	Senior representative	JICA Egypt Office
HIGUCHI Hajime	Representative	JICA Egypt Office
Reham Mohamed Soliman	Program officer	JICA Egypt Office
KAWAMURA Hiroshi	Chief advisor, Information accessibility	JICA Project Team
YOUSSEF Yasmine	DAISY Book Production (ToTs)	JICA Project Team
MARUICHI Go	DAISY Book Production (Software)	JICA Project Team
KAWAMURA Ai	Deputy Chief Advisor, Coordination1/Advocacy1	JICA Project Team

**Minutes of Meeting of
the 4th Joint Coordination Committee (JCC)
For
The PROJECT FOR IMPROVEMENT OF
INCLUSION OF PERSONS WITH DISABILITIES
THROUGH IMPROVEMENT OF INFORMATION ACCESSIBILITY
28 and 30 November, 5 and 10 December 2020
Via Zoom Online Meeting
Prepared by the JICA Project Team**

2020

For
JAPAN INTERNATIONAL
COOPERATION AGENCY

P.P. 山崎 —

Mr. IWASAKI Akihiro
Senior Representative
JICA Egypt Office

For
MINISTRY OF COMMUNICATION AND
INFORMATION TECHNOLOGY

A. El-Sharkawy

Assoc. Prof. Abd El-Monem El-Sharkawy
Chairman of the National Academy of Information
Technology for Persons with Disabilities (NAID)

For
THE NATIONAL LIBRARY AND ARCHIVES OF
EGYPT

H. Kamel

Dr. Howayda Kamel
Director, General of Public and International
Relations

For
BIBLIOTHECA ALEXANDRINA

Manal Amin

Ms. Manal Amin
Acting Head, Library Sector

1. The 4th Joint Coordination Committee Meeting (JCC4) consists of a series of meetings held on 28th and 30th November as well as 5th and 10th December. The Minutes of Meetings of the JCC4 reflects all points discussed in those meetings.

2. Preliminary Approval of Extension of the Project Period and Revision of PDM

Mr. KAWAMURA, the Chief Advisor of the Project Team, went through the major revised points of the proposed amendment as well as the draft MM of the Amendment of the Project Design Matrix (PDM) and the Extension of the Project Period based on the Attachment 1 and 2. The major revised points were summarized as follows:

(1) **Project Period is proposed to be changed from 24 months to 33 months to respond to the COVID-19 pandemic for persons with print disabilities.**

(2) Objectively Verifiable Indicators of Overall Goal

- In the amended version, the total number of DAISY publications producers including trainers will be 160, and the reason is to be consistent with the number of DAISY publications produced.
- Dr. Abd El-Monem, the Project Director, added that this is an achievable number that counterparts can commit to, due to the limited number of trainers.
- Ms. Manal agreed to the proposed indicator.
- Mr. FUKUCHI added that he respects the decision and has no objection.

(3) Terminology

- The term “books” has changed to “publications” to be more inclusive and generic.
- Dr. Abd El-Monem proposed, as per his discussion with Dr. Howayda, to add a definition to the term “publications” limiting it to “books and articles only”, and he suggested adding it as a footnote. The proposal was agreed by all the parties.

(4) Deletion of Point 2-7 in PDM

- It has been proposed to delete item 2-7 (Develop sustainable collaboration with other government agencies and international organizations in relation to the WIPO Marrakesh Treaty), to avoid any issues on security clearance.

Discussion:

- Dr. Abd El-Monem explained that after discussion with the International Relations, they concluded that there might be a concern, since the Marrakesh Treaty has not yet been ratified by the Egyptian government.

M A C

- Mr. KAWAMURA: expressed his concerns over the deletion of this item, to justify the supporting work by the experts for ratification of the Marrakesh Treaty. Each activity needs to be based on the agreement, and each one should have proper agreement between Egypt and Japan. And these activities are defined by point 11 of RD. Other than this, there is no clear basis for work of experts to support the treaty. And this might reflect some barrier to work on this.
- Dr. Abd El-Monem pointed out that they can't recognize that they are organizing or being part since the treaty hasn't been ratified yet. However, this doesn't mean that partners are not willing to work on it, but essentially because of other concerns.
- All attendees agreed to delete this item.

(5) Adding "in Egypt" to item 2-9

- The text "in Egypt" was added to item 2-9, in order to enhance synergy with other JICA projects. Since JICA doesn't have any intention to disseminate DAISY to other countries, so therefore, there is no problem with the addition.
- Dr. Abdelmonem confirmed his acceptance, as this will make it easier to get clearance and approval. He also added that the MCIT portal will be open access, so it can be shared widely later.
- Mr. FUKUCHI noted that he agrees to this proposal since JICA has no plans to share or collaborate with other projects out of Egypt by December 2021 within this project framework. However, he emphasized that he believes that Egypt will lead DAISY or activities on information accessibility to Arabic speaking countries and hope to do that in the next phase of the project.

(6) "Others"

- It has been added in the others upon request of counterparts, that "It is noted that all activities or events relevant to the project need to be first approved by MCIT in coordination with NL and BA. The approved activities and events should be endorsed in JCC or any other equivalent procedure. Any equipment delivered to any other organization in Egypt (other than MCIT, NL and BA) will neither be recognized nor acknowledged except after obtaining approvals from authorities in Egypt and all outcomes are to be reported to MCIT who can share results with JICA".
- Mr. Kawamura proposed to change "NL" to "NLAE" and agreed.
- Dr. Abd El-Monem stated that all production tools delivered are to be updated with the TTS engine. This was endorsed by all parties.

Discussion:

- Dr. Abd El-Monem added that for formalities authorizations are essential for NGOs, since they were not part of the project at the beginning. So, any NGO which will receive anything needs to get approval and clearance from authorities first, given they are registered with the Ministry of Social Solidarity.
- Mr. FUKUCHI commented that he appreciates the coordinate of activities by MCIT, and respects their procedures. He's expressed his happiness with the leadership of all C/Ps during the handover of the

M A Co

equipment, which will make things smoother in the implementation of the project. And confirmed they have no objections.

- Dr. Abd El-Monem proposed adding the definition of Publications (suggested earlier in the meeting) in the “others”.

(7) “Signer from BA”

- Ms. Manal confirmed that the signer for the MM of the JCC will be herself, but the signer of the MM for the revision of the PDM will be Dr. Moustafa Elfeki, Director of Bibliotheca Alexandrina.

Decisions

Based on the discussions mentioned above, the following decisions were made by all the parties.

- All the revisions were approved. (Refer to the “revised Attachments 1 and 2”)

3. Others

- Mr. KAWAMURA gave an update on the December event. Since an appointment with the Minister of culture, couldn't be scheduled on time, and with agreement of Dr. Howayda and Dr. Abd El-Monem, it has been postponed to end of January. Details of the content of the event will be discussed shortly. The outline of the event will be shared in a week to get comments. It will be online, and the project team will take care of the technical preparations of the meeting, which will include simultaneous translation, and sign language interpretation. It is to promote DAISY among the beneficiaries in Egypt and encourage key people who work on ratification on the Marrakesh Treaty. He also added that he's hoping that the MCIT portal will be ready by then.
- Dr. Abd El-Monem commented that he cannot confirm for now the readiness of the portal by January and also requested to share record of the event to Egyptian C/Ps.
- Mr. FUKUCHI commented that he agrees to postpone to January and requested a detailed schedule and concept note paper to discuss the effectiveness of the event in order to achieve the objective to encourage the ratification of the Marrakesh Treaty.
- Mr. KAWAMURA answered that draft concept note will be shared within a week.

Attachments:

- Revised Attachment 1: Draft MM on PDM Amendment and Project Extension
- Revised Attachment 2: Draft PDM Version 1
- Revised Attachment 3: Signed Record of Discussion dated 3rd December 2018
- Revised Attachment 4: Signed MM on PDM Amendment dated on 1 September 2020¹

¹ MM for PDM Revision signed on 1st September 2020 was discarded and replaced by the Signed Record of Discussion dated 3rd December 2018 upon request of Egyptian Counterparts

Handwritten signature: H A Co

Attendees: Name	Title	Organization
Dr. Abd El-Monem El-Sharkawy	Project Director of the Project/ Chairman of the National Academy of Information Technology for Persons with Disabilities (NAID)	Ministry of Communication and Information Technology (MCIT)
Dr. Noha Rabie*	Project Manager of the Project /Training Director, the National Academy of Information Technology for Persons with Disabilities (NAID)	MCIT
Dr. Howayda Kamel**	Director General of Public and International Relations	NLAE
Manal Amin***	Acting Head, Library Sector	Bibliotheca Alexandrina (BA)
Marwa Elgharabawy***	Head of Specialized Libraries Services Department, Library Sector	BA
Amr Hegazy***	Head of Special Need Services Section, Library Sector	BA
Dr. Moustafa Bayoumi****	Advisor of Strategic Planning and Public Policy	National Council for Persons with Disabilities (NCPD) (Observer)
FUKUCHI Kentaro*	Assistant Director	JICA Headquarters
IWASAKI Akihiro*	Senior representative	JICA Egypt Office
HIGUCHI Hajime*	Representative	JICA Egypt Office
Reham Mohamed Soliman****	Program officer	JICA Egypt Office
KAWAMURA Hiroshi	Chief advisor, Information accessibility	JICA Project Team
YOUSSEF Yasmine*****	DAISY Book Production (ToTs)	JICA Project Team
MARUICHI Go*	DAISY Book Production (Software)	JICA Project Team
KAWAMURA Ai	Deputy Chief Advisor, Coordination/Advocacy	JICA Project Team

*attended 28 November and 10 December

**attended 28 November, 5 December

***attended 30 November and 10 December

****attended 28 November

*****attended 28 and 30 November and 10 December

M A Co

別添 3: PDM (全てのバージョン)

Project Monitoring Sheet I (Revision of Project Design Matrix)

Project Title:	Project for Improvement of Inclusion of Persons with Disabilities through Improvement of Information Accessibility	Version 0
Implementing Agency:	Ministry of Communication and Information Technology (MCIT)	Dated 26,March,2019
Target Group:	National Library (NL), Bibliotheca Alexandrina (BA) and other relevant organizations concerning DAISY books production and dissemination	
Period of Project:	7 March 2019 - March 2021	
Project Site:	Cairo and Alexandria	

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption	Achievement	Remarks
Overall Goal The DAISY books are available in various fields such as education, employment, health, tourism and disaster risk reduction.	<ul style="list-style-type: none"> • The titles of DAISY books produced • The XX number of DAISY books distribution • The XX (tentatively 2) number of DAISY book producer increased per year per instructor 	<ul style="list-style-type: none"> • A bibliographic record and downloading log of DAISY books via the MCIT portal 			
Project Purpose Human and technical resource are put in place to produce and disseminate DAISY books in Arabic and other languages.	<ul style="list-style-type: none"> • A bibliographic record of the DAISY titles is available on the internet • # of activities among participants of advocacy activities are increased before and after the project intervention. 	<ul style="list-style-type: none"> • Record of the Project • A portal of the DAISY books 	<ul style="list-style-type: none"> • The Egyption government continues its effort for the inclusion of persons with disabilities regarding access to information. • Trained 42 DAISY book producers continue to produce DAISY books. • Continuous implementation of awareness raising activities on the advantages of DAISY books by MCIT • PCs and softwares are updated when necessary. 		
Outputs 1. The core group of DAISY books production and DAISY books production staff are trained. 2. The benefits of DAISY books are widely understood.	<ul style="list-style-type: none"> • 42 DAISY books production staff are trained. • A portal is in place to upload/download the DAISY books produced • Knowledge on DAISY books and related issues is increased among participants of advocacv activities. 	<ul style="list-style-type: none"> • Project documents • Quesionnaire 	<ul style="list-style-type: none"> • Continuous commitment of MCIT on the DAISY book production and dissemination and availability of the budget for the Project. • Continuous cooperation from BA and NL 		
Activities	Inputs		Important Assumption		
	The Japanese Side	The Egyptian Side			
1-1 Support holding the Kick-off meeting and building consensus on a human resource 1-2 Procure and inspect of necessary equipment for 1-3 Prepare equipments of ToTs 1-4 Select the core group members of the DAISY 1-5 Develop training materials on DAISY book production 1-6 Conduct a ToT for the core group members (the activity includes the production of DAISY books and preparation of a bibliographic record of the DAISY 1-7 Discuss with expected users with disabilities to collect their ideas about DAISY books 1-8 Revise, if necessary, training materials according to the lessons learnt 1-9 Monitor the distribution of the DAISY books titles produced as well as planned to be produced on the MCIT portal 1-10 Select the members of 2nd batch ToT 1-11 Conduct the 2nd ToT with the core group members 1-12 Select 6 instructors from the trainees of the 1-13 Select the members of the 3rd batch 1-14 Formulate DAISY book working groups 1-15 Promote networking of DAISY book producers 1-16Procure and inspect of necessary equipment 1-17 Conduct the 3rd ToTs with the12 instructors 2-1 Develop an advocacy action plan in collaboration with C/Ps and other stakeholders. 2-2 Develop materials for advocacy activities and outreach to disseminate DAISY book reading experiences. 2-3 Prepare the Knowledge Exchange Program in 2-4 Conduct Knowledge Exchange Program in 2-5 Support for the Satellite Meeting of the IFLA 2-6 Support networking of C/Ps at IFLA WLIC 2-7 Develop sustainable collaboration with other government agencies and international organizations in relation to the WIPO Marrakesh Treaty 2-8 Conduct advocacy events to commemorate International Day of Persons with Disabilities in collaboration with C/Ps and persons with print 2-9 Document experience/lessons learnt of advocacy activities including the data analysis of the questionnaire 2-10 Disseminate information on DAISY book to 2-11 Share outcomes of the Project at IFLA WLIC 2-12 Report on the result of the Project including the proposal for the follow-up	1. Experts - Chief Advisor - Coordinator/Advocacy - DAISY book production - Advocacy 2. Trainings <Egypt> - Multimedia DAISY Books Production <Japan> - Development of advocacy plan <Third Country> - Capacity development on the DAISY books production and dissemination 3. Provision of equipment - Softwares of DAISY books production - Laptop PCs - External Solid State Drivers - Microphone headsets 4. Activity Cost - Daily subsidy allowance, accommodation expense and travel expense for participants of trainings implemented by the Project.	1. Personnel - Project Director - Project Manager - ToT's candidates 2. Suitable work space (desk/table for 3-4 people) for JICA experts as well as necessary office facility throughout the project period 3. Text data of books to be used for the training for DAISY books production	<ul style="list-style-type: none"> • Necessary budget for the Project is allocated. • Selected participants allocate their enough time to participate in ToTs. • Electronic materials for DAISY books production training are provided in text format. 	Pre-Conditions <ul style="list-style-type: none"> • Required protocol/permission to implement the project are arranged for JICA experts 	<Issues and countermesures>

Project Design Matrix (PDM)

Project Title: Project for Improvement of Inclusion of Persons with Disabilities through Improvement of Information Accessibility
Implementing Agency: Ministry of Communication and Information Technology (MCIT)
Target Region: Cairo and Alexandria
Target Group: National Library and Archives of Egypt (NLAE), Bibliotheca Alexandrina (BA) and other relevant organizations concerning DAISY publications(*1) production and dissemination
Project Period: (33 months)
Indirect Beneficiaries: Persons with Print Disabilities

Version 1
Date: _____

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators(*2)	Means of Verification	Important Assumptions
Overall Goal The DAISY publications are available in various fields such as education, employment, health, tourism and disaster risk reduction.	<ul style="list-style-type: none">• The titles of DAISY publications produced• 160 titles of DAISY publications are produced and ready to distribute• In total 160 DAISY publications producers are trained including the trainers.	<ul style="list-style-type: none">• A bibliographic record and downloading log of DAISY publications via the MCIT portal	
Project Purpose Human and technical resource are put in place to produce and disseminate DAISY publications in Arabic and other languages.	<ul style="list-style-type: none">• A bibliographic record of the DAISY titles is available on the internet• 9 activities (3 activities per counterpart) among participants of advocacy activities are increased after the project intervention.	<ul style="list-style-type: none">• Record of the Project• A portal of the DAISY publications	<ul style="list-style-type: none">• The Egyptian government continues its effort for the inclusion of persons with disabilities regarding access to information.• Trained 42 DAISY publications producers continue to produce DAISY publications.• Continuous implementation of awareness raising activities on the advantages of DAISY publications by MCIT• PCs and softwares are updated when necessary.
Outputs 1. The core group of DAISY publications production and DAISY publications production staff are trained. 2. The benefits of DAISY publications are widely understood.	<ul style="list-style-type: none">• 42 DAISY publications production staff are trained.• A portal is in place to upload/download the DAISY publications produced• Knowledge on DAISY publications and related issues is increased among participants of advocacy activities.	<ul style="list-style-type: none">• Project documents• Questionnaire	<ul style="list-style-type: none">• Continuous commitment of MCIT on the DAISY publications production and dissemination and availability of the budget for the Project.• Continuous cooperation from BA and NLAE
Activities	Input		Important Assumptions
1-1 Hold the Kick-off meeting and building consensus on a human resource development plan. 1-2. Procure and inspect of necessary equipment for trainings for 1st and 2nd ToTs (22 sets). 1-3 Prepare equipments of ToTs 1-4. Select the core group members of the DAISY publications production 1-5.Develop training materials on DAISY publications production 1-6. Conduct a ToT for the core group members (the activity includes the production of DAISY publications and preparation of a bibliographic record of the DAISY titles) 1-7. Discuss with expected users with disabilities to collect their ideas about DAISY publications 1-8. Revise, if necessary, training materials according to the lessons learnt 1-9 Monitor the distribution of the DAISY publications titles produced as well as planned to be produced on the MCIT portal 1-10. Select the members of 2nd batch ToT 1-11. Conduct the 2nd ToT with the core group members 1-12. Select 6 trainers from the trainees of the 2nd batch for the 3rd ToTs (Core group member 6 + 6 = Trainers for the 3rd ToT) 1-13 Select the members of the 3rd batch 1-14 Formulate DAISY publications working groups 1-15 Promote networking of DAISY publication producers 1-16 Procure and inspect of necessary equipment for 3rd ToTs (24 sets). 1-17 Conduct the 3rd ToTs with the12 trainers. 1-18 Conduct the Special ToT to introduce Text-To-Speech (TTS) technology for DAISY publications production 1-19 Conduct the Special ToT to focus on rapid production of COVID-19 documents in DAISY format	Japanese Side 1. Experts - Chief Advisor - Coordinator/Advocacy - DAISY publications production - Advocacy 2. Trainings <Egypt> - Multimedia DAISY Publications Production <Japan> - Development of advocacy plan <Third Country> - Capacity development on the DAISY publications production and dissemination 3. Provision of equipment - Software of DAISY publications production including TTS engine - Laptop PCs - External Solid State Drives - Microphone headsets 4. Activity Cost - Daily subsidy allowance, accommodation expense and travel expense for participants of trainings implemented by the Project. - Production cost of the COVID-19 Publications Collection in DAISY multimedia format	Egyptian Side 1. Personnel - Project Director - Project Manager - ToT's candidates 2. Suitable work space (desk/table for 3-4 people) for JICA experts as well as necessary office facility throughout the project period 3. Text data of publications to be used for the training for DAISY publications production	<ul style="list-style-type: none">• Necessary budget for the Project is allocated.• Selected participants allocate their enough time to participate in ToTs.• Electronic materials for DAISY publications production training are provided in text format. Pre-Condition <ul style="list-style-type: none">• Required protocol/permission to implement the project are arranged for JICA experts
2-1. Develop an advocacy action plan in collaboration with stakeholders. 2-2. Develop materials for advocacy activities and outreach to disseminate DAISY publications reading experiences. 2-3. Prepare the Knowledge Co-creation Program in Japan 2-4.Conduct Knowledge Co-creation Program in Japan 2-5. Conduct the Satellite Meeting of the IFLA WLIC in Alexandria 2-6 Create network at IFLA WLIC 2-7 Conduct advocacy events to commemorate International Day of Persons with Disabilities in collaboration with stakeholders including persons with print disabilities and their families 2-8 Document experience/lessons learnt of advocacy activities including the data analysis of the questionnaire 2-9 Disseminate information on DAISY publications to other JICA projects in Egypt and exchange ideas on DAISY publications utilization 2-10 Disseminate accessible information on COVID-19 in timely manner and receive response from beneficiaries 2-11 Share outcomes of the Project at IFLA WLIC 2-12 Report on the result of the Project including the proposal for the follow-up			

*1:Publications limits to books and articles only. *2:Overall goal is a long term vision to be expected to achieve after 3 to 5 years after the completion of the project.

別添 4: モニタリングシート

TO CR of JICA Egypt OFFICE

Project Monitoring Sheet

**Project Title : The PROJECT FOR IMPROVEMENT OF INCLUSION OF PERSONS
WITH DISABILITIES THROUGH IMPROVEMENT OF INFORMATION ACCESSIBILITY**

Version of the Sheet: Ver.1 (Term: March 2019 – August 2019)

Name: Dr. Abeer Shakweer

Title: Project Director

Name: Hiroshi Kawamura

Title: Chief Advisor

Submission Date: 26 September 2019

I. Summary

1 Progress

1-1 Progress of Inputs

(1) Expert

5 Japanese experts were assigned and dispatched in accordance with the work plan (Chief Advisor made additional dispatch in May for coordination with the Counterparts).

Name	Role	Number of visits	Assigned date
Hiroshi Kawamura	Chief Advisor / Information accessibility	2019/3/6 - 28, 2019/5/29 - 6/2, 2019/6/30 - 7/11, 2019/8/15 - 9/13	Plan: 68 days Actual: 70 days
Mayu Makio	DAISY ¹ Book Production (ToTs ²)	2019/6/30 - 7/26 2019/7/31 - 9/5	Plan: 69 days Actual: 64 days
Go Maruichi	DAISY Book Production (Software)	2019/7/5 - 9/7	Plan: 69 days Actual: 65 days
Ai (Furuya) Kawamura	Deputy Chief Advisor/ Coordination1/Advocacy1	2019/3/17 - 28, 2019/6/30 - 8/9, 2019/8/16 - 9/6	Plan: 76 days Actual: 75 days
Misako Nomura	Advocacy plan	2019/8/15 – 8/31	Plan: 17 days Actual: 17 days

¹ Digital Accessible Information System

² Training of Trainers

(2) Equipment

- 22 sets of DAISY book production kit were procured in June 2019 (except for 12 headsets to be used at ToT2)
- 1 unit of A3 scanner and printer was procured in August 2019 and used at the Project office at Bibliotheca Alexandrina (BA).

(3) Training in Japan

- Knowledge Co-Creation Program (KCCP) in Japan was conducted between 13 till 24 April 2019 to promote understanding how DAISY is utilized in Japan in various sectors such as education, healthcare, disaster preparedness development for persons with print disabilities as well as policy framework in Japan for implementation.
- 6 participants (2 participants from each Counterpart) including 4 decision makers from Ministry of Communication and Information Technology (MCIT) and the National Library & Archives of Egypt (NL) successfully completed the Program.

(4) In-country/Third Country Training

- Trainings of Trainers for DAISY book production (ToTs): The first ToT (ToT1) was conducted for 6 core members³ from the Counterparts (MCIT, NL and BA). Intensive training of ToT1 was conducted between 7th and 11th July 2019 and follow up training was conducted till the end of August 2019 (additional follow up training to brush up quality of the produced DAISY books still continues as of 26 September 2019).
- IFLA WLIC in Athens: 5 key persons of Counterparts attended IFLA⁴ WLIC⁵ and developed networking among IFLA community and shared outcomes of satellite meeting at several sessions.

(5) Others

- Local Staff: 2 fulltime local staff (Ahmed Elsharckawy and Omneya Kamal) were hired from 1 May based in BA's office to support all the activities of the Project.
- Intern: A Japanese intern (Ms. Ayaka Ozawa from Ritsumeikan University, Master course student) who is a dyslexia and DAISY user was dispatched by Assistive Technology Development Organization (ATDO) for 5 weeks to support ToT1 as well as advocacy activity for potential DAISY users:

³ 2 participants from each Counterpart

⁴ International Federation of Library Associations and Institution

⁵ World Library and Information Conference

1-2 Progress of Activities

(1) Kick-Off meeting:

- [Activity 1-1] Kick-Off meeting was held as scheduled in 26 March 2019 at JICA Egypt Office and basic consensus on the work plan was made by Counterparts.

(2) ToT [Activity 1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-6, 1-10]:

- [Activity 1-2] 22 sets of DAISY kit (except for 12 headsets for ToT2) were procured in June 2019.
- [Activity 1-3] Preparation of equipment including software installation, numbering and labeling etc were conducted prior to ToT1. (12 headsets will be procured before ToT2)
- [Activity 1-4] Selection of 6 participants for ToT1 (2 participants from each Counterpart) were made based on nomination by 3 Counterparts.
- [Activity 1-5] Collected Arabic titles for DAISY book production from Counterparts as well as JICA and developed training materials for ToT. (Collected books were 6 titles only from NL. JICA provided various materials including vocational training manuals. The Volume of most of the titles were too large for the training purpose).
- [Activity 1-6]
 - ToT1: Intensive training of ToT1 was conducted at BA training room between 7th and 11th July 2019 for 6 core members (2 participants from each Counterpart) and follow-up was conducted by WhatsApp group, Mailing List and face to face meeting. All 6 core members were well motivated and positively participated in the ToT.
 - DAISY book production: Originally it was planned that each participant produced 1 title per person during the ToT, however, due to the volume of the titles available for DAISY book production, BA and MCIT participants decided to produce 1 DAISY book by 2 participants collaboratively. As a result, 4 titles were produced by 6 core members in ToT1. All the titles were submitted, and quality improvement work of each title is still on going as of 26 September 2019.
- [Activity 1-10] Allocation of number of participants for ToT2 for each Counterpart was decided at 1st Joint Coordination Committee (JCC) on 5 September 2019, and selection started.

(3) Discuss with expected users with disabilities [Activity 1-7]:

- 3 workshops were conducted in collaboration with BA (these workshops were conducted as follow-up activities of JICA's former project implemented by Shinanokenshi). 2 workshops were conducted at Taha Hussein Library on 25 July and 2 Sep 2019 and 1 workshop was conducted at Special needs unit on 4 August.
- In total 25 children with reading disabilities blind, low vision and including dyslexia (5-11 years old) participated in the workshop and gave positive feedback for the reading experience as well as preferable customization for them.

(4) Distribution of DAISY Books [Activity 1-8]:

- MCIT offered to incorporate the DAISY books produced by 6 core members at the current MCIT portal (which is open to public)

(5) Advocacy plan [Activity 2-1]:

- Discussion made with the Counterparts at the 1st JCC on 5 September 2019.

(6) Advocacy materials development [Activity 2-2]:

- Production of advocacy materials started. 3 workshops for potential DAISY user children to have DAISY book reading experiences were conducted. Ms. Ayaka Ozawa (intern) presented her experience for dyslexic children.

(7) Knowledge Co-Creation Program (KCCP):

- [Activity 2-3] Preparation of KCCP including program / itinerary development, materials/guidebook preparation, coordination of appointments and hotel / transportation / meal arrangements were made prior to implementation of KCCP.
- [Activity 2-4] KCCP in Japan was held between 13 till 24 April 2019 and 6 participants (2 participants from each Counterpart including 4 decision makers from NL and MCIT) successfully completed the Program.

(8) Support for the IFLA Satellite Meeting [Activity 2-5]:

- IFLA satellite meeting was implemented on 20 and 21 August 2019 in Alexandria (at BA Conference Center) aiming at the following objectives:
 - Promote publishing and production of accessible and easy to understand reading materials for everybody including those with functional illiteracy and persons with print disabilities with special attention to the needs of refugees and displaced persons.
 - Implement WIPO⁶ Marrakesh Treaty to share especially Arabic publications in accessible format around the world.
 - Develop regional/global library network to reach out to refugees and displaced persons across the world in collaboration with international stakeholders.
- In addition to the official program, speakers' dinner meeting on 19 August 2019 as well as the tour to National Library Museum on 22 August 2019 was held.
- It was concluded at 1st JCC that all the objectives were successfully achieved.

(9) IFLA WLIC in Athens [Activity 2-6, 2-11]:

- 5 key persons of Counterparts attended IFLA WLIC to develop international networking among IFLA community to promote Marrakesh Treaty Ratification as well as exchanging information for its implementation. The participants developed networking among IFLA

⁶ World Intellectual Property Organization

community (Activity 2-6) and shared outcomes of satellite meeting at several sessions (Activity 2-11) which will be followed up at the IFLA WLIC 2020 in Dublin.

- (10) Develop sustainable collaboration with other government agencies and international organizations [Activity 2-7]:
- National Council on Disability Affairs (NCDA), Ministry of Education (MoE), Ministry of Culture (MoC) and international organizations attended the satellite meeting and shared importance of Marrakesh Treaty for persons with reading disabilities. Communication among MoE, MoC and counterparts have been enhanced.

1-3 Achievement of Output

- (1) The core group member of DAISY books production and DAISY production staff are trained.
- Intensive ToT for 6 core members was conducted between 1st and 4th July 2019.
 - 6 DAISY book production staff (core members) is trained as planned. (2 trainees from each CP)
- (2) The benefits of DAISY books are widely understood.
- 6 personnel including 3 decision making personnel from 3 Counterparts participated in Knowledge Co-Creation Program and understood the benefit of DAISY books in various sectors including education, healthcare and disaster preparedness development for persons with print disabilities.
 - 25 potential user children participated advocacy activities and experience DAISY book reading

1-4 Achievement of the Project Purpose

N/A

1-5 Changes of Risks and Actions for Mitigation

N/A

1-6 Progress of Actions undertaken by JICA

- Procurement completed as planned (DAISY kit 22 sets except for 12 headsets for ToT2) as scheduled.
- 1 PC needed repair during ToT1.
- 12 headsets will be procured before ToT2

1-7 Progress of Actions undertaken by Gov. of Egypt

- MCIT develops a plan to build a model accessible library at its new campus which will offer

accessible reading materials.

- MoC accelerates ratification process of the Marrakesh Treaty.

1-8 Progress of Environmental and Social Considerations (if applicable)

N/A

1-9 Progress of Considerations on Gender/Peace Building/Poverty Reduction (if applicable)

Among 6 ToT1 participants, 2 participants were female. JCC took note of gender balance issues to select the venue of ToT2.

1-10 Other remarkable/considerable issues related/affect to the project (such as other JICA's projects, activities of counterparts, other donors, private sectors, NGOs etc.)

- Selection of 42 titles for ToTs: It was specified in RD that "The Counterparts and JICA agreed that MCIT will coordinate with NL and BA to select at least 42 suitable books for the trainings based on the advice from JICA experts, and send them to JICA Egypt Office by the end of February 2019." However, due to copy right issues, provision of suitable titles have been delayed. The selection policy was discussed at the 1st JCC and 3 Counterparts will cooperate to provide suitable books (text embedded PDF format) for ToT2 and ToT3.

2 Delay of Work Schedule and/or Problems (if any)

2-1 Detail

- Determination of objectively verifiable indicators of Overall Goal: It was supposed to be made at 1st JCC in September.
- Advocacy plan development: It was supposed to be developed at early stage of the Project.

2-2 Cause

- Determination of objectively verifiable indicators of Overall Goal: These indicators are heavily related to sustainable DAISY book production plan in Egypt which requires continuous discussions among Counterparts and JICA Project Team. Due to the workload of many important events from April till August 2019, discussion opportunities on this issue could not be made until 1st JCC in September.
- Advocacy plan development: Due to the workload of many important events from April till August 2019, discussion opportunities on this issue could not be made until 1st JCC in September.

2-3 Action to be taken

- Create discussion opportunities among Counterparts and JICA Project Team on these matters other than JCC.

2-4 Roles of Responsible Persons/Organization (JICA, Gov. of Egypt, etc.)

- JICA Project Team, Egyptian Counterparts.

3 Modification of the Project Implementation Plan

3-1 PO

N/A

3-2 Other modifications on detailed implementation plan

(Remarks: The amendment of R/D and PDM (title of the project, duration, project site(s), target group(s), implementation structure, overall goal, project purpose, outputs, activities, and input) should be authorized by JICA HDQs. If the project team deems it necessary to modify any part of R/D and PDM, the team may propose the draft.)

N/A

4 Current Activities of Gov. of Egypt to Secure Project Sustainability after its Completion

Discussions among Counterparts started for Project sustainability.

II. Project Monitoring Sheet I & II *as Attached*

Project Monitoring Sheet I (Revision of Project Design Matrix)

Project Title:	Project for Improvement of Inclusion of Persons with Disabilities through Improvement of Information Accessibility	Version 1
Implementing Agency:	Ministry of Communication and Information Technology (MCIT)	Dated 26, September, 2019
Target Group:	National Library (NL), Bibliotheca Alexandrina (BA) and other relevant organizations concerning DAISY books production and dissemination	
Period of Project:	7 March 2019 - March 2021	
Project Site:	Cairo and Alexandria	

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption	Achievement	Remarks
Overall Goal The DAISY books are available in various fields such as education, employment, health, tourism and disaster risk reduction.	<ul style="list-style-type: none">• The titles of DAISY books produced• The XX number of DAISY books distribution• The XX (tentatively 2) number of DAISY book producer increased per year per instructor	<ul style="list-style-type: none">• A bibliographic record and downloading log of DAISY books via the MCIT portal			
Project Purpose Human and technical resource are put in place to produce and disseminate DAISY books in Arabic and other languages.	<ul style="list-style-type: none">• A bibliographic record of the DAISY titles is available on the internet• # of activities among participants of advocacy activities are increased before and after the project intervention.	<ul style="list-style-type: none">• Record of the Project• A portal of the DAISY books	<ul style="list-style-type: none">• The Egyption government continues its effort for the inclusion of persons with disabilities regarding access to information.• Trained 42 DAISY book producers continue to produce DAISY books.• Continuous implementation of awareness raising activities on the advantages of DAISY books by MCIT• PCs and softwares are updated when necessary.		
Outputs 1. The core group of DAISY books production and DAISY books production staff are trained. 2. The benefits of DAISY books are widely understood.	<ul style="list-style-type: none">• 42 DAISY books production staff are trained.• A portal is in place to upload/download the DAISY books produced• Knowledge on DAISY books and related issues is increased among participants of advocacy activities.	<ul style="list-style-type: none">• Project documents• Quesionnaire	<ul style="list-style-type: none">• Continuous commitment of MCIT on the DAISY book production and dissemination and availability of the budget for the Project.• Continuous cooperation from BA and NL	6 DASiY books production staff are trained. - 6 personnel including 3 decision making personnel from 3 CPs participated in Knowledge Co-Creation Program and understood the benefit of DAISY books in various sectors including education, healthcare and disaster preparedness development for persons with print disabilities. - 25 potential user children participated advocacy activities and experience DAISY book reading	

Activities	Inputs		Important Assumption
	The Japanese Side	The Egyption Side	
1-1 Support holding the Kick-off meeting and building consensus on a human resource development plan.	<div>1. Experts<ul style="list-style-type: none">- Chief Advisor- Coordinator/Advocacy- DAISY book production- Advocacy</div> <div>2. Trainings<Egypt><ul style="list-style-type: none">- Multimedia DAISY Books Production<Japan><ul style="list-style-type: none">- Development of advocacy plan<Third Country><ul style="list-style-type: none">- Capacity development on the DAISY books production and dissemination</div> <div>3. Provision of equipment<ul style="list-style-type: none">- Softwares of DAISY books production- Laptop PCs- External Solid State Drivers- Microphone headsets</div> <div>4. Activity Cost<ul style="list-style-type: none">- Daily subsidy allowance, accommodation expense and travel expense for participants of trainings implemented by the Project.</div>	<div>1. Personnel<ul style="list-style-type: none">- Project Director- Project Manager- ToT's candidates</div> <div>2. Suitable work space (desk/table for 3-4 people) for JICA experts as well as necessary office facility throughout the project period</div> <div>3. Text data of books to be used for the training for DAISY books production</div>	<ul style="list-style-type: none">• Necessary budget for the Project is allocated.• Selected participants allocate their enough time to participate in ToTs.• Electronic materials for DAISY books production training are provided in text format.
1-2 Procure and inspect of necessary equipment for for 1st and 2nd ToTs (22 sets).			
1-3 Prepare equipments of ToTs			
1-4 Select the core group members of the DAISY book production			
1-5 Develop training materials on DAISY book production			
1-6 Conduct a ToT for the core group members (the activity includes the production of DAISY books and preparation of a bibliographic record of the DAISY titles)			
1-7 Discuss with expected users with disabilities to collect their ideas about DAISY books			
1-8 Revise, if necessary, training materials according to the lessons learnt			
1-9 Monitor the distribution of the DAISY books titles produced as well as planned to be produced on the MCIT portal			
1-10 Select the members of 2nd batch ToT			
1-11 Conduct the 2nd ToT with the core group members			<div>Pre-Conditions</div> <ul style="list-style-type: none">• Required protocol/permission to implement the project are arranged for JICA experts <div><Issues and countermesures></div>
1-12 Select 6 instructors from the trainees of the 2nd batch for the 3rd ToTs (Core group member 6 + 6 = Instructors for the 3rd ToT)			
1-13 Select the members of the 3rd batch			
1-14 Formulate DAISY book working groups			
1-15 Promote networking of DAISY book producers			
1-16Procure and inspect of necessary equipment for 3rd ToTs (24 sets).			
1-17 Conduct the 3rd ToTs with the12 instructors			
2-1 Develop an advocacy action plan in collaboration with C/Ps and other stakeholders.			
2-2 Develop materials for advocacy activities and outreach to disseminate DAISY book reading experiences.			
2-3 Prepare the Knowledge Co-Creation Program in Japan			
2-4 Conduct Knowledge Exchange Program in Japan			
2-5 Support for the Satellite Meeting of the IFLA WLIC in Alexandria			
2-6 Support networking of C/Ps at IFLA WLIC			
2-7 Develop sustainable collaboration with other government agencies and international organizations in relation to the WIPO Marrakesh Treaty			
2-8 Conduct advocacy events to commemorate International Day of Persons with Disabilities in collaboration with C/Ps and persons with print disabilities and their families			
2-9 Document experience/lessons learnt of advocacy activities including the data analysis of the questionnaire			
2-10 Disseminate information on DAISY book to other JICA projects and exchange ideas on DAISY book utilization			
2-11 Share outcomes of the Project at IFLA WLIC			
2-12 Report on the result of the Project including the proposal for the follow-up			

Project Monitoring Sheet II (Revision of Plan of Operation)

Version 1

Dated 26,September,2019

Project Title: Project for Improvement of Inclusion of Persons with Disabilities through Improvement of Information Accessibility

Inputs				Plan	2018				2019				2020				2021				Remarks	Issue	Solution	
Export				Actual	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV				
Chief Advisor/Information Accessibility				Plan																				
				Actual																				
				Plan																				
				Actual																				
				Plan																				
				Actual																				
				Plan																				
				Actual																				
				Plan																				
				Actual																				
Equipment				Plan																				
Multimedia DAISY books production kit				Actual																				
				Plan																				
				Actual																				
Training in Japan				Plan																				
Development of Advocacy Plan				Actual																				
				Plan																				
				Actual																				
In-country/Third country Training				Plan																				
Multimedia DAISY books production (in country)				Actual																				
				Plan																				
				Actual																				
IFLA Annual Conference				Actual																				
Activities				Plan	2018				2019				2020				2021				Responsible Organization		Achievements	Issue & Countermeasures
Sub-Activities				Actual	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	Japan	GOE		
0				Plan																				
0. Conduct a baseline survey				Actual																				
1. The core group member of DAISY books production and DAISY production staff are trained.				Plan																				
1-1 Support holding the Kick-off meeting and building consensus on a human resource development plan.				Actual																				
				Plan																				
1-2. Procure and inspect of necessary equipment for 1st and 2nd ToTs (22 sets).				Actual																				
				Plan																				
1-3 Prepare equipments of ToTs				Actual																				
				Plan																				
1-4. Select the core group members of the DAISY book production				Actual																				
				Plan																				
1-5 Develop training materials on DAISY book production				Actual																				
				Plan																				
1-6. Conduct a ToT for the core group members (the activity includes the production of DAISY books and preparation of a bibliographic record of the DAISY titles)				Actual																				
				Plan																				
1-7. Discuss with expected users with disabilities to collect their ideas about DAISY books				Actual																				
				Plan																				
1-8. Revise, if necessary, training materials according to the lessons learnt				Actual																				
				Plan																				
1-9 Monitor and advice on the development status of a portal that allows viewing of a list of DAISY book titles that can be distributed online and planned to be produced				Actual																				
				Plan																				
1-10. Select the members of 2nd batch ToT				Actual																				
				Plan																				
1-11. Conduct the 2nd ToT with the core group members				Actual																				
				Plan																				
1-12. Select 6 instructors from the trainees of the 2nd batch for the 3rd ToTs (Core group member 6 + 6 = Instructors for the 3rd ToT)				Actual																				
				Plan																	</			

TO CR of JICA Egypt OFFICE

Project Monitoring Sheet

**Project Title : The PROJECT FOR IMPROVEMENT OF INCLUSION OF PERSONS
WITH DISABILITIES THROUGH IMPROVEMENT OF INFORMATION ACCESSIBILITY**

Version of the Sheet: Ver.2 (Term: September 2019 – December 2019)

Name: Dr. Abeer Shakweer 

Title: Project Director

Name: KAWAMURA Hiroshi 

Title: Chief Advisor

Submission Date: 25 December 2019

I. Summary

1 Progress

1-1 Progress of Inputs

(1) Expert

7 Japanese experts were assigned and dispatched in accordance with the work plan.

Name	Role	Number of visits	Assigned date
KAWAMURA Hiroshi	Chief Advisor / Information accessibility	2019/11/4 - 7, 2019/12/5 - 25	Plan: 35 days Actual: 35 days
	DAISY Book Production ¹	2019/11/1 - 11/3	Plan: 3 days Actual: 3 days
MARUICHI Go	DAISY Book Production (Software)	2019/10/20 - 12/23	Plan: 65 days Actual: 65 days
KAWAMURA (FURUYA) Ai	Deputy Chief Advisor / Coordination 1 / Advocacy 1	2019/11/8 - 27, 2019/12/7 - 26	Plan: 40 days Actual: 40 days
TESHIMA Teshima	Coordination 2 / Advocacy 2	2019/10/20 - 12/26	Plan: 68 days Actual: 68 days
HAMADA Shigeko	Advocacy events (Supporter of users of DAISY books)	2019/12/6 - 13	Plan: 8 days Actual: 8 days
NOMURA Misako	Advocacy plan	2019/11/10 - 22, 2019/12/1 - 15	Plan: 28 days Actual: 28 days

¹ Mr. Hiroshi Kawamura was assigned for 3 days as "DAISY Book Production" to support ToT 2 in addition to his work as the Chief Advisor.

(2) Equipment

- 12 headsets were procured in October 2019.

(3) In-country/Third Country Training

- Trainings of Trainers for DAISY book production (ToTs): Follow-up training of ToT1 was conducted till 7th November 2019. The second ToT (ToT2) was conducted for 12 members² from the Counterparts (MCIT, NL and BA). Intensive training of ToT2 was conducted between 3th and 7th November 2019 in NL and follow-up training will be conducted till the middle of January 2020.

(4) Others

- Ms. OZAWA Ayaka was dispatched from 3rd to 13th December 2019 (11 days) as a speaker of the advocacy activities.

1-2 Progress of Activities

(1) Kick-Off meeting:

- [Activity 1-1] Completed. (holding the Kick-off meeting and building consensus)

(2) ToT [Activity 1-2 ~ 1-6, 1-8, 1-10 ~ 1-15]:

- [Activity 1-2] Completed. 22 sets of DAISY Book Production Kit were procured before November 2019.
- [Activity 1-3] Completed. Preparation of equipment including software installation, numbering and labeling etc. were conducted prior to ToT1 and ToT2.
- [Activity 1-4] Completed. (Selection of 6 participants for ToT1)
- [Activity 1-5] Completed. (Development of the training manual)
- [Activity 1-6] Completed. After intensive training in July 2019, follow-up training of ToT1 was conducted for 6 core members by WhatsApp group, Mailing List, phone calls and face to face meeting until 7 November 2019 and 4 DAISY book titles were completed³.
- [Activity 1-8] On-going. The first version of the training materials including the manual for ToTs was revised based on the feedback from the ToT1 members in October 2019 (Arabic version was also made).
- [Activity 1-10] Completed. All the participants of ToT2 were selected before early November 2019.
- [Activity 1-11] On-going. An intensive training of ToT2 was conducted at the NL training room between 3rd and 7th November 2019 for 12 members (4 participants from each Counterpart).

² Four (4) participants from each Counterpart

³ Due to the large volume of the titles available for DAISY book production, BA and MCIT participants decided to produce 1 DAISY book by 2 participants collaboratively. As a result, 4 titles were produced by 6 core members in ToT1.

All 12 members were well-motivated and positively participated in the training. The follow-up training is being conducted through the face to face meeting at 3 Counterparts, constant e-mail, phone calls, and WhatsApp communication as of the end of December 2019. All the DAISY book production will be completed by the middle of January 2020.

- [Activity 1-12] Not started. (Selection of 6 instructors of ToT3 from the participants of ToT2)
- [Activity 1-13] Not started. (Selection of the participants of ToT3)
- [Activity 1-14] On-going. In November 2019, the TOT2 members were included as members of the DAISY Book Working Group which was formulated in July 2019 consisting of the TOT1 members, Japanese experts, and project local assistants. A WhatsApp group and a mailing-list were established to promote networking among members. The focal point in Cairo to produce and distribute DAISY books was set up in November 2019 in the Library for the Blind of NL.
- [Activity 1-15] On-going. In December 2019, 14 participants of both TOT1 and ToT2 attended the advocacy and awareness-raising events on people with reading difficulties conducted in BA, MCIT, and NL. Through these events, the networking of the DAISY Book Working Group was expanded to people with disabilities, their families, and their supporting organizations.

(3) Discuss with expected users with disabilities [Activity 1-7]: Completed.

- On 5th December 2019, the Village of Hope Association for the Development and Social Rehabilitation of the Disabled (VoH⁴) which is the non-profit organization working for children with disabilities held its annual festival to celebrate the International Day of Persons with Disabilities in the youth city of Abukir in Alexandria in collaboration with the Ministry of Social Solidarity, Alexandria Governorate, and National Council on Persons with Disabilities (NCPD). More than 30 associations working in the field of disability in Alexandria and other governorates have attended this festival. Ms. NOMURA Misako (a JICA Project Team member) was invited as one of the guest speakers and presented her speech about the effectiveness of DAISY.
- On 8th December 2019, the hands-on workshop titled "Enjoy DAISY" was held at the seminar room of VoH. . In total 18 participants including children with reading difficulties, their family members, and the supporting organizations were attended this workshop. Children could obtain the experience of reading books through tablet devices by using Arabic multimedia DAISY. Based on their experience, the Project team developed a network among stakeholders through the exchanging the opinion about the potential effectiveness of DAISY for children.
- On 9th December 2019, an awareness-raising event titled "DAISY: Opening the Door to the World of Reading" was held at the Delegate hall of BA. In total approximately 125 participants

⁴ <http://www.handsalongthenile.org/causes/village-of-hope-center-for-the-mentally-challenged-alexandria/>

including the family members of children with reading difficulties and supporting organizations in Alexandria attended this event. The two Japanese guests (Ms. OZAWA and Ms. HAMADA) presented their experience of DAISY related to the dyslexia community in Japan. As a result, the participants obtained knowledge of the effectiveness of DAISY for people with disabilities which encouraged them to read with support of DAISY.

- On 10th December 2019, an awareness-raising event titled “International DAISY Day DAISY Demonstration Workshop in Cairo” was held at the conference room of MCIT. In total 37 participants including people with disabilities and their supporting organizations attended this event. MCIT presented the future plan of the education and training facility for people with disabilities. The abovementioned two Japanese guests also presented their experience of DAISY related to the dyslexia community in Japan to people with disabilities and their supporting organization in Cairo. The participants obtained knowledge of the effectiveness of DAISY through the demonstration. As a result, the cooperative network for future advocacy and awareness-raising activities was developed.

(4) Development of the Portal and distribution of DAISY Books [Activity 1-9]: On-going

- MCIT offered to incorporate the DAISY books produced by TOT members at the current MCIT portal (which is open to the public).
- It was agreed at the 2nd JCC on 18 December 2019 that MCIT portal will be officially launched at the MCIT's New Academy Portal targeting in May 2020. Until the official launch of the New Academy Portal, MCIT will make Tamkeen Website available for DAISY book distribution expecting in early January 2020.

(5) Advocacy plan [Activity 2-1]: On-going

- The outcomes of the advocacy activities in 2019 and the advocacy plan for 2020 was reported at 2nd JCC and authorized by the JCC members.

(6) Advocacy materials development [Activity 2-2]: On-going

- 3 workshops for potential DAISY user children to have DAISY book reading experiences were conducted. Ms. Ayaka Ozawa (intern) presented her experience for dyslexic children in August and September 2019.
- The brochure on DAISY and the ratification of the WIPO⁵ Marrakesh Treaty was developed and distributed at the International Forum on DAISY in Egypt conducted in the National Library at Bab Al-Khalq in December 2019.

⁵ World Intellectual Property Organization

- Advocacy video clip on DAISY and the ratification of the WIPO Marrakesh Treaty was developed. This video clip was also presented at the International Forum on DAISY in Egypt.

(7) Knowledge Co-Creation Program (KCCP):

- [Activity 2-3] Completed. (Preparation of KCCP)
- [Activity 2-4] Completed. (Implementation of KCCP)

(8) Support for the IFLA Satellite Meeting [Activity 2-5]: Completed

(9) IFLA WLIC⁶ [Activity 2-6, 2-11]:

- [Activity 2-6] On-going (Support networking of C/Ps at IFLA WLIC)
- [Activity 2-11] On-going (Share outcomes of the Project at IFLA WLIC)

(10) Develop sustainable collaboration with other government agencies and international organizations [Activity 2-7]: On-going

- On 11th December 2019, an advocacy event entitled "International Forum on DAISY in Egypt Celebrating International Day of Persons with Disabilities" was held at the conference hall of the National Library at Bab Al-Khalq. The purpose of this advocacy event was to facilitate ratification of the Marrakesh Treaty and raise awareness for the improvement of information accessibility through the dissemination of DAISY books in Egypt in commemoration of the International Day of Persons with Disabilities.

In total 73 participants including the policymakers of the related organization for the ratification of the Marrakesh Treaty attended the forum. In particular, Prof. Hesham Azumi, chairperson of NL, Prof. Amgad Elgohary, Head of the library sector of BA, Mr. OMURA Yoshifumi, Chief Representative of JICA Egypt Office, Mr. SUZUKI Kotaro, Minister of Embassy of Japan in Egypt, and Dr. Abeer F. Shakweer, Minister's Advisor for Social Responsibility Service of MCIT attended as the opening speakers of the event. Also, Dr. Ashraf Marie, Secretary-General of NCPD and Prof. Hany Helal, Cairo University (the former minister of Ministry of Higher Education and current JICA education advisor) made speech as the guest speakers.

- Dr. Ashraf Marie, Secretary General of NCPD expressed their intention to participate in the advocacy event in 2020 as one of the hosts which was agreed at 2nd JCC held on 18 December 2019.

(11) Conduct advocacy events to commemorate International Day of Persons with Disabilities [Activity 2-8]: On-going

⁶ World Library and Information Conference

- 4 advocacy events were conducted in collaboration with 3 CPs and persons with print disabilities and their families (Refer to “(3) Discuss with expected users with disabilities [Activity 1-7]”).

(12) Document experience/lessons learnt of advocacy activities including the data analysis of the questionnaire [Activity 2-9] On-going

- Brief documents on each activity were made.

(13) Disseminate information on DAISY book to other JICA projects and exchange ideas on DAISY book utilization [Activity 2-10] On-going

- Interaction with JICA's volunteer working at VoH was conducted in December 2019 (Refer to “(3) Discuss with expected users with disabilities [Activity 1-7]”).

(14) Share outcomes of the Project at IFLA WLIC [Activity 2-11] On-going

- No progress during this monitoring period.

(15) Report on the result of the Project including the proposal for the follow-up [Activity 2-12] Not started

1-3 Achievement of Output

(1) The core group member of DAISY books production and DAISY production staff are trained.

- Intensive ToT for 6 core members was conducted between 7th and 11th July 2019. Intensive ToT for 12 members was conducted between 3rd and 7th November 2019.
- 6 DAISY book production staff (core members) was trained as planned (2 trainees from each CP). 12 DAISY book production staff is being trained through the follow-up training as of the end of December 2019.

(2) The benefits of DAISY books are widely understood.

- 6 personnel including 3 decision making personnel from 3 counterparts participated in Knowledge Co-Creation Program and understood the benefit of DAISY books in various sectors including education, healthcare and disaster preparedness development for persons with print disabilities.
- In August and September 2019, in total 25 potential user children participated advocacy activities and experience DAISY book reading.
- In December 2019, in total approximately 260 participants including children with disabilities, their family members, the supporting organizations, and the related government agencies attended the advocacy and awareness-raising events on DAISY and people with reading difficulties to commemorate the International Day of Persons with Disabilities.

1-4 Achievement of the Project Purpose

- 1) A bibliographic record of the DAISY titles is available on the internet

MCIT plans to launch the portal to distribute DAISY titles through internet shortly.

- 2) # of activities among participants of advocacy activities are increased before and after the project intervention.

Nine (9) advocacy and awareness-raising events were held in collaboration with the 3 CPs, and approximately 400 people in total participated in those activities during the project period.

Table: Total number of participants for the advocacy and awareness-raising events

Events	Total number of participants
WLIC 2019 IFLA LPD/LSN Satellite Meeting	119
3 events in August 2019	25
5 events in December 2019	260

1-5 Changes of Risks and Actions for Mitigation

N/A

1-6 Progress of Actions undertaken by JICA

- 1 PC needed repair (the same PC which needed repair in July 2019).
- 12 headsets were procured in October 2019.

1-7 Progress of Actions undertaken by Gov. of Egypt

- NL established the working space of the Project in the Library for the Blind in November 2019 as the DAISY production / dissemination focal point in Cairo.

1-8 Progress of Environmental and Social Considerations (if applicable)

N/A

1-9 Progress of Considerations on Gender/Peace Building/Poverty Reduction (if applicable)

- Among 12 ToT2 participants, 7 participants were female.

1-10 Other remarkable/considerable issues related/affect to the project (such as other JICA's projects, activities of counterparts, other donors, private sectors, NGOs etc.)

- Selection of 42 titles for ToTs: It was specified in RD that "The Counterparts and JICA agreed that MCIT will coordinate with NL and BA to select at least 42 suitable books for the trainings based on the advice from JICA experts, and send them to JICA Egypt Office by the end of February 2019." However, due to copy right issues, provision of suitable titles has been delayed. The selection policy was discussed at the 1st JCC and 3 Counterparts will cooperate to provide suitable books (text embedded PDF format) for ToT3. MCIT will continue to request the Ministry of Education to provide text embedded PDF format of 12 textbook materials.

2 Delay of Work Schedule and/or Problems (if any)

2-1 Detail

- 1) Determination of objectively verifiable indicators of Overall Goal: Discussions to determine the verifiable indicator among the Project Team, Counterparts and JICA has been not finalized yet. It is planned to be decided in the 3rd JCC.
- 2) Selection of instructors and trainees for TOT3: It was supposed to be conducted by the end of December 2019 but postponed to the end of March 2020.

2-2 Cause

- 1) Determination of objectively verifiable indicators of Overall Goal: These indicators are heavily related to sustainable DAISY book production plan in Egypt which will be heavily impacted by the effective sharing of production units to be used by increased number of producers and the expected ratification of the Marrakesh Treaty. Therefore it will be decided at the JCC3.
- 2) Selection of instructors and trainees for TOT3: TOT3 will be conducted in June 2020, and the date and venue need to be finalized by the availability of stakeholders. Therefore, the counterparts insisted on the difficulty of the finalization of the participants.

2-3 Action to be taken

- Create discussion opportunities among Counterparts and JICA Project Team on these matters other than JCC.
- Selection of instructors and trainees for TOT3: The project agreed with all the counterparts and the DAISY Book Working group to select the instructors and trainees of TOT3 by the end of March.

2-4 Roles of Responsible Persons/Organization (JICA, Gov. of Egypt, etc.)

- JICA Project Team, Egyptian Counterparts.

3 Modification of the Project Implementation Plan

3-1 PO

N/A

3-2 Other modifications on detailed implementation plan

(Remarks: The amendment of R/D and PDM (title of the project, duration, project site(s), target group(s), implementation structure, overall goal, project purpose, outputs, activities, and input) should be authorized by JICA HDQs. If the project team deems it necessary to modify any part of R/D and PDM, the team may propose the draft.)

N/A

4 Current Activities of Gov. of Egypt to Secure Project Sustainability after its Completion

Regarding sustainability, the following issues were discussed at the 2nd JCC as follows:

- Making use of the advantage of the National Library as the legal depository library which has the electronic files of all published books in Egypt. Technical specifications of the electronic file may be changed to be suitable for DAISY Book Production or readily accessible for readers with disabilities.
- Ratification of the Marrakesh Treaty is the best support for the DAISY book production until books are published in born accessible format such as accessible EPUB.
- In order to establish the sustainable production mechanism, it is important to have a nation-wide network of DAISY Book producers for shared DAISY Book collection development including mobilization of potential volunteers

II. Project Monitoring Sheet I & II *as Attached*

Project Monitoring Sheet I (Revision of Project Design Matrix)

Project Title: Project for Improvement of Inclusion of Persons with Disabilities through Improvement of Information Accessibility
Implementing Agency: Ministry of Communication and Information Technology (MCIT)
Target Group: National Library (NL), Bibliotheca Alexandrina (BA) and other relevant organizations concerning DAISY books production and dissemination
Period of Project: 7 March 2019 - March 2021
Project Site: Cairo and Alexandria

Version 2
Dated 25 December 2019

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption	Achievement	Remarks
Overall Goal The DAISY books are available in various fields such as education, employment, health, tourism and disaster risk reduction.	<ul style="list-style-type: none"> The titles of DAISY books produced The XX number of DAISY books distribution The XX (tentatively 2) number of DAISY book producer increased per year per instructor 	<ul style="list-style-type: none"> A bibliographic record and downloading log of DAISY books via the MCIT portal 			
Project Purpose Human and technical resource are put in place to produce and disseminate DAISY books in Arabic and other languages.	<ul style="list-style-type: none"> A bibliographic record of the DAISY titles is available on the internet # of activities among participants of advocacy activities are increased before and after the project intervention 	<ul style="list-style-type: none"> Record of the Project A portal of the DAISY books 	<ul style="list-style-type: none"> The Egyptian government continues its effort for the inclusion of persons with disabilities regarding access to information. Trained 42 DAISY book producers continue to produce DAISY books. Continuous implementation of awareness raising activities on the advantages of DAISY books by MCIT PCs and softwares are updated when necessary. 	<p>MCIT plans to launch the portal to distribute DAISY titles through internet shortly.</p> <p>Nine (9) advocacy and awareness-raising events were held in collaboration with the 3 CPs, and approximately 400 people in total participated in those activities during the project period.</p>	
Outputs 1. The core group of DAISY books production and DAISY books production staff are trained. 2. The benefits of DAISY books are widely understood.	<ul style="list-style-type: none"> 42 DAISY books production staff are trained. A portal is in place to upload/download the DAISY books produced Knowledge on DAISY books and related issues is increased among participants of advocacy activities 	<ul style="list-style-type: none"> Project documents Questionnaire 	<ul style="list-style-type: none"> Continuous commitment of MCIT on the DAISY book production and dissemination and availability of the budget for the Project. Continuous cooperation from BA and NL 	<p>18 DAISY books production staff are trained.</p> <p>- 6 personnel including 3 decision making personnel from 3 CPs participated in Knowledge Co-Creation Program and understood the benefit of DAISY books in various sectors including education, healthcare and disaster preparedness development for persons with print disabilities.</p> <p>- 25 potential user children participated advocacy activities and experience DAISY book reading</p> <p>- 4 events to commemorate International Disability Day attracted various stakeholders of more than 250 participants including children with reading difficulties, their family members, NGOs and Egyptian high officials.</p>	

Activities	Inputs		Important Assumption
	The Japanese Side	The Egyptian Side	
1-1 Support holding the Kick-off meeting and building consensus on a human resource development plan.	1. Experts - Chief Advisor - Coordinator/Advocacy	1. Personnel - Project Director - Project Manager - ToT's candidates	<ul style="list-style-type: none"> Necessary budget for the Project is allocated. Selected participants allocate their enough time to participate in ToTs. Electronic materials for DAISY books production training are provided in text format.
1-2 Procure and inspect of necessary equipment for for 1st and 2nd ToTs (22 sets).	- DAISY book production - Advocacy	- DAISY book production	
1-3 Prepare equipments of ToTs	2. Trainings <Egypt> - Multimedia DAISY Books Production	2. Suitable work space (desk/table for 3-4 people) for JICA experts as well as necessary office facility throughout the project period	<p>Pre-Conditions</p> <ul style="list-style-type: none"> Required protocol/permission to implement the project are arranged for JICA experts
1-4 Select the core group members of the DAISY book production	<Japan> - Development of advocacy plan	3. Text data of books to be used for the training for DAISY books production	
1-5 Develop training materials on DAISY book production	<Third Country> - Capacity development on the DAISY books production and dissemination		<p><Issues and countermeasures></p>
1-6 Conduct a ToT for the core group members (the activity includes the production of DAISY books and preparation of a bibliographic record of the DAISY titles)			
1-7 Discuss with expected users with disabilities to collect their ideas about DAISY books	3. Provision of equipment - Softwares of DAISY books production - Laptop PCs - External Solid State Drivers - Microphone headsets		
1-8 Revise, if necessary, training materials according to the lessons learnt	4. Activity Cost - Daily subsidy allowance, accommodation expense and travel expense for participants of trainings implemented by the Project.		
1-9 Monitor the distribution of the DAISY books titles produced as well as planned to be produced on the MCIT portal			
1-10 Select the members of 2nd batch ToT			
1-11 Conduct the 2nd ToT with the core group members			
1-12 Select 6 instructors from the trainees of the 2nd batch for the 3rd ToTs (Core group member 6 + 6 = Instructors for the 3rd ToT)			
1-13 Select the members of the 3rd batch			
1-14 Formulate DAISY book working groups			
1-15 Promote networking of DAISY book producers			
1-16 Procure and inspect of necessary equipment for 3rd ToTs (24 sets).			
1-17 Conduct the 3rd ToTs with the 12 instructors			
2-1 Develop an advocacy action plan in collaboration with C/Ps and other stakeholders.			
2-2 Develop materials for advocacy activities and outreach to disseminate DAISY book reading experiences.			
2-3 Prepare the Knowledge Co-Creation Program in Japan			
2-4 Conduct Knowledge Exchange Program in Japan			
2-5 Support for the Satellite Meeting of the IFLA WLIC in Alexandria			
2-6 Support networking of C/Ps at IFLA WLIC			
2-7 Develop sustainable collaboration with other government agencies and international organizations in relation to the WIPO Marrakesh Treaty			
2-8 Conduct advocacy events to commemorate International Day of Persons with Disabilities in collaboration with C/Ps and persons with print disabilities and their families			
2-9 Document experience/lessons learnt of advocacy activities including the data analysis of the questionnaire			
2-10 Disseminate information on DAISY book to other JICA projects and exchange ideas on DAISY book utilization			
2-11 Share outcomes of the Project at IFLA WLIC			
2-12 Report on the result of the Project including the proposal for the follow-up			

Version 2

Project Title: Project for Improvement of Inclusion of Persons with Disabilities through Improvement of Information Accessibility																					Dated 23 December 2019					
																					Monitoring					
Inputs					Plan																Remarks		Issue	Solution		
					2018		2019				2020				2021											
					Actual	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV					
Expert																										
Chief Advisor/Information Accessibility					Plan																					
					Actual																					
Multimedia DAISY books production (ToT)					Plan																					
					Actual																					
Multimedia DAISY books production (Software)					Plan																					
					Actual																					
Project Coordination/Advocacy Planning 1					Plan																					
					Actual																					
Project Coordination/Advocacy Planning 2					Plan																					
					Actual																					
Advocacy (Supporter for multimedia DAISY book users)					Plan																					
					Actual																					
Advocacy Planning					Plan																					
					Actual																					
Equipment																										
Multimedia DAISY books production kit					Plan																					
					Actual																					
					Plan																					
					Actual																					
Training in Japan																										
Development of Advocacy Plan					Plan																					
					Actual																					
In-country/Third country Training																										
Multimedia DAISY books production (in country)					Plan																					
					Actual																					
IFLA Annual Conference					Plan																					
					Actual																					
Activities																							Non-governmental Organization			
Sub-Activities					Actual		2018		2019				2020				2021				Japan	GOE	Achievements	Issue & Countermeasures		
0. Conduct a baseline survey					Plan																					
					Actual																					
1. The core group member of DAISY books production and DAISY production staff are trained.					Plan																					
					Actual																					
1-1 Support holding the Kick-off meeting and building consensus on a human resource development plan.					Plan																					
					Actual																					
1-2 Procure and inspect of necessary equipment for 1st and 2nd ToTs (22 sets).					Plan																					
					Actual																					
1-3 Prepare equipment of ToTs					Plan																					
					Actual																					
1-4. Select the core group members of the DAISY book production					Plan																					
					Actual																					
1-5 Develop training materials on DAISY book production					Plan																					
					Actual																					
1-6. Conduct a ToT for the core group members (the activity includes the production of DAISY books and preparation of a bibliographic record of the DAISY sites)					Plan																					
					Actual																					
1-7. Discuss with expected users with disabilities to collect their ideas about DAISY books					Plan																					
					Actual																					
1-8. Revise, if necessary, training materials according to the lessons learnt					Plan																					
					Actual																					
1-9 Monitor and advice on the development status of a portal that allows viewing of a list of DAISY book titles that can be distributed online and planned to be produced					Plan																					
					Actual																					
1-10. Select the members of 2nd batch ToT					Plan																					
					Actual																					
1-11. Conduct the 2nd ToT with the core group members					Plan																					
					Actual																					
1-12. Select 6 instructors from the trainees of the 2nd batch for the 3rd ToTs (Core group member 6 + 6 = Instructors for the 3rd ToT)					Plan																					
					Actual																					
1-13 Select the members of the 3rd batch					Plan																					
					Actual																					
1-14 Formulate DAISY book working groups					Plan																					
					Actual																					
1-15 Promote networking of DAISY book producers					Plan																					
					Actual																					
1-16 Procure and inspect of necessary equipment for 3rd ToTs (24 sets).					Plan																					
					Actual																					
1-17 Conduct the 3rd ToTs with the 12 instructors					Plan																					
					Actual																					
2. The benefits of DAISY books are widely understood.					Plan																					
					Actual																					
2-1. Develop an advocacy action plan in collaboration with C/Ps and other stakeholders					Plan																					
					Actual																					
2-2. Develop materials for advocacy activities and outreach to disseminate DAISY book reading experiences.					Plan																					
					Actual																					
2-3. Prepare the Knowledge Co-creation Program in Japan					Plan																					
					Actual																					
2-4. Conduct Knowledge Co-creation Program in Japan					Plan																					
					Actual																					
2-5. Support for the Satellite Meeting of the IFLA WLIC in Alexandria					Plan																					
					Actual																					
2-6 Support networking of C/Ps at IFLA WLIC					Plan																					
					Actual																					
2-7 Develop sustainable collaboration with other government agencies and international organizations in relation to the WIPO Marrakesh Treaty					Plan																					
					Actual																					
2-8 Conduct advocacy events to commemorate International Day of Persons with Disabilities in collaboration with C/Ps and persons with print disabilities and their families					Plan																					
					Actual																					
2-9 Document experience/lessons learnt of advocacy activities including the data analysis of the questionnaire					Plan																					
					Actual																					
2-10 Disseminate information on DAISY book to other JICA projects and exchange ideas on DAISY book utilization					Plan																					
					Actual																					
2-11 Share outcomes of the Project at IFLA WLIC					Plan																					
					Actual																					
2-12 Report on the result of the Project including the proposal for the follow-up					Plan																					
					Actual																					
Duration / Phasing					Plan																					
					Actual																					
Monitoring Plan					Plan	2018		2019				2020				2021				Remarks		Issue	Solution			
					Actual	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV					
Monitoring																										
Joint Coordinating Committee					Plan																					
					Actual																					
Develop detailed PO					Plan																					
					Actual																					
Reports/Documents																										
Monitoring Sheet					Plan																					
					Actual																					
Project Completion Report					Plan																					
					Actual																					
Public Relations																										
					Plan																					
					Actual																					
					Plan																					

The parties acknowledge and agree that this Minutes of Meeting may be executed by electronic signature, which is considered as an original signature for all purposes and has the same force and effect as an original signature. "Electronic signature" includes faxed versions of an original signature or electronically scanned and transmitted versions (e.g., via pdf) of an original signature.

TO CR of JICA Egypt OFFICE

Project Monitoring Sheet

Project Title : The PROJECT FOR IMPROVEMENT OF INCLUSION OF PERSONS WITH DISABILITIES THROUGH IMPROVEMENT OF INFORMATION ACCESSIBILITY

Version of the Sheet: Ver.3 (Term: January 2020 – September 2020)

Name: Assoc. Prof. Abd El-Monem El-Sharkawy

Title: Project Director

Name: KAWAMURA Hiroshi

Title: Chief Advisor

Submission Date: 7 December 2021

I. Summary

1 Progress

1-1 Progress of Inputs

(1) Expert

8 Japanese experts were assigned in accordance with the work plan.

Table 1: Assignment of the Japanese experts during the monitoring period

Name	Role	Number of visits	Assigned date
KAWAMURA Hiroshi	Chief Advisor / Information accessibility	N/A	Plan: 62 days Actual: 63 days
Mayu Makio	DAISY Book Production (ToTs)	N/A	Plan: 1 day Actual: 0 days
YOUSSEF Yasmine	DAISY Book Production (ToTs)	N/A	Plan: 75 days Actual: 69 days
MARUICHI Go	DAISY Book Production (Software)	N/A	Plan: 58 days Actual: 65 days
KAWAMURA (FURUYA) Ai	Deputy Chief Advisor / Coordination 1 / Advocacy 1	N/A	Plan: 35 days Actual: 35 days
Mizuki Takegata	Coordination 2 / Advocacy 2	N/A	Plan: 4 days Actual: 0 days

Name	Role	Number of visits	Assigned date
Shigeko Hamada	Advocacy events	N/A	Plan: 1 day Actual: 0 days
NOMURA Misako	Advocacy plan	N/A	Plan: 14 days Actual: 0 days

(3) In-country/Third Country Training

The progress of the Training of Trainers for DAISY book production (hereinafter referred to as “ToTs”) are described as follows:

- ToT1: Completed.
 - 6 core members completed the ToT and produced 5 DAISY books¹ (Currently 1 DAISY book is under production).
- ToT2: Completed.
 - 12 participants completed the ToT and produced 13 DAISY books (Currently 6 DAISY books are under production)
- ToT3: On-going.
 - Form of the training: The training adapted a remote online conferencing tool “Zoom” as precautions of COVID-19 infection. The 24 participants of the ToT3 were divided into 4 groups; 6 trainees each which were split into 3 groups during the hands-on sessions where each trainer supported two participants. WIFI routers were rent to the trainees who required good internet connection.
 - Intensive Training: 24 participants have completed the 5-day intensive training; 3 from Ministry of Communication and Information Technology (hereinafter referred to as “MCIT”), 8 from Bibliotheca Alexandrina (hereinafter referred to as “BA”), 8 from the National Library & Archives of Egypt (hereinafter referred to as “NLAE”), 2 from National Council for Persons with Disabilities (hereinafter referred to as “NCPD”), 3 from other stakeholders. The training was successful. Positive feedbacks from the trainees have been provided especially on the design of the program and the time efficiency. The engagement and interaction of all trainees have been very active.
 - Follow up training: All the trainees returned to their respective workplaces to complete their selected DAISY book production during the approximately two months of training and acquire skills (Currently 24 books are under production). In principle, follow up training will be conducted remotely using online meeting tool “Zoom”.

Table 2: Implementation schedule of the Intensive Training of ToT3

¹ 2 members shared 1 book

Group	Date	Participants
1 st group	19-26 July 2020 (5 days)	MCIT 1, NLAE 4, stakeholder 1
2 nd group	9-13 August 2020 (5 days)	MCIT 2, BA 4
3 rd group	23-27 August 2020 (5 days)	BA 4, NCPD 1, stakeholder 1
4 th group	6-10 September 2020 (5 days)	NLAE 4, NCPD 1, stakeholder 1

(4) Others

N/A

1-2 Progress of Activities**(1) Kick-Off meeting:**

[Activity 1-1: Holding the Kick-off meeting for the 2nd period and building consensus] Completed.

- The Kick-off meeting for the 2nd period was conducted on 16 August 2020. The Work plan for the 2nd period was endorsed by the Counterparts (hereinafter referred to as “C/Ps”) at the meeting.

(2) ToTs [Activity 1-2 ~ 1-6, 1-8, 1-10 ~ 1-15]:

[Activity 1-2: Procure and inspect of necessary equipment for 1st and 2nd ToTs] Completed.

[Activity 1-3: Prepare for equipment of DAISY production ToTs] Completed.

[Activity 1-4: Selection of 6 participants for ToT1] Completed.

[Activity 1-5: Development of the training manual] Completed.

[Activity 1-6: Conduct a training of trainers (ToTs) for the core group members] Completed.

[Activity 1-8: Revise, if necessary, training materials according to the lessons learnt] On-going.

- The training materials including the manual for ToTs was revised before the intensive training of ToT3 by reflecting the change of form of the training (online training), the feedback from the ToT1 and ToT2 members and also update of DAISY book production software (both Arabic and English version were made).
- The training manual will be completed after reflecting the feedback of the ToT3 trainees.

[Activity 1-10: Select the members of 2nd batch ToT] Completed.

[Activity 1-11: Conduct the 2nd ToT with the core group members] Completed.

- The follow-up training was conducted through the face to face meeting at 3 C/Ps, constant e-mail, phone calls, and WhatsApp communication and completed in January 2020.

[Activity 1-12: Selection of 6 trainers of ToT3 from the participants of ToT2] Completed.

- With the cooperation of the C/Ps, 4 core members and 10 trainers from ToT2 participated in the intensive training and follow-up training as training assistants for ToT3.
- As for the intensive training, adopted a format that facilitated participation of training assistants even in online training by providing occasions for advice and opinion exchanges based on the experience of recording and DAISY book production.

- For trainees from 3 C/Ps, MCIT, NLAE and BA, training assistants who belong to the same institution were in charge of assisting ToT3 trainees considering the participants' schedules and implementation methods to create as many opportunities as possible to allow all ToT1 and ToT2 trainees to participate.

[Activity 1-13: Selection of the participants of ToT3] Completed.

- 24 participants of ToT3 were selected prior to implementation of 4 batches of the intensive training of ToT3. Regarding the selection of the participants, in addition to coordinating with the C/Ps and NCPD, as an observer of the Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "JCC"), the local staff of the Project played a central role to identify the appropriate NGOs to participate in the training.

[Activity 1-14: Formulate DAISY books working group] Completed.

- In addition to 18 members who completed ToT1 and ToT2, 24 members of ToT3 participants were added in the DAISY book production working group.

[Activity 1-15: Promote networking of DAISY books producers] On-going.

- In December 2019, 14 participants of both ToT1 and ToT2 attended the advocacy and awareness-raising events on people with reading difficulties conducted at 3 C/P's premises, respectively. Through these events, the networking of the DAISY Book Working Group was expanded to people with disabilities, their families, and their supporting organizations.
- Online meeting with the core members (ToT1 participants), ToT2 participants and 2 mentors from the digital talking book unit of BA was coordinated to arrange for follow-up of ToT3 as a part of networking of DAISY books producers.

[Activity 1-16: Procure and inspect of necessary equipment for the 3rd ToT] Completed

- Procure and inspect 26 sets of DAISY production kit for 3rd ToT participants as well as the staff of the JICA Project Team.

[Activity 1-17: Conduct the 3rd ToTs with the 12 trainers] On-going

- 24 DAISY book production trainees completed the intensive training of ToT. All the trainees returned to their respective workplaces to complete their selected DAISY book production during the approximately two months of training and acquire skills. (Refer to 1-1 (3) In-country/Third Country Training)

(3) Discuss with expected users with disabilities [Activity 1-7]

[Activity 1-7: Discuss with expected users with disabilities to collect their ideas about DAISY books] Completed.

- In December 2019, 4 advocacy events were conducted in collaboration with 3 C/Ps and persons with print disabilities and their families with 260 participants in total.

(4) Monitor the distribution of the DAISY books titles produced as well as planned to be produced on the MCIT portal [Activity 1-9]: On-going

- MCIT has been preparing the DAISY book portal at the website of the National Academy of

Information Technology for Persons with Disabilities (hereinafter referred to as “NAID”).

- Apart from MCIT portal, NLAE voluntarily launched their own portal for the books they produced.

(5) Develop an advocacy action plan in collaboration with C/Ps and other stakeholders

[Activity 2-1] Completed

- The basic framework of the advocacy plan in 2020 was agreed at the 3rd JCC.

(6) Develop materials for advocacy activities and outreach to disseminate DAISY book reading experiences [Activity 2-2]: On-going

- 3 workshops for potential DAISY user children to have DAISY book reading experiences were conducted. Ms. Ayaka Ozawa (intern) presented her experience for dyslexic children in August and September 2019.
- The brochure on DAISY and the ratification of the World Intellectual Property Organization (hereinafter referred to as “WIPO”) Marrakesh Treaty was developed and distributed at the International Forum on DAISY in Egypt conducted in the National Library at Bab Al-Khalq in December 2019.
- Advocacy video clip:
 - Advocacy video clip on DAISY and the ratification of the WIPO Marrakesh Treaty was developed. This video clip was also presented at the International Forum on DAISY in Egypt.
 - Concept of the advocacy video clip to share the outcomes of the Project to further promote DAISY and the ratification of the WIPO Marrakesh Treaty was shared at the 3rd JCC and production has been started.
- 28 DAISY books have been produced by the Project Working Group available for advocacy activities and 32 titles are under production.
-

Table 3: DAISY books produced in the Project

Category	Number of DAISY books produced in the Project		
	Completed	On-going	Total
Education	13 (science 12, environment 1)	0	13
Children	2	25 (religion 4)	27
Literature	1	3	4
COVID-19	4*	0	4
Agriculture	6	0	6
Disability	0	1	1
Others	2	3	5
Total	28	32	60

* Requesting copyright permission for distribution through the project portal.

(7) Knowledge Co-Creation Program (KCCP) [Activity 2-3, 2-4]:

- [Activity 2-3: Preparation of KCCP] Completed.
- [Activity 2-4: Implementation of KCCP] Completed.

(8) Create network and share outcomes at IFLA WLIC [Activity 2-5, 2-6, 2-11]:

[Activity 2-5: Conduct the Satellite Meeting of the IFLA WLIC in Alexandria] Completed.

[Activity 2-6: Support networking of C/Ps at IFLA WLIC] On-going

- Due to the spread of COVID-19 infection, International Federation of Library Associations and Institutions (hereinafter referred to as "IFLA") Headquarters decided to cancel the World Library and Information Conference (hereinafter referred to as "WLIC") 2020 in Dublin. It was agreed at the kick off meeting that C/Ps will participate in the online poster session of IFLA once it is announced by IFLA to exchange ideas in particular with the North European institutions and experts.

[Activity 2-11: Share outcomes of the Project at IFLA WLIC] On-going

- No progress during this monitoring period. (Refer to Activity 2-6)

(9) Develop sustainable collaboration with other government agencies and international organizations in relation to the WIPO Marrakesh Treaty [Activity 2-7] On-going

- Mini training of DAISY book production was conducted for 6 participants from a stakeholder entity in March 2020.

(10) Conduct advocacy events to commemorate International Day of Persons with Disabilities in collaboration with stakeholders including persons with print disabilities and their families [Activity 2-8] On-going

- In December 2019, 4 advocacy events including "International Forum on DAISY in Egypt Celebrating International Day of Persons with Disabilities" held at the conference hall of the National Library at Bab Al-Khalq were conducted in collaboration with 3 C/Ps and persons with print disabilities and their families (Refer to "(3) Discuss with expected users with disabilities [Activity 1-7]").
- The basic framework of the IDPD advocacy event in 2020 was agreed at the 3rd JCC meeting.

(11) Documentation and dissemination of the Project outcomes [Activity 2-9, 2-10, 2-12]

[Activity 2-9: Document experience/lessons learnt of advocacy activities including the data analysis of the questionnaire] On-going

- Brief documents on each activity were made including articles at the JICA Project Website.

[Activity 2-10: Disseminate information on DAISY book to other JICA projects and exchange ideas on DAISY book utilization] On-going

- In the 1st period, interaction with JICA's volunteer working at Village of Hope was conducted in

December 2019 (Refer to “(3) Discuss with expected users with disabilities [Activity 1-7]”).

- In March 2020, JICA Project Team exchanged ideas with another JICA project in Egypt “The Project for Creating Environment for Quality Learning” for potential collaboration.

[Activity 2-12: Report on the result of the Project including the proposal for the follow-up] Not started

- No progress during this monitoring period.

1-3 Achievement of Output

(1) Output 1: The core group of DAISY book production and DAISY book production staff are trained.

(Objectively verifiable indicator 1) 42 DAISY book production staff are trained

- Intensive ToT for 6 core members was conducted between 7th and 11th July 2019. Intensive ToT for 12 members was conducted between 3rd and 7th November 2019.
- 18 DAISY book production trainers (including 6 core members) were trained as planned (6 trainers from each C/P).
- 24 ToT3 trainees completed the intensive training session. All the trainees returned to their respective workplaces to acquire the skills and complete their selected DAISY book production during the approximately two months of training.

(Objectively verifiable indicator 2) A portal is in place to upload/download the DAISY books produced

- MCIT has been preparing the DAISY book portal at NAID’s website and waiting for clearance of the hosting to launch the portal.
- Apart from MCIT portal, NLAE voluntarily launched their own portal, mainly for their books.

(2) Output 2: The benefits of DAISY books are widely understood.

(Objectively verifiable indicator) Knowledge on DAISY books and related issues is increased among participants of advocacy activities.

- 6 participants including 4 management level personnel from 3 C/Ps participated in Knowledge Co-Creation Program and well understood the benefit of DAISY books in various sectors including education, healthcare and disaster preparedness development for persons with print disabilities.
- In August and September 2019, in total 25 potential user children participated advocacy activities and experience DAISY book reading. Similar activities will be continued in the 2nd period.
- In December 2019, in total approximately 260 participants including children with disabilities, their family members, the supporting organizations, and the related government agencies attended the advocacy and awareness-raising events on DAISY and people with reading

difficulties to commemorate the United Nations International Day of Persons with Disabilities (hereinafter referred to as "IDPD"). An IDPD advocacy event is planned to be organized in December 2020, in collaboration with C/P organizations and NCPD to further promote DAISY and Egyptian ratification of the WIPO Marrakesh Treaty by sharing the outcomes of the Project.

- Mini-training in DAISY production was conducted for 6 members of a stakeholder entity in March 2020. After ToT3, mini-training sessions for visually impaired organizations is also planned.

Table 4: Summary of the achievement of the objectively verifiable indicator of the Output

Output	Objectively Verifiable Indicator	Progress of achievement
Output 1: The core group of DAISY book production and DAISY book production staff are trained.	42 DAISY book production staff are trained	<u>Almost achieved</u> <ul style="list-style-type: none"> • 18 DAISY books production staff are trained. • 24 trainees completed intensive training session of ToT3 and expected to complete the training by November 2020.
	A portal is in place to upload/download the DAISY books produced	<u>Almost achieved</u> <ul style="list-style-type: none"> • MCIT prepares for launching the DAISY book portal at NAID's website to distribute DAISY titles through internet. • NLAE voluntarily launched their own portal, mainly for their books.
Output 2: The benefits of DAISY books are widely understood	Knowledge on DAISY books and related issues is increased among participants of advocacy activities	<u>Considered achieved, however further advocacy activities need to be conducted for better and wider understanding of DAISY and promotion of ratification of WIPO Marrakesh Treaty in collaboration with NCPD, visually impaired groups and individuals and international organizations.</u> <ul style="list-style-type: none"> • 6 personnel participated in Knowledge Co-Creation Program • 25 potential user children participated in advocacy activities and experienced DAISY book reading. • 4 events to commemorate IDPD attracted various stakeholders of more than 250 participants including children with reading difficulties, their family members, NGOs and

Output	Objectively Verifiable Indicator	Progress of achievement
		Egyptian high officials. • Mini-training in DAISY production was conducted for 6 members of a stakeholder entity

(3) Verification of DAC Evaluation Criteria

To implement the project steadily and achieve the effects, as well as to understand and share what efforts are required for those concerned in the future, the following viewpoints of DAC Evaluation Criteria was verified for the output of the Project as follows:

- Effectiveness: Effectiveness of the output is confirmed as the output directly connects to the project purpose.
- Efficiency: Efficiency of the output is confirmed as the project activities are likely to deliver the output as planned.

1-4 Achievement of the Project Purpose

(1) A bibliographic record of the DAISY titles is available on the internet

- MCIT prepares for launching the portal to distribute DAISY titles through internet.
- NLAE voluntarily launched their own portal of DAISY titles they produced at their website.

(2) 9 of activities among participants of advocacy activities are increased before and after the project intervention.

Nine (9) advocacy and awareness-raising events were held in collaboration with the 3 C/Ps, and approximately 400 people in total participated in those activities during the project period.

Table 5: Total number of participants for the advocacy and awareness-raising events

Events	Total number of participants
WLIC 2019 IFLA LPD/LSN Satellite Meeting	119
3 events in August 2019	25
4 events in December 2019	260

Table 6: Progress of achievement of the objectively verifiable indicator of the project purpose

Objectively Verifiable Indicator	Progress of achievement
A bibliographic record of the DAISY titles is available on the internet	<u>Almost achieved</u> • MCIT prepares for launching the portal to distribute DAISY titles through internet. • NLAE voluntarily launched their own portal of DAISY titles they produced at their website.

<p>9 of activities among participants of advocacy activities are increased before and after the project intervention.</p>	<p><u>Achieved but further advocacy activities need to be conducted for better and wider understanding of DAISY and promotion of ratification of WIPO Marrakesh Treaty in collaboration with NCPD, visually impaired groups and individuals and international organizations.</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • Nine (9) advocacy and awareness-raising events were held in collaboration with the 3 C/Ps, and approximately 400 people in total participated in those activities during the project period.
---	---

(3) Verification of DAC Evaluation Criteria

To implement the project steadily and achieve the effects, as well as to understand and share what efforts are required for those concerned in the future, the following viewpoints of Development Assistance Committee (hereinafter referred to as "DAC") Evaluation Criteria was verified for the project purpose of the Project as follows:

- Relevance: Relevance of the project purpose was verified. There is no modification of consistency with development policies, high-level plans, needs of the Egyptian Government in relation to the project purpose and the Project as a whole.
- Effectiveness: The project purpose is considered appropriately effective as the project outputs are connected to the project purpose achievement. It is prospected that the project purpose is achieved during the Project period.
- Impact: The development of the portal will have contribution to the achievement of overall goals from the aspect of dissemination of the DAISY books and avoidance of duplication of DAISY book production. The achievement of wide range of advocacy and awareness-raising events is considered to have impact to achieve the overall goals of the Project.
- Sustainability: After development of the portal, proper maintenance and management structure within MCIT need to be ensured. Regarding DAISY book production, 42 trainers who participated in ToTs are expected to increase 2 DAISY book producers annually as described in the objectively verifiable indicator of the Overall Goal of the Project. The DAISY production kits procured in the Project will be handed over to the 3 C/Ps and other entities participated in ToTs as soon as the administrative procedures of handover is completed, and need to be effectively utilized at each entity to maximize the production capacity. In addition, active implementation of advocacy activity towards promotion of DAISY as well as ratification of the WIPO Marrakesh Treaty needs to be continued. In order to ensure sustainable DAISY book production and dissemination, personal commitment of producers is a very important factor, however, it is essential that each organization will assign the producers to continue DAISY book production within their working hours. These key factors regarding sustainability of the

Project outcomes including necessary follow-up need be discussed with C/Ps continuously during the remaining project period.

1-5 Changes of Risks and Actions for Mitigation

N/A

1-6 Progress of Actions undertaken by JICA

N/A

1-7 Progress of Actions undertaken by Gov. of Egypt

N/A

1-8 Progress of Environmental and Social Considerations (if applicable)

N/A

1-9 Progress of Considerations on Gender/Peace Building/Poverty Reduction (if applicable)

- Among 42 participants of ToTs, 29 participants were female.

1-10 Other remarkable/considerable issues related/affect to the project (such as other JICA's projects, activities of counterparts, other donors, private sectors, NGOs etc.)

- Copyright issues to enable wider selection of titles for DAISY book production:
 - It was specified in RD that "The Counterparts and JICA agreed that MCIT will coordinate with NL and BA to select at least 42 suitable books for the trainings based on the advice from JICA experts, and send them to JICA Egypt Office by the end of February 2019." However, due to copyright issues, provision of suitable titles has been delayed.
 - So far, NLAE successfully provided 8 copyright free titles in text embedded PDF format. The 12 textbook materials provided by the Ministry of Education through MCIT had serious technical problems. MCIT continues to request the Ministry of Education to provide with the proper data for DAISY book production.
- Implementation with the utmost consideration to prevent the propagation of COVID-19 infection and to ensure the safety of related parties:
 - Considering the global propagation of COVID-19, many of the activities originally planned to dispatch experts from Japan and carry out locally will be carried out remotely from Japan during the whole period of the 2nd period.
 - The activities of local experts and local staff will also be implemented with the utmost consideration to prevent the spread of infection and to ensure the safety of the experts,

staff, and C/Ps involved in the activities. Specifically, to avoid face-to-face meetings and trainings as much as possible while there is an infection risk, and to actively adopt remote (online) implementation making the most of ICT and in case face-to-face activities are necessary, to take appropriate measures to prevent infection, such as social distance.

2 Delay of Work Schedule and/or Problems (if any)

2-1 Detail

N/A

2-2 Cause

N/A

2-3 Action to be taken

N/A

2-4 Roles of Responsible Persons/Organization (JICA, Gov. of Egypt, etc.)

- JICA Project Team, Egyptian C/Ps, NCPD

3 Modification of the Project Implementation Plan

3-1 PO

N/A

3-2 Other modifications on detailed implementation plan

“160 titles of DAISY books are produced and ready to distribute” as the verifiable indicator of Overall Goal was adopted in JCC3 and the revision of the PDM will be approved at JCC4.

4 Current Activities of Gov. of Egypt to Secure Project Sustainability after its Completion

Regarding sustainability, it was discussed at the 2nd JCC

II. Project Monitoring Sheet I & II *as Attached*

Monitoring

1-17 Conduct the 3rd ToTs with the 12 trainers

別添 5: プロジェクト成果品リスト

別添 5：技術協力作成資料リスト

1. マルチメディア DAISY 図書製作研修マニュアル（英語版及びアラビア語版）
2. Zoom 利用ガイド（英語版及びアラビア語版）
3. TTS ソフトウェアインストールマニュアル（英語版及びアラビア語版）
4. 2021 年 9 月の「ウェビナー：エジプトにおける DAISY のこれから（Webinar: DAISY in Egypt, the Way Forward）」の配信動画
5. 啓発ビデオ：
 - (1) What is DAISY?
 - (2) DAISY for Egypt
6. KCCP 参加者向けハンドブック
7. WLIC 2021 ポスターセッションで掲載したプロジェクト紹介ポスター
8. 広報資料：
 - (1) IFLA サテライト会議広報用ポスター
 - (2) IFLA サテライト会議広報用ウェブサイト
<https://sites.google.com/view/ifla2019lpdlsn/home?authuser=0>
 - (3) “DAISY: Opening the Door to the World of Reading” 広報用ポスター
 - (4) 「Webinar: DAISY in Egypt, the Way Forward」 広報用ウェブサイト
<https://sites.google.com/view/daisy-in-egypt-2021/home?authuser=0>
 - (5) プレスリリース資料
 - (6) JICA のプロジェクトホームページにおける活動実績・予定等の掲載
 - 「『誰も取り残さない世界』を目指してプロジェクトがスタート！」（2019 年 3 月 20 日掲載）
<https://www.jica.go.jp/project/egypt/009/news/20190320.html>
 - 「プロジェクト幹部による日本視察とその成果」（2019 年 5 月 15 日掲載）
<https://www.jica.go.jp/project/egypt/009/news/20190515.html>
 - 「第 1 回マルチメディア DAISY 図書製作指導者養成講習を行いました。」（2019 年 8 月 7 日掲載）
<https://www.jica.go.jp/project/egypt/009/news/20190807.html>
 - 「国際図書館連盟（IFLA）サテライトミーティング「障害者を含むすべての人のための図書館サービス」開催とその成果」（2019 年 9 月 13 日掲載）

<https://www.jica.go.jp/project/egypt/009/news/20190913.html>

- 「第2回マルチメディア DAISY 図書製作指導者養成講習を行いました」(2019 年 11 月 20 日掲載)

<https://www.jica.go.jp/project/egypt/009/news/20191120.html>

- 「障害のある子どもたちの DAISY 体験会」(2019 年 12 月 3 日掲載)

<https://www.jica.go.jp/project/egypt/009/news/20191203.html>

- 国際障害者デーを記念した啓発イベントの開催 (2020 年 1 月 15 日掲載)

<https://www.jica.go.jp/project/egypt/009/news/20200115.html>

- リモートで DAISY 図書製作指導者研修を行っています (2020 年 7 月 29 日掲載)

<https://www.jica.go.jp/project/egypt/009/news/20200729.html>

- エジプト国 JICA 技術協力プロジェクト「情報アクセシビリティの改善による障害者の社会参画促進プロジェクト」2020 年の活動 (2021 年 2 月 5 日掲載)

<https://www.jica.go.jp/project/egypt/009/news/20210205.html>

9. DAISY 製作図書リスト (添付資料)

(添付資料)

No	Title in English	Title in Arabic	Subject	Page	Source	Organization	Duration	Language	Status
1	The speech of Sheikh Taha Hussein	خطبة الشيخ طه حسين	literature	96	NLAE	BA	1:44:39	Arabic	Finished
2	02 ISMAP Women Empowerment Manual Arabic	كتيب أنشطة تمكين المرأة	Agriculture	38	JICA	MCIT	0:59:09	Arabic	Finished
3	Wind blows	الرياح تهب	education (science)	13	ATDO	NLAE	0:03:58	Arabic (translation)	Finished
4	Patriotic Stories for Children2	القصص الوطنية للأطفال ٢- العدوان على مصر ١٩٥٧	Political History for Children	22	NLAE	NLAE	0:18:17	Arabic	Finished
5	The whish of float, The Polar Bear	أمنية فلول، الدب القطبي	education (environment)	18	Rainbow	JICA Project Team	0:05:51	Arabic (translation)	Finished
6	Honeybees	نحل العسل	education (science)	12	Muster Seed	JICA Project Team	0:01:35	Arabic (translation)	Finished
7	Butterflies	الفراشات	education (science)	16	Muster Seed	JICA Project Team	0:01:39	Arabic (translation)	Finished
8	Tomatoes	الطماطم	education (science)	12	Muster Seed	JICA Project Team	0:02:06	Arabic (translation)	Finished
9	JC_handbook	دليل مدرب العمل	Disability	179	JICA	BA	7:18:22	Arabic	Finished
10	08 ISMAP Technical manual_Horticulture Crops	الدليل الإرشادي لبعض المحاصيل الزراعية الاقتصادية بمحافظة المنيا وأسيوط	Agriculture	110	JICA	MCIT	5:19:30	Arabic	Finished
11	11 ISMAP Horticulture Booklet	الزراعة كعمل تجاري	Agriculture	16	JICA	BA	0:50:49	Arabic	Finished
12	(ISMAP) 12 ISMAP Women Empowerment Booklet	تقرير عن أنشطة تمكين المرأة لمشروع تحسين الزراعة الموجهة للسوق لصغار المزارعين (ISMAP)	Agriculture	23	JICA	MCIT	2:35:21	Arabic	Finished
13	13 Proceedings of JICA UN Women Seminar Booklet	ندوة تحت عنوان التمكين الاقتصادي للمرأة بصعيد مصر	Agriculture	58	JICA	BA	0:46:40	Arabic	Finished
14	(ISMAP) 00 ISMAP Completion Seminar Presentation 16th Apr 2019 English	مشروع تحسين الزراعة الموجهة للسوق لصغار المزارعين (ISMAP)	Agriculture	33	JICA	MCIT	0:33:41	Arabic	Finished
15	the impact of nursing intervention for blind teenage students towards reproductive health	تأثير التدخل التمريضي للطالبات المكفوفات المراهقات تجاه الصحة الانجابية.	Health	31	NLAE	NLAE		Arabic	ongoing
16	Elephants	الأفيال	education (science)	13	Muster Seed	JICA Project Team	0:05:04	Arabic (translation)	Finished
17	Sharks	أسماك القرش	education (science)	12	Muster Seed	NLAE	0:03:28	Arabic (translation)	Finished

No	Title in English	Title in Arabic	Subject	Page	Source	Organization	Duration	Language	Status
18	Baby Animals	صغار الحيوانات	education (science)	9	Muster Seed	NLAE	0:01:44	Arabic (translation)	Finished
19	Monkey Adventures	مغامرات قرد	education (science)	9	Muster Seed	NLAE	0:02:09	Arabic (translation)	Finished
20	Where Are the Animals?	أين توجد الحيوانات؟	education (science)	8	Muster Seed	NLAE	0:00:57	Arabic (translation)	Finished
21	Frogs	الضفادع	education (science)	9	Muster Seed	JICA Project Team	0:02:04	Arabic (translation)	Finished
22	Watermelon	البطيخ	education (science)	9	Muster Seed	NLAE	0:01:51	Arabic (translation)	Finished
23	Mazin's mother Adventures	مخاطرات أم مازن	Children	50	Hindawi	NLAE		Arabic	Ongoing
24	The two friends	الصديقتان	Children	28	Hindawi	NLAE		Arabic	Ongoing
25	Abukir and Abusir	أبو صير وأبو قبر	Children	12	Hindawi	NLAE		Arabic	Ongoing
26	Om Sand and Om Hend	أم سند وأم هند	Children	44	Hindawi	NLAE		Arabic	Ongoing
27	The forest Gbarat	جبارة الغابة	Children	26	Hindawi	MCIT		Arabic	Ongoing
28	Kesroshaah	خسروشاه	Children	12	Hindawi	MCIT	0:20:44	Arabic	Finished
29	Safroot the woodcutter	سفروت الحطاب	Children	18	Hindawi	MCIT	0:08:43	Arabic	Finished
30	From the life of the Prophet 1	من حياة الرسول 1: أضواء من المولد السعيد	Religion (Children)	20	Hindawi	MCIT		Arabic	Ongoing
31	Penguins	البطاريق	education (science)	24	ATDO (free kids books)	JICA Project Team	0:12:12	Arabic (translation)	Finished
32	The philosophy of Al-Ghazali	فلسفة الغزالي	philosophy	14	Hindawi	JICA Project Team	0:30:19	Arabic	Finished
33	Q & A on COVID-19	أسئلة وأجوبة حول فيروس كورونا المستجد	COVID-19	n/a	WHO EMRO	JICA Project Team	0:15:00	Arabic	Finished
34	COVID19 (protect yourself and others)	كيف تحمي نفسك والآخرين من فيروس كورونا	COVID-19	n/a	WHO EMRO	JICA Project Team	0:07:39	Arabic	Finished
35	COVID19 at work	الوقاية من كوفيد-19 في أماكن العمل	COVID-19	n/a	WHO EMRO	JICA Project Team	0:01:24	Arabic	Finished
36	Tips to Improve immunity	نصائح بسيطة لتعزيز المناعة	COVID-19	n/a	MOH Egypt	NLAE	0:01:13	Arabic	Finished
37	When and how to use masks	متى ينبغي استخدام الكمامة	COVID-19	6	WHO EMRO	NLAE	0:02:00	Arabic	Finished
38	From the life of the Prophet 2	من حياة الرسول 2: بين عصر الظلام ومطلع الفجر	Religion (Children)	19	Hindawi	NLAE	0:25:04	Arabic	Finished
39	From the life of the Prophet 3	من حياة الرسول 3: هجرة الصحابة إسلام عمر	Religion (Children)	22	Hindawi	NLAE	0:39:13	Arabic	Finished
40	From the life of the Prophet 4	من حياة الرسول 4: شذائد وأزمات	Religion (Children)	16	Hindawi	NLAE	0:30:40	Arabic	Finished
41	the smart rabbit	الأرنب الذكي	Children	14	Hindawi	NLAE	0:14:20	Arabic	Finished

No	Title in English	Title in Arabic	Subject	Page	Source	Organization	Duration	Language	Status
42	Laila and the wolf	ليلي والذئب	Children	20	Hindawi	MCIT	0:19:58	Arabic	Finished
43	The Cute Rooster	الديك الطريف	Children	28	Hindawi	ERC	0:30:54	Arabic	Finished
44	Dreams of Besbesa	أحلام بسبسة	Children	15	Hindawi	BA	0:08:19	Arabic	Finished
45	Abu-Alhasan	أبو الحسن	Children	14	Hindawi	BA	0:08:19	Arabic	Finished
46	Shantah and Saydah	شنطح وصيدح	Children	21	Hindawi	BA	0:15:01	Arabic	Finished
47	Cruel Princess	الأميرة القاسية	Children	22	Hindawi	BA	0:28:59	Arabic	Finished
48	New Home	البيت الجديد	Children	13	Hindawi	MCIT	0:09:23	Arabic	Finished
49	Amar's Secrets	أسرار عمار	Children	23	Hindawi	MCIT	0:24:57	Arabic	Finished
50	The Virgin of Dinshaway	عذراء دنشواي	literature	56	Hindawi	BA	1:57:50	Arabic	Finished
51	Hayy ibn Yaqzan	حي بن يقظان	literature	56	Hindawi	BA	1:28:08	Arabic	Finished
52	The Blue Beard	الحيه الزرقاء	Children	28	Hindawi	BA	0:30:36	Arabic	Finished
53	Alaa Eldin	علاء الدين	Children	72	Hindawi	BA	1:22:06	Arabic	Finished
54	The Arab Renaissance	النهضة العربية في العصر الحاضر	History	53	Hindawi	NCPD	1:31:55	Arabic	Finished
55	The two sisters	رواية الشقيقتين	literature	42	Hindawi	Caritas	2:19:27	Arabic	Finished
56	Ali Baba	علي بابا	Children	20	Hindawi	NLAE	0:19:16	Arabic	Finished
57	Enchanted Box	العلبة المسحورة	Children	22	Hindawi	NLAE	1:29:05	Arabic	Finished
58	Sack of Coins	كيس الدنانير	Children	23	Hindawi	NLAE	0:19:45	Arabic	Finished
59	Prince MesMesh	الأمير مشمش	Children	12	Hindawi	NLAE	0:13:17	Arabic	Finished
60	Negligence of Bahloul	غفلة بهلول	Children	12	Hindawi	Caritas	0:09:04	Arabic	Finished
61	Ibn Rushd the Philosopher	ابن رشد الفيلسوف	History (Biography)	80	Hindawi	NCPD	3:32:56	Arabic	Finished
62	Finding Pluto	البحث عن بلوتو	Children	23	The Global Digital Library	JICA Project Team	0:05:14	Arabic	Finished
63	Sad Uranos	أورانوس حزين	Children	12	The Global Digital Library	JICA Project Team	0:02:25	Arabic	Finished
64	King Ageeb	الملك عحيب	Children	17	Hindawi	MCIT		Arabic	Ongoing
65	Julius Caesar	يوليوس قيصر	History	50	Hindawi	BA		Arabic	ongoing

No	Title in English	Title in Arabic	Subject	Page	Source	Organization	Duration	Language	Status
66	Marmar the Merchant	التاجر مرمز	Children	22	Hindawi	NLAE		Arabic	ongoing
67	Berlin The World's Greatest Cities	برلين مدن العالم الكبرى	Travel	112	Hindawi	BA		Arabic	ongoing
68	The Prophet	النبي	literature	88	Hindawi	BA		Arabic	ongoing
69	The Little squirrel	السنجاب الصغير	Children	52	Hindawi	BA		Arabic	ongoing
70	The Reading Donkey	الحمار القارئ	Children	18	Hindawi	BA		Arabic	ongoing
71	The Little Red Hen	الدجاجة الصغيرة الحمراء	Children	24	Hindawi	BA		Arabic	ongoing
72	Festival Night	ليلة المهرجان	Children	16	Hindawi	BA		Arabic	ongoing
73	Story of Bahlool	حكاية بهلول	Children	18	Hindawi	BA		Arabic	ongoing
74	Hasan the Happy	السعيد حسن	Children	18	Hindawi	BA		Arabic	ongoing
75	Abo Kharboosh	أبو خربوش	Children	24	Hindawi	BA		Arabic	ongoing
76	We and the Science	نحن والعلم	Science	54	Hindawi	BA		Arabic	ongoing
77	The White Elephant	الفيل الأبيض	Children	18	Hindawi	BA		Arabic	ongoing
78	The Lion and the Three Bulls	الأسد والثيران الثلاثة	Children	22	Hindawi	BA		Arabic	ongoing
79	over landing Abdullah and the Marine Abdullah	عبد الله البري وعبد الله البحري	Children	52	Hindawi	BA		Arabic	ongoing
80	The Central Bank in Different Ages	البنك المركزي في العصور المختلفة	Economy	50	Hindawi	BA		Arabic	ongoing
81	Curious guide on Corona virus for courageous children	دليل عجيب عن فيروس كورونا للأطفال الشجعان	COVID-19	26	Art Jameel	JICA Project Team	0:14:57	Arabic	Finished
82	My Hero is you	بطلي أنت	COVID-19	22	IASC	JICA Project Team	0:29:56	Arabic	Finished
83	Safe Ramadan Habits in the context of COVID-19 Pandemic	الممارسات الرمضانية الآمنة في سياق جائحة كوفيد-19	COVID-19	9	WHO	JICA Project Team	0:37:28	Arabic	Finished
84	Initial Recommendations regarding Pfizer Vaccine	توصيات مبدئية بشأن استخدام لقاح فايزر	COVID-19	11	WHO	JICA Project Team	0:43:32	Arabic	Finished
85	Initial Recommendations regarding AZD1222 Vaccine	توصيات مبدئية لاستخدام لقاح AZD1222	COVID-19	10	WHO	JICA Project Team	0:52:25	Arabic	Finished
86	Tracing Contacts in the context of COVID- 19 Pandemic	تتبع المخالطين في سياق جائحة كوفيد-19	COVID-19	14	WHO	JICA Project Team	1:29:18	Arabic	Finished
87	WHO Definitions for COVID-19 Cases	تعاريف منظمة الصحة العالمية لحالات كوفيد	COVID-19	1	WHO	JICA Project Team	0:08:28	Arabic	Finished

No	Title in English	Title in Arabic	Subject	Page	Source	Organization	Duration	Language	Status
88	Temporary Recommendations regarding the use of COVID-19 Vaccine BIBP that was developed by Biotech National group (CNBG), Sinopharm	توصيات مؤقتة بشأن استخدام لقاح كوفيد-19 الذي طوّره مجموعة بيوتيك BIBP المعطل (، سينوفارم CNBG الوطنية الصينية)	COVID-19	11	WHO	JICA Project Team	0:45:23	Arabic	Finished
89	Asthma and COVID-19	الربو وكوفيد-19	COVID-19	5	WHO	JICA Project Team	0:25:53	Arabic	Finished
90	Public Health Risk Reduction in relation with Selling Wild Mammals	الحدّ من المخاطر الصحيّة العامة المرتبطة ببيع الثدييات البريّة	COVID-19	10	WHO	JICA Project Team	1:06:44	Arabic	Finished
91	Standards of Labor Organization and COVID-19	معايير منظمة العمل الدولية وكوفيد-19	COVID-19	28	ILO	JICA Project Team	1:22:31	Arabic	Finished
92	Initial Recommendations regarding the use of Yansen Vaccine	توصيات مبدئية بشأن استخدام لقاح يانسن	COVID-19	10	WHO	JICA Project Team	0:48:07	Arabic	Finished
93	Education's Response to Novel Coronavirus Pandemic 2020	استجابة التعليم تجاه جائحة فيروس كورونا المستجد 2020	COVID-19	52	OECD	JICA Project Team	2:45:12	Arabic	Finished
94	Initial Recommendations regarding the use of Moderna Vaccine	توصيات مبدئية بشأن استخدام لقاح مودرنا	COVID-19	11	WHO	JICA Project Team	0:53:39	Arabic	Finished
95	COVID-19 and it's Impact on African Children	كوفيد-19 وآثاره على أطفال إفريقيا	COVID-19	32	Save the children	JICA Project Team	3:25:14	Arabic	Finished
96	Medical Treatments regarding COVID-19	العلاجات الدوائية بشأن كوفيد-19	COVID-19	45	WHO	JICA Project Team	4:38:58	Arabic	Finished
97	The Use of Masks in the context of COVID-19 Pandemic	استخدام الكمامات في سياق جائحة كوفيد	COVID-19	31	WHO	JICA Project Team	3:36:04	Arabic	Finished
98	Pandemic in Modern times: Religious and Philosophical Views	الجوائح في الأزمنة المعاصرة رؤى دينية وفلسفية	COVID-19	111	مركز أفكار للدراسات والأبحاث	JICA Project Team	4:36:52	Arabic	Finished
99	Response to COVID-19 Crisis in the MENA Region	في COVID-19 الاستجابة لأزمة فيروس كورونا دول الشرق الأوسط وشمال إفريقيا	COVID-19	43	OECD	JICA Project Team	3:27:29	Arabic	Finished
100	Education During COVID-19 Pandemic	التعليم أثناء جائحة كوفيد-19	COVID-19	24	INEE	JICA Project Team	1:17:02	Arabic	Finished
101	Investment in the MENA Region during the times of Coronavirus	الاستثمار في منطقة الشرق الأوسط وشمال إفريقيا في زمن فيروس كورونا	COVID-19	22	OECD	JICA Project Team	1:43:48	Arabic	Finished
102	Monitoring Vaccines against COVID-19	رصد التطعيم ضد كوفيد-19	COVID-19	36	WHO	JICA Project Team	2:01:18	Arabic	Finished
103	COVID19 and the Arab States	كوفيد 19 والمنطقة العربية	COVID-19	27	ESCWA	JICA Project Team	3:16:42	Arabic	Finished

No	Title in English	Title in Arabic	Subject	Page	Source	Organization	Duration	Language	Status
104	Violence Against Women and Girls And COVID-19 in the Arab Region	العنف ضد النساء والفتيات وجائحة كوفيد- ١٩ في المنطقة العربية	COVID-19	22	ESCWA	JICA Project Team	2:03:59	Arabic	Finished
105	Main Psychological and Social Skills: Guide to Responders of COVID-19	المهارات النفسية - الاجتماعية الأساسية دليل المستجيبين لكوفيد-19	COVID-19	22	IASC	JICA Project Team	1:19:49	Arabic	Finished
106	The Impact of COVID-19 Pandemic on Food and Nutrition Security	آثار جائحة كوفيد-19 على الأمن الغذائي والتغذية	COVID-19	27	FAO	JICA Project Team	1:59:37	Arabic	Finished
107	Deaths of people identified as having learning disabilities with COVID-19 in England in the spring of 2020	وفاة أشخاص نتيجة الإصابة بكوفيد-19 في إنجلترا في ربيع 2020 تم تحديدهم بأنهم يعانون من صعوبات التعلم	COVID-19	87	هيئة الصحة العامة في إنجلترا	JICA Project Team	5:01:04	Arabic	Finished
108	Major Lockdown Crisis: Economical effects of COVID-19	أزمة الإغلاق الكبير: الآثار الاقتصادية لفيروس كورونا كوفيد-19	COVID-19	21	مجلة بحوث الإدارة والاقتصاد	JICA Project Team	2:02:17	Arabic	Finished
109	The impact of the COVID-19 pandemic on constitutionality and the rule of law in North African Countries	أثر جائحة كوفيد- ١٩ على الدستورية وسيادة القانون في بلدان شمال أفريقيا	COVID-19	17	المؤسسة الدولية للديمقراطية والانتخابات	JICA Project Team	0:52:22	Arabic	Finished
110	Why we stay at home	لماذا نبقى في المنزل	COVID-19	10	Samantha Harris	JICA Project Team	0:05:54	Arabic	Finished
111	Staying Home	البقاء في المنزل	COVID-19	19	Sally Nicholls	JICA Project Team	0:13:12	Arabic	Finished

註：NCPD が独自に製作した 16 冊は含まない。